

外国人宣教師日本語著作目録【ハ行】_2020年6月3日公開

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Maumigny, René		ペトロ・ハイドリッヒ		1901—1990		カトリック・イエズス会		ドイツ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00579	かく祈るべし：聖イグナチオの「霊操」による祈りの方法	共訳	ルネ・ド・モミニ 著、ペトロ・ハイドリッヒ、山村直資 共訳	中央出版社	東京	1962年 2版改訂版	149p	序文/祈りについて/第一章 祈りの第一方法—霊魂の三つの能力による黙想/第二章 祈りの第二方法—観想/第三章 祈りの方法—五感の活用/第四章 祈りの方法—祈りの第二様式—/第五章 祈りの方法—祈りの第三様式/第六章 祈りに関する総注/第七章 祈りに関する付則/第八章 普通の祈りに関する霊動弁別の規則/第九章 いかなる祈りの方法を用いようとも、神との親しまじわりを専らにしなければならない/第十章 祈りのすべてを支配する規則は、経験のある指導者のもとで神の超自然的すすめにしたがうことである/後記	-	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Barclay, J. Gurney		バークレー		1879—1976		英国聖公会宣教師協会 (プロテスタント)		イギリス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00580	約書亜記の研究	単著	ジェイ・ジイ・バークレー 著	日本基督教興文協会	東京	1917	41p	序/序論/第一戦闘的信仰 ヨシュア/ラハブ/ヨルダン/エリコ/アイ/ギベオン/ベテホロン/メロム/虐殺二関する約説/第二受容的信仰/逃遁の邑/産業/二つ半の支派/第三献身的信仰	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB01648441	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/905248

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Bastid, Claude		クロード・バステイ		1924—2002		カトリック・パリ外国宣教会		フランス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00581	子供とともに人生を	単著	クロード・バステイ 著	中央出版社	東京	1977.10	244p	まえがき/1 宗教に基づいた教育/2 キリスト教で言う神/3 人間に自由を与えた神/4 魂による精神生活/5 人生の理想/6 人生の現実/7 教育の長期計画/8 良心に基づく道徳生活/9 神によりすがって生きる信仰/10 祈りと生活/11 家庭における親子の関係/12 生命の尊重/13 家庭における夫婦の関係/14 社会正義/15 心と口/16 現世と来世/17 母親について/18 私の見た日本の父親について/19 家庭教育について	=	=
MB00582	キリストの喜びの道	単著	クロード・バステイ 著	中央出版社	東京	1982.4	273p	まえがき/1 世界にほろがるもの/1 あかつきを待つ/2 聖寵みち満てるマリア/3 クリスマス/4 沈黙の青少年時代/5 キリストのたたかい/6 種まきに出る/7 神の国/8 新しい旋/9 父の心/10 子の心/11 みな兄弟/12 愛の実践/13 ペトロスの信仰宣言/14 エルサレムへのほろがる人の子/15 最後の晩餐/16 十字架の道/17 死んだ者が生きている/18 世界にひろがる教会	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA71274575	=
MB00583	ルカによる救い主の福音	単著	クロード・バステイ 著	中央出版社	東京	1987.3	322,6p	序文/凡例/1 イエスの誕生、予告される/2 イエスの誕生/3 洗礼者ヨハネ、教えを宣べる/4 神の子と悪魔のたたかい/5 ガリラヤで福音宣教を始める/6 自分の育ったナザレトで受け入れられない/7 シモン・ペトロを弟子にする/8 幸いと不幸/9 罪深い女/10 キリストの聖体/11 栄光に輝くイエス—変容/13 エルサレムに旅立つイエス/14 七十二人を派遣する/15 善いサマリア人/16 マルタとマリア/17 悔い改めなければ滅びる/18 放蕩息子の父親/19 不正な管理人/20 金持ちとラザロス/21 からし種—粒ほどの信仰/22 感謝したらいい病人/23 やもめと裁判官/24 ファリサイ派の人と徴税人/25 徴税人も救われる/26 神殿の崩壊と世の終わり/27 解放の時/28 王であるイエス・キリスト/29 エンマウスの弟子/30 キリストの昇天/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13466832	=

宣教師名 Batchelor, John		宣教師名 (J) ジョン・バチエラー			生没年 1854—1944		所属 聖公会		出身国 イギリス	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00584	ジョン・バチエラーの手紙	単著	ジョン・バチエラー 著 仁多見巖 訳編	山本書店	東京	1965□	525p	はじめに/1 摂理により—予期せざる地へ/2 アイヌのなかへ/3 第二の故郷、永住の地、札幌/4 豊かな実り/5 伝道の苦難、アイヌ出身の愛娘、栄誉/6 伝道の後退、徳川候との邂逅、退職/7 アイヌ保護学園/8 昭和になって/9 晩年—栄誉と悲嘆、しのびよる暗雲/10 賞讃の記事・失意の日記・終焉/あとがき/年譜・著作目録・索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02390182	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2978304
MB00585	Ainu karisia eiwange gusu an inonno-itak oma kambi : The book of common prayer / translated into Ainu by the Rev. John Batchelor	単著	John Batchelor	s.n.]	S.l.	1896□	417p	アイヌ語目次省略	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA0192789X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1676929
MB00586	Chikoro Utarapa ne Yesu Kiristo Ashiri Aeuitaknup oma kambi. The New Testament of our Lord and Saviour Jesus Christ.	単著	translated into Ainu out of the Greek by John Batchelor	Printed for the Bible Societies' Committee for Japan, by the Yokohama Bunsha	Tokyo	1897□	706p	アイヌ語目次省略	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA28443828	—
MB00587	蝦和英三対辞書	単著	ジョン・バチエラ 著	北海道		1889年初版、1905年2版、Methodist Publishing House ; 1926年3版、教文館 ; 1938年4版、岩波書店 ; 書名変更『アイヌ・英・和辞典第4版』1981年4版2刷)、岩波書店	287p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39218200	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/902998
MB00588	An Ainu-English-Japanese dictionary (including a grammar of the Ainu language). アイヌ英和辞典及アイヌ語文典	単著	John Batchelor	Methodist Publishing House Kegan Paul	Tokyo, London	1905年2版、1926年3版、教文館	11,525,159p	TABLE OF CONTENTS. /CHAPTER I. Introduction/1. Works on Ainu Grammar. /2. Ainu and Japanese compared. /3. Word-building. /4. Root affinities between Japanese and Ainu. /5. Place names considered. /Part I. The Koropok-guru or Pit-dwellers of North Japan. /Part II. A critical examination into Topographical nomenclature. /6. Yezo and Saghalien Ainu. /7. Agglutination. /8. Hebrew words resembling Ainu. /9. Ainu and Basque. /10. Ainu and the Aryan connection. /CHAPTER II. Orthography /CHAPTER III. Letter Changes /CHAPTER IV. The Article /CHAPTER V. The Noun /CHAPTER VI. The Adjective /CHAPTER VII. The Numerals /CHAPTER VIII. The Pronoun /CHAPTER IX. The Verb /CHAPTER X. The Adverb /CHAPTER XI. The Interjection /CHAPTER XII. The Vowels a. e. i. o. and u. /CHAPTER XIII. Postpositions /CHAPTER XIV. Syntax	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA72853986	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1700068

MB00589	蝦夷今昔物語	単著	バチロル 著 (初版、再版)	尚古堂書店 (再版)	札幌	1884年初版、1938年再版	34p	第一項/第一 名稱ノ義//第二 原因/第三 舊土人事蹟古傳説/第四 概括/第二項/第一 人員/第二 等級/第三 古代人民ヲ主宰スル形状/第四 オツテナ撰筆法/第五 容貌骨格/第六 衣服/第七 裝飾/第八 家屋建築法/第九 什器/第十 飲食/第十一 産業/第十二 惡僻/第十三 才能智識/第十四 稚兒養育法/第十五 學術/第十六 天文地理學/第十七 古傳修身訓/第十八 教法/第十九 家長死後家屋ヲ燼ス	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09221762	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1193721
MB00590	我が記憶をたどりて：ジョン・バチラー自叙伝	単著	ジョン・バチラー 著、村崎恭子 校訂	北海道出版企画センター	札幌	2008.6	350p	序/緒言/第一章 誕生/私の先祖/祖父と祖母/ボックステッド村において/北海道におけるバターの事件/我が家/私の教育/第二章 幼年時代/小学校時代/第三章 親切な床屋さん/出立/仏蘭西海岸ビスケーを通過してモルタ及びポートサイドの見物/スエズ運河より印度洋通過/セイロン島およびシンガポール見物/香港の港にての出来事/香港に住まって/香港での出来事、香港を去るについて/第四章 初めて見る日本の富士およびそれについて/初めて見る日本の漁師さん/横浜より東京まで/東京に着いての感想および初めて行く日本の教会/第五章 オーシャンパール号及其の船長の滑稽/滑稽な船長/犬吠岬/金華山のシカ/萩の浜の思い出/もう一つのブランデー事件/シリア岬から函館まで/第六章 函館に着いて/函館に住まって/函館における私の友人/渡辺さん/小川に就いて/ハトの事件/寺田さん/危ない事件/第七章 日本語を学ぶ困難/本当に愚なる夫婦/日本語の失敗/先生を頼んでも失敗す/はじめてアイヌを見る/アイヌ部落を訪問/オテシペで学んだアイヌ語/学生たち過ちを改めること/アイヌ人のために働きたる動機/第八章 慌ただしき生活とはじめて見る札幌/一人の勉強家/初めてアイヌ語を学ぶ/危ない見舞い/お砂糖好きなお嬢さん/カツクミに行く/有珠に行く/第九章 伝道界に入る/ピラトリに行く/食物の困難/ペンリ酋長の家にあつての困難/家から出ないように願われる/湯たんぼ事件/第十章 函館の大火/青森へ行く/波岡へ行く/弘前に着く/岩木登山と波岡の説教/第十一章 オシャマンベの酋長との旅行について/有珠にてカメを祭るのを見る/髭を伸ばしたわけ/沙流川地方巡回/シツナイへ/祈り(呪い)/ある宮殿下/ペンリさんについての事件/第十二章 英国に行く/墓まいり/ネズミの事件/面白い証文/気違い女と沙流川で見た呪い/カラスを撃ったこと、また人の親切のためほとんど死にかかったこと/第十三章 私の結婚/小樽の古代文字を見る/妻と札幌に行く/妻とペンリさんの家に行くまで/第十四章 大阪の演説/ペンリさんと其油絵/ある人私に罫をかける/驚くべき噂と私を訴えたこと/愛すべきペンリさん/初めての裁判/旅行免状期日を犯すこと/裁判中のおもな事件/家を建てたことについて/裁判の裏面について/訴人の誤解/第十五章 カンナリタロウ/登別にて/ネズミの大群/チャンパーレン教授の来訪/第二の洗礼/ホロベツの遊び/大なる失望/もう一つの驚き/元室蘭の珍しいことと日食/執事になって初めて洗礼を授く/長老となる/第十六章 ホロベツの愛隣学校/著書の発表/経験あるニワトリ先生/レブンゲ峠を通る/レブンゲ村のお婆さん/札幌に転住す/友人の手紙/ヌツキベツにて罫と縦穴を見る/ニカップにて休む/第十七章 旅行をする/北海道の馬/馬の滑稽/川に飛び込む/結構な昼飯/カワセミの事件/ウスよりの贈り物/第十八章 ツウスグル(まじない者)との戦い/アイヌ部落伝道の困難/ヌベキさんとヘビの宝/パラピタさんと馬の事件/パラピタさんとおもしろい兔の話/札幌に帰って著書の発表/かわいそうなアイヌ婦人へ/第十九章 北海道におけるもてなし/移住民の歓待/余りに利口なネコ/新しいホームを建てる/一つの呪い/第二十章 アイヌ人のために病室を造る/おもしろい患者/珍客来る/アイヌ人アメリカに行く/日露戦争の時/アイヌの状態が変わる/珍しき願ひ/第二十一章 光栄なる数々/養女の大きな悲しみ/明治天皇に拝謁後不思議な力を託せらる/靈感の不思議/大正天皇陛下(皇太子殿下当時)に御拝謁/出水/アイヌのお婆さんと入れ墨の話/第二十二章 豪州へ行く/マオリ女とマオリ人の親切/メルボルンでのお願い/旅行中であった二つの出来事/妙な幻/第二十三章 私の働きの中の一つ/お君さんの信仰/お君さんの霊の訪問/君子の死後/第二十四章 皇太子殿下に御拝謁/囁託にあずかる/ピラトリの幼稚園及び寄宿舎の事/妙な噂/太平洋学術会議員に与る/特別な光栄/最後にもう一つの感謝/第二十五章 英語の日記/第二十六章 読者に願う/参考資料いろいろ/バチラー年譜/参考文献/ゆかりの人々/バチラーが習ったアイヌ語の先生たち/アイヌ民族の数/聖公会のアイヌ信徒の数/復刻出版に当たって 村崎恭子	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA86455868	-

MB00591	アイヌの暮らしと伝承：よみがえる木霊	単著	ジョン・バチエラー著、 小松哲郎 訳	北海道出版企画センター	札幌	1999.11	369p	序章／はじめに――この書を読むための幾つかの基礎知識／第一章 アイヌの一般的な容姿について／第二章 女性の地位について／第三章 幽霊にとり憑かれた男／第四章 和人ととの戦い／第五章 アイヌとオロッコ（ウィルタ）との戦い／第六章 村社会／第七章 女性と入れ墨／第八章 衣服／第九章 ペンリ首長の家／第十章 宣教師が悪い／第十一章 女性とその仕事／第十二章 礼儀作法について／第十三章 食べ物について／第十四章 山からの呼び声／第十五章 御守りについて／第十六章 アイヌはどのようにしてこの世に創り出されたか／第十七章 地震の話／第十八章 熊に変身した女／第十九章 蛇に咬まれたペンリ首長／第二十章 ペンリ首長の母の死／第二十一章 冥土への旅／第二十二章 家屋の建築とその落成の儀式／第二十三章 家を守り二人の神／第二十四章 誕生木と子供が生まれた時に行うしきたり／第二十五章 結婚／第二十六章 熊祭り／第二十七章 我が友、テ工氏とアリマクナ氏／第二十八章 名前と命名の仕方／第二十九章 天上界から降りて来たぶどう蔓と交霊術／第三十章 雨乞いと、天体のこと／第三十一章 巫術と蛇崇拜／第三十二章 巫術と巫術師の交霊の仕方について／第三十三章 愛と復讐の物語／第三十四章 海の悪神との戦い／第三十五章 祖父と、孫息子と、悪神と、半神半人の物語／第三十六章 狩猟について／第三十七章 貂、福寿草と、雲雀の物語／第三十八章 神と人間との術くらべ／第三十九章 樹に戦いをいどむこと、猛々しく踊ること／第四十章 病気について／第四十一章 怪物の悪神から二人の兄を救った少年／第四十二章 アニミズムと祖霊崇拜／第四十三章 樹木を崇拜すること／第四十四章 愛しい二人の若者を失い、人の姿をした熊と結婚した女／第四十五章 木で作った『イナウ』と、病気の悪神を斃す物語／第四十六章 宇宙の構造と性悪な雷神／第四十七章 狩猟での出来事／第四十八章 神々の罰を受けた、残酷で意地悪な男の物語／第四十九章 川や海に住む神々と悪神たち／第五十章 「御守り」にされるコウモリ（蝙蝠）／第五十一章 魚獲りについて／第五十二章 旅先で／第五十三章 アイヌの英雄たち／第五十四章 狐に取り憑かれた話／第五十五章 狐が話したもう一つの物語／第五十六章 愛するが故に悲しいアイヌの物語	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA44932836	-
MB00592	アイヌの伝承と民俗	単著	ジョン・バチエラー 著、 安田一郎 訳	青土社	東京	1995.5 1999年新装版	520,6p	1 アイヌの起源について／2 穴居民とアイヌ減少の理由／3 入れ墨／4 世界の創造／5 宇宙論的な事柄(a)／6 宇宙論的な事柄(b)／7 キューピッドと英雄オキクルミ／8 ヤナギのトーテム／9 ヌサとイナオについての総論／10 イナオ呪物の主要なもの／11 「彫刻された小鳥」とよばれるイナオ呪物／12 生きている仲介者としてのイナオ／13 小屋について／14 家庭の道具／15 衣服／16 宝物と装飾品／17 アイヌの男たちについて／18 アイヌの女たちについて／19 エチケット／20 食べ物／21 女たちのお守り、あるいは呪物／22 結婚と離婚／23 誕生と個人の生活／24 名前と命名／25 教育／26 人生の娯楽／27 政府と刑の執行／28 病気――どの原因と治療／29 悪魔払い／30 共感呪術 (a)／31 共感呪術 (b)／32 ヘビ崇拜／33 呪物崇拜 (a)／34 呪物崇拜 (b)／35 呪物崇拜 (c)／36 鳥崇拜 (a)／37 鳥崇拜 (b)／38 鳥崇拜 (c)／39 鳥崇拜 (d)／40 狩猟と狩猟の道具／41 動物崇拜 (a)／42 動物崇拜 (b)／43 動物崇拜 (c)／44 魚釣り／45 魚崇拜 (a)／46 魚崇拜 (b)／47 宗教(a)／48 宗教(b)／49 宗教(c)／50 宗教(d)／51 宗教(e)／(付録) バチエラー小伝／(付録) バチエラー年譜／訳者あとがき／索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12478508	-

MB00593	我が記憶をたどりて：ジョン・バチラー自叙伝 伝記・J.バチラー	単著	ジョン・バチラー 著	著者出版（初版）、大空社（復刻版）	東京	1928年初版、1995年復刻版	351,6p	序／緒言／第一章 誕生／私の先祖／祖父と祖母／ボツクステッド村に就いて／北海道に於けるバタの事件／我が家／私の教育／第二章 幼年時代／小学校時代／第三章 親切な床屋さん／出生／仏蘭西海岸ビスケーを通過してモルタ及びポートサイドの見物／スイス運河より印度洋通過／セイロン島及シンガポール見物／香港の港にての出来事／香港に住まうて／香港での出来事、香港を去るに就いて／第四章 初めて見る日本の富士及びそれに就いて／初めて見る日本の漁師さん／横浜より東京まで／東京に着いての感想及び初めて行く日本の教会／第五章 オーションペール号及其の船長の滑稽／滑稽な船長／犬吠岬／金華山の鹿／萩の浜の想ひ出／もう一つのブランデー事件／シリヤ岬から函館まで／第六章 函館に着きて／函館に住つて／函館に於ける私の友人／渡邊さん／小川に就いて／鳩の事件／寺田さん／危ない事件／第七章 日本語を学ぶ困難／本当に愚なる夫婦／日本語の失敗／先生を頼んでも失敗す／初めてアイヌを見る／アイヌ部落を訪問／オテシペで学んだアイヌ語／学生達過を改むること／アイヌ人の為に働きたる動機／第八章 忙しき生活と初めて見る札幌／一人の勉強家／初めてアイヌ語を学ぶ／危ない見舞／お砂糖好きなお嬢さん／カツクミに行く／有珠に行く／第九章 伝道会に入る／ピラトリに行く／食物の困難／ペンリ酋長の家にあつての困難／家から出ない様に願はる／湯たんぼ事件／第十章 函館の大火／青森へ行く／波岡へ行く／弘前に着く／岩木登山と波岡の説教／第十一章 オシヤマンベの酋長との旅行に就いて／ウスにて亀を祀るのを見る／髭を伸した訳／沙流川地方巡回／シズナイへ／祈（呪）／或る宮殿下／ペンリさんに就いての事件／第十二章 英国に行く／墓詣り／鼠の事件／面白い証文／気狂ひ女と沙流川で見た呪／鳥をうつた事又人の親切の為殆ど死にかゝつた事／第十三章 私の結婚／小樽の古代文字を見る／妻と札幌に行く／妻とペンリさんの家に行くまで／第十四章 大阪の演説／ペンリさんと其油絵／或る人私に罨罨をかける／驚くべき噂と私を訴へた事／愛すべきペンリさん／初めての裁判／旅行免状期日を犯す事／裁判中のおもな事件／家を建てた事に就いて／裁判の裏面に就いて／訴人の誤解／第十五章 カンナリタロウ／登別にて／鼠の大群／チャンパーレン教授の来訪／第二の洗礼／ホロベツの遊び／大なる失望／もう一つの驚き／元室蘭の珍しい事と日蝕／執事となつて初めての洗礼を授く／長老となる／第十六章 ホロベツの愛隣学校／著書の発表／経験ある鶏先生／レブンゲ峠を通る／レブンゲ村のお婆さん／札幌に転住す／友人の手紙／ヌツキベツにて岩と縦穴を見る／ニカツブにて休む／第十七章 旅行をする／北海道の馬／馬の滑稽／川に飛び込む／結構な昼飯／翡翠の事件／ウスよりの贈り物／第十八章 ツウスグルとの戦／アイヌ部落伝道の困難／ヌベキさんと蛇の宝／パラピタさんと馬の事件／パラピタさんと面白い兎の話／札幌に帰つて著書の発表／可哀そうなアイヌ婦人へ／第十九章 北海道に於ける待遇／移住民の歓待／余りに利巧な猫／新しい家を建てる／一つの呪／第二十章 アイヌ人の為に病室を造る／面白い患者／珍客来る／アイヌ人アメリカに行く／日露戦争の時／アイヌの状態が変る／珍しき願ひ／第二十一章 光栄なる数々／養女の大なる悲しみ／明治天皇に拝謁後不思議な力を託せらる／靈感の不思議／大正天皇陛下（皇太子殿下当時）に御拝謁／出水／アイヌのお婆さんと入墨の話／第二十二章 濠州へ行く／マオリ女とマオリ人の親切／メルボルンでのお願／旅行中であつた二つの出来事／妙な幻／第二十三章 私の働きの中の一つ／お君さんの信仰／お君さんの霊の訪問／君子の死後／第二十四章 皇太子殿下に御拝謁／囁託に与る／ピラトリの幼稚園及び寄宿舎の事／妙な噂／太平洋学術会議員に与かる／特別な光栄／最後にもう一つの感謝／第二十五章 英語の日記／第二十六章 読者に希ふ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13358986	-
MB00594	わが人生の軌跡：ジョン・バチラー遺稿	単著	ジョン・バチラー 著、仁多見巖、飯田洋右 訳編	北海道出版企画センター	札幌	1993.10	314p	序文／はじめに／序章 親愛なる姪へ／第一章 私の故郷／一 私の家系／二 少年のころの思い出／三 アックフィールド村／四 不思議な予言／第二章 香港滞在／一 英国出発／二 スエズ運河を通過して／三 インド洋へ／四 香港にて／五 中国語を学ぶ／六 香港のまち／七 カオルン（九龍）見物／第三章 函館渡来／一 横浜へ／二 東京滞在／三 函館入港／四 函館のまち／五 日本人の友人たち／六 デニング司祭と函館聖公会／七 アイヌとの出会い／八 日本語習得の困難／九 日本人の生活／十 帰英、結婚、司祭按手／第四章 アイヌモシリ／一 平村ペンリウク首長との出会い／二 首長にアイヌ語を学ぶ／三 裁判事件／四 平取コタン／五 伝道の実り／六 教会の建設／七 幌別コタン／八 俊英・金成太郎／九 有珠コタン／十 コタンの巡回／第五章 アイヌの説話と生活／一 説話／二 生活／第六章 札幌在住時代／一 道都札幌へ／二 多彩な活動／第七章 栄光と悲嘆／一 数々の表彰／二 悲嘆／三 天皇陛下へ／バチラー没後五十年／ジョン・バチラー関係略年譜／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09890649	-

MB00595	日本北海道案内記	単著	ジョン・バチエラー 著、 長岡照正 訳	平田文右衛門	函館	1893.6	57p	緒言/第一章総論/一、地理/二、蝦夷歴史/三、千島/四、他ノ諸島/五、北海道地形/六、山嶽/七、開墾ニ適スル土地/八、気候/九、河水/十、艸木類/十一、動物/十二、鉱物/十三、魚類/十四、北海道通商ノ関係/第二章行程記/一、交通ノ事/二、「アイヌ」人ノ事/三、遊獵 漁撈ノ事/四、遊獵 銃獵ノ事/五、旅装 衣服ノ事/六、食物ノ事/七、蝦夷地ニ於テニ週日間ヲ費スヘキ行程/追録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15031579	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/763096
MB00596	アイヌ人とその説話	単著	ジョン・バチエラー 著	富貴堂書房	札幌	1925年初版、1940年改訂版	462p	第一章 アイヌの起源について/第二章 穴居人及アイヌ人の減少する原因に就いて/第三章 アイヌ人の特質に就いて/第四章 婦人と文身/第五章 結婚と離婚/第六章 婦人とその労働及衣類に就いて/第七章 アイヌの食物/第八章 禮儀作法/第九章 柳で作つた物神/第十章 ヌサとイナウの概説/第十一章 イナウ物神の主要なるもの/第十二章 「小さい彫刻した鳥」と呼ばれる、イナウ物神/第十三章 生きた仲介者としてのイナウ/第十四章 住家に就いて/第十五章 家具/第十六章 寶物と装飾品/第十七章 婦人の護符=物神/第十八章 世界の創造/第十九章 天地開闢に就いて/イ 地とその深み/ 第二十章 天地開闢に關する事柄/ロ 天とその高み/第二十一章 キュピツドと英雄オキクルミ/第二十二章 誕生と人の生命/第二十三章 名前と名前をつける事に就いて/第二十四章 教育/第二十五章 娛樂/第二十六章 行政と司法/第二十七章 病氣とその原因及療法/第二十八章 惡鬼拂ひ/第二十九章 交感魔術/第三十章 交感魔術(續)/第三十一章 拜蛇式/第三十二章 物神崇拜/第三十三章 物神崇拜(續)/第三十四章 物神崇拜(續)/第三十五章 鳥の信心/第三十六章 鳥の信[心](續)/第三十七章 鳥の信心(續)/第三十八章 鳥の信心(續)/第三十九章 狩獵と獵具/第四十章 動物の信心/第四十一章 動物の信心(續)/第四十二章 動物の信心(續)/第四十三章 魚漁/第四十四章 魚の信心/第四十五章 魚の信心(續)/第四十六章 宗教/第四十七章 宗教(續)/第四十八章 宗教(續)/第四十九章 宗教(續)/第五十章 宗教(續)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02672683	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1871761
MB00597	アイヌ人及其説話 上編	単著	ジョン・バチエラー 著	教文館	東京	1900.11	203p	第一章 序文/本書の事項/本書を印刷する理由、及弁解/本書の性質/並其範圍。 ・ 第二章 アイヌの本居/アイヌは始め日本全国に居住す/富士山はアイヌの称呼なり/アイヌ蝦夷に駆逐せらる/アイヌは人肉食人種なり。 ・ 第三章 土雲即穴居人/穴居/穴居にて人の葬らるる事/千島人の石器及陶器/穴居人に就てアイヌの口伝/アイヌ人も穴居人なるやの事。 ・ 第四章 アイヌ人口減少の近因/アイヌの首府/同族の戦争/網走に於ける不意の出来事/食物の変化/氣力の喪失/衛生及医療智識の欠乏。 ・ 第五章 世界の創造/世界創造の概念/世界創造に於ける鶺鴒の補助/蝦夷の創造/谷地の惡魔の本源/惡の木アカガモの事。 ・ 第六章 宇宙学 (イ) 地上地下/世界の形象/世界は魚の上に基礎せらる/干満潮の原由/海嘯の事/地震の事/タアタラス即地獄の事/地下の極樂。 ・ 第七章 宇宙学 (ロ) 蒼穹/天の限涯/天に就て有形語の使用/日月及其口伝/月界に住する人/日と鳥/星と銀河/天より生物の降りし事。 ・ 第八章 アイヌイナ及アイヌの名称を論ず/アイヌの祖先はアイヌイナか/アイヌイナと云ふ語の由来/アイヌの名称はアイノにあらず/アイヌの多毛なる事。 ・ 第九章 アイヌの元始/前言/オキクルミの事/神の人間を造り給ひし事/人間の造らるる時癩の働の事/アイヌの元始の口伝/アイヌの祖先に動物ありし事/アイヌ熊より出生せし事/アイヌの動物崇拜に於ける驚の事。 ・ 第十章 キウピツト Cupid 及 オキクルミ Okikurumi の事/鶺鴒キウピツトになりし事/キウピツト夫婦の務を教ゆる事/オキクルミ女を愛する事/義経を拜まざる事/平取村に於ける義経の祠の事。 ・ 第十一章 柳の樹/動植物崇拜の解明/人命の所在/人の生れし時柳樹のイナヲを造る事/人命柳の樹に結び合ふ事。 ・ 第十二章 幣及イナヲの概説/幣の解明イナヲを造る時/イナヲの置所/イナヲの解明/物体崇拜の事/アイヌの偶像教。 ・ 第十三章 重要なるイナヲの物質/家のイナヲ/此イナヲを造る事/此イナヲを聖別する事/火の神の夫/縋れたるイナヲ/垂れたるイナヲ/前後を削りたるイナヲ。	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07053805	

							<ul style="list-style-type: none"> ・第十四章 チカツポチコメシユブ Chikappochikomesup イナヲの事／此物質の目的／其形状／木の種類／其上に食物を置く事／病の性質。 ・第十五章 イナヲは生ける仲保者たる事／イナヲは使者なり／酒を造くるにイナヲを用ゆ／イナヲの地獄に送らる事／悪魔を拝む事／病人の為に造るイナヲ／萩イナヲ／削り屑イナヲ。 ・第十六章 アイヌの住家／住家の生命／住家の心／住家を造る事／住家を祈る事／聖別なる家内の東隅／倉庫の事／火事を恐るる事／幌別の家屋／新宅の祭／住家を焼く事。 ・第十七章 家具／炉棚／炉棚ベンリウクアイヌの出来事／自在／木皮鍋／匙／鬚揚箸／椀類。 ・第十八章 衣服／アツシ／針仕事／男の上衣／脚絆／冠り物／前垂／冬服／雪履。 ・第十九章 宝物及粧飾物／漆器／刀剣／婦女粧飾物を好む／指環／耳環／耳環は植物崇拜の遺習／冠り物は植物崇拜の遺習。 ・第二十章 文身の事／文身の習慣廃め難し／文身の仕方／文身に就ての口伝／穴居人文身を為さ@る事／文身せざるを戒む事／文身の由来／蛙に文身ある事／蛙の名の源／雀の文身せられし事／雀の饗応と烏の死する事 		
MB00598	アイヌ人及其説話 中編	単著	ジョン・バチエラー 著	教文館	東京	1901	<p>第二十一章 アイヌ男子の事／男子の容貌、頭の毛、手の爪、頭の毛髪を斬るを厭ふ事、牢屋に入るを厭ふ事、匂と垢の事、アイヌ男子と祭司職／第二十二章 アイヌ婦人の事／婦人の容貌、婦人の身分、婦人の働、立腹せる婦人、子供夜鷹になりし事（即夜鷹の始源）／第二十三章 礼式／礼式の方法、男の礼式、女の礼式、子供の礼式、家に入る礼式、種々の礼式、客人の帰を促す事／第二十四章 食物の事／食物の種類、食事の時の座位、給仕の仕方、食器の潔め方、食事の祈り、穀物崇拜／第二十五章 婦女子の守の事／蛇の蛻、カツコーの巣及卵、鳩の巣及卵、鳴鶴卵を種子に交合せず理由／第二十六章 結婚及離婚／求婚の事、許嫁の事、女子の方より言寄るも礼に缺けざる事、求婚の目的にて奉公する事、蓄妾の事、児女を産まんと欲する理由、離婚／第二十七章 分娩、人間の生命／分娩の時の奇習、潔めの礼、肉体の命は母より伝はる事、靈魂は父より受くる事／第二十八章 名及び命名／名を択ぶ困難の事、命名式、綽名、夫及び妻の呼び方／第二十九章 教訓／普通教育、宗教道德教訓、日々の食物を神に求むる事、奢侈を戒むる事、老人に対する作法、土竜と女神の伝説、雲雀の事、イナホを作る事を小児に教ふる事、アイヌに文字なき事、義経がアイヌの書物を盗みし事、オタルナイの文字／第三十章 生活上の娯楽／音楽、唱歌、語り物、楽器、舞踏、遊戯／第三十一章 政治と司法／部落、家長、刑罰、一、倉破りの刑二、姦淫の刑三、殺人の刑、試法一、熱湯責め二、熱鉄若くは熱石探り三、水責め四、盃投げ五、烟草責め六、捧縛り／第三十二章 疾病及び療治／疾病の素因、魔神を安慰ること、療法一斑、猫の所為により起る病、信天翁、蛇及其の蛻、イム即ちヒステリー、水を吹きかかると、腫物、軽症の病、巫子／第三十三章 悪魔を祓ふ事／悪魔の憑く事、癡癲の事、小児の病魔を祓ふ事、niwen horippa「ニウエン、ホリツパ」即ち変死を起す魔神駆除式の事／第三十四章 符術／総説、アイヌ撮影せらるるを忌む事、「イチヤシユカラ」即人を呪ふ事、呪詛に用ふる樹の事、雨を降らす符術の事／第三十五章 符術の続／カハガラス（鳥名）の事、鼠の事、人の衣服を載て呪ふ事、狐の觸體にて占ふ事／第三十六章 拝蛇教／総説、蛇族の起原と其棲処、蛇族の天降れる事、蛇の自から皮殻を脱する所以、蛇の蛙を食とする所以、毒蛇の起原、蛇族の崇拜、蛇に願ふて人を咬ましむる事、斑色なる啄木鳥と蛇</p>	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA43401142	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/767829

MB00599	アイヌの炉辺物語	単著	ジョン・バチエラ 著、河合裸石 意訳	富貴堂	札幌	1925年再版	85p	一、鶇鷗／二、蛇の起原／三、疱瘡病を持ち歩く小鳥／四、椋鳥／五、樹木崇拜／六、夜鳴き鳥／七、青鳩／八、雲雀／九、ムサビ／一〇、雀／一一、アソ松鳥／一二、蚤の起[源]／一三、貂と貉／一四、オヨホシキリ／一五、啄木鳥／一六、尾白鷺／一七、蚊吸鳥／一八、死人に食べさせること／一九、穀類の名稱と崇拜／二〇、鶏と鴨／二一、心臓の動氣／二二、上眼瞼の痙攣／二三、下眼瞼の痙攣／二四、コクワツルとブドウツル／二五、赤い石／二六、小さい山雀／二七、アイヌ人の脊骨の創造／二八、神魚は如何にして崇拜さるゝか／二九、守護樹に就いて／三〇、沼地の妖婆／三一、御守の石／三二、帽子に就いて／三三、祝送祭／三四、死者のための宴／三五、毒草の起原(附子)(烏頭)／三六、老人の精神衝動／三七、東窓の尊重／三八、日月形のある金／三九、怪鷗物語／四〇、火把を持つ化物／四一、ミソサザイの事／四二、六尾の魔物／四三、カケス崇拜の起／四四、空家の化物／四五、犬の頸還の護符／四六、馬鹿にする狐／四七、猫に就いて／四八、鳥への祈祷／四九、鳥に魅惑さるる事／五〇、神なる白鳥	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07053645	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1846021
MB00600	アイヌ語より見たる日本地名研究	単著	ジョン・バチラー 著	バチラー学園	札幌	1935年改訂版	202p	編者序／日本地名研究案内／地名解譯の鍵〔其一〕／地名解譯の鍵〔其二〕／地名解譯の鍵〔其三〕／附録／火及水の地名上の應用及其思想／第二編序／日本地名研究案内索引／地名解譯の鍵索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA50388510	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1195591
MB00601	アイヌ語より見たる日本地名研究	単著	ジョン・バチラー 著	文録社	東京	1929	74p	編者序／日本地名研究案内／地名解譯の鍵〔其一〕／地名解譯の鍵〔其二〕／地名解譯の鍵〔其三〕／附録／火及水の地名上の應用及其思想／地名解譯の鍵索引/67	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09444916	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1195586

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Pacheco, Diego		パチエコ・ディエゴ (結城了悟)		1922—2008		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00602	ルイス・デ・アルメイダ：一五二五-一五八三 光を灯す医師	単著	パチエコ・ディエゴ [著]	マカオ文化学会	[マカオ]	1989	105p	参考文献／一五二五年-一五五二年、リスボンの港から日本の海岸まで／一五五五年-一五五六年、商売人は宣教師となる／一五五六年-一五六一年、病人に仕える人／一五六一年六月-一五六二年六月、布教の旅の始まり／一五六二年-一五六三年、希望と災いの横瀬浦／一五六五年、五畿内の旅／一五六六年、五島列島／一五六七年-一五六八年、長崎の教会の設立／一五六九年、天草／一五七〇年、指導者の交代、旅は続く／一五七一年、天草に芽ばえる／一五七二年-一五七五年、沈黙の期間／一五七五年-一五七七年、有馬の使徒／一五七八年-一五七九年、再度十字架の下に／一五七九年-一五八〇年、祭壇に上るまで／一五八一年-一五八三年、最期の旅／注／ルイス・デ・アルメイダ関係年表	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA13278637	-
MB00603	九州の古城とキリシタン	単著	パチエコ・ディエゴ 著・撮影	日本二十六聖人記念館	長崎	1978.6	239p	門／城とパレレン／1、伊集院・宇治城／2、東市来・鶴丸城／3、大村・三城城／4、北有馬・日野江城／5、千々石・釜蓋城／6、福江・江川城／7、平戸・松浦館／8、名護屋・名護屋城／9、唐津・舞鶴城／10、天草・本渡城／11、天草・志岐城／12、天草・富岡城／13、臼杵・丹生島城／14、竹田・岡城／15、宇土・宇土城／16、八代・麦島城／17、矢部・愛藤寺城／18、金山・結城城／19、長崎・長崎／20、対馬・金石城／21、大村・玖島城／22、中津・扇城／23、小倉・勝山城／24、福岡・福岡城／25、秋月・梅林の館／26、佐伯・鶴谷城／27、久留米・笹山城／28、柳川・柳川城／29、武雄・塚崎城／30、諫早・高城／31、須古・高城／32、日向・都於郡城／33、日南・飢肥城／34、島原・森岳城／35、南有馬・原城／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03969316	-
MB00604	長崎の外人墓地の碑文	単著	パチエコ・ディエゴ 著・撮影	日本二十六聖人記念館	長崎	1977.7	103p	序文／1、ジョン・フランシス／2、石とことば／3、羽子板とてまり／4、若木／5、解けない絆／6、お父さん／7、司祭／8、「波の声も止まれ」／9、折れた柱／10、表彰／11、ユダヤ教の墓地／12、緊張する雰囲気／13、各国のことば／14、友のこころ／15、宣教師／16、戦争と平和／17、無名の墓／18、倒された十字架／19、テーマ／20、領事／21、花びら／22、風化する石／24、また会うまで／25、永遠の光／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA30020259	-

MB00605	長崎の天主堂	単著	パチエコ・ディエゴ 著、撮影	西日本文化協会	福岡	1976.8	126、 [11]p	天主堂を描いて(山中清一郎) /いのちと風とひかりのために(如庵・平田寛) /序文/天主堂の心/一、美を求めて-天主堂の建築/二、天主堂の十字架/三、天主堂にのぼる道・詩/四、天主堂の聖母/五、お告げの鐘/六、洗礼器/七、色ガラス・詩/八、景色と天主堂/九、外海の天主堂・出津・黒崎・大野/十、黒島/十一、平戸島/十二、上五島・大曾・鯛ノ浦・頭ケ島/十三、祈り/十四、浜の天主堂/十五、山の天主堂(天草)/十六、平地の天主堂/十八、椿の木/十九、天主堂の名前/二十、島々のザビエル/二十一、天主堂の聖ミギル/二十二、マリア園の聖堂/二十三、天主堂の墓地/二十四、天主堂の死・その一・その二・その三・ハレルヤ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13688812	-
MB00606	大村純忠：キリシタン大名	単著	パチエコ・ディエゴ 著、佐久間正 訳	二十六聖人記念館	長崎	1974.8	47p	大手門/戦後期時代の武将/大村の大名/横顔/最初のキリシタン大名/昇天/大村純忠(一五三三-一五八七)年表	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA8577434X	-
MB00607	長崎を開いた人：コスメ・デ・トーレスの生涯	単著	パチエコ・ディエゴ 著、佐久間正 訳	中央出版社	東京	1969年初版、2007年改訂版(サンパウロ)	303p	改訂版によせて/まえがき/第一章 使徒としての準備/第二章 山口の忠実なキリシタンの中にあつて/第三章 豊後領において(一五五六~一五六二年)/第四章 進路の変更、横瀬浦(一五六二~一五六三年)/第五章 孤独の前哨(一五六三~一五六四年)/第六章 小さな港、大きな仕事(一五六四~一五六八年)/第七章 ゴールに向かって(一五六八~一五七〇年)/注/付録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02379463	-
MB00608	小千の浦の殉教者：長崎郊外出土・スペイン語銅版の考証	共著	パチエコ・ディエゴ、 加藤十久雄 著	長崎文献社	東京	1966	53p	まえがき/1、銅版の紹介/2、銅版出土の経緯/3、解説/4、現場の踏査/5、発掘作業/6、文書・文献等との照合/7、箱の構造と銅版との関係/8、銅版について/9、箱と殉教者の数について/総論/本研究の協力者/あとがき/参考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA47817197	-
MB00609	守山甚三郎の覚え書	単著	パチエコ・ディエゴ 著	二十六聖人記念館	長崎	1964.12	57p	はしがき/名簿/覚え書	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB13674416	-
MB00610	長崎への道	単著	パチエコ・ディエゴ 著、菅田玲子 訳	中央出版社	東京	1962	181p	序/第1章 難破船/あらしの前の静けさ/土佐海岸にて/フライ・ファンとともに/宿を供されて/太閤の城にて/第2章 主のために囚人となったパウロ/牢獄での降誕祭/福音を述べる者/初めての流血/喜びつつ去る/第3章 キリストのみ名のために/大阪から川辺川まで/毛利輝元の領地を通過して/囚人を尋ねて/半三郎の約束/フライ・ペドロの涙/彼れ一兄弟の抱擁/湾におけるゲッセマニ/奉獻/第4章 殉教者の丘/カルワリオ山のごとく/愛の最高の証/勝利者/丘における祈り/第5章 忠誠の民	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA37955933	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939704
MB00611	長崎への道：日本二十六聖人	単著	結城了悟 著	二十六聖人記念館	長崎	1987.4	190p	『長崎への道』(1962年版)とほぼ同じだが、初版にあった第5章は本書には掲載されていない。	-	-
MB00612	愛のために死ねますか	共著	曾野綾子、結城了悟 著	中経出版	東京	2008.9	255p	はじめに/対談I 日本人に欠けてしまったもの/急速に変わっていった日本/「欲望」が膨らむ日本/日本人の判断基準/他者のいない日本人/消えた「炬燵」の文化/対談II 聖書が教える「愛」について/「欠けたるもの」を知ること/「与える」ことを学ぶ/スペイン内乱で学んだこと/二つの愛/「愛」と「許す」こと/罰と憐れみと/「愛の力」とは?/対談 III 見えないものに対する「愛」/見えないものを見ることの大切さ/血を流しているか?/殉教と許しは同じ語/「愛」はつづく道/何をもって生きる?/計算外の愛/「なぜなら、そこにいるから」/喜びとは/聖書の譬え/対談 IV 家族の「愛」は救えるか/「食卓」の力/家族と命の繋がり/結婚しない彼女たち/その人のために、何が出来るか?/真の国際人とは?/近いものから愛する/神父は踏み絵を踏むか?/結城神父の悩み/聖書のことば:受けるよりは与える方が幸いである/おびたしい魚がかかり/愛は忍耐強い/やもめの献金/迫害する者のために折れ/小さな者の一人にしたことはわたしにしたこと/人々を恐れてはならない/「よろしい、清くなれ」/「葡萄園の労働者」の譬え/あなたの妻は/その者を知らないと言う/あとがき:司会者・荒木清/主な参考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA8772970X	-

MB00613	ザビエルからはじまった日本の教会の歴史	単著	結城了悟 著	女子パウロ会	東京	2008.10	150、6p	まえがき/1 ザビエルとヤジロウの出会い/2 日本におけるザビエルの足跡/3 ザビエルのあとを受けて、トレスらの活躍/4 最初のキリシタン大名/5 五畿内の宣教/6 九州でのびる教会/7 長崎開港/8 信長とカブラル/9 巡察師ヴァリニャーノのすぐれたヴィジョン/10 セミナリヨの開設と実り/11 長崎が教会の知行地となる/12 天正少年使節の派遣/13 秀吉の初期の好意と、高山右近らの活躍/14 コエリヨの政治介入と秀吉の変心/15 秀吉の禁教令/16 追放される人びとと、潜伏する人びと/17 少年使節らの帰国/18 日本最初の活版印刷/19 秀吉の野望と、フランシスコ会士の来日/20 無意味な侵略戦争のかけに、回心の動き/21 迫害のきっかけ、サン・フェリペ号事件/22 京都から長崎へ、殉教者の歩み/23 二十六聖人の殉教/24 つかのまの平穏/25 家康にとりいるオランダ船の航海士/26 長崎に、独特の文化が栄える/27 キリシタンざらいの大名による地方の迫害/28 三十万を越えた信徒/29 家康のキリシタンざらいで、棄教する大名も出る/30 マードレ・デ・デウス号事件と、岡山大八事件/31 しだいに強まる圧迫と迫害/32 家康の禁教令/33 残酷さをます責め苦と殉教/34 家康の勝利と教会の運命/35 秀忠も迫害を踏襲/36 殉教していく人びとへの教皇のはげまし/37 長崎と江戸の大殉教/38 雲仙のあかし/39 キリスト教根絶をめざす鎖国/40 踏み絵と穴づり/41 島原の乱/42 ポルトガル人追放と長崎の出島/43 潜伏キリシタンの時代/44 キリシタン狩りと、離島に隠れひそんだキリシタン/45 シドッティの潜入と殉教/46 琉球に待機する宣教師/47 ブチチャンと潜伏キリシタンの出会い/48 浦上四番崩れ/49 隠れキリシタン/50 バリ外国宣教会宣教師の活躍/51 プロテスタント教会の渡来と、活発な教育事業/52 憲法による信教の自由/53 女子修道会の来日と、日本人修道会のはじまり/54 軍国主義・国家神道のもとでの苦難/55 太平洋戦争の打撃/56 戦後の自由と再建/57 発展から停滞へ/58 公会議の新風は日本にも/59 ローマ教皇の訪日/その後(編集部)/人名索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA87414185	-
MB00614	キリシタン時代からの声	単著	結城了悟 著	長崎純心大学博物館	長崎	2007.12	208p	はじめに/一、ディオゴ結城了悟：一五七四年～一六三五年京都と五畿内の最後の宣教師/二、長崎における最後のキリシタン乙名/三、 sacramenta 提要と長崎のコレジヨ/四、日本におけるスペインのプラケット/五、出島の誕生/六、ペトロ・パウロ・ナヴァーロ神父と豊後のキリシタン/七、雪のサンタマリヤ/八、長崎の教会とドロ神父/九、ステンドグラス/おわりに/一、ディオゴ結城了悟：一五七四年～一六三五年京都と五畿内の最後の宣教師/二、長崎における最後のキリシタン乙名/三、 sacramenta 提要と長崎のコレジヨ/四、日本におけるスペインのプラケット/五、出島の誕生/六、ペトロ・パウロ・ナヴァーロ神父と豊後のキリシタン/七、雪のサンタマリヤ/八、長崎の教会とドロ神父/九、ステンドグラス/おわりに	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA85196367	-
MB00615	長崎開港とその発展の道	単著	結城了悟 著	長崎純心大学博物館	長崎	2006.11	198p	はじめに/一、長崎開港と長崎の町をイエズス会に寄進した経緯について/二、長崎外町と土地交換問題(一)長崎外町の問題/(二)長崎外町土地交換問題/三、長崎サンティアゴ病院の鐘/四、西彼杵半島のキリシタン史/五、南蛮美術の謎の解明を求めて/おわりに	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA79582060	-
MB00616	ロレンソ了斎：平戸の琵琶法師	単著	結城了悟 著	長崎文献社	長崎	2005.4	149p	序文/第1章 出会い—四つの道 1506～51/第2章 ザビエルの足跡を踏んで 1551～56/第3章 豊後の府内 イエズス会入会 1556～59/第4章 五畿内教会の誕生 1559～64/第5章 五島列島で種まき 1565～68/第6章 織田信長との出会い 1569～72/第7章 高槻と安土 1573～82/第8章 南蛮寺から大阪まで 1582～87/第9章 光ある夕暮れ 1588～92/付録 偉大なる人物のための著名な絵師/注/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA71905406	-

MB00617	二十六聖人と長崎物語	単著	結城了悟 [著]	聖母の騎士社	長崎	2002.11	243p	日本26聖人殉教四百年によせて/26聖人と共に/1596年12月8日/身代わりになった3人/長崎への峻しい道/フライ・ペドロ・バプチスタ・プラスケス/レオ烏丸/パウロ三木(その一)/パウロ三木(その二)/長崎のアントニオ少年/ピコピコ様/ミゲル小崎とトマス小崎/トマス小崎の手紙/フェリペ・デ・ヘスス/五島ジョアン/ディエゴ喜斎/ゴアからの聖人ゴンサロ・ガルシア/スペインのバスク地方から来たフライ・マルチノ/フライ・フランシスコ・ブランコ/フライ・フランシスコ・デ・サン・ミゲルの心の道/三人の伝道士/フランシスコ、トマス、ジョウチン/キリストのため他人のため/若い生命の奉獻/京都の戻り橋/東寺の門に朝早く/赤穂城にて/毛利輝元の領内を通過/海ノ中道/ルドヴィコ茨木の決心/フライ・ペドロ・バプチスタの涙/時津最後の夜/西坂カルワリオに似た丘/西坂の讃歌/御言葉の祭儀/二十一世紀への招き/東洋のローマ長崎/昨日のことであったように/横瀬浦の八(鉢)ノ子島/大村純忠とコスメ・デ・トーレス神父/福田、口之津、福田/長崎甚左衛門の城下町/トードス・オス・サントス教会/よい港を求めて/最初の六ヶ町/伊佐早と深堀の攻め/1579年 ヴァリニャーノ神父の来日/教会の知行/乙名の町年寄/天正少年使節/ミゼリコルディアの組/山のサンタ・マリア/1587年 打撃の年/ペドロ・ゴメス神父の教科書/西坂に花が咲いた/司教ドン・ルイス・セルケイラ/長崎のコレジヨ/サンティアゴの鐘/外町も天領となった/嵐の前の長崎/セルケイラ司教の死/教会が破壊された時/燃え上がる樁/元和大殉教(1622年)/水野河内守と竹中采女正/クルス町の牢屋/証/1634年 出島(1)家光の決定/出島(2)長崎が泣いた日/金鍔次兵衛の殉教/殉教したマカオの使節団(1)/殉教したマカオの使節団(2)/雲仙の粘土、アルプフェイラの白砂	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA71242568	-
MB00618	海原のかなた：長崎外国人墓地の碑	単著	結城了悟 著	女子パウロ会	東京	2001.2	117p	はじめに/1ジョン・フランシス/2石とことば/3羽子板とてまり/4若木/5解けないきずな/6お父さん/7司祭/8「波の声も止まれ」/9折れた柱/10友の心/11宣教師/12戦争と平和/13無名の墓/14倒された十字架/15「終わり」とは?/16花びら/17風化する石/18また会う日まで/19永遠の光/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA52084175	-
MB00619	日本二十六聖人殉教記	単訳	ルイス・フロイス 著、 結城了悟 訳	聖母の騎士社	長崎	1997.8	357p	解題/フロイスの序文/第一章 迫害前の教会の状態と迫害の始まりと原因について/第二章 迫害の始まりについて/第三章 王が大坂から伏見に戻り、またミヤコにてその当時起こった事について/第四章 王がイエズス会及び、中国から来航する人々に対してではなく、ルソンから来た修道者に死刑を宣告すると言った/第五章 王が修道者のみを処罰すると宣告した後の長崎及びその地方で起こった出来事/第六章 王がイエズス会に対してではなく、修道者に対してのみ宣告することを知った後、治部少がミヤコでしたこと/第七章 修道者と信者の両耳と鼻を剃ぐように、また、イエズス会のイルマン・パウロ三木と大坂にいた二人の同宿もその中に加えられた/第八章 二十四人の耳を剃ぎ、ミヤコ、大坂、堺の公衆の面前で罵倒するため見せしめに牛車に乗せて引き廻した/第九章 この迫害時に大坂の信者が示した情熱/第十章 この迫害時におけるジュスト右近殿の行動/第十一章 玄以法印の嫡男のこの時の優れた行為/第十二章 玄以法印の次男コンスタンティーノとその従兄弟ミゲルは王の定めを聞いた時したこと/第十三章 この神の下僕らが堺から陸路長崎に送られ、道中で耐えた苦難と死の準備をしたことについて/第十四章 半三郎は名護屋に彼らが近付いていることの知らせを受けたこと、また彼らが博多に着き、そこから大村領に入るまで起こったことについて/第十五章 彼らは大村殿の領地である彼村に着いたこと、その地及び十字架につけられる場所に至るまでの出来事について/第十六章 神の二十六人の下僕らが十字架のある場所に着き、そこで十字架につけられた/第十七章 処刑時にポルトガル人と日本人信者が表した情熱/第十八章 殉教者の順序とその他の細事/第十九章 各地で起こった迫害について/第二十章 この記録を書いた後に知られたミヤコの信者について感銘を与えた事柄/あとがき/付録 ルイス・フロイスの死/ルイス・フロイスの年表/聖パウロ三木についてペドロ・ゴメス神父の思い出/フランシスコ・カルデロン神父の手紙/二十六聖人が歩いた道/聖ペドロ・バプチスタの書簡/第一の手紙 浦戸のドン・マティアス・デ・ランデチョヘ/第二の手紙 長崎のマルセロ・デ・リバデネイラ神父へ/第三の手紙 長崎のアウグスティノ・ロドリゲス神父へ/第四の手紙 大坂のフライ・マルティノとフライ・ファン・ポブレヘ/第五の手紙 大坂のドン・マティアス・デ・ランデチョヘ/第六の手紙 大坂のフライ・ファン・ポブレヘ/第七の手紙 マニラ管区長フライ・ファン・デ・ガロピヤスへ/第八の手紙 長崎のフランシスコ会士へ/サン・フェリペ号事件の概略年表/	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA61723413	-

MB00620	日本二十六聖人殉教記： 1597. 聖ペトロ・パブチスタ 書簡：1596-97	単訳・解説	ルイス・フロイス [著] 、結城了悟 訳・解説、 純心女子短期大学長崎地 方文化史研究所 編	純心女子短期大 学	長崎	1995.2	264p	はしがき 片岡千鶴子/序文/フロイスの序文/第一章 迫害前の教会の状態と迫害の始まりと原因について/第二章 迫害の始まりについて/第三章 王が大阪から伏見に戻り、またミヤコにてその当時起こった事について/第四章 王がイエズス会及び、中国から来航する人々に対してではなく、ルソンから来た修道者に死刑を宣告すると言った/第五章 王が修道者のみを処罰すると宣告した後の長崎及びその地方で起こった出来事/第六章 王がイエズス会に対してではなく、修道者に対してのみ宣告することを知った後、治部少がミヤコでしたこと/第七章 修道者と信者の両耳と鼻を剃ぐように、また、イエズス会のイルマン・パウロ三木と大坂にいた二人の同宿もその中に加えられた/第八章 二十四人の耳を剃ぎ、ミヤコ、大坂、堺の公衆の面前で罵倒するため見せしめに牛車に乗せて引き廻した/第九章 この迫害時に大坂の信者が示した情熱/第十章 この迫害時におけるジュスト右近殿の行動/第十一章 玄以法印の嫡男のこの時の優れた行為/第十二章 玄以法印の次男コンスタンティーノとその従兄弟ミゲルは王の定めを聞いた時したこと/第十三章 この神の下僕らが堺から陸路長崎に送られ、道中で耐えた苦難と死の準備をしたことについて/第十四章 半三郎は名護屋に彼らが近付いていることの知らせを受けたこと、また彼らが博多に着き、そこから大村領に入るまで起こったことについて/第十五章 彼らは大村殿の領地である彼杵に着いたこと、その地及び十字架につけられる場所に至るまでの出来事について/第十六章 神の二十六人の下僕らが十字架のある場所に着き、そこで十字架につけられた/第十七章 処刑時にポルトガル人と日本人信者が表した情熱/第十八章 殉教者の順序とその他の細事/第十九章 各地で起こった迫害について/第二十章 この記録を書いた後に知られたミヤコの信者について感銘を与えた事柄/あとがき/付録/ルイス・フロイスの死/ルイス・フロイスの年表/聖パウロ三木について/ペドロ・ゴメス神父の思い出/フランシスコ・カルデロン神父の手紙/二十六聖人が歩いた道/聖ペトロ・パブチスタの書簡/第一の手紙 ドン・マティアス・デ・ランデチョヘ/第二の手紙 マルセロ・デ・リバデネイラ神父へ/第三の手紙 長崎のアウグスティン・ロドリゲス神父へ/第四の手紙 大坂のフライ・マルチンとフライ・ファン・ポブレヘ/第五の手紙 ドン・マティアス・デ・ランデチョヘ/第六の手紙 フライ・ファン・ポブレヘ/第七の手紙 マニラ管区長フライ・ファン・デ・ガロビヤスヘ/第八の手紙 長崎のフランシスコ会士ヘ/サン・フェリペ号事件の概略年表	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB11730651	-
MB00621	ザビエル	単著	結城了悟 [著]	聖母の騎士社	長崎	1993.2	252p	序文/第一章 故郷/第二章 キリストとの出会い/第三章 東洋との出会い/第四章 小さき者との出会い/第五章 神への希望の島/第六章 日本との出会い/第七章 中国からの挑戦/第八章 上川、「主よ、あなたに希望をかけた」/ザビエルの墓/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13865022	-
MB00622	天正少年使節：史料と研究	単著	結城了悟 著	純心女子短期大 学長崎地方文化 史研究所	長崎	1993.2	265p	1 天草河内浦にて/2 黄金のゴアの展望より/3 天正少年使節のイルマン・ロヨラ(一五〇六一一五八九)/4 四頭のアラビア馬/5 マカオにての試練/6 帰国の喜び/7 入会/8 デイオゴ・デ・メスキタの日記/9 アレッサンドロ・ヴァリニャーノ神父の『アポロジア』における天正少年使節/10 ペドロ・ラモンと対話して	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08870690	-
MB00623	キリシタン研究 第29輯 新 史料・天正少年使節1590- 1990年	編集	キリシタン文化研究会 編	南窓社	東京	1990.7	7、268	口絵・地図/序 1 長崎-1590年・使節が帰った/2 史料/第一章 日本からローマまで 1 デイオゴ・デ・メスキータ神父について/2 「日本列島」/3 「巡察師ヴァリニャーノと天正の使節」/4 「日本人使節たちの旅」/5 「リスボンからアリカンテまでの旅」/6 メスキータ神父の苦悩/第二章 ローマにて 1 ローマ市民権/2 使節たちの服装/第三章 イタリアの夏の旅/1 旅の日程/ローマよ、さらば/3 書簡1~40/第四章 モンセラとへの巡礼者 書簡41~45/おわりに/付録 1 使節たちの手紙/2 マカオでの中浦ジュリアンについての調査/索引(人名・地名)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/AN00063256	-
MB00624	日本とヴァチカン：フランシ スコ・ザビエルから今日まで	単著	結城了悟 著	女子パウロ会	東京	1989.2	186p	まえがき/第一章 パウロ三世の大使/第二章 最初のキリシタン大名/第三章 安土の屏風ローマへ行く/第四章 日本二十六聖人/第五章 日本の司教/第六章 徳川家康の決定/第七章 キリシタンたちの十字架の道/第八章 教会の長い夜/第九章 復活/第十章 ローマは日本まで来る/付録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0370227X	-

MB00625	ザビエルの道	監修・解説	高原至 企画・撮影	ナガサキ・フォトサービス	長崎	1988.12	96p	序文 聖フランシスコ・ザビエルの巡礼 ヨゼフ・ピタウ/ザビエルの道〜結城了悟〜/神の霊に従う人/ザビエル城/パリ/パリからローマへ/東洋の門リスボン/出発/ゴア(I)/マラッカ/日本/鹿児島/平戸/山口/京都・堺/豊後(大分)/種子島/上川島/マラッカ ザビエルの墓跡/ゴア(II)/われらのザビエル/ローマ/マカオ/遺言	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03387376	-
MB00626	キリシタンのサンタ・マリア	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人記念館	長崎	1979.7	126p	サンタ・マリア/イエスの御母/1、八月の聖母の祝日/2、謁見/3、都の聖母/4、御助けの聖母の港/5、ロザリオ/6、巡礼地/7、神の家をたてる時/8、「さるべ・れじいな」/9、お告げの鐘/10、クリスマスの舞/11、ヴァリニャーノのマリア論/12、お正月にサンタ・マリアの祝日/13、セビリヤの聖母/14、真珠の小粒/15、雪のサンタ・マリア/16、組/17、殉教者の元后/18、御パシオンの舞/19、ピエタ/20、マリア観音/21、津和野、乙女峠/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13508105	-
MB00627	天正少年使節の中浦ジュリアン	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人記念館	長崎	1981.5	126p	はじめ/使節/1、喜望峰を経て/2、セミナリヨの生徒/3、海との出会い/4、政治と信心/5、公爵夫人のダンスパーティー/6、ジュリアンの病気/7、巡礼者/8、日本への長い旅/9、使節の最後の舞台/10、春の陽射し/11、修練期/12、ジュリアンを導いた人/13、イエズス会のイルマン/14、心の苦しい試練/15、光が消えた時/16、奉行に打ち勝った港町/17、口之津の信者と共に/18、夕暮れの道/19、あかし/至福の丘/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13600017	-
MB00628	ローマを見た：天正少年使節1582年-1982年	単著	結城了悟 著、高原至 撮影	日本二十六聖人記念館	長崎	1982.2	239p	はじめに/1、海からの声/2、キリシタン大名の使節/3、遣わされた人(その一)/4、遣わされた人(その二)/5、港と船/6、マカオ/7、マカオからゴアへの旅/8、ゴアでの別れ/9、喜望峰を経て/10、大西洋の女王リスボン/11、白馬の馬車/12、キリシタン文学の初めに/13、エヴォラのパイプオルガン/14、ブラガンザ公爵の宮殿にて/15、アレンテージョの道/16、グアダルペへの巡礼者/17、古都トレド/18、皇太子の宣誓式/19、フェリペ二世との謁見/20、エスコリアル修道院を訪ねて/21、アルカラ大学/22、ミナヤの城主/23、憧れのイタリアへ/24、メディチ公爵の領地 上・見てはならないこと/25、メディチ公爵の領地 下・見て楽しんだこと/26、永遠の都ローマ/27、全うされた務め/28、あたくも父親のように/29、人間は永遠ではない/30、聖ペトロの騎士団/31、使節が見たローマのイエズス会/32、日本の再発見/33、再び巡礼者となる/34、ポロニヤ、御聖体の行列/35、フェララ、金の花/36、ヴェニス(その一)/37、ヴェニス(その二)/38、マンツァ、若者の闘/39、イタリアよ、さらば/40、祈りの山、モンセラート/41、再びスペインの道/42、ポルトガルの親しい友人たち/43、コインブラ大学の客/44、バターリヤの「未完成礼拝堂」/45、ベレン城の聖母/46、原マルチノの演説/47、閉じられた門/48、旅の記録/49、長崎入港/50、大友宗麟の使節/51、聚楽第の演奏会(その一)/52、聚楽第の演奏会(その二)/53、千々石ミゲルの光栄の日/54、四人がイエズス会に入会/55、修練期/56、コレジヨの学生たち/57、イタリアの思い出/58、殉教が輝く/59、マカオの留学生/60、千々石ミゲルの悲劇/61、時計のあるコレジヨ/62、十字架からの声/63、司祭/64、一番乗り、伊東マンショ/65、マドレ・デ・デウス号事件/66、追放されて/67、口之津の殉教者と共に/68、マカオに消えた星/69、中浦ジュリアンが行く/70、最後の証し人/71、錨を下ろして/あとがき/地図/年表	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39457438	-
MB00629	雲仙と有馬の殉教者	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人記念館	長崎	1984.2	102p	有馬の信者よりローマ法王パウロ五世への手紙/有馬と雲仙の殉教者/有馬の殉教者/一、有馬の教会/二、十月七日の殉教者/三、殉教/雲仙の殉教者/一、高来の教会の十字架の道/二、牢屋と殉教/三、一六二七年二月二十八日の殉教者/四、五月十七日の殉教者/結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02879171	-
MB00630	薩摩の殉教者：レオ税所七右衛門	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人記念館	長崎	1985	32p	序/薩摩の殉教者レオ税所七右衛門 一五六九—一六〇八/一、神から召された人/二、京泊の教会/三、レオ税所七右衛門/四、日本の司教ドン・ルイス・セルケイラの報告書/五、レオの墓/レオ税所七右衛門の家族/入水家(税所)系図	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39346415	-
MB00631	八代の殉教者	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人記念館	長崎	1985	52p	備後国、八代の殉教者/登場人物/一、殉教者/二、迫害者/三、宣教師/四、日本人信徒/八代の妻島城/殉教と関わりがあった主な場所/殉教の記録/一六〇三年の殉教者/一六〇九年の殉教者/資料	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA85931211	-

MB00632	天草の殉教者：アダム荒川	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人 記念館	長崎	1985	30p	アダム荒川 一五五二～一六一四年／志岐教会の看坊 殉教者／1、除幕式／2、荒川城／3、志岐の教会／4、富岡城にて／5、アダムの殉教／6、結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13587746	-
MB00633	殉教者イルマン・ニコラオ・ケイアンミゲル薬屋	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人 記念館	長崎	1986	28p	イルマン・ニコラオ永原ケイアン／近江永原のキリシタン／ニコラオ永原／ミゲル薬屋、長崎のよきサマリア人／ニコラオの殉教／資料	-	-
MB00634	キリシタンになった大名	単著	結城了悟 著	キリシタン文化 研究会	東京	1986年初 版、2010 年再版、 聖母の騎 士社	271、 8p	キリシタンになった大名／本書に用いられた引用略号／1 西海の港と十字架／大村／大村丹後守純忠バルトロメウ／大村丹後守喜前サンチョ／有馬／有馬修理大夫義貞アンドレス／有馬修理大夫晴信プロタシオ／有馬左衛門佐直純ミゲル／有馬家の系図をめぐって／有馬直純の結婚／平戸のメンシア松東院／天草の五人衆／志岐麟泉ジョアン／天草尚種ミゲル／天草久種ジョアン／五島列島／五島純亮ルイス／2 五畿内の武士／高山右近ジュスト／高山飛騨守図書ダリオ／内藤飛騨守忠俊ジョアン（加安）／河内の教会／河内岡山の結城殿／池田丹後守教正シメオン／伊智地文大夫パウロ／三木判大夫／三箇伯耆守頼熊サンチョと三箇頼連孫三郎マンショ／牧村長兵衛利貞／畠山紀伊守高政／市橋兵吉と瀬田左馬充／毛利高政（森勘八）／蒲生飛騨守氏郷レオ／黒田孝高如水シメオン／黒田惣右衛門直之ミゲル／黒田甲斐守長政ダミアン／3 豊後のドン・フランシスコ／大友義鎮フランシスコ／大友義統コンスタンティーノ／一条兼定パウロ／毛利秀包藤四郎シモン／伊東豊後守祐兵／4 堺の商人／小西撰津守行長アゴスティニョ／宗対馬守義智ダリオ／5 織田家とキリシタン／織田家／織田信秀三吉／織田秀信（三法師）と織田秀則／信長の娘たち／細川家／細川玉子ガラシア／ガラシアの子供たち／細川興元／京極高吉とマリア浅井／京極高吉とマリア／京極修理大夫高知／京極高次左少将／佐々木義賢／6 大坂城にて／木下ヤズモン・ベトロ／7 一五九六年の年報／蜂須賀家政／京都所司代前田玄以法印とその家族／前田秀則左近と前田茂勝主膳正／8 宇喜多秀家とその家族／宇喜多家のキリシタン／9 流れ星／寺沢志摩守広高アゴスティニョ／筒井伊賀守定次／伊賀マリア／筑紫茂成／10 雪がとけはじめた／津軽為信、信建、信枚ジョアン／11 謎の松平／松平忠直／12 敵と味方／一、敵／松浦隆信道可と鎮信法印／島津義久と義弘／毛利元就と輝元／加藤清正／龍造寺隆信／長谷川左兵衛／二、味方／大内義隆／大内義長／柴田勝家／石田三成／前田利長／田中筑後守吉政と忠政／福島正則／本田上野介正純／三、味方から迫害者へ／細川越中守忠興／伊達政宗／松倉豊後守重政／キリシタン大名一覧表／終わりに／索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06245469	-
MB00635	米沢の殉教者：一六二九年一月十二日	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人 記念館	長崎	1987	48p	ルイス甘糟右衛門と米沢の殉教者／一、資料／二、米沢の教会／三、迫害のはじまり／四、殉教者たち／五、殉教／六、カルワリョオ山の如く	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB07934636	-
MB00636	京都の大殉教：一六一九年十月六日	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人 記念館	長崎	1987	48p	京都の「神のしもべ達」を知り、その列福のために祈りましょう 田中健一／京都の大殉教（1619年10月6日）／京都の教会の証し／史料／殉教の日付／殉教と関わりある場所／登場人物／迫害の始まり／徳川秀忠の決定／信仰の証し人／殉教者たち	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA84115450	-
MB00637	河浦町郷土史 第6輯	単著		河浦町教育委員 会	[河浦町 (熊本県)]	1988.3	24p	天草のコレジオの位置・天草キリシタンの悲劇 /序文 竹口英国／天草のコレジオの位置／イエズス会のカタログ／天草のキリシタンの悲劇／管区長マテウス・デ・コウロス天草に亡命する／天草の迫害／	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03963444	-
MB00638	長崎の元和大殉教：ベント・フェルナンデス神父による記録 1622年	単著	結城了悟 著	日本二十六聖人 記念館	長崎	2007	127p	はじめに／1、ベント・フェルナンデスの序文／第一章 カルロス・スピノラ神父の生涯と徳について／第二章 バスティアン木村神父の生涯と習慣／第三章 隠遁者であった四人のイエズス会のイルマン／第四章 殉教前に会に受け入れられた三人のイルマン／第五章 この九人の修道者の最期と死について 一六二二年九月十日土曜日／第六章 カミロ神父の同宿であったガスバル籠手田とイルマン・アゴスティニョ太田の生涯と殉教／第七章 カミロ・コンスタンソ神父の生涯と殉教／2、付録／ジョアン・バプティスタ・デ・バエサ神父／ガスバル・デ・クラスト神父	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA83148261	-
MB00639	永井隆の十字架の道行	単著	結城了悟 著、永井隆 絵	日本二十六聖人 記念館	長崎	2003	69p	目次なし	http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-t021671955-00	-

MB00640	鹿児島のカリシタン	単著	結城了悟 著	春苑堂書店	鹿児島	1975年初版、1987年改訂	144p	序文…糸永真一/函版/まえがき/1 薩摩の玄関一種子島/2 ザビエルの書簡から/3 われらのフランシスコ・ザビエル/4 種子島とザビエル/5 ルイス・デ・アルメイダの第一回訪問/6 山川港とイエズス会/7 九州の戦乱/8 関ヶ原の戦いから薩摩における迫害まで/9 港の冒険/10 種子島の追放者/11 屋久島の日暮れ/12 浦上のカリシタン	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA36221457	-
MB00641	九州カリシタン史研究	単著	ディエゴ・パチエコ 著	カリシタン文化研究会	東京	1977.7	245p	序文/1 イルマン・ロレンソの死/2 カルデロン神父と長崎の二十六聖人/3 結城城主ジョルジ結城弥平次/4 九州における高山右近/5 大友義統の回心/6 有馬晴信の悲劇と光栄/7 長崎の教会/8 日本に帰った少年使節/9 潜伏した宣教師たち/外人名一覧表	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06243350	-
MB00642	日本に帰った少年使節	単訳	Diego R.Yuuki 訳	マカオ文化庁	[マカオ]	1990	95p	日本に帰った少年使節/奏楽的一幕/修練期/心の苦しい試練/伊東マンシオのたどった道/マカオへの追放/最後の証人/注	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA13275912	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Buxton, Barclay Fowell		バックストン		1860—1946		聖公会		イギリス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00643	聖霊のバプテスマ	単著	ビー・エフ・バックストン 著口伊藤重吉 訳	福音社	大阪	1894	59p	約束 プロミス/必需 デーブ、ニード/救済 レメデー/約束せられしものは何ぞや/求むべきや否や/待望 ウエーチング/受領 レシービング/聖霊は凡ての人に与へらる/聖霊の能力ある信徒の生涯	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA52550267	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824795
MB00644	東京聖別会講話筆記	講述	バックストン、バンコム 述口伊藤藤吉 記	日本聖公会出版社	東京	1898	189p	序/第一回 信者の悔改/恩を受くべき集会/第二回 信者の三の立場/開かれたる天/第三回 祭司たる信者の潔め/爾癒ん事を願ふや/第四回 神の殿/聖霊の働き/第五回 約束の地/主の再臨/第六回 我この事を行得ると信ずるや/神の前に権能ある事/第七回 受けし恩の言頭はし/神の潔	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824911
MB00645	赤山講話 第1集	単著	ビー・エフ・バックストン 著	松江育児院出版部	松江	1901	273p	馬太伝 第三章十六節より第四章十一節に至る/撒母耳後書 第廿三章十三節より十七節に至る/真のイスラエルの人ナタナエル/金の灯台/愈んことを欲ふや/聖潔/伝道/枯れたる骨の谷/黙示録五章/主イエスの昇天/以賽亜書 第四十章一節より十一節に至る/以西結 第四十七章一節より十二節に至る/ソドム ゴモラの滅亡/自己の状態に付きての聖書研究/金銭に関する神の意志如何/民数記略 第二十章/約拿書/埃及のヨセフ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA7815218X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824800
MB00646	リバイバルの要件	講述	ビー・エフ・バックストン 述	基督教書類会社	東京	1914 (1931再版)	129p	罪人の為の重荷/聖言の宣傳/禱告の祈禱/死人を生活らす働/如何にして基督は一人の罪人を導き給ひしや/罪人を導く真理	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA4009423X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/911439
MB00647	昔のペンテコステと今のペンテコステ	講述	ビー・エフ・バックストン 述	基督教書類会社	東京	1914	149p	第一 此書の内容/キリストの働の續き/傳道の手帳/三の大切な事/神の戦争/第二 甦りたる救主と其約束/甦りし主の職務/最も大なる約束/火のバプテスマ/最も高き慾望/聖霊臨み給ふ/此は最も貴き聖霊の経験也/爆裂弾の能力/證人/證の順序/甦の證人/第三 キリスト昇天し給ふ/詩篇に於けるキリストの昇天/キリストの王たる三の證/再臨に關する天使の證/四の基本的事實/キリストは我等の祭司の長となり給へり/第四 祈禱會/エルサレムに歸る/祈禱は最も肝要也/祈り、聖書を読み、歌ひつつ/使徒行傳に於ける祈禱/神を待望める十日間/缺陷を補ふ/72/第五 聖霊の傾注/使徒行傳に於ける聖霊の傾注の四の記事/七の例/戴冠式の賜物/第六 ペンテコステの節/舊約に於ける三大節/麥粉のパンの譬/節筵の特質/徹夜の祈禱/第七 聖霊臨り給ふ/一致和合より起る祝福/俄に/祈禱は答へられ約束成就げらる/神の氣息/音/火/聖霊の盆満/フレッチャーの経験/第八 萬國傳道/諸國の人の救/バベルの塔とペンテコステ/神の大なる御業/第九 町の震動/天の葡萄酒/シナイ山とペンテコステ/第十 聖書に循ふ説明/新しき能力/傾注の結果/第十一 キリストの御榮光/ペテロの三の説教の題/神の御子/神の聖前の全き者/他の人に由りて聖霊を受く/悟開かる/人間の考と神の考/第十二 危険より救に至る/危険を現實にす/第二の集/限られざる約束/七の結果/一家族/三の新しき特質	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA40711824	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/921494

MB00648	路得記霊的講解	講述	ビー・エフ・バックストン 講述口米田豊 筆記	基督教書類会社	東京	1915年初版、1953年3版(バックストン記念重交)	94p	緒言/総論/第一章/第二章/第三章/第四章	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA41768179	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/925133
MB00649	使徒行伝講義	講述	基督教書類会社			1916		第一章 第一 此書の内容/第二 甦りたる救主と其約束/第三 キリスト昇天し給ふ/第四 祈禱會/第二章 第五 聖靈の傾注/第六 ペンテコステの節/第七 聖靈臨り給ふ/第八 萬國傳道/第九 町の震動/第十 聖書に循ふ説明/第十一 キリストの御榮光/第十二 危険より救に至る/第三章 第十三 跛者の癒/第十四 跛者に就てのペテロの説教/第四章 第十五 猶太人の宗教會議/第十六 震動ける祈禱會/第五章 第十七 アナニヤの死/第十八 祭司と使徒との戦/第六章 第十九 教會の組織及び發達/第二十 ステバノの殉教/第七章 第八章 第二十一 サマリアのリバイバル/第二十二 神の計畫の擴張/第九章 第二十三 新しき使徒召さる/第十章 第二十四 ペテロ羅馬人に救を宣傳ふ/第十一章 第二十五 エルサレムの批評/第二十六 福音の擴張/第十二章 第二十七 ヘロデ王との合戦/第十三章 第二十八 外國傳道の始/第十四章 第二十九 續ける大戦争/第十五章 第三十 大なる決議/第三十一 パウロの第二傳道旅行/第十六章 第三十二 歐羅巴傳道の初/第十七章 第三十三 希臘に於ける舊約の宣傳/第三十四 アテンスに於けるパウロ/第十八章 第三十五 コリントに於ける反對と成功/第三十六 第三傳道旅行/第十九章/第二十章 第三十七 マケドニヤよりエルサレム迄/第三十八 パウロ囚人として審判を受く/第三十九 破船と其結果/第四十口マに着く		http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/943588
MB00650	利未記講義		ビー・エフ・バックストン 講述、堀内文一 筆記	基督教書類会社		1927		緒論/第一章 燔祭/第二章 素祭/第三章 酬恩祭/第四章 罪祭/第五章 罪祭の續き及び愆祭/第六章 燔祭、素祭、罪祭の例/第七章 愆祭、酬恩祭の例/第八章 アロンと其子等の聖別/第九章 アロンと其民等の献物/第十章 眞の火と異火の區別/第十一章 聖と汚の區別/第十二章 生來の罪/第十三章 癩病に就いて/第十四章 癩病人の潔禮/第十五章 流出の譬/第十六章 贖罪/第十七章 血に就いて/第十八章 家庭の聖潔/第十九、二十章 聖潔に関する條例/第廿一章 祭司に對する神の誠命/第廿二章 汚に就いての誠命/第廿三章 エホバの節期/第廿四章 神の名を洗す者の罰/第廿五章 ヨベルの年/第廿六章 祝福と呪詛/第廿七章 誓願の献物		http://dl.ndl.go.jp/search/searchResult?featureCode=all&searchWord=%E5%88%A9%E6%9C%AA%E8%A8%98%E8%AC%9B%E7%BE%A9&viewRes
MB00651	約束の地	単著	バックストン 著、米田豊 訳	基督教書類会社	東京	1934年改訂版	53p	第一章 聖くある爲に何を爲すべきか/聖書の『天路歷程』/第二章 敵の權力打碎かる/パウロの前に於るモーセ/第三章 寶血によれる平和と安全/逾越節/第四章 信仰の道/紅海を渡ること/第五章 満足れる祝福/約束の地/第六章 祝福に到る途/ヨルダンを渡ること/第七章 勝利の生涯/王等に勝つこと/第八章 成長と擴張/ソロモン王の治世		http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1150032
MB00652	天の処	講述	ビー・エフ・バックストン 述 御牧守一 訳	基督教書類会社	東京	1937	79p	一、神との斷えざる交際/二、聖靈の大傾注/三、昇天の主と其の大なる賜物/四、神の聖言の能力ある効果/附録/聖潔と再臨(説教筆記)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA40040525	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1057381
MB00653	沙漠の大河	講述	ビー・エフ・バックストン 述、小島伊助 編纂	日本伝道隊聖書学	垂水町(兵庫県)	1938	78p	序文/聖靈の傾注/聖潔の確證/燃たえざる棘/沙漠の大河		http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1037379
MB00654	基督の形成るまで	講述	ビー・エフ・バックストン 述、小島伊助 訳	日本伝道隊聖書学舎出版部	垂水町(兵庫県)	1939	92p	聖潔と灌膏/エレミヤのペンテコステ/基督の形成るまで/神の河	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB22533029	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1037381
MB00655	神の奥義なる基督：ピリピ書・コロサイ書の靈解	講述	ビー・エフ・バックストン 述口小島伊助 譯	聖文舎	神戸	1948.4	55p	訳序/神を渴き慕う(詩篇第六十三篇一渴ける靈魂の叫び)/ピリピ書の研究(純粹なる聖潔)/コロサイ書の研究「神の奥義なるキリスト」	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45636624	
MB00656	ヨナ書靈解	単著	ビー・エフ・バックストン 著、御牧守一 訳	バックストン記念靈交會	武蔵野	1953	56p	第一章/ヨナ/ヨナの史實性/ヨナの使命/起ちて往け/二ネベ/タルシシ/機よき船/神の干涉/烈しき颶風/神ヨナを指摘し給ふ/罪の恐るべき結果/第二章/「ヨナ祈禱りて」/ヨナと放蕩息子/ヨナの如き經驗/ヨナの祈禱/祈禱の聽かるゝと言ふ確信/神の目の前より逐はれて/神の聖殿を望む/ヨナの絶望的狀態/彼は神を憶えてゐた/罪のための犠牲/信仰の告白/祈禱により途が開かる/第三章/第二の召命/神の試験/神の與へ給ふたメッセージ/即ちヨナ往けり/二ネベに於けるヨナ/徴なるヨナ/來る可き滅亡の説教/信仰と麻布/惡しき途より離る/第四章/二ネベの救/心の誤れる説教者/ヨナの信條/神の質問/ヨナ説教を癩む/神の業を見よ/神の慰め/彼の淺墓な感情/虫と風/二ネベを我惜まざらんや/幼兒と家畜/ヨナ黙す	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA63828751	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2969584

MB00657	雅歌霊解	講述	ビ・エフ・バックストン 講述、米田豊 筆記	バックストン記 念霊交會	武蔵野	1953 2版	100p	総論／第一 庫に伴ひ入れらる（一〇二一四）／第二 糧を求む（一〇五一十四）／第三 酒宴の室の安息（一〇十五一〇七）／第四 甦の生涯への召（二〇八一十七）／第五 基督を求むる熱心（三〇一一五）／第六 甦の力による生涯（三〇六一十一）／第七 キリストに似る事（四〇一一七）／第八 天の処（四〇八一五〇一）／第九 主の苦に与かる生涯（五〇二一五）／第十 聖霊のハプテスマ（五〇六一六〇十二）／第十一 奉仕の為の武装（六〇十三一七〇九）／第十二 全き愛（七〇一一八〇六、七）／第十三 愛に由りて勞する働（七〇一一八〇十二）／第十四 終の声（八〇六、十三、十四）	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA63824783	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2971102
MB00658	バックストン説教集	単著	日本伝道隊関西聖書神学校 編	ニューライフ出版社	東京	1987		心を新たに／神の火／エホバはわが牧者なり／聖霊の火／信仰のリバイバル／聖霊の宮／贖いの成就と聖霊の傾注／聖潔と聖霊／イザヤのきよめ／大雨ありき／われにおれ／一致／聖霊の注ぎ／聖霊の賜物／聖霊のバプテスマ／燃え続く聖霊／聖潔と再臨／あまたの溝を設けよ／三つの賜物／バックストン師の余波 末永弘海／バックストン先生を思う 小原十三司／バックストン先生の信仰 都田恒太郎／バックストン師の思い出 竹田俊造	—	—
MB00659	バックストン説教集	単著	関西聖書神学校 編	日本キリスト信仰会	東京	1994		序 本田弘慈／われらの負債／イエスの名のカ／全き救い／熱き火／火をもって答うる神／ヨシュア記の研究／全き安息／聖霊のバプテスマ／イザヤ書六章／火をもって答うる神／黙示録五章／聖潔の生涯／主の十字架／復活の福音／火のバプテスマ／エペソ書研究ノート／東京聖別会／有馬修養会／バックストン小伝／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15692140	—
MB00660	バックストン著作集 第1巻 (説教 1 (赤山講話))	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2015.11	318p	刊行のことば／主イエスの誘惑／ダビデの三勇士／真のイスラエル人ナタナエル／金の燭台／よくなりたか／聖潔／伝道／枯れたる骨の谷／ヨハネ黙示録第五章／主イエスの昇天／神の栄光を見る障碍／生命の水の河／ソドム、ゴモラの滅亡／ペンテコステ前後の弟子／聖霊の内住／出エジプト記第二章／金銭に関する神の御旨／民数紀第二〇章／ヨナ書／エジプトのヨセフ／B・F・バックストン年譜／解説 工藤弘雄	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB20466962	—
MB00661	バックストン著作集 第2巻	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2016.10	411p	刊行のことば／雪のように白く（雪の如く白く）／序／雪のように白く 心熱いクリスチャン／神の火／主は私の羊飼い／砂漠の大河 聖霊の傾注／清潔の確証／燃え尽きない柴／砂漠の大河—リバイバルの恵み／キリストの形なるまで（基督の形成るまで） エレミヤのペンテコステ／キリストの形なるまで／＜付録＞神の川／「活水」誌より 驚くべき約束／深い心と聖霊／あなたは聖霊を受けたか／イザヤの聖霊経験／二つの恵み／新しいみわざ／神の安息／岩に命ぜよ／エリヤの祈り／輝きに満ちた関係／ヤコブの格闘／神の火の接触／解説 中島信光	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB22533029	—
MB00662	バックストン著作集 第3巻	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2018.10	421p	刊行のことば／リバイバルの条件（リバイバルの要件） はしがき／一 人々のための重荷／二 御言葉を宣べ伝える／三 とりなしの祈り／四 死人を生き返らせる働き／五 どのようにしてキリストは一人の人を導かれたか／六 人々を導く真理／約束の地 第一章 深くあるために何をなすべきか—聖書の『天路歷程』—／第二章 敵の権力が打ち碎かる—ファラオの前におけるモーセ—／第三章 尊い血によれる平和と安全—過越の祭り—／第四章 信仰の道—紅海を渡ること—／第五章 満ちあふれる祝福—約束の地—／第六章 祝福に到る途—ヨルダンを渡る—／第七章 勝利の生涯—王等に勝つこと—／第八章 成長と拡張—ソロモン王と治世—／主の栄光（エホバの栄光） 訳序／神を求める心の備え／カナンの地／神の川／深い愛の交わり／主の栄光／潔められた者の歩み（聖潔られたる者の行歩）／神と共なる歩み（神と偕なる行歩）／クリスチャン・ホーム（基督者の家庭）／能力の秘訣 序／第一章 二つの偉大な希望／第二章 キリストが教えた潔めの道／第三章 クリスチャン生涯の第二の転機／第四章 聖霊の性格／第五章 バプテスマと不断の臨在／第六章 四つの大いなる結果／第七章 この約束は真実である／第八章 どのようにして受けるのか／あとがき／天の所 第一章 神との絶えることのない交わり／第二章 聖霊の大傾注／第三章 昇天の主と大いなる賜物／第四章 神の御言葉の力ある効果／付録 聖潔と再臨／解説 鎌野善三	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB27366525	—
MB00663	バックストン著作集 第4巻	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2019.12	414p	説教4（恩寵の成長）	https://ci.nii.ac.jp/ncid/B29352882	—
MB00664	バックストン著作集 第5巻	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2019.4	447p	創造と墮落／ルツ記霊解／雅歌霊解／ヨナ書霊會	https://ci.nii.ac.jp/ncid/B28065604	—

MB00665	バックストン著作集 第7巻	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2016.4□	342p	刊行のことば/凡例/ヨハネの福音書 緒論 第一/ヨハネの福音書 緒論 第二/第一章/第二章/第三章/第四章/第五章/第六章/第七章/第八章/第九章/第一〇章/第十一章/第十二章/解説 藤本満	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB21410260	
MB00666	バックストン著作集 第8巻	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2016.7□	273p	刊行のことば/凡例/第一三章/第一四章/第一五章/第一六章/第一七章/第一八章/第一九章/第二〇章/第二一章/結論/解説 飯塚俊雄	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB21410260	
MB00667	バックストン著作集 第9巻	単著	B.F. バックストン 著	いのちのことば社	東京	2017.11□	283p	刊行のことば/緒言/第六版刊行に際して/分解/第一章 1 この書の内容/2よみがえられた救い主とその約束/3 キリストは昇天なさった/4 祈り会/第二章 5 聖霊の降臨/6 ペンテコステの祭り/7 聖霊が降ってくださる/8 世界宣教/9 町の人々の動揺/10 聖霊に従うことを解き明かす/11 キリストのご光栄/12 危険な状態から救いに導かれる/第三章 13 足の不自由な人の癒し/14 足の不自由な人についてのペテロの説教/第四章 15 ユダヤの宗教会議/16 震い動かす祈り会/第五章 17 アナニアの死/18 祭司と使徒との戦い/第六章 19 教会の組織および成長/20 ステパノの殉教/第七章 ステパノの説教とユダヤ人たちの反応/第八章 21 サマリアのリバイバル/22 神様の計画の拡張/第九章 23 新しい使徒が召される/B・F・バックストン先生と私 村上宣道	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB25242598	
MB00668	バックストン著作集 第10巻	単著	B・F・バックストン 著	いのちのことば社	東京	2018.4□	291p	刊行のことば/分解/第一〇章 24 ペテロ、ローマ人に救いを宣べ伝える/第一一章 25 エルサレムの人々の理解/26 福音の拡張/第一二章 27 ヘロデとの戦い/第一三章 28 世界伝道の開始/第一四章 29 続く大きな戦い/第一五章 30 大いなる決議/31 パウロの第二次伝道旅行/第一六章 32 ヨーロッパ伝道の開始/第一七章 33 ギリシアにおける宣教/34 アテネにおけるパウロ/第一八章 35 コリントにおける反対と成功/36 第三次伝道旅行/第一九章 十二人の信者、聖霊に満たされる/第二〇章 37 マケドニアよりエルサレムまで/第二一章から第二六章まで 38 パウロ、囚人として裁判を受ける/第二七章から第二八章一〇節まで 39 難船とその結果/第二八章一一節以下 40 ローマにて/解説 藤村和義	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB25242598	

宣教師名 Buncombe, William Pengelly	宣教師名 (J) バンコム	生没年 1856-1942	所属 聖公会	出身国 イギリス					
MB00669	永生とは何ぞや	単著	ダブルユー・ピー・バンコム 著	福音社	大阪	1892	24p	肉体と精神/此本の標題/救の道	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824117

宣教師名 Hyatt, James F	宣教師名 (J) ジェームズ・ハヤット	生没年 1922—2009	所属 カトリック・メリノール宣教会	出身国 アメリカ						
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00670	人生・その愛と幸せ	単著	ジェームズ・F.ハヤット 著	東出版	東京	1968	253p	はしがき/愛と幸福/親と子/心/友達と私/勇気と反省/スタートライン/平和と自由・平等/身体と健康/社会の出来事の中に/自然・その美しきもの/人生・成功と失敗	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38599663	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939196
MB00671	心の旅路：二〇年の回想	単著	ジェームズ・F.ハヤット 著	東出版	東京	1972	250p	序文 遠藤周作/未知の国日本/善き牧者の運動/人の心にともしびを/和して同ぜず/この世に平和を/信仰のなぐさめ/少年の町/皆さんありがとう	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA80888283	
MB00672	太陽のほほえみ	単著	ジェームズ・F.ハヤット 著	東出版	東京	1972	231p	“太陽のほほえみ”によせて 河内桃子/はしがき/太陽のほほえみ/怒りとユーモア/身上相談/達人達のエピソード/喜びと愛のしるし/幸せな家庭生活/日常生活の中で/心の世界		

宣教師名	宣教師名 (J)	生没年	所属	出身国						
Ballagh, James Hamilton	ジェームズ・ハミルトン・バラ	1832-1920	アメリカ・オランダ改革派教会 (プロテスタント)	アメリカ						
MB00673	宣教師バラの初期伝道：しのめ夜明け日本における神の国のはじまり	単著	ジェームズ・ハミルトン・バラ 著 井上光 訳	キリスト新聞社 出版事業課	東京	2010.10	75p	はじめに/しのめ 夜明け 日本での神の国のはじまり/成仏寺での礼拝/礼拝の場所が横浜居留地へ/日曜学校始まる/禁制下での布教/矢野隆山と聖書の翻訳/バラはじめて日本語で祈る/隆山が洗礼の決意を述べる/隆山の受洗と家族の理解/隆山の死/日本での布教への希望と確信/高札撤去の請願書の作成/一八七二年以前の受洗者一長崎/七二年以前の受洗者一横浜/小山義経と仁村守三/バラ塾の生徒/篠崎桂之助/初週祈禱会始まる/霊が上からそそがれて/一八七二年三月一日 日本基督公会設立/日本基督公会の理念/最初の公会設立の時の不在者/東京日本基督公開新栄教会設立/中会が始まる/その後の教会員の歩み/各派の宣教師たちの一致協力/訳者あとがき/付録 本書に出てくる日本人牧師の略歴/ジェームズ・ハミルトン・バラ関係年表/主な参考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB04061223	—

宣教師名	宣教師名 (J)	生没年	所属	出身国						
José Miguel Vara	ホセ・ミゲル・バラ	1931-2018	カトリック・イエズス会	スペイン						
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00674	霊操	単訳	イグナチオ・デ・ロヨラ 著、ホセ・ミゲル・バラ 訳	新世社	名古屋	1986.3	247,49p	序文/アニメ・クリスティ/指示/前提条件/第一週 原理と基礎/日々の特別糾明/一般糾明/総告白と聖体拝領/第一霊操 (三つの罪についての黙想) /第二霊操 (自分の罪について) /第三霊操 (反復と三つの対話) /第四霊操 (総括) /第五霊操 (地獄について) /付則 第一から第十/第二週 キリストの国/第一日 第一観想 (ご託身) /第二観想 (ご降誕) /第三観想 (反復) /第四観想 (反復) /第五観想 (五官の活用) /注意/付則/第二日/第三日 生路について考えるにあたって/第四日 二つの旗について/三組の人について/第五日/第六日/第七日/第八日/第九日/第十日/第十一日/第十二日/謙遜の三段階/選定 選定するにあたって/選定の対象について/選定のできる三つの時機/選定の第一方法/選定の第二方法/自分の生活と身分を矯正し改善するために/第三週/第一日 第一観想 (最後の晩餐) /第二観想 (ゲッセマニの園) /付則/第二日/第三日/第四日/第五日/第六日/第七日/注意/今後、食事をするにあたって、自分を整えるための規則/第四週/第一観想 (ご復活について) /注意/付則/愛を得るための観想/祈りの三つの方法/第一の方法/第一、十戒について/第二、罪源について/第三、霊魂の能力について/第四、五官について/第二の方法/第三の方法/わが主キリストのご生涯の秘義/第二週/第三週/第四週/霊の識別の規定 (第一週) /霊の識別の規定 (第二週) /施しを分配するための規定/疑問をわきまえるための規定/教会と心を合わせるための規定 (Sentire cum Ecclesia)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04443111	—
MB00675	聖イグナチオ・デ・ロヨラの『霊操』の解説	単訳	エルヴェー・コアタレム 著、ホセ・ミゲル・バラ 訳	新世社	名古屋	1996.1	397,30p	和訳のまえがき/序文/注記/霊操の案内/I 聖イグナチオ/II イグナチオと弟子たちの生涯における霊操/III 教会生活における霊操/IV 『霊操』の構造/V 霊操の特質/VI 『霊操』の使用/アニメ・クリスティ (キリストの魂) /指示/『霊操』の書名/Presupponendum (前提条件) /「原理と基礎」/第一週 I 第一週の案内/II 特別糾明と一般糾明/III 総告白と聖体拝領/IV 「三能力を使う」黙想/V 第一週第一霊操/VI 第一週第二霊操/VII 第三・第四霊操/VIII 第五霊操。地獄/IX 補助的な霊操/X 黙想の日程/XI 付則/XII 第一週の裏。霊操の他の段階との相互関係/第二週 /I 「キリストの国」。過ぎ行く世の王の呼び掛けは、永遠の王の生涯を感得する助けとなる/II 霊操中の読書/III 第二週の案内/IV 秘義の観想/V 「受肉」の観想/VI 「誕生」の観想/VII 第三・第四霊操/VIII 「五官の適用」/第二週に関する諸指示/X 「生路を考えるに当たって」と選定の文脈/XI 「二つの旗」/XII 「三組の人」/XIII 第二週の続き/XIV 「謙遜の三段階」/XV 選定をめぐる指示/第三週 I 第三週への案内/II 第三週的第一・第二霊操/III 第三週をめぐる指針/IV 食事を適度にするための規定/第四週 I 第四週の案内/II 第四週的第一霊操/III 第四週に関する指針/IV 「愛を得るための観想」/祈りの三つの方法/一、祈りの方法/二、『霊操』における位置/三、『霊操』の本文/四、通用例/キリストの生涯の秘義/一、イグナチオが目指すこと/二、秘義の提示/三、この領域での聖イグナチオの影響/霊の識別の規定/I 霊の識別への案内/II 規定の第一部/III 規定の第二部/施しを分配するための規定、または、慈善の業の規定/疑問をわきまえるための規定/正統的信仰の規定/あとがき/一、回顧/霊操の解説の注解/主要単語索引/本文に出る人物の原名/人名の索引/簡潔な参考書目録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN1407035X	—

MB00676	イグナチオの日々を見た弟子の覚え書き	単訳	ルイス・ゴンサルヴェス・ダ・カマラ 著、ホセ・ミゲル・バラ 訳編	新世社	名古屋	1997.4	373,29p	序文/『覚え書き』とは何か/『覚え書き』の著者ルイス・ゴンサルヴェス・ダ・カマラ/『覚え書き』の著者の特質/『覚え書き』への信憑性をめぐって/『覚え書き』が描くイグナチオの肖像/『覚え書き』と『霊操』/この邦訳に当たって/ルイス・ゴンサルヴェス・ダ・カマラ神父の覚え書き/ルイス・ゴンサルヴェス・ダ・カマラ神父の序文/一五五一年一月二十六日から始まる家の事柄についてのわが父の答えの覚え書き/付加第一/付加第二/付加第三/序文の注解/本文の注解/主要単語索引/人名索引/敬称索引/MHSI (Monumenta Historica Societatis Iesu)の略号	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA40099109	-
---------	------------------------------------	----	----------------------------------	-----	-----	--------	---------	---	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Bullard, Miss		ミス・バラード		不明		不明		不明		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00677	羅馬の宣教師シドテ	単著	ミス・バラード 著	日本聖公会出版社	東京	1899.11	22p	目次なし	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825345

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Ballard, Susan		スザン・バラード		不明		不明		不明		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00678	聖ポーロのおはなし	単著	スザン・バラード 著	教文館	東京	1909.2	33p	第一課/第二課/第三課/第四課/第五課/第六課/第七課/第八課/第九課/第十課/第十一課/第十二課/第十三課/第十四課/第十五課/第十六課	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824788
MB00679	旧約お伽噺	単著	エス・バラード 著	教文館	東京	1911.2	45p	第一課/第二課/第三課/第四課/第五課/第六課/第七課/第八課/第九課/第十課/第十一課/第十二課/第十三課/第十四課/第十五課	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1919248

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
José, Palacios		ホセ・パラシオス		1934-?		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00680	今、ビリオン神父を追う：幕末から昭和まで	単著	ホセ・パラシオス 著	アガリ総合研究所	萩	2003.6	107p	まえがき/本書に寄せて/第一話 HAGHI or HAGI/第二話 山口洗礼台帳より六枚の“写し”/第三話 タデオ・ヨシタケと妻ルシア/第四話 ビリオン神父と四頭の馬/人があるく道、車がはしる道/第七話 萩での宣教活動の始まり/第八話 かくれキリシタンの里「Shibuki」/第九話 伝道師の協力を得て/第十話 後ろ姿/第十一話 神父様のお名前は日本語で?/第十二話 地福教会のものがたり/第十三話 天に輝く小さな星 その一/第十四話 天に輝く小さな星 その二/第十五話 小石の力/第十六話 老神父の痛む心・喜ぶ心/第十七話 四人の親友/第十八話 クリスマスケーキ、召し上がっていただけるかしら/付録/ビリオン神父・年表-幕末から昭和まで-	-	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Barrionuevo, Cristobal M		キリストバル・バリョヌエボ		1924-		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00681	基礎的倫理 第1	単著	バリョヌエボ 著	中央出版社	東京	1968	221p	まえがき/倫理社会/第一章 序論 基礎的倫理の問題/第一部 人間の特質/第二章 理性/第三章 自由意志/第四章 良心/第二部 人間の本質/第五章 人間の精神/第三部 人間の起源/第六章 創造主の存在の問題/第七章 神の存在を確認する道/第八章 創造主の本質/第九章 神に対する道 (宗教) /第四部 人間の目的/第十章 人間の超越性/第十一章 まとめ	-	-
MB00682	実践倫理	単著	バリョヌエボ 著	中央出版社	東京	1968	250p	第一部 入門/まえがき/第一章 心がけ/第二章 意志の鍛錬/第三章 良心の養成/第四章 理性の養成/第五章 心情の陶冶/第六章 身体に対する心づかい/第二部 現代社会と人間/第七章 他人に対する根本的な義務と態度/第八章 他人の生命に対する義務/第九章 家庭の倫理/第十章 国家の倫理/第十一章 社会問題	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09771548	-

MB00683	倫理思想史	単著	バリヨヌエボ、宗正孝、小出哲夫 共著	中央出版社	東京	1970	173p	まえがき/第一章 ギリシャの思想/1ギリシャ思想の重要性と特徴/2ソクラテスまでのギリシャ哲学/3ソクラテス/4プラトン/5アリストテレス/6ヘレニズムとローマの哲学/第二章 キリスト教の思想/1キリスト教の準備、ユダヤ教/2キリスト教/3アウグスティヌス/4スコラ哲学とトマス・アクィナス/第三章 近代的思想/1パスカル/2合理主義・デカルト/3啓蒙主義・百科全書主義/4カント/5ヘーゲル/第四章 東洋思想/1仏教/2儒教/第五章 日本の思想/1日本古代の一般的心情/2日本の仏教/3日本の儒教と国学/4明治維新以後の思想/第六章 現代の思想/1マルクス/2プラグマティズム/3ニーチェ/4実存主義/現代のパノラマ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA36197250	—
MB00684	ロザリオ：いつもロザリオ・なんでもロザリオ・すぐにロザリオ・みんなでロザリオ	単著	バリヨヌエボ 著	中央出版社	東京	1983.5	130p	ロザリオについて/本書の目的/第1部 聖書で祈るロザリオ/第2部 世界のために祈るロザリオ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11563281	—
MB00685	ミサの前に読む聖人伝	単著	キリストバル・バリヨヌエボ 著	サンパウロ	東京	1990年初版(中央出版社)、2013年改訂新版	450p	まえがき/はじめに/一月/二月/三月/四月/五月/六月/七月/八月/九月/十月/十一月/十二月/時代別索引/福者・聖人名索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB14021451	—
MB00686	女性への賛歌：ヨハネ・パウロ2世の使徒的手紙「女性の尊厳と使命」の要約とワークブック	単著	キリストバル・バリヨヌエボ [著]	中央出版社	東京	1993.3	64p	まえがき/1序文/2女性・神の母/3神に似せてかたどられたもの/4イヴVSマリア/5イエスと女性たち/6母性と処女性/7教会はキリストの花嫁/8いちばん偉大なものは愛/9まとめ/10質問集	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA73510726	—
MB00687	キリストへの新しい道：求道者のための教えと行い	単著	キリストバル・バリヨヌエボ/著	サンパウロ	東京	2005	501p	第1部 道を探して(人生の重大な問題への答え)/第2部 光を求めて(真の信仰)/第3部 喜びの訪れ(わたしたちのうちにおいでになった神)/第4部 恵みの泉(秘跡)/第5部 命への道しるべ(キリスト信者の生活)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA73823266	—
MB00688	ロザリオの祈り：聖書・観想・意向	単著	キリストバル・M・バリヨヌエボ 著	サンパウロ	東京	1983年初版、2013年改訂版	192p	ロザリオについて/本書の目的/第1部 聖書で祈るロザリオ/喜びの神秘 第1の黙想 神の子のご託身/第2の黙想 聖母の訪問/第3の黙想 ご降誕/第4の黙想 イエスの奉獻・マリアのお潔め/第5の黙想 神殿様に残るイエス/苦しみの神秘 第1の黙想 ゲッセマネで苦しみもだえ、祈るイエス/第2の黙想 むちで打たれるイエス/第3の黙想 茨の冠をかぶせられるイエス/第4の黙想 十字架を担うイエス/第5の黙想 十字架上で息を引き取るイエス/栄えの神秘 第1の黙想 復活/第2の黙想 昇天/第3の黙想 聖霊降臨/第4の黙想 被昇天/第5の黙想 元后聖母マリア/光の神秘 第1の黙想 イエスの洗礼/第2の黙想 カナの婚礼式で、ご自分の栄光を現すイエス/第3の黙想 神の国を宣言し、人々に回心するように呼びかけるイエス/第4の黙想 変容し、その栄光の姿を現すイエス/第5の黙想 聖体の秘跡を定めるイエス/第2部 世界のために祈るロザリオ/説明/喜びの神秘 第1の黙想 神の子のご託身/第2の黙想 聖母の訪問/第3の黙想 ご降誕/第4の黙想 イエスの奉獻・マリアのお潔め/第5の黙想 神殿様に残るイエス/苦しみの神秘 第1の黙想 ゲッセマネで苦しみもだえ、祈るイエス/第2の黙想 むちで打たれるイエス/第3の黙想 茨の冠をかぶせられるイエス/第4の黙想 十字架を担うイエス/第5の黙想 十字架上で息を引き取るイエス/栄えの神秘 第1の黙想 復活/第2の黙想 昇天/第3の黙想 聖霊降臨/第4の黙想 被昇天/第5の黙想 元后聖母マリア/光の神秘 第1の黙想 イエスの洗礼/第2の黙想 カナの婚礼式で、ご自分の栄光を現すイエス/第3の黙想 神の国を宣言し、人々に回心するように呼びかけるイエス/第4の黙想 変容し、その栄光の姿を現すイエス/第5の黙想 聖体の秘跡を定めるイエス	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB14805167	—

宣教師名 Barbaro, Federico		宣教師名 (J) フェデリコ・バルバロ			生没年 1913-1996	所属 カトリック・サレジオ会	出身国 イタリア			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00689	小殉教者	単訳	エウゼニオ・ピラ 原著 フェデリコ・バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1937	80p	1 救助 / 2 小屋の中で温く / 3 母を亡くして / 4 悪漢 / 5 爪牙の下に / 6 悪魔の使徒 / 8 願望 / 9 小音楽家 / 10 吸血鬼 / 11 可哀相なエリオ / 12 温かい家庭 / 13 それはあなたの間違よ / 14 買戻し / 15 奸計 / 16 靈魂の苦しみ / 17 強奪 / 18 主よ守り給へ! / 19 英雄的信仰 / 20 火事 / 21 沼のほとり / 22 救助 / 23 病院 / 24 ルルド / 25 天的喜び / 26 バラの雨	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB14603446	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1122418
MB00690	復興へ!	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1939	138p	はしがき / 第一章 ホーセ神父 / 第二章 逃亡 / 第三章 仇 / 第四章 神父の手紙 / 第五章 逮捕 / 第六章 殉教者 / 第七章 呻吟 / 第八章 薔薇の花 / 第九章 書類 / 第十章 森の中 / 第十一章 裁判所へ / 第十二章 解放 / 第十三章 凱旋	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1122141
MB00691	より高く:傑作小品集	編集	フェデリコ・バルバロ 編 尾方寿恵 著	ドン・ボスコ社	東京	1950	308p	目次/序 / 「自然」 / 一、より高く / 二、復活 / 三、麥の種 / 四、信仰 / 五、鷲と人間 / 六、風と花 / 七、服従の規則 / 八、樹の革命 / 九、まことの光 / 十、上からの糸 / 「人間」 / 一、侯爵夫人と鍛冶屋 / 二、身代り / 三、赤い服 / 四、種 / 五、同盟罷業 / 六、パンの一切れ / 七、青いスリッパ / 八、神は愛である / 九、最後の托鉢 / 十、あの世の通行証 / 十一、恐怖時代の一挿話 / 十二、呪はしい収穫 / 十三、放蕩息子と乞食ラザロ / 十四、悲しいクリスマス / 十五、生命の意味 / 十六、全き喜び / 十七、飢渴 / 十八、若人の歌	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1706684
MB00692	聖ドン・ボスコの教育法	編集	フェデリコ・バルバロ 編	ドン・ボスコ社	東京	1941	147p	献詞 / 序文 / ドン・ボスコの略傳 / 總論 / 本論 第一部 / 指導的原理 / 一、青春の教育に於ける豫防的教育法 / 二、ドン・ボスコとラタッチ大臣との會話 / 三、ポドラト先生 / 四、ルイジ・コルレ青年の傳拔萃 / 五、ドン・ボスコの最初の夢 / 本論 第二部 / 豫防的教育法の應用 / 一、バルトロメオ・ガレリとの遭遇 / 二、ジョワンニ・カリエロに出會ふ / 三、ドメニコ・サヴィオに出會ふ / 實際に生かされた教育 / 一、ローマからの手紙 / 二、ゼネララ懲治監の青年を伴ひて / 三、ローマのポポロ廣場にて / 四、ローマの聖ミカエル學院にて / 五、ローマのツラステヴェレにて / 六、羊歸る / 七、規律と教授法との原則	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1037547
MB00693	聖ドン・ボスコの教育法: 予防教育法の理論		フェデリコ・バルバロ 編	ドン・ボスコ社		1951年改訂版		目次は1941年版のとおおよそ同じ		
MB00694	ベン・ウール: 第一世紀歴史小説	共訳	レオス・ウオーレス 著 フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社		1946	488p	第一篇 / 奇異なる集ひ / 三筋の道 / エルサレム / メシア誕生 / 智者來る / ヘブライ人なる二人の王 / 第二篇 / ローマの覇權 / あるローマ人とヘブライ人とが / ユーダスの家族 / 母子 / 將來は如何 / 大禍 / 捕虜 / 第三篇 / クウイント・アリオ氏 / 海上 / 悲しき追憶 / 光線 / 沈没 / 自由 / 第四篇 / アンテオキアに於て / 幻滅 / 苦しき物語 / ダフネの森にて / カスタリアの湖にて / 復讐の計劃 / 棕櫚の公園 / マルクは語る / 歡樂する人々 / イルデリムのテントにて / バルダツサレの考へ / 第五篇 / 二人の共犯者 / アラビア馬の試乗り / 仇敵現れり / 主人認めらる / 新しき使命 / 決定の時期 / 最初の打撃 / 賭 / 競馬場に於て / 二人 / 自慢の鼻折らる / 待ち伏せ / 死の前に / 第六篇 / 葬られたる者 / 癩病人 / 歸郷 / 愛の試し / 忠實なる下女 / イスラエルの自由の闘士 / 第七篇 / 先驅者 / 計らざる會合 / バルダツサレの信仰 / 陷陣 / 王と其の使者 / 第八篇 / 慘酷なる敵 / ベン・ウールの見たこと / 福音 / 信仰の賞與 / 希望と決意 / 遊戯は終つた / 其の後 / 裏切り / 十字架の道 / 死去 / イエズス・キリストの下僕	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05589429	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1136359
MB00695	路加聖福音書註解	編集	フェデリコ・バルバロ 編	教成社	東京	1944	380p	緒論 / 参考書類 / 新約聖書の最も主要なる原本及翻譯書類目録 / 緒言 / 第一篇 キリストの幼年及私生活 / 第二篇 キリストの公生活 / 第三篇 エルザレムへの最後の旅行 / 第四篇 イエズスの御受難及御復活	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15037735	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1136359
MB00696	ヨハネ聖福音書註解	編集	フェデリコ・バルバロ 編	ドン・ボスコ社	東京	1946	332p	解題 / 創造せられざる御言 / 御言の此の世への來臨と洗者ヨハネの使命 / 聖寵と眞理との泉なる御言の御託身 / 公生活の準備 / エルザレムへのイエズスの最初の旅行 / イエズス、サマリアを通つてガリラヤに歸る / エルザレムへのイエズスの第二回旅行とガリラヤに於ける宣教 / エルザレムへの第三の旅行 / 奉殿記念祭に於けるイエズスの莊嚴なる宣言 / エルザレムへの最後の旅行 / 説教の前置 / 晩餐後のイエズスの説教 / 受難 / 復活せるイエズスの出現とエピローグ	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1057695
MB00697	苦しみ	単著	フェデリコ・バルバロ 著、秋元 保夫 訳	ドン・ボスコ社	東京	1946	76p	第一章 苦しみの存在 / 第二章 苦しみの理由 / 第三章 苦しみにつての哲学の解決 / 仏教の解決 / 第四章 キリスト教の解決 / 第五章 貴方の十字架	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA91193104	—

MB00698	キリストの真相	共訳	カール・アダム 著 フアデリコ・バルバロ、 尾方寿恵 共訳	中央出版社	東京	1946	398p	序文／第一章 キリスト教の本性と近代人／キリスト教の本性／變形 イエズ主義／近東の種々なる典禮／辯證法的神學／キリスト教の根本的特質／故にイエズスをキリストから分離する事は出来ない／現代的メンタリティ、ポジチヴィズム／良薬／第二章 信仰の道／必要な一般の見地／宗教的崇敬／誠實／如何にしてキリストの信仰に至るか／人間の方からの前置きの条件／認められざる説／宗教心の眞の役目／神的干涉／歴史的批判では足りぬ／歴史的批判の役割／眞の立場、聖寵のみをもつても足らざると同時に理性のみを以ても足らず／結論／第三章 イエズス傳の源泉／非キリスト教的源泉、異教的源泉／ユダヤ的源泉／キリスト教的源泉／聖パウロ／共観三福音史家／聖ヨハネ／源泉の可信性／其等源泉の社會的資格／其の源泉の高尚なる内容／キリスト教の自立性／我々の尊敬と注目を牽くキリストの人格／第四章 キリストの道徳的人格／キリストの外貌／イエズスの體力／イエズスの能力／イエズスの感情／キリストの實際生活の理解／イエズスは『脱魂状態』に生きた者に非ず／反對者に対する議論に當りて／イエズスの觀察力の叡敏性／イエズスと人間／イエズスは人間の弱點を知っている／イエズスは貧民を愛する／イエズスの愛は富者にも及ぶ／イエズスは人間と喜びを分つ／かかる表面的アンティノミは何所から出るか／第五章 キリストの内的生活／父の思召に対する委託／イエズスの祈祷／謙遜の裡に／人間からの離脱／稱讃並びに喜ばしき信賴の祈祷／かかる祈祷は誰に對して行はれるか？／全能なる神に祈る／聖性なる神に祈る／凡ての善の泉なる神に祈る／第六章 イエズス自身の啓示／キリストは神の國の王として現れる／神の國の定義／此の國の到來は何時？／キリストは自分を『人の子』とする／其の言葉の意味／イエズスは『人の子』といふ言葉を自分にどういふ風に適用させるか／何故イエズスは自分を『人の子』と公言するか？／キリストは自分を『神の子』として啓示する／問題は／雰囲気／イエズスは其の業をもつて自己の神性を示す／イエズスの啓示的な言葉／我々はかかる人間を信じ得るや、或は信すべきや？／第七章 キリストの復活／使徒達の不理解／復活について新約聖書は語る。聖パウロ／聖パウロは何を語るか？／聖パウロの考へる身體とは？／然し聖書が聖書に反するとは？／福音書は語る其等の話の歴史的價値／弟子等のユダヤ的メンタリティ／弟子等は錯覺を見たのではない／イエズスの復活に関する信仰の新たな内容は其の事實の實際性を前提する／聖靈降臨の奇蹟は復活を確認し其を不朽のものとなす／第八章 キリストの十字架／十字架の中心的玄義は御子に實現された三位一體の業である／キリストの十字架上の死の救靈的資格／ヘレニズムよりの自立性／晩餐の齟らざる犠へは十字架の流血の犠へを説明する／十字架の解釋、人間は自分を救ふ能力を有せず。何故キリストの犠へは『我等の爲に』注がるべきであつたか？／其物としてある本來本性の人間とは？／然し其は人間凡てであるか？／然し本來本性の以上の如き人間は、今日實際に生きて居るか？／キリストを以て神は我々を救ふ／神的正義の要求／義人ではあつたとしても人間では其をなし得ない／キリストは如何にして我々を救ふか？我々の救靈は如何にして實現されたか？／孤獨に於て／人間の慾情に打たれて／自由に且つ勝利的に／十字架の結果、客觀的贖罪／我等の爲の主觀的な救靈／かかる個人的なキリスト教は如何にして生ずるか？	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39321469	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1157879
MB00699	婚約者 上巻	共訳	アレッサンドロ・マンゾーニ 著、フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 訳	岩波書店	東京	1946年初版、1973年改訳（岩波文庫）	343p	序論／マンゾーニの序文／一章／二章／三章／四章／五章／六章／七章／八章／九章／十章／十一章	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN00937470	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1136944
MB00700	婚約者 中巻	共訳	アレッサンドロ・マンゾーニ 著、フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 訳	岩波書店	東京	1949年初版、1973年改訳（岩波文庫）	340p	十二章／十三章／十四章／十五章／十六章／十七章／十八章／十九章／二十章／二十一章／二十二章／二十三章／二十四章／二十五章	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN00937470	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1705367

MB00701	婚約者 下	共訳	アレッサンドロ・マンゾーニ 著、フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 訳	岩波書店	東京	1949年初版、1973年改訳（岩波文庫）	335 p	二十六章／二十七章／二十八章／二十九章／三十章／三十一章／三十二章／三十三章／三十四章／三十五章／三十六章／三十七章／三十八章	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN00937470	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1705366
MB00702	使徒行録註解	編著	フェデリコ・バルバロ 編著	ドン・ボスコ社	東京	1951年2版口	339p	緒論／区分／前置き／第一部 エルザレムに於ける教會／第二部、教會、エルザレム外にひろまる／第三部、聖パウロの宣教旅行／(A) パウロの第一回宣教旅行／(B) 割禮と法律に関する問題／(C) 聖パウロの第二回傳道旅行／(D) パウロの第三回傳道旅行／第四部 監禁中のパウロの證明／(A) エルザレムに於て／(B) チェザレに於て／(C) チェザレアからローマへの旅行／(D) ローマに於て／附記/A、最古の教會の主たる年代表／B、ローマ皇帝／C、ヘロデ家の王／D、ユダヤのローマ総督	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA56387383	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936370
MB00703	使徒行録註解	編集	フェデリコ・バルバロ 編	ドン・ボスコ社	東京	1947	339p	緒論／(一) 著者／(二) 編纂の年代と場所／(三) 源泉／(四) 歴史的な價值／(五) テキスト／(六) 教理的内容／(七) 使徒行録の精神／区分／前置き／聖靈の約束と待機／序幕／イエズスの昇天／高間に於ける使徒等／ペトロ、ユダの後任者を選ばしむ／第一部 エルザレムに於ける教會／聖靈降臨／ペトロの最初の説教／其の説教の結果／最初の信者の風俗／美門の奇蹟／ペトロの第二の説教／ペトロとヨハネとの拘留／衆議會集會及びペトロとヨハネの出頭と放免／ペトロ、ヨハネ解放後の信徒の祈り／信者間の一致／一人の寛大なレヴィ人バルナバ／アナニアとサフィラの事件／使徒等の宣教、奇蹟と成果／使徒等の拘留と釋放と裁判所出頭／使徒等への尋問／ガマリエルの干渉、使徒等鞭たれて釋放さる／七人の執事の選舉／ステファノの宣教、拘留、訴訟／ステファノの説教／アブラハムと太祖／モイゼと、エチプトと砂漠に於ける神の民／モイゼからサロモン迄、幕屋と神殿／最後の彈劾／ステファノの殉教／教會の散布、ステファノの埋葬、サウロの迫害／第二部 教會、エルザレム外にひろまる／サマリアに於けるフィリッポ、魔術者シモン。ペトロとヨハネ、サマリアに来る／フィリッポと闖者／サウロの改心／サウロの最初の布教／教會の平和と進展／ルツダとヨツベに於けるペトロ。エネアの治癒とタビタの蘇生／チェザレアに於ける百夫長コルネリオの幻視／ヨツベに於けるペトロへの出顯／チェザレアに於けるペトロ／ペトロの説教。聖靈が下る。コルネリオ受洗／ペトロ、エルザレムで自己の行爲を解明す／アンティオキアの教會と其の創立／アガボの豫言せる饑饉／ヘロデアグリッパ第一世の迫害、ヨハネの兄弟ヤコボの死。ペトロの捕縛と解放／アグリッパ一世の死／教會の發展。バルナバとパウロ、アンティオキアに歸る／第三部 聖パウロの宣教旅行／(A) パウロの第一回宣教旅行／クプロに於ける布教／パンフィリアに於いて／ピシチアのアンティオキアに於けるパウロの説教／ピシチアのアンティオキアに於ける迫害／イコニオムに於ける布教／リストラとデルベンに於いて／シリアのアンティオキアに歸る／(B) 割禮と律法に関する問題／アンティオキアに於ける當問題／エルザレムに於ける教議會、ペトロとヤコボとの説教／エルザレムに於ける教議會決議／アンティオキアに於ける決議布告／(C) 聖パウロの第二回傳道旅行／パウロ、バルナバと分かる。シラと共にシリア、シリシヤ、リカオニアの教會を訪ふ／ピシチアからトロアデまで／フィリッピに於て、ルチアの改心／惡魔に憑かれた娘。パウロと	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03351277	

								シラの投獄と釋放/テサロニケに於て/ペレアに於ける布教/アテネに於てパウロ、アレオパグに行かせらる/アレオパグに於ける説教/コリントに於て、アクィラとプリシッラ、アカヤ洲總督ガルリオ/エフェソとチェザレアを経て、パウロ、アンティオキアに歸る/ (D) パウロの第三回傳道旅行/ガラチアとフリチアに於て一エフェソとコリントに於けるユダヤ人、アボルロ/エフェソに於けるパウロ。ヨハネの洗禮のみを受けていた弟子等/エフェソに於けるパウロの布教/ユダヤ人の呪術師/パウロの計畫/銀細工屋の騒動/エフェソからマケドニア、ギリシヤへ。トロワデに歸る/ トロアにてエウティケの蘇生/トロアからミレトへ/ミレトに於て、エフェソの長老に語る/チロとプトレマイスに於て/チェザレアに於て/チェザレアからエルザレムに上る/第四部 監禁中のパウロの證明/ (A) エルザレムに於て/ヤコボと長老等との意見/ユダヤ人等の騒動とパウロの捕縛/アントニア城門前に於けるパウロの説教/アントニア城に於けるパウロ、リチア千夫長の囚人となる/パウロ衆議會に引かる/イエズスの出顯/ユダヤ人の目論み、パウロ、チェザレアに護送さる/ (B) チェザレアに於て/ユダヤ人の告訴とフェリックス總督の前に於けるテルトルロの論告/パウロの辯解/パウロ、フェリックスとドルジラの前に出る/フェストを廻るユダヤ人の動き、パウロ、ローマ皇帝に上訴す/アグリッパ王來たる/フェスト、アグリッパにパウロを紹介する/アグリッパ王の前に於けるパウロの説教/パウロとフェストとアグリッパの議論、及び結び/ (C) チェザレアからローマへの旅行/チェザレアからシリアのミラへ/シリアのミラからクレタへ/クレタからマルタへ、暴風/難船/パウロ、マルタ島に冬を過す/マルタからローマへ/ (D) ローマに於て/パウロとローマ權威者/パウロとローマのユダヤ人等/ローマに於けるパウロ二年の監禁/附記/A、 最古の教會の主なる年代表/B、 ローマ皇帝/C、 ヘロデ家の王/D、 ユダヤのローマ總督		
MB00704	母のかたみ	共訳	デ・サンテイ 著 フエデリコ・バルバロ、 尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1947年初 版、1967 年改訂版	429p	第一部/一、 慈愛夫人/二、 守らなかつた約束/三、 愛の田園詩/四、 チャスミンとマーガレット/ 五、 婚約/六、 最初の黒雲/七、 計らざる會合/八、 海の子/九、 招かれざる客/十、 一人の歌姫の物語/十一、 深い祕密/十二、 祭壇の前/十三、 蜜月/十四、 最初の涙/第二部/一、 諦観/ 二、 聖マルティナーの午餐/ 三、 猛つた海/ 四、 失敗に終つた祝ひ/五、 打明け/六、 白状/七、 おお、お母さんが死ぬ!/八、 クリスマスの前日/九、 最後/ 十、 残酷な誘ひ出し/十一、 小さな殉教者/十二、 墓地にて/第三部/一、 聖ヨハネの店/二、 おお豎琴!/三、 孤兒の歌/ 四、 ベラウラ村の最後の日々/ 五、 當てをはづれた旅行/六、 庭園のジブシー/七、 もう一人の母/ 八、 大誤解/九、 罪から後悔へ/十、 豎琴に降る最初のバラ/十一、 そしてチャンニーナは?/十二、 歡喜/第四部/一、 レナ小母の四階部屋/ 二、 思ひ出の参詣/ 三、 悲しい日々/四、 誰が考へたらう!/五、 光、さし込む/六、 法廷/七、 禍!/八、 確認/ 九、 無罪者の免赦/十、 十四年後	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA5559567X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1136940
MB00705	私は共産黨員であった!『カトリック講話集』(157号、1947年1月)	単訳	フリオ・アスカニオ 著、 フエデリコ・バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1947.2	90 p	原著者序(労働者への公開状)/一、私の過去/二、私の初聖体/三、家での相談/四、勝利と惨敗/五、報復/六、見つかった/七、家には死/八、冒険へ/九、迷ふ羊/十、原因と結果/十一、滑稽/十二、或るストライキ/十三、独言と冥想/十四、マウリツイオ/十五、労働者の悲劇/十六、無名の手紙/十七、建設と破壊/十八、僅かな光明/十九、雲/二十、人民大会/二十一、覚醒/二十二、光/二十三、私の天使/結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB04457756	二
MB00706	讃歌	共訳	レネ・バゼン 著、 フエデリコ・バルバロ、 尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1948	309p	第一部/ペンミュールの人達/島の人/曠野の中で/ピロードの服/出發/第二部/二つの便り/打ちあげ/ヴァリ工後家に相談/オ・モエン島に歸る/第三部/オ・モエン島の家で/犠牲/強情者たち/シャティオン・シュール・セブルの學院にて/賣つた思ひ出の品/第四部/灰色の靴下/遅く召出された人々/イッシ・レ・ムリノ大神學校/別離	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB1475787X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1705137

MB00707	キリストの社会宣言	共訳	イチノ・チヨルダーニ 著 フェデリコ・バルバロ、 尾方寿恵 共訳	中央出版社	東京	1949□	428p	緒論/社会問題とキリスト教/プロテスタントの原理と自由批判/カトリック教会の態度/社会学的キリスト教が存在するか?/社会的キリスト教の限界/標準、文献、批判/第一章 歴史的環境/最後のアスモネ家/ヘロデ大王とその子等/モイゼ律法政治/宗派と階級/経済状態、社会状態/第二章 新しき制度/キリスト教の革命/ユダヤ教との闘ひ/ユダヤのメシアニズム/異邦人のメシアニズム/キリスト教のメシアニズム/舊約の「神の國」/新約の天主の國/公教会/第三章 家族/父/キリスト教前の「天主の父性」/父への祈り/兄弟の長男/母と姉妹/第四章 社会の對象/人格/新しき倫理/あわれみ/責任と賞罰/人格の價値/第五章 舊律法の改革、正義/トラ(律法)の改革、正義/新しき立法者イエズス/義人/キリスト教の正義/正義と愛徳/第六章 新しき掟、愛/第一の掟/隣人愛/貧しき者を助ける/平等性と兄弟性/反座と赦免/十字架/第七章 家族/キリスト教前の女性/キリスト教の女性/結婚、離婚、姦通/キリスト教の結婚制度/獨身/子女の教育/第八章 イエズスと支配權/キリスト教と世俗/イエズスと司祭階級/イエズスと黨派/イエズスと政治權威/宗教と政治/第九章 イエズスに刃向ふ世の權威者/國是/イエズス裁判/イエズスは政治的な煽動者だつたか?/第十章 經濟問題/富/キリスト教的離脱/生活の必需品と所有權/金錢とその使用/貧乏人と施し/貧しさ/イエズスと人民/第十一章 労働/キリスト前の労働/大工の子/イエズスと労働/パン/賃金/第十二章 社会的健全/たすかりの福音/戦争と平和/キリスト教的一致/普遍性と國家主義/文藝/愛と自由/普遍、平等、兄弟性/權威と階級/社会機構	二	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1161206
MB00708	地獄の石	共訳	チヨヴァンニ・パピニ 著 フェデリコ・バルバロ、 尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1949□	218p	目次/ジョヴァンニ・パピニ/福音史家/カトリシズムの若さ/婚約者/牛と驢馬/聖都ローマ/クローチェと十字架/師としての著書/道徳と文学/自分自身への告訴/敵に感謝/人間におくるチェレスティーノ六世の書簡/キリストを有せぬ人々へ/神を有せぬ人々へ	二	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1705133
MB00709	ルーテル：その生涯と行跡	共訳	グリサル、ハルトマン/ 著、バルバロ、フェデリ コ、尾方寿恵/共訳	ドン・ボスコ社	東京	1950.9	2, 4, 557, 13p	原著者序/一、少年時代/二、修道院第一年/三、新しき道へ。精神的経過/四、新教理の出現/五、贖宥の提題からライブツィッヒの討論迄/六、公教会と国家に吹きまくる嵐、当時の世相に関するルーテルの判断/七、破門の年/八、一五二一年のヴォルムス帝国議会/九、ヴァルトブルグに於いて/十、ルーテル派の発展/十一、波瀾の年一五二五年、結婚/十二、致命的な年(一五二五年—一五三〇年)/十三、一五三〇年のアウグスブルグ帝国議会。コブルグの客/十四、シュマルカルデン同盟。ドイツ語聖書/十五、一五三七年のシュマルカルデン集会。出版による闘争。ルーテルの同志/十六、私的生活/十七、私生活(続き)/十八、ルーテルの道徳観と結婚観。ヘッセン方伯の重婚/十九、ルーテルの死近きころの宗教分裂/二十、最後の闘ひと死	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14804271	二
MB00710	聖福音書：口語訳	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1950	330p	緒言/マテオの聖福音書/第一部 イエズスの私生活/第二部 イエズスの公生活/第三部 イエズスの受難/マルコの聖福音書/第一部 ガリレアでの宣教/第二部 ユダヤでの宣教/ルカの聖福音書/第一部 公生活の準備/第二部 ガリレアでの宣教/第三部 ガリレアからエルザレムへ、最後の旅行/第四部 イエズスの御受難と御死去/第五部 御復活、御出現、御昇天/ヨハネの聖福音書/第一部 公生活中に神性と栄光を顕し給ふ/第二部 イエズスの御受難と御死去/第三部 御復活と御出現	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA90559481	二
MB00711	新約聖書註解集 1 (聖マテオ福音書注解)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1951		聖マテオ福音書註解/目次/緒論/第一部 イエズスの幼年時代と隠れたる生活/第二部 メシアの準備/第三部 ガリレアに於ける宣教/カファルナウムにおけるイエズス/山上の説教/ガリレアに於けるイエズス・キリストの奇蹟/使徒の名前、イエズスの誡め/イエズスと洗者ヨハネ/麥の穂と安息日、手なえ、柔和/多くのたとへ、故郷での輕蔑/ガリレアの旅行と奇蹟/ファリザイ人と傳承/第四部 ガリレア以外の地をめぐる/第五部 ベレアを通つてエルザレムに向ふ/第六部 エルザレムに於ける宣教/終末論的大説教/第七部 受難/第八部 復活	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA42554614	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970465

MB00712	新約聖書註解集 2 (聖マルコ福音書注解)	単著	フェデリコ・バルバロ著	ドン・ボスコ社	東京	1952	緒論/1 マルコの名/2 伝記/3 第二福音書の正銘性/4 著作の場所と読者/5 第二福音書著作の時代/6 第二福音書の歴史的価値/7 第二福音書の目的/8 第二福音書の十全性/9 第二福音書の区分/新約聖書の最も主要な原本及び翻訳書類目録/序章 主イエスの公生活への準備/洗者ヨハネの使命と宣教/洗者ヨハネによるイエスの洗礼/砂漠においてのイエスの試み/第一部 ガリラヤにおけるイエスの宣教/第一段 イエスの宣教のはじまり/第二段 律法学士とファリサイ人たちとの論争/第三段 たとえによる教え/第四段 ガリラヤでの宣教の奇跡とエピソード/第二部 ガリラヤ外へのイエスの旅行/第一段 フェニキアにおけるイエス、カナンの女/第二段 イエスはデカポリスにもどる/第三段 ベトサイダとフィリッポのカイザリアにおいて、及びガリラヤへの帰還/第三部 イエルザレムへのほる/離婚/子供たちの祝福/富の危険/受難の第三の預言とゼベデオの子らのねがい/イェリコのめくら/第四部 イエルザレムでのイエスの宣教/イエルザレムへのイエスの凱旋的入城/呪われたいちじく/商人たちが神殿から追い出される/信仰と祈り/イエスの使命に関する衆議会の質問/殺害者のぶどう畑の雇い人/チェザルへの税/サドカイ人と復活/大いなる掟/メシアの起源/律法学士たちを審く/やもめのさい銭/イエルザレムの滅亡と再臨/第五部 主イエスの受難とご復活/イエスに対する陰謀/ベタニアの注油/ユダの裏切り/最後の晩餐の準備/最後の晩餐/弟子らの逃亡とベトロの呑みとの預言/ゲッセマニ/カヤファの前のイエス/ピラトの前のイエス/カルヴァリオへ/主イエスの復活	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05953816	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970466
MB00713	新約聖書註解集 3 (聖ルカ福音書注解)	単著	フェデリコ・バルバロ著	ドン・ボスコ社	東京	1940	緒論/参考書類/新約聖書の最も主要なる原書及翻訳書類目録/第一篇 キリストの幼年及私生活/キリスト降誕の豫備/キリストの降誕/キリストの幼年/第二篇 キリストの公生活/キリスト布教の豫備/イエス自身の豫備/イエスのガリラヤ布教/使徒選定/第三篇 エルザレムへの最後の旅行/旅行の始/旅行中の他の事実/第四篇 イエスの御受難及び御復活/最後の一週間/御受難、御死去、御埋葬/捕縛/出廷/御復活	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38957854	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970444
MB00714	新約聖書註解集 4 (聖ヨハネ福音書注解)	単著	フェデリコ・バルバロ著	ドン・ボスコ社	東京	1946	解題/第四福音書の解釋書及研究書/新約聖書の最も主要なる原本及び翻訳書類目録/創造せられざる御言/御言の此の世への來臨と洗者ヨハネの使命/聖寵と真理との泉なる御言の御託身/公生活の準備/(一) 洗者聖ヨハネの證明/(二) ヨハネの弟子等イエスに出會ふ/(三) 洗者ヨハネの證明の最初の効果/(四) カナの婚筵とカファルナウムよりの出發/エルザレムへのイエスの最初の旅行/(一) 過越祭の間エルザレムに於けるイエスの滞在/(二) ニコデモとの談話/(三) 洗者ヨハネの最後の證明/イエス、サマリアを通過してガリラヤに歸る/(一) サマリアに於けるイエス/(二) 王官の子醫さる/エルザレムへのイエスの第二回旅行とガリラヤに於ける宣教/(一) ベザタの病人の恢復とユダヤ人の衝突/(二) ガリラヤでの宣教/エルザレムへの第三の旅行/(一) 幕屋の祭に際してイエスのエルザレム滞在/(二) 姦婦の事件/(三) ユダヤ人との新たな議論/(四) シロエの盲者の奇蹟的恢復/(五) 善き牧者/奉殿記念祭に於けるイエスの莊嚴なる宣言/(一) 奉殿記念祭/エルザレムへの最後の旅行/(一) ラザロの復活/(二) 受難前の最後のエピソード/説教の前置/(一) 洗足/(二) 裏切者の別決/(三) 別れの序曲/晩餐後にイエスの説教/イエスの約束/(一) 眞の葡萄樹、イエスと弟子等との一致/(二) 弟子等に對する世の憎惡と迫害の知らせ/(三) イエスの出發と不在中の約束/(四) 弟子等の一致の爲にイエスは祈る/受難/(一) 受難の夜/(二) ピラトの前に於ける訴訟/(三) イエスの死去と埋葬/復活せるイエスの出現とエピローグ/(一) エルザレムに於ける三つの出現/(二) 福音史家にエピローグの一/(三) ガリラヤに於ける出現及第二エピローグ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA55555733	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970445

MB00715	新約聖書註解集 第5 (使徒行録註解)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1965□	433p	緒論／著者／編纂の年代と場所／源泉／歴史的価値／テキスト／本書の教義／使徒行録の精神／区分／参考書／新約聖書のもっとも主要な原本および翻訳書類目録／序章 聖霊の約束と待機／序言／イエズスの昇天／高間に集まる使徒たち／ペトロはユダの後任を選ばせる／第一部 イエルザレムにおける教会／聖霊降臨／ペトロの最初の説教／聖霊降臨の日の最初の改心者／最初の信者たちの様子／美門の奇跡／ペトロの第二の説教／ペトロとヨハネの逮捕および人々の改心／衆議会の集会、ペトロとヨハネの出頭と放免／ペトロとヨハネの解放後の信者の祈り／信者間の一致／寛大なレヴィ人バルナバ／アナニアとサフィラの事件／使徒たちの宣教、奇跡と成果／使徒たちの拘留と釈放、裁判所への出頭／使徒たちへの尋問／ガマリエルの干渉。使徒たちはむち打たれて釈放される／七人の執事の選挙／ステファノの宣教、拘留、訴訟／ステファノの演説／ステファノの殉教／教会の離散、ステファノの埋葬、サウロの迫害／第二部 教会はイエルザレムのそとにひろがる／サマリアにおけるフィリッポと魔術者シモン。ペトロとヨハネがサマリアにくる／フィリッポと宦官／サウロの回心／サウロの最初の宣教／教会の平和と進展／リッダとヨッペでのペトロ。エネアの治癒とタピタのよみがえり／カイザリアにおける百夫長コルネリオの幻視／ヨッペでのペトロの幻視／カイザリアのペトロ／ペトロの説教。聖霊がくだる。コルネリオの受洗／ペトロはイエルザレムで、自分のしたことを弁明する／アンティオキアの教会とその創立／アガボが預言したききん／ヘロデ・アグリッパ一世の迫害、ヨハネの兄弟ヤコボの死、ペトロの逮捕と解放／アグリッパ一世の死／教会の発展。バルナバとパウロがアンティオキアに帰る／第三部 聖パウロの宣教旅行／パウロの第一回宣教旅行／割礼と律法についての論争／パウロの第二回宣教旅行／パウロの第三回宣教旅行／第四部 幽囚中のパウロの証明／イエルザレムで／カイザリアで／カイザリアからローマへの旅行／ローマで	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA55560711	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970446
MB00716	新約聖書註解集 第6 (ローマ人への書簡註解)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1954□	493p	使徒聖パウロ 目次／序説／(一) パウロ傳の文献批判／信仰のパウロは実在の人物かー批判論の経過／使徒行録と書簡／使徒行録の内容的批判／パウロ傳の資料についての批判学説／最近の反動／最近の批判学者の態度／批判学説の批判／使徒行録の歴史的価値／書簡の歴史的価値／(二) パウロ／一、サウロ・パウロの故国／二、パウロの誕生／三、パウロの姓名／四、タルソに於ける教育／五、エルザレムに於ける教育／六、パウロの少年時代／七、迫害者／八、改心／九、洗礼と宣教のはじまり／十、アラビアにて／十一、エルザレムとタルソにて／十二、アンティオキアとエルザレムにて／年代表／(三) パウロの宣教／一、第一伝道旅行(使徒行録一三ノ一―一四ノ二八)／二、ユダヤ派キリスト教徒／三、第二伝道旅行(使徒行録一五ノ三六―一八ノ二二)／四、第三伝道旅行(使徒行録一八ノ二三―二一ノ一五)／五、キリストの為の囚人／(四) 異邦人の博士／一、教義の概術／(五) パウロの人格／一、人間パウロ／二、選ばれた器／ローマ人への書簡註解／緒論／(一) 価値／(二) 記述の年代と場所／(三) 名宛人／(四) 目的／(五) 主題／(六) パウロの大書簡、即ちローマ書、コリント前後書、ガラツィア書の正銘性と純正性／(七) ローマ書の十全性／(八) テキスト／(一) 題と序(一ノ一―七)／(二) パウロとローマの教会(一ノ八―一五)／(三) この書簡のテーマ(一ノ一六―一七)／第一部 教義／一、キリストへの信仰による義(一ノ一八―四ノ二五)／(I) 救霊の道の外にゐる人々(一ノ一八―三ノ二〇)／A 神のいかりの下にゐる異邦人(一ノ一八―三二)／B ユダヤ人は義を有しない(二ノ一―一)／C ユダヤ人も異邦人も神の御前にあつて罪人である(三ノ九―二〇)／(II) イエズス・キリストへの信仰による義(三ノ二一―四ノ二五)／二、キリストによる義證の生命力(五ノ一―八ノ二九)／A 神との和睦と平安、罪にかつ(五ノ一―二)／B キリスト者はもはや罪の支配下でない(六ノ一―二三)／C 律法から聖寵へ、肉体に勝つ(七ノ一―二五)／D キリストにおいて新生した靈魂の幸福(八ノ一―三九)／三、選ばれた民に対する救ひの約束と福音(九ノ一―一三ノ四)／第二部 倫理／訓戒と注意(一ノ二一―一六ノ二七)／(一) キリスト信者の義務(一ノ二一―三)／(二) 弱いもの(一ノ四一―二三)／書簡のしめくり(二五ノ一―二六ノ二七)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06361801	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970447

MB00717	新約聖書註解集 第7 (コリント人への手紙注解)	単著	フェデリコ・バルバロ著	ドン・ボスコ社	東京	1965□	381p	コリント人への前の手紙注解/緒論/コリント/コリント教会の創立/手紙が書かれた機会と主題/執筆の時と場所/正銘性と正典性/内容/コリント人への前後の手紙参考文献/序章 あいさつと導入/うわがき/感謝/第一部 コリント教会内の党派/その事実/真実の智慧といつわりの智慧/キリスト教の聖職の真のありかた/ティモテオの派遣と、パウロの訪問の予告/第二部 コリント教会の醜聞/近親相姦者/信者間の訴訟/貞潔にそむく罪/第三部 コリント人の疑問に答える/結婚と独身/偶像にささげられた肉の使用について/集会の規律/第四部 からだの復活/キリストの復活という事実/キリストの復活には信者の復活がふくまれている/死者はどのようにしてよみがえるか/結び/募金/旅行の計画/ティモテオ/アポロ/すすめ/最後のあいさつ/コリント人への後の手紙注解/緒論/コリント人への前の手紙から後の手紙までの期間/場所と時/正銘性/十全性/構造と内容/参考文献/序章 あいさつと感謝/あいさつ/感謝/第一部 コリント人に対する態度についての弁明/使宜主義という非難に対する弁明/使徒職を誇り、ごうまんであるという非難への弁明/パウロとコリント人とのあいだの信頼の回復/第二部 イエルザレムの信者のための募金/マケドニア人の手本/コリント人の寛大さに直接によびかける/キリストの手本/コリント人の善意/募金の実行/気前よく与えよ/寛大に与えよ/第三部 ユダヤ派の反対者に対するパウロの個人的弁明/使徒職の範囲内のパウロの権威/パウロの誇りの名義/近い将来のパウロの訪問にあたってのすすめ/結びと最後のあいさつ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05952766	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970448
MB00718	新約聖書註解集 第8 (ガラツィア人への手紙注解,テサロニケ人への手紙注解)	単著	フェデリコ・バルバロ著	ドン・ボスコ社	東京	1966□	197p	ガラツィア人への手紙注解/緒論/ガラツィア人への手紙/書き出し/ガラツィア人を非難する/第一部 使徒職の弁明/第二部 新信者の霊的自由を守る/信仰は、信者をすべての奴隷制度から解放する/また律法の下に立ちもどって奴隷となりたいのか/キリスト・イエズスにおいてのみ自由がある/パウロ自筆の追伸/テサロニケ人への前の手紙注解/緒論/テサロニケ人への前の手紙/前置き/あいさつと感謝/パウロはざん言に答える/福音の効果に感謝する/ティモテオについて。感謝/聖伝に忠実であれ/清く生きる/兄弟愛と怠情/来臨より先に死ぬ人々はどうか/来臨の日は不明であること。それに対する警戒/さまざまのいましめ/テサロニケ人への後の手紙注解/緒論/テサロニケ人への後の手紙/あいさつ/感謝/来臨の切迫について/勧告/実際上のすすめ、なまけ者/結びのあいさつ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05952653	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970449
MB00719	新約聖書註解集 第9 (幽囚の書簡(エフェソ,フィリッピ,コロサイ,フィレモン)注解)	単著	フェデリコ・バルバロ著	ドン・ボスコ社	東京	1961□	218p	エフェソ人への書簡注解/序説/ I ローマ最初の幽囚の書簡/ II 制作の場所、エフェソか、カイザリアか、ローマか? / III エフェソ人への書簡の対象/ IV 正銘性/V 機会、目的、年代/エフェソ人への書簡/第一部 選択と予定の永遠なる決定/第二部 續罪の奥義/第三部 ユダヤ人と異邦人との召出し/教義の部/第一段 教会のかしら、光栄のキリスト/第二段 あがない主のキリスト/第三段 わぼく者なるキリスト/第四段 キリストは、パウロが告げる奥義の啓示者である/第五段 あがないの結果/倫理の部/第一段 個人的倫理/第二段 社会倫理/結び/フィリッピ人への書簡注解/序説/フィリッピ人への書簡/最後の訓戒/結び/コロサイ人への書簡注解/序説/コロサイ人への書簡/あいさつ/前書き/教義の部/第一段 キリストの優越/第二段 キリストと偽教師/倫理の部/第一段 個人的倫理/第二段 家庭的義務/第三段 一般的訓戒/結び/フィレモンへの書簡注解/序論 ・ 本論/p214	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0595245X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970450

MB00720	新約聖書注解集 第10 (牧者への手紙注解,ヘブライ人への手紙注解)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1966	265p	牧者への手紙注解/緒論/歴史的背景/牧者への手紙/手紙の正銘性/執筆の年代/参考文献/ティモテオへの前の手紙注解/導入/にせの教師/パウロの使命/教えに対する忠実/司牧について/祈りについて/婦人へのすすめ/聖職について/敬虔の奥義/偽教師について/ティモテオの奉仕/新たな司牧の訓戒/論戦と訓戒/結び/ティモテオへの後の手紙注解/導入/訓戒/異端者への警戒/あらたなすすめ/結び/ティモテオへの手紙注解/前がき/導入/教会の組織化について/キリスト的生活/結び/ヘブライ人への手紙注解/緒論/問題の概要/ヘブライ人への手紙の正典性と正銘性/ヘブライ人への手紙の正銘性と内的批判/この手紙の受取人/書かれた機会と目的/時と所/手紙の構造/参考文献/序詞/序詞の大意/第一部 教義の部/第一段 キリストの人格/キリストは天使たちにまさる/キリストはモーゼにまさる/第二段 キリストの司祭職はレヴィの司祭職にまさる/まことの祭司長イエズス・キリスト/教訓/キリストの司祭職の超越性/第三段 キリストのいけにえは古いいけにえにまさる/二つの聖所と二つの契約/キリストのいけにえの卓越性/キリストの唯一で完全ないけにえ/第二部 倫理の部/第一段 信仰保持のすすめ/信頼と一致/棄教の罰/はげまし/第二段 旧約時代の信仰の勝利/信仰の特徴と一般的主題/創造からノエまで/太祖らの信仰/エジプトからの解放とカナアンの占領/カナアンの占領からマカベ時代まで/結論。キリスト者の幸福/第三段 史実を現在の試練に応用する/根気強く持続すること/新しい契約の超越性/第四段 最後のすすめ/愛と貞潔/宗教的な義務/結び 祈願とあいさつ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05952074	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970451
MB00721	新約聖書注解集 第11 (公書(ヤコボ,ペトロ,ヨハネ,ユダ)注解)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1967	329p	公書注解/緒論/聖ヤコボの手紙注解/序論/あいさつ/試練の時のための助言/福音に対する義務/えこひいきをとがめる/善業がなければ、ほんとうの信仰ではない/あえて教えようとする人々へ/邪欲の結果/悪口をさげよ/商人たちに対する戒め/享楽にふける不正な金持ちを戒める/しいたげられる人々への戒め/さまざまな訓戒/最後の訓戒-罪人の改心/聖ペトロの前の手紙注解/序論/導入/第一部 聖徳への勧め/第二部 キリスト者のさまざまな義務/結び/聖ペトロの後の手紙注解/序論/表書き/信仰を強く保つように勧める/異端者に対する警戒/最後のあいさつと頌歌/聖ヨハネの手紙注解/序論/I 聖ヨハネの第一の手紙/II 聖ヨハネの第一の手紙のテキスト/III 聖ヨハネの二つの短い手紙/聖ヨハネの第一の手紙注解/序/神との一致は光の子として生きることを義務づける/神の子という身分は、イエズスにならうという義務を課する/神の命との真実な一致の基準は、聖霊のたまものである/最後の考察と励まし/聖ヨハネの第二の手紙注解/聖ヨハネの第三の手紙注解/聖ユダの手紙注解/序論/導入/異端者に警戒すること/訓戒と勧め/頌歌	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05936442	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970452
MB00722	新約聖書注解集 第12 (ヨハネの黙示録注解)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1967	214p	緒論/黙示録文学の特徴/著者/正典性/執筆年代/目的/解釈の系統/教義的内容/参考文献/序章 前書きと幻視のはじめ/名称と読者のしあわせ/諸教会におくる/キリストに対する賞賛/神の宣言/導入の幻視/第一部 教訓-アジア州諸教会への七つの手紙/手紙の構造/エフェソの教会へ/スミルナの教会へ/ペルガモの教会へ/ティアティラの教会へ/サルデスの教会へ/フィラデルフィアの教会へ/ラオディキアの教会へ/第二部 預言-終末のドラマ/導入の情景-天の王宮/封印の幻視/最後の封印を切る/鷲の三つの脅迫/第五のらっぱ/第六のらっぱ/開かれた巻物/キリストの証人たちの勝利/世界 制覇、のための、神とサタンの決定的なたたかい/導入の場面-第七のらっぱ/教会に対する神の敵対勢力の攻撃/神のさばきが敵対勢力を倒す/新しい地に立つ天のエルザレムを中心とする神の永遠の国/新しい創造、至福と永遠の命/新しいエルザレム/第三部 結び/ヨハネの啓示は成就する/イエズスは、さばきのための再臨が近いと告げる/結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05935880	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970453
MB00723	神	単著	バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1954	520p	第一章 文明と精神/第二章 人間は宗教的動物である/第三章 神の観念についての歴史(上)/第四章 宗教観についての歴史(下)/第五章 実際の無神論/第六章 理論的無神論/第七章 神の存在を証明するのは可能か/第八章 神の存在の証明は可能である/第九章 宇宙/第十章 宇宙の不思議/第十一章 秩序は神を要求する/第十二章 生命の起源/第十三章 進化論と神/第十四章 進化論と人間/第十五章 神と倫理/第十六章 人間の希望と神/第十七章 神	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA34770760	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2971437

MB00724	高等宗教講義 第3 (キリスト教)	単著	バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1955	□	第一章 歴史哲学/歴史の意味/キリスト教的歴史観/第二章 歴史の主/人間の態度/不完全であるがために、あやまったキリスト観/歴史の中心/第三章 キリストは生き給う/思い出のうちに/憎悪のうちに/愛のうちに/殉教のうちに/信仰のうちに/従順のうちに/第四章 近代文学とキリスト/まえがき/神の喪失/絶対なるものへの攻撃/超人/人間の悲劇/キリストを見出した人々/むすび/第五章 啓示する人、キリスト/神は語り給う/世の光、キリスト/キリスト教は、神の教えである/キリスト教の、超越性と独創性/独創的宗教の意味/キリスト教とユダヤ教/キリスト教と異教の思想/キリスト教の倫理と異教の倫理/キリスト教の背理/第六章 活きている教義/教義の調和性/教義の確定性と発展性/神学と哲学/第七章 キリストの獨創的教義/宇宙の目的/神の栄光/三位一体の教義/第八章 贖罪/御託身/自然状態と超自然状態/聖寵/原罪/贖罪/マリア/第九章 公会堂/神と人間とを結ぶもの/神秘体/ 可見教会/キリストによる創設/終末神学/死/私審判/地獄/煉獄/天国/肉身のよみがえり/公審判/終末	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA62540372	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2938967	
MB00725	高等宗教講義 第2 (キリスト)	単著	バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1954	□	141p	第一章 宗教/宗教の普遍性/宗教の概念/自然宗教の形而上学的基础/自然宗教の特色/社会と宗教/第二章 まことの宗教/宗教的無関心主義/宗教選択の基準/自然宗教の缺陷/完全な宗教なるキリスト教/第三章 理性と啓示/啓示の概念/啓示を否定する人々/啓示の可能性/人間の自由と啓示/第四章 啓示は証明しうるか/基準/奇蹟/奇蹟は史実として認めうるか/奇蹟は超自然的なものとみとめうるか/奇蹟は神の業とみとめうるか/奇蹟の証明価値/豫言/第五章 キリスト傳の歴史的源泉/キリストと歴史/福音書/福音書の正銘性/福音書の十全性/福音書の歴史性/パウロの書簡と福音書/福音書と偽福音書/全教会の承認/第六章 イエズスの人格/政治/社会/キリストの歴史的存在/キリストの存在を否定する人々/キリストの伝記/キリストの道徳的人格/キリストの心理的人格/第七章 イエズスに関する問題/キリストの神秘/人々の描き出したキリストの姿/キリストを否定する人々/カトリックの立場/第八章 キリストの神性/この問題の重大性/不信仰者に対して、われわれのとり立場/キリストの神性の証明/この証明法による結果/第九章 キリストの宣言/イエズスは、どういう意味で自ら神であると宣言したか/キリストは、ヤーベの特徴を自分が有すると宣言する/キリストは、神の属性を自分が有すると宣言する/キリストは、本性として、御父と同一なるものであると宣言する/キリストは、重大な時期に、神性を宣言する/キリストは、神の子であると宣言する/キリストの神性と、最初の弟子ら/結び/第十章 イエズスの奇蹟/イエズスの奇蹟とその価値/福音書に記される奇蹟の位置/イエズスの奇蹟の超越性/イエズスの奇蹟と彼の使命との関連/第十一章 キリストの復活/イエズスと弟子等との、復活についての考え方/イエズスの死/キリストの復活とパウロ/空の墓/出現について、福音書の証明/無信仰者となえる仮設/第十二章 信仰/信仰の門/信仰の必要性/信仰の意味/信仰の特質/信仰への真理的経過/結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA62540146	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2938842
MB00726	倫理	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1956	□	113p	一 自然法と良心/二 神の御手で書かれたもの/三 最大の掟/四 神にたいする義務/五 神の御名と聖なる日を尊ぶこと/六 父母を敬うこと/七 生命を尊ぶこと/八 清い心/九 他人のものを盗まないこと/十 徳/十一 対神徳/十二 さいわいなもの	=	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2437901
MB00727	聖パウロの宣言	単訳	A.ブリュノ 著、F.バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1962	□	206p	序文/聖パウロの生活と活躍の年譜/第1章 キリストとの対照/第2章 キリストとの出会い/第3章 キリストへの希望/第4章 キリストとともにいとなむ日常生活/第5章 キリストによる救い/第6章 キリストの覇権/第7章 キリストへの忠実/結び/聖パウロについてのカトリック関係著作	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04801029	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936556
MB00728	宇宙の神秘	単訳	L.ニグリス 著、バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1962	□	350p	日本語版のための著者の序/第1章 物質の構造/第2章 宇宙/第3章 太陽系/第4章 地球/第5章 物理学のなぞ/第6章 化学および鉱物学の側面/第7章 核エネルギー/第8章 空気/第9章 水/第10章 生命/第11章 植物/第12章 動物/第13章 人間/第14章 ラプラスの仮説/第15章 進化論/第16章 アインシュタインの相対性原理	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05219088	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2422040
MB00729	深い淵から：各時代の祈り	編集	バルバロ 編口竹内泰子 訳	ドン・ボスコ社	東京	1962	□	528p	1. 天においでになるわたしたちの父よ/準備/2. みなが聖とされますように/礼拝/賛歌/3. みくにが来ますように/キリストのおんからだ/希望/感謝の祈り/4. みむねがおこなわれますように/愛のおこない/委託/5. わたしたちの日々のかてを、きょうもお与えください/生命のパン/ご聖体/6. わたしたちの負いめをおゆるしてください/告白/深い淵から/改心/あがない/十字架を愛する/天においてのよるこび/7. わたしたちをこころみにあわせないでください/悪のおそれ/8. 悪からお救いください/9. 聖母マリアに対する祈り/10 朝と晩/目ざめの祈り/晩の祈り	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB01125090	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2938951

MB00730	ドン・ボスコの生涯	単訳	A.オフレー 著、F.バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1964年初版、1993年9版	515p	第1版序文 ヴィンチエツォ・チマッティ/1 ピエモンテ州/2 反対された召しだし(一)/3 反対された召しだし(二)/4 大事業の貧しい起源/5 まとをめぐして/6 使徒として/7 ベンの使徒/8 修道会をたてる/9 聖堂の建築/10 見通す人/11 奇跡をする人/12 教皇のしもべ/13 聖人と交際した人たち/14 教育家/15 告白場で/16 試練/17 使徒/18 聖人の日常生活/19 人間及び聖人としてのドン・ボスコ/20 聖人の晩年/21 最後の日/22 エピローグ	=	=
MB00731	キリスト・イエズス	共訳	カール・アダム 著、フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 共訳	中央出版社	東京	1964□	331p	序/1章 キリスト教の本質と本質と現代の人間/2章 信仰の道/3章 イエズス伝の文献/4章 キリストの人格/5章 キリストの内的生活/6章 イエズス自身の啓示/7章 キリストの復活/8章 キリストの十字架	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA44644412	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2969299
MB00732	信心生活	共訳	聖アウグスティヌス 著、フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 訳	ドン・ボスコ社	東京	1966□	600p	序文/第一巻 キリスト的完徳の第一段階—神への畏れ/第二巻 キリスト的完徳の第二段階—孝愛/第三巻 キリスト的完徳の第三段階—知識/第四巻 キリスト的完徳の第四段階—剛毅/第五巻 キリスト的完徳の第五段階—賢慮/第六巻 キリスト的完徳の第六段階—心を清めること/第七巻 キリスト的完徳の第七段階—知恵/聖アウグスティヌスの「神への祈り」	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB07392420	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2938759
MB00733	聖母マリアへのまことの信心	単訳	聖ド・モンフォル 著、F.バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1967年6版□	208p	序/第一章 聖母マリアへの信心の必要性/第二章 聖母マリアへのまことと信心とは何か/第三章 聖母へのまことの信心の本質/第四章 完全な献身の理由/第五章 レベッカとヤコブ、聖マリアとその愛の奴隷/第六章 この信心が、忠実なしもべに与える不思議な効果/第七章 外部的信心と、内部的信心/第八章 聖体拝領のとき、この信心を実行する方法	=	=
MB00734	愛を求める心	単著	フェデリコ・バルバロ 著	講談社	東京	1967年初版、2000年復刻版(ドン・ボスコ社)	237p	まえがき/I 愛を見つめて 一本のバラ/微笑/石/正義と愛/見える/神様の名刺/私たち兄弟/感謝/愛の涙/道は一つ/理想のしもべ/生ける福音/真の文化/生命は取り去られるのではない/人間を知る/与える/おめでとう/見えざるもの/II 祈りと黙想 師/神/主は招く/沈黙の夜/泣くではない/にがい液体だけが/キリストなしには/泣いた人/神のことば/上からの誕生/聖母の恵み/心の春/果てしなき希望/十一月二日/死の黙想/祈り/ご降誕—神の与えた返答—/イエスの贈り物/新しい金貨/友/III 真理に生きる 待ち望む/恐れるな/生きる技術/誠実/死/宗教と道徳/責任/善意と平和/門を開く鍵/自由な心の信仰/個人の役割/真理と自由/精神と物質/偽預言者/バトレハムの訴え/希望/私は信仰を失った……/静かなる思い/自然を見つめる/鹿のように/永遠の人/IV 心の泉 習慣の力/上からの糸/赤信号/二つのしるし/あの世の通行証/イエスのないクリスマス/話の小道/V 日本と私	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33089648	=
MB00735	旧約聖書注解集 2 (詩篇注解 下 詩篇73-150)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1970□	481p	詩篇73~150	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA55592467	=
MB00736	旧約聖書注解集 1 (詩篇注解 上 詩篇1-72)	単著	フェデリコ・バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1968□	458p	序論 I 概説/II 詩篇のテキスト/III 詩篇の結晶点/IV 文学の種類/V 文学の種類の見識とキリスト教/前書き I 神のみこと—詩篇/II 詩篇に祈る声—イエズス・キリスト/III 神樂の弦/IV 詩篇は神の詩/詩篇注解 詩篇1~72	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA55592514	=
MB00737	聖書物語	単訳	聖ヨハネ・ボスコ 著、バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1968□	316p	旧約聖書/第1章 天地万物の創造。原罪/第2章 大洪水/第3章 アブラハム/第4章 ヤコブ/第5章 ヨゼフ/第6章 ヨブ/第7章 モイゼ。エジプトの災害/第8章 エジプトを出る/第9章 十戒。さばくのヘブライ人/第10章 ヨズエ。約束の地にはいる/第11章 判事たち/第12章 サムソン/第13章 エリ。サムエル。サウル/第14章 ダヴィド/第15章 サロモン/第16章 イスラエル国の分裂/第17章 エリア/第18章 エリゼオ/第19章 イスラエル王国の滅亡。トビア/第20章 ユダ王国の王たち。イザヤ/第21章 ユディット。イエレミア。ユダ王国の滅亡/第22章 ダニエル/第23章 エステル。ヘブライ人の解放/第24章 シリア王の迫害。アカベ兄弟の殉教/第25章 アカベのユダ/第26章 ユダの後継者たち。王位は異国人ヘロデの手に移る/新約聖書 イエズス・キリストにおいて実現された預言/聖マテオ、聖マルコ、聖ヨハネの四福音書/第1章 イエズスの幼時/第2章 公生活のはじめ/第3章 イエズスの教え/第4章 奇跡/第5章 たとえ/第6章 ご受難の準備/第7章 ご受難。ご死去/第8章 ご復活。ご出現/第9章 ペトロが教会のかしらに定められる。使徒たちの派遣。ご昇天/第10章 聖霊降臨。初期の教会。パウロの回心/第11章 使徒たちの宣教。ローマ皇帝の迫害。イエリザレムの滅亡/第12章 結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB06508825	=
MB00738	三分の黙想 1	編集	フェデリコ・バルバロ 編	ドン・ボスコ社	東京	1993.7□	349p	人間/知ること/与えること/すてること/信頼/勇気/あやまち/苦しみ/憎しみ、悪口、失望/友情/自由な人/文明/愛	=	=

MB00739	三分の黙想 2	編集	フェデリコ・バルバロ 編	ドン・ボスコ社	東京	1971□	207p	人間/自由な人/価値あるもの/生命/知ること/キリスト者/神の声/祈り/求めること、努めること/すてること/与えること/愛/勇気/あやまち/信頼/苦しみ/しあわせ、よろこび、感謝/憎しみ、悪口、失望/友情/この世、道/完成、熱意/文明/信仰/死/真理	=	=
MB00740	三分の黙想	編集	フェデリコ・バルバロ 編	ドン・ボスコ社	東京	1968□	379p	人間/自由な人/価値あるもの/生命/知ること/キリスト信者/神の声/祈り/求めること、努めること/すてること/与えること/愛/勇気/信頼/苦しみ/あやまち/しあわせ、よろこび、感謝/憎しみ、悪口、失望/友人/この世、道/完成、熱意/文明/信仰/死/真理	=	=
MB00741	キリスト伝	単訳	ジュゼッペ・リッチョッティ 著 フェデリコ・バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1991.4□	846,40p	序文/凡例/序論 イエズスの国/ユダイズムの慣習と思潮/源泉/イエズスの履歴/イエズスの外観/イエズスの生活についての合理主義的な解釈/イエズス・キリストの伝記/私生活/公生活のはじめから第一の過越祭まで/第一の過越祭から第二の過越祭まで/たとえを語った日/第二の過越祭から最後の幕屋祭まで/最後の幕屋祭から最後の奉殿祭まで/最後の奉殿祭から最後のユダヤ旅行まで/ユダヤに沿った最後の旅行から受難の週まで/受難の週間—日曜日と月曜日/受難の週間—火曜日と水曜日/受難の週間—木曜日/受難の週間—金曜日/第二の生命/追想/あとがき/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06508604	=
MB00742	キリスト伝	単訳	ジュゼッペ・リッチョッティ 著 フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1970	846,40p	序文/凡例/序論/イエズスの国/ヘロデ大王/ヘロデの後継者—アルケラオス、アンティパス、フィリップス/ローマの総督たち—ポンツィオ・ピラト/サドカイ派、ファリザイ派、律法学士、その他のユダヤの団体/神殿と司祭/衆議院/会堂/ユダイズムの慣習と思潮/源泉/イエズスの履歴/イエズスの外観/イエズスの生活についての合理主義的な解釈/イエズス・キリストの伝記/私生活/公生活のはじめから第一の過越祭まで/第一の過越祭から第二の過越祭まで/たとえを語った日/第二の過越祭から最後の幕屋祭まで/最後の幕屋祭から最後の奉殿祭まで/最後の奉殿祭から最後のユダヤ旅行まで/ユダヤに沿った最後の旅行から受難の週まで/受難の週間—日曜日と月曜日/受難の週間—火曜日と水曜日/受難の週間—木曜日/受難の週間—金曜日/第二の生命/追想/あとがき/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0721178X	=
MB00743	愛につばさを	共訳	カルロ・カレット 著 フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1971□	224p	私の心づもり/前がき/第一部 光にひたされて/信仰/信仰への召出し/希望/希望の歩み/愛/愛の歩み/第二部 人は一人きりでいてはならない/いっしょに生活する/愛ではなく、弱いのだ/人間とその働き/ひたいに汗して働け/物みなすべてを愛する/偶像をつくるな/第三部 神への賛美/祈願/信頼の祈り/神の啓示/私たちへの神の愛/第四部 新しい掟/練獄の火/主よ、おいで下さい	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA69062745	=
MB00744	物事の彼方へ	共訳	カルロ・カレット 著 フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1971□	282p	私の心づもり/第一部 第一章 砂漠に帰る/第二章 創造のたとえ/第三章 主の貧しいもの/第四章 試練をうける貧しいもの/第五章 物事のかなた/第六章 イエズス/第二部 第一章 ロシア人の巡礼者/第二章 小さくならないと/第三章 祈りと啓示/第四章 祈りと生活/第五章 夜ほど明るいものはない/第六章 祈るひまのない人の祈り/第三部 第一章 人間も絶対者である/第二章 心の貧しい人は幸せ/第三章 柔らかな人は幸せ/第四章 あわれみのある人は幸せ/第五章 心の清い人は幸せ/第六章 平和のために働く人は幸せ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA69063384	=
MB00745	砂漠からの手紙	共訳	カルロ・カレット 著 フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 訳	ドン・ボスコ社	東京	1971□	202p	まえがき/大岩の下で/愛について裁かれるだろう/あなたは“無”/世界を指導するのはだれ?/心を清める/“祈り”への旅/観想の祈り/道における観想/心の清め/派閥主義/ナザレト/一番低い席/ああ、この道を通る人/善人の反逆/“不可能”のない神/夜は友だち	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA69062949	=
MB00746	洗礼	単訳	R.P.A.ハンマン 著、 フェデリコ・バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1972	236p	序文/前がき/第一部 洗礼の歴史/第一章 洗礼—起源から現代まで/第二章 第二バチカン公会議と新しい洗礼式/第二部 教義の問題 第三章 私は唯一の洗礼を告白する/第四章 洗礼者ヨハネによるイエズスの洗礼/第五章 キリスト・イエズスにおいて受洗する/第六章 キリストにおいて教会を建てる/第七章 水と聖霊によって新たに生れるもの/第八章 そしてキリストはあなたを照らすであろう/第九章 あなたたちは、約束された霊の刻印(しるし)を受けたのである。/第十章 キリスト教に入信する/第十一章 信じて洗礼を受ける人は救われる/第十二章 地の塩・世の光/第三部 司牧問題/第十三章 子どもの洗礼の問題/第十四章 洗礼は必要か/第十五章 洗礼を受けていない人々の救い/付録 洗礼なしに死んだ子ども/第十六章 すべてのキリスト者のための唯一の洗礼/第十七章 現在洗礼をさずけること/結びにかえて/キリスト教入信 総則	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75935012	=

MB00747	面倒な福音 第1部	共訳	アレッサンドロ・ブロンザート 著 フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1973□	315p	序文／クリスマスのつらさを学ぶ／うまく作動しない“プレゼピオ”（うまや）／ある旅での驚き／子供には自由な空気がある／人は、銃を手にしたゴリラか？／聖堂入場券には割引がない／白髪になったのをかんべんしてもらいたい／見知っていたがためにこそ認めようとしなかった／神の休みとキリスト信者の仕事／パン／秤の上の二千頭の豚／ひがんだ目／創ることばと、花咲く石地／金持、この知恵足らずの者／金持、この不運な者／危なげのない職業／井戸端での聖別／浮気女／教壇に立つ一人の盗人／屋根裏に置き忘れたものは何か／桑葉いちじくの上から一にぎりの苛責の念を／「見失ったもの」我々が見失ったもの	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN16111618	＝
MB00748	面倒な福音 第2部	共訳	アレッサンドロ・ブロンザート 著 フェデリコ・バルバロ、尾方寿恵 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1973□	261p	序文／預言者に拍手するのを禁じる／キリスト信者は歴史とかかわり合いがある／私たちが、手に石を握り／高度の外科手術／光の山がアスファルトの方へ歩む／罪人の教会／我々に“あわれみ”の何たるかが判るだろうか？／足の代りに、告白する／放蕩息子が、さけることのできる危険／家とおばさん／道の反対側によけないで／笑いは、まじめな事実である／時期を守っただけの罪を犯したいいちじくの木／毒のある血／遊びの仲間に入りたいのはだれか／祭り気分をぶちこわす／品行は十点満点／神殿清掃作戦／入れ、取引は終わった／主よ、眠ることを教えて下さい／キリスト教の最初の聖人が、暦にはのせられていない／山はそこから動かなかった	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN16111618	＝
MB00749	新約聖書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1975年1刷、1981年新装版第1刷、1987年大型版	698,29p	緒言／マテオによる福音書／マルコによる福音書／ルカによる福音書／ヨハネによる福音書／使徒行録／ローマ人への手紙／コリント人への第一の手紙／コリント人への第二の手紙／ガラツィア人への手紙／エフェソ人への手紙／フィリッピ人への手紙／コロサイ人への手紙／テサロニケ人への第一の手紙／テサロニケ人への第二の手紙／ティモテオへの第一の手紙／ティモテオへの第二の手紙／ティトへの手紙／フィレモンへの手紙／ヘブライ人への手紙／ヤコボの手紙／ペトロの第一の手紙／ペトロの第二の手紙／ヨハネの第一の手紙／ヨハネの第二の手紙／ヨハネの第三の手紙／ユダの手紙／ヨハネの黙示録／付録（索引・年表・地図）	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04429562	＝
MB00750	福音書の世界	単訳	ミメツフ 編 フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1976□	366,8p	まえがき／第一部 イエズスの足跡を訪ねて／ガリラヤ／サマリヤ・ユダヤ／エルサレム／第二部 福音書の世界／一 パレスチナの地理とエルサレム／二 イエズスの時代／その政治とユダヤ教／三 福音書紹介／第三部 イエズスの福音／索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04440011	＝
MB00751	聖書：旧約・新約	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1980、1981年特装限定版	406,32p		https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03412054	＝
MB00752	エジプトをのがれて：脱出の書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.11□	154p	まえがき／神がモーゼに与えた役割 田中澄江／エジプトをのがれて《脱出の書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06747150	＝
MB00753	キリスト教のあゆみ：使徒行録・ヨハネの黙示録	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.11□	151p	まえがき／キリスト教の布教と受難 田中澄江／キリスト教のあゆみ《使徒行録》／《ヨハネの黙示録》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09899268	＝
MB00754	苦難を乗り越えて：ヨブの書・格言の書・雅歌	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.12□	311p	まえがき／神への篤信 田中澄江／苦難を乗り越えて／《ヨブの書》／《格言の書》《雅歌》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38697287	＝
MB00755	イエズスのことば：マテオ・マルコ・ルカ・ヨハネによる福音書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.10□	351p	まえがき／生きる指針となる言葉 田中澄江／イエズスのことば《マテオによる福音書》／《マルコによる福音書》／《ルカによる福音書》／《ヨハネによる福音書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06752274	＝
MB00756	希望の大預言者：イザヤの書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.11□	320p	まえがき／ はじめて語られたキリスト誕生の予言 田中澄江／希望の大預言者《イザヤの書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06752092	＝
MB00757	信仰と愛と希望と：詩篇	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.10□	367p	まえがき／えらび抜かれた珠玉の言葉 田中澄江／信仰と愛と希望と《詩篇》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06747208	＝
MB00758	天地創造：創世の書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.10□	205p	まえがき／新書版聖書のはじめに 田中澄江／天地創造《創世の書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06746679	＝
MB00759	天地創造：旧約聖書：創世の書	訳注	フェデリコ・バルバロ 訳注	講談社	東京	2011.4□	253p	まえがき／《創世の書》解説／旧約聖書 天地創造《創世の書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB05409464	＝

MB00760	パウロの手紙	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1981.12	239p	まえがき/神の栄光への確信 田中澄江/パウロの手紙 解説/ローマ人への手紙/コリント人への第一の手紙/コリント人への第二の手紙/ガラツィア人への手紙/エフェソ人への手紙/フィリッピン人への手紙/コロサイ人への手紙/テサロニケ人への第一の手紙/テサロニケ人への第二の手紙/ティモテオへの第一の手紙/ティモテオへの第二の手紙/テイトへの手紙/フィレモンへの手紙/ヘブライ人への手紙	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38697866	二
MB00761	伝道者のことば：コヘレットの書・知恵の書・シラの書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1982.1	328p	まえがき/神のはからいを深く感じさせる書 田中澄江/伝道者のことば/《コヘレットの書》/《知恵の書》/《シラの書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0676008X	二
MB00762	イスラエルの勝利：マカバイの書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1982.2	144p	まえがき/唯一神をまもるための戦い 田中澄江/イスラエルの勝利《マカバイの書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38696477	二
MB00763	憐みの大預言者：エレミアの書・哀歌	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1982.2	293p	まえがき/預言者の悲惨な運命 田中澄江/憐みの大預言者/《エレミアの書》/《哀歌》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38697571	二
MB00764	平和の預言者：エゼキエルの書・ダニエルの書	単訳	フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1982.1	232p	まえがき/いまに生きる預言者の言葉 田中澄江/平和の預言者/《エゼキエルの書》/《ダニエルの書》	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06760374	二
MB00765	聖母マリアの詩：マリア・ワルトルタの著作による 下	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1986.1 1988年5 版	393p	序文/1 ユダ・タデオはイエズスをカナの婚礼に招待する/2 イエズスはカナの婚礼に列席する/3 婦人よ、それが私とあなたとの間に“もはや”何のかかわりがありますか/4 逾越祭の後、イエズスは六人の弟子と一緒にナザレトへ戻る/5 イエズスと羊飼いのエリヤ、レビ、ヨゼフ/6 ユッタに、羊飼いのイザクを訪れる/7 イエズスはエスデレロンを目指して出発する/8 イエズスはエスデレロンの平原で、羊飼いのヨナに会う/9 ヨナを残して、イエズスはナザレトへ戻る/10 ナザレトの家での翌日/11 イエズスは叔父の家に/12 イエズスは弟子たちについての母の意見を聞く/13 使徒たちはどんなに欠点だらけだったか!/14 イエズスはクザのヨハンナを治す/15 イエズスはレバノンで、羊飼いのベンヤミンとダニエルに会う/16 イエズスは海岸の町で、ヨナについての手紙をもらう/17 イエズスは従兄弟のシモンと和解する/18 イエズス排斥の態度をとるナザレト/19 イエズスは母と一緒に、クザのヨハンナの家を訪れる/20 アンナの家でのぶどうの収穫と、麻痺の子供の奇跡/21 イエズスとドラス。ヨナが死ぬ/22 アグラエ/23 顔を隠した女/24 マナエン、美しい水に現れる。イエズスのある奇跡/25 イエズスの歌/26 ヴェールの女の住んでいた所/27 イエズスは“美しい水”から去って、ベタニアの方へ行く/28 ヴェールの女が逃げる/29 イエズス、ナザレトへ戻る/30 アグラエはナザレトにマリアを訪れる/31 エンドルのヨハネの改心/32 小さなヤベ/33 エンガンニムからエルサレムへ/34 ベロットからゲッセマニへ/35 イエズスはベタニアで母と会う/36 マリアの取り次ぎの力/37 アグラエはイエズスを訪れる/38 放蕩息子のたとえ/39 使徒や弟子たちと一緒に、イエズスがベトレヘムを訪れる/40 二人の母/41 ケリオットのユダ、ナザレトで一日を過ごす/42 私は、母であるより先に神の娘また婢です/43 処女マリアの嘆き/44 復活/45 イエズス、母に現れる/46 聖母マリアの幸いな帰天/47 マリアの被昇天	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04458243	二

MB00766	聖母マリアの詩：マリア・ワルトルタの著作による上	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1985.7 1988年5 版	336p	<p>序文／1 マリアは、御父の長女と呼ばれてよい／2 ヨアキムとアンナが、主に願を立てる／3 神殿でのアンナの祈りは聞き入れられる／4 ヨアキムは義人の女にこもっていた神の上智を娶った／5 アンナは賛歌をもって母となったことを告げる／6 “汚れのない女”は、絶えず神を考えていた／7 処女マリアの誕生／8 彼女の魂は、御父が考えられた時と同じように全く美しい／9 私の百合よ、三年経ったら、あなたも、そこにいるでしょう／10 鳩の心の全きの処女／11 私の喜びよ、この聖なることを、どうして知っているのか？だれに教えられたのか？／12 御子は、御母の口に、ご自身の上智を与えられたでしょう？！／13 マリアは神殿に奉獻される／14 ヨアキムとアンナとが死ぬ／15 あなたは、キリストの母となるかもしれない／16 神は、あなたに花婿を与えるだろう／17 ヨゼフは、処女マリアの浄配に指定される／18 ヨゼフと処女マリアの婚姻／19 ヨゼフは“封印の上の封印”天の門の前の大天使としておかれる／20 マリアの一行はナザレトに着く／21 お告げ／22 古のエバの不従順／23 新しいエバは、すべてにおいて従順であった／24 原罪について／25 エリザベトの懐胎がヨゼフに伝えられる／26 夫に弁解するのは、私にまかせよ／27 マリアとヨゼフは、エルサレムへ行く／28 エルサレムからザカリアの住まいへ／29 祈りによる保護を、ないがしろにするな／30 ザカリアの家に着く／31 マリアは、エリザベトに、その名（イエズス）を現わす／32 マリアは、自分の子供のことを話す／33 神の恵みは、私たちを更によいものにすべきである／34 洗礼者ヨハネの誕生／35 母の私の胸に頭を寄せる人に、すべての希望は咲く／36 洗礼者ヨハネの割礼／37 光を迎えるに心を整えよ／38 洗礼者ヨハネを神殿に奉獻する／39 ヨゼフが、それほど聖なるものでなかったら、神の光はもらえなかったでしょう／40 ナザレトのマリアは、ヨゼフと話し合う／41 主に委託せよ／42 人口調査の勅令／43 愛するとは、感情と利益を超えて、相手に満足を与えることである／44 ベトレヘムへの旅／45 主イエズスの誕生／46 私マリアは、私の神的な母性をもって女をあがなった／47 羊飼いたちの礼拝／48 羊飼いたちには、みことばの礼拝者である、すべての資格が備わっている／49 ザカリアの訪問／50 ヨゼフは“聖別された人”の保護者でもある／51 イエズスが神殿に奉獻される／52 前の場面で教えられること／53 聖母の子守歌／54 三人の博士の礼拝／55 博士たちの信仰についての感想／56 エジプトへ逃げる／57 苦しみはさまざまな形で、いつも私たちとともにあった／58 エジプトにおける聖家族／59 その家では、秩序が守られている／60 イエズスが、初めて大工仕事を教えられる／61 私の年にふさわしく生きようとした／62 イエズスとユダ、ヤコボの先生マリア／63 成人イエズスの服の準備／64 イエズスの成人式のために、ナザレトからの出発／65 神殿で成人イエズスの試験／66 神殿での先生たちとのイエズスの討論／67 イエズスを見失った時の、マリアの苦しみ／68 聖ヨゼフの死／69 マリアは、ヨゼフの死で激しく悲しんだ／70 母からの別れとナザレトからの出版／71 マリアは、キリストのあがないの業に、最も協力したので泣いた／72 隠れた生活の結び</p>	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04458243	二
---------	--	----	---------------------------------	-------	----	-----------------------	------	--	---	---

MB00767	マグダラのマリア	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1985.3 (1989第 6刷)	434p	序文/邦訳刊行にあたっての紹介/1 イエズスは、初めてベタニアでラザロに会う/2 ティベリアデ湖で、イエズスはマグダラのマリアに会う/3 ラザロの家で、マルタはマグダラのマリアのことを語る/4 また、ラザロの家で。アリマタヤのヨゼフの招待/5 イエズスは、アリマタヤのヨゼフの宴会で、ガマリエルに会う/6 イエズスとニコデモ/7 イエズスは、またラザロの家へ行く/8 熱心もののシモンの家で/9 羊飼いたちとともに、ラザロの家での奉殿記念祭/10 山上の説教が終わる時に、マグダラのマリアが現われる/11 マグダラで、イエズスは二回目にマグダラのマリアに会う/12 ベンヤミンの母の家で/13 ベタニアで「先生、マリアはマルタを呼んだ」/14 イエズスとマルタ、カファルナウムで/15 律法を思い出させて後、私はゆるしの希望の歌を聞かせた/16 イエズスはマルタにいう「あなたはもはや勝利を手中にしている」/17 ファリサイ人のシモンの家/18 多く愛した人に、多くゆるされる/19 マグダラのマリアの回心についての考察/20 一人の霊魂をもうけるために、ある友情を失ってもよい/21 聖母マリアは、マグダラのマリアを弟子たちに紹介する/22 漁師たちのたとえ/23 マルジアムは、マグダラのマリアに「主の祈り」を教える/24 「私は力強く愛する人」とイエズスはフィリッポに言う/25 年寄りのローマ人の回心/26 カナの家で/27 ヨハネが、タボル山の上でイエズスの話をくり返す/28 母マリアは、マグダラのマリアに教える/29 ギリシア人の女奴隷シンティカ/30 マルタ、マグダラのマリア、シンティカとの別れ/31 エウフラテス川の彼方の商人/32 マルタ、マルタ……必要なことは一つだけである/33 衆議会のファリサイ人の宴会にあずかるイエズス/34 ベタニアへ、ラザロの家で/35 使徒たちとともに、またベタニアへ/36 ユダヤ人が、ラザロの家を訪れる/37 マルタは、イエズスに使いを送る/38 ラザロの死/39 ラザロの葬式の時に/40 ラザロがよみがえる/41 ラザロのよみがえりについての感想/42 イエズスは、またベタニアへ行く/43 イエズスと女弟子たち/44 ベタニアでの晩餐/45 復活の朝のマグダラのマリア/46 敬虔な婦人たち墓へ行く	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0589369X	二
MB00768	イエズスの受難	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1986.5	421p	序文/1 ラザロからの別れ/2 ユダが州議会の長たちを訪れる/3 ベタニアからエルサレムへ/4 イエズスはエルサレムへ入る/5 枝の祝日の夕方/6 エルサレム入城後の月曜日/7 過越祭の前の火曜日(昼)/8 過越祭の前の火曜日(夜)/9 過越祭の前の水曜日/10 過越祭の前の木曜日(昼)/11 宴の部屋の記述と、最後の晩餐の前の母からの別れ/12 過越祭の晩餐/13 ゲッセマニでのイエズスの苦しみと逮捕/14 いろいろな裁き/15 キリストを裁くピラトについての感想/16 裏切り後のケリオットのユダ/17 ユダは、マリアの足元にひれ伏して、わびたならば、「あわれみの母」に負傷者のように迎えられるに違いない/18 ヨハネは御母を迎えに行く/19 総督館からカルワリオまで/20 はりつけ/21 マリアタヤのヨゼフの墓、マリアの受難/22 最後の晩餐の部屋に戻る/23 聖金曜日の夜/24 聖土曜日の昼/25 聖土曜日の夜	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04275593	二
MB00769	聞いている愛の心	単訳	テイラー・カルドウェル 著 フェデリコ・バルバロ 訳	ドン・ボスコ社	東京	1986.8	372p	まえがき/聞いている愛の心/序/聞いているお方/第一の魂 告白した女/第二の魂 見捨てられた者/第三の魂 軽んじられ、見捨てられた者/第四の魂 裏切られた者/第五の魂 御父のこと/第六の魂 “愛する”ことを知った女/第七の魂 裏切り者/第八の魂 判決/第九の魂 主に油を注がれた者/第十の魂 ファリサイ人/第十一の魂 教師/第十二の魂 医師/第十三の魂 破壊者と、聞いているお方	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA60185666	二

MB00770	イエズスに出会った人々：マリア・ワルトルタの著作による	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1987.5	364p	序文/1 イエズスはヨルダン川で洗礼を受ける/2 ヨハネにはどんなしるしも必要ではなかった/3 イエズスは荒野で悪魔に試みられる/4 悪魔はいつも好意的な態度を装って現れる/5 ヨハネとヤコボとの出会い/6 私はヨハネをその純潔のゆえに愛した/7 ヨハネとヤコボとがメシアについてペトロと話す/8 ペトロは初めてキリストに出会う/9 ヨハネは謙遜においても偉大であった/10 イエズスはベツサイダのペトロの家で、フィリッポとナタナエルといふ出会う/11 ケリオットのユダとトマとに出会う。熱心もののシモンへの奇跡/12 トマは弟子になる/13 アルフェオのユダ、トマ、シモンが、ヨルダン川でイエズスの一行に加わる/14 カファルナウムで盲目の人を治す/15 会堂で治されたカファルナウムの悪魔つき/16 シモン・ペトロの姑が治される/17 イエズスはペトロの家で説教し、奇跡を行う/18 イエズスは夜中に祈る/19 イエズスは魚門で、折れた刀の奇跡を行う/20 イエズスは神殿で伝道する/21 イエズスはケリオットのユダに教える/22 イエズスはゲッセマニで、ゼベデオのヨハネに出会う/23 イエズスはケリオットのユダと一緒に、熱心もののシモンとヨハネに出会う/24 イエズス、ヨハネ、シモン、ユダは、ベトレヘムへ行く/25 イエズスはベトレヘムで、農夫の家と洞穴を訪れる/26 イエズスはアンナの家の上で説教する/27 イエズスはヘブロンで、ザカリヤの家を訪れる/28 イエズスはケリオットへ行く/29 イエズスは羊飼いたちと一緒に、ヘブロンの近くまで来る/30 試みの岩のところに/31 ヨルダン川の浅瀬で、ヨハネとマティアとシメオンの羊飼いに会う/32 ケリオットの人々はディオメデスに、アグラエの装飾品を売る/33 イエズスはユダのことで涙を流し、熱心もののシモンに慰められる/34 イエズスはエルサレムへ戻る。ケリオットのユダが神殿で話す。ゲッセマニにて/35 イエズスは魚門で、アレキサンドロ兵と話す/36 イエズスは橄欖山で、弟子たちに訓戒を与える/37 マリアの家のそばで、イエズスの弟子たちへの教訓が続く/38 ナザレトの庭で、聖母マリアとともにいる弟子たちへの教訓/39 コロザインの美女の治癒。カファルナウムの会堂での説教/40 アルフェオのヤコボは弟子の一人として迎えられる。イエズスはマテオの事務机のそばで説教する/41 イエズスはベツサイダで、群衆に説教する/42 マテオが召される/43 イエズスはティベリアデで、クザの家にヨナタを捜す/44 イエズスはメロン湖の付近のヤコブの家で/45 兵卒アレキサンドロは小さな子供の治癒を頼む/46 ドーコで癌を患っているエルザを治す/47 会堂司の家で	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05089776	二
MB00771	イエズスに出会った人々：マリア・ワルトルタの著作による2	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1989	425p	序文/1 サマリヤの女、フォティナイ/2 スカルの人々と/3 シカルでの伝道/4 シカルの人々に別れを告げる/5 シカルの女の奇跡、使徒たちへの訓戒/6 イエズスはエンノムの付近で、洗者ヨハネを訪れる/7 カナの Suzanne の家に、王官が現れる/8 ゼベデオの家で、サロメは弟子として認められる/9 カイザリアで、小さなローマ人の女を治す/10 アンナリヤが処女性を神に捧げる/11 イエズスはクザのヨハンナに湖上で語る/12 ネフタリからギスカラへ。ラビ・ガマリエルに出会う/13 カファルナウムのファリサイ人のエリの孫が治される/14 エリの孫に対する奇跡の後、カファルナウムの家で/15 カファルナウムのファリサイ人のエリの家での宴/16 使徒たちを選ぶ前に、イエズスは山へ行く/17 クザのヨハンナの家で、ローマの婦人に会う/18 山の麓で、癩病者が治される/19 百夫長の下僕が治される/20 死人は死人に葬らせておけ/21 沈められた突風/22 ガダラの悪魔つき/23 ナインの未亡人の息子のよみがえり/24 イエズスと異邦人、ベタニアで会う/25 エリーザを訪れて、ベツツールへ/26 エリーザの家で―――苦しみを生かさない/27 ヘブロンに向かって行く。ユダの考え方と使徒たちの考え方/28 ヘブロンで歓迎される/29 ケリオットの会堂で、ユダの涙/30 ベットジンナの悪魔つきの娘/31 アスカロンを目指す平原で/32 イエズスは安息日の主でもある/33 イエズスはアスカロンに向かう/34 アスカロンで、伝道と奇跡/35 イエズスはマグダラガッドで、偶像を灰じんに帰す/36 ヤブニアからモディンへ……イエズスのことば/37 イエズスは強盗たちに話す/38 ヤイロの娘と出血症の女/39 ガリラヤのベトレヘムで/40 一人の律法学士との対話/41 マリアとマティア/42 愛徳がなければ、すべてが空しい/43 イエズスはどんな貧しきをも豊かな富に変えられる/44 “みなし子たちには一人の母がいてほしい”/45 ナザレトで起こったこと/46 エンドルのヨハネはアンティオキアへ行く/47 カナの母/48 メイエロンに向かって……ユダという謎/49 ギスカラで、ヒツレルの墓を訪れて/50 神の国において、最も偉大なるもの/51 ヨハンナの家で/52 クラウディア	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05089776	二

MB00772	イエズスに出会った人々：マリア・ワルトルタの著作による3	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1990.6	350p	序文/1 過越祭の用意日の金曜日/2 パラシェーダヴェの日に、神殿の中で/3 過越祭の用意日の昼/4 過越祭の夕方/5 種なしパンの土曜日/6 アドミンの山に向かって/7 カリット山における静修の後/8 エッセン派とファリサイ派の人々/9 ニケの家で/10 エリコとベタバラの間の浅瀬の渡し場であったこと/11 サロモンの家で/12 ガルガラにおいて/13 エンガッティに向かって……ユダとシモンからの別れ/14 エンガッティに着く/15 エンガッティの癩病人が治る/16 アンナとケリオットのマリア、ユダの母に、別れを告げる/17 別れ——ユッタにおいて/18 ヘブロンからの別れ/19 ベテルに着く/20 ベテルに別れを告げる/21 ニコデモの領地で/22 アリマタヤのヨゼフを訪れて/23 アリマタヤのヨゼフの家で衆議会員のヨハネと話す/24 使徒たちが話す/25 平原での落穂拾いの奇跡/26 エリコへ行く道での乞食/27 ザケオの回心/28 「私は取るに足らぬ下僕である」と、あなたたちも言いなさい/29 海のカイザリアで/30 一人の奴隷女の解放/31 宗教とは/32 エステレロンの平原を通過して/33 イエズスと落ちた巣/34 すべてのことにおいて神を見る人は幸いである/35 エステレロンの平原で道を続けて/36 ヨハネの農夫たちと一緒に/37 ナザレトで/38 ナザレトの平和の中の安息日の日々/39 イエズスとマリアの対話/40 マリアはティベリアアデへ行く/41 恵みに対して感謝をもって答えるべき/42 ケリオットのユダがナザレトのマリアを訪れる/43 カファルナウムで、イエズスは小さな子供たちを弁護する/44 イッポに入る前の村で/45 「編集者のことば」/46 タリケアにて	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05089776	二
MB00773	メデュゴリーエでの聖母の出現：鉄のカーテンの彼方から平和の声	単訳	バルバロ 著	ドン・ボスコ社	東京	1987.12	188p	序文/第一部 聖母マリアが選んだ国 1 最初の出現/2 ユーゴスラビア/3 モザイクの国/4 メデュゴリーエ/第二部 不思議な出現 1 最初の神秘的な出会い/2 第二の出現/3 “見る若者”たちの短い紹介/4 一度だけ出現を見た人々/5 私は処女マリアである/6 警察の干渉/7 第六と第七の出現/8 真性/9 疑惑/10 フランシスコ会とメデュゴリーエ/11 委員会「ザグレブの文書」/12 信者の感受性/13 奇跡/14 証人/15 カリスマの新しい世代/16 二代目の見る人たち/17 メデュゴリーエは何を意味するか/18 マリアが現れるとき/19 メッセージ 1 マリア聖堂と出現/2 出現/3 マリアのメッセージ/4 改心への道である平和/5 謙遜/6 祈り/7 信頼/8 聖徳/9 平和/第四部 付録 1 一九八六年のメッセージ/2 一九八七年、最後のメッセージ/3 ミリアーナへの特別なメッセージ/4 主の到来	—	二
MB00774	イエズス—たそがれの日々	単訳	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1990.12	377p	序文に代えて/1 ヨルダン川の彼方のクザの別荘/2 どんな罪にも準備の経過がある/3 イエズスは主の国と法律について話す/4 シロ、フェニキアの境から戻って/5 セフォリの方へ向かう/6 アルフェオのヨゼフ、イエズスとの対話/7 イエズスとサマリアの羊飼い/8 ガマリエル/9 イエズスは従兄弟の使徒たちと一緒に、ガリラヤ人の集まる所に行く/10 ヨナのシモンとイエズス/11 イエズスとペトラの男（エゼボンの近くで）/12 生まれながらの盲人が治る/13 ケリオットのウイの偽り/14 ベテロンにて/15 エリコへ向かって/16 イエズスはベトレキのサベアに関して裁く/17 イエズスと伊達男のユダ/18 イエズスを誘惑するために送られた罪の女/19 イエズスとケリオットのユダ、エルサレムへ/20 ローマ人の解放奴隷の会堂で/21 ユダとイエズスの敵たち/22 七人の癩病人が治される/23 イエズスは奉殿記念祭に与る/24 ご降誕の洞穴へ行って/25 イエズス、ヨハネとマナエン/26 受難が迫って/27 ラザロが蘇って後、エルサレムと神殿で起こったこと/28 エフライムへ向かって/29 エフライムでの最初の日/30 安息日の律法が偉大なら、愛の掟はそれ以上である/31 次の日/32 同じ日の夜/33 エフライムのある安息日/34 子供たちの親戚とシケムの人々/35 秘密の訓戒/36 マナエン/37 元はヨナタ・ベン・ウジエルの弟子で、後にイエズスに回心したサフォリム・サムエル	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0728660X	二

<p>MB00775</p>	<p>キリストにならう</p>	<p>単訳</p>	<p>バルバロ 訳</p>	<p>ドン・ボスコ社</p>	<p>東京</p>	<p>1953年初版、1992年23版、2001年改訂版</p>	<p>361p</p>	<p>序論／第1巻 1 キリストにならう、世のはなかいものに心をかたむけないこと／2 へりくだる／3 真理を知る／4 慎重に行う／5 聖書をよむ／6 きりのない欲望／7 空しい自負心とうめぼれとをさける／8 なれ親しむな／9 従順と服従／10 無駄な言葉をさける／11 平和と、完徳に進む熱心とをえる方法／12 患難の利益／13 誘惑に抵抗する／14 邪推をさける／15 愛徳のために行う／16 他人の欠点をしのぶ／17 修道生活／18 教父たちの模範／19 よい修道者の修行／20 孤独と沈黙とを愛する／21 悔いあらため／22 人生のみじめさを思う／23 死を黙想する／24 罪人の審判と罰／25 生活を熱心にあらためる／第2巻 1 神と靈魂とのまじわり／2 謙遜な服従／3 平和を愛する人／4 心の清きと意向の正しさ／5 自分を反省する／6 正しい良心のよるこび／7 万事にこえてイエズスを愛する／8 イエズスとの親しい友情／9 慰めを失う／10 神の恵みに感謝する／11 イエズスの十字架を愛する人は少ない／12 十字架の黄金の道／第3巻 1 忠実な靈魂に語るキリストの親しい会話／2 真理は、言葉なく私たちのうちに語る／3 神のみ言葉は、謙遜に聞かねばならない、しかしそれを重んじる人は少ない／4 神のみ前に、謙虚に真実に生きる／5 神の愛の感嘆すべき効果／6 愛する者への試練／7 謙遜をもって神の恵みをおおう／8 神のみ前に自分をいやしむ／9 究極目的の神に一切を帰する／10 この世をすてた者にとって、主に奉仕することはたのしい／11 心の願望をしらべ、またそれを抑えなければならぬ／12 忍耐の実行、感覚とのたたかい／13 イエズス・キリストの模範にならう、謙虚な下僕の従順／14 善業におごらぬために、ひそかな神の道を考える／15 のぞむことについて、どう行い、どう語るか／16 まことの慰めは神だけにある／17 心配を神にゆだねる／18 地上の苦しみを、キリストの模範にしたがって平静にたえしのぶ／19 侮辱を忍ぶことと、まことの忍耐／20 自分の弱さと、この世のみじめさを告白する／21 どんな善にも賜にもまさって、神のうちに平和を見出す／22 神の恵みを忘れてはならない／23 心に平和を与える四つの条件／24 好奇心にかられて他人のことをさぐってはならない／25 心の平和と真の靈的進歩はどこにあるか／26 地上のわずらいからとき放たれた靈魂の超越性、それは読者からではなく、謙遜な祈りから受ける／27 人を神から遠ざけるのは自愛心である／28 悪口をいう人にたいして／29 患難のとき、神に願い、神を祝する／30 神の助けをこい願い、恵みが再び下ることを信じる／31 創造主を見出すために、一切の被造物をすてる／32 自分をすて、邪欲をたつ／33 心の変わりやすいこと、最高の目的を神におくこと／34 主を愛する心は、すべてにおいて、すべてにまさって主を味わう／35 この世ではつねに試練がある／36 人間の空しい判断／37 心の自由をえるためには自分を捨てねばならない／38 外部には正しく行い、危険に際して主によりたのむ／39 人は俗事にわずらわされてはならない／40 人間は、自分のものとして、何のよい物ももっていない、何一つ誇れない／41 地上の名誉を軽んずる／42 人間から平和を期待してはならない／43 空しい世俗の知識／44 外部のことに関心を持ちすぎはならない／45 誰でも信用してよいとはいえない、言葉の過失はおかしやすい／46 辛辣なことをいわれたときには、神によりたのむ／47 永遠の生命を得るために、どんな犠牲もたえしのぶ／48 永遠の日とこの世の息苦しさ／49 永遠の生命へのあこがれと、そのためにたたかう人に約束されたむくい／50 悲しみもだえるとき、人はすべてを神の御手にまかせねばならない／51 崇高なことをしきれないときには、低い信心行につとめよ／52 自分は、慰めでなく罰に値する者だと思わねばならない／53 この世の物にしたがうと、神の恵みがくだらない／54 肉と神の恵みとのことなるはたらき／55 肉のだらくと神の恵みの結果／56 自分をすて、十字架をになってキリストにならえ／57 過ちをおかしても、落胆してはならない／58 深遠な奥義や、計り知れない神の御旨を、みだりにさぐってはならない／59 希望と信頼とを神におく／第4巻 1 どれほどうやうやしくキリストを拝領せねばならないか／2 聖体の秘跡において、神の仁慈と愛とが人にあらわされる／3 しばしば聖体を拝領するがよい／4 敬虔に聖体を拝領する者は、ゆたかに恵まれる／5 秘跡の尊さと司祭職／6 聖体拝領の準備のための祈り／7 良心の糾明とよくなるうとする決心／8 十字架上のいけにえと、キリストへの自己奉獻／9 自分と自分のすべてを神にささげ、すべての人のために祈る／10 聖体拝領を平気で怠ってはならない／11 敬虔な靈魂には、キリストのお体と聖書とが必要である／12 聖体拝領をする人は、特に準備をせねばならない／13 敬虔な人は、聖体の秘跡によってキリストと一致することを望まねばならない／14 聖体に対して、敬虔な人々の熱烈な望み／15 敬虔の恵みは、謙遜と自己放棄とによって得られる／16 必要なものをキリストに打ちあげ、その恵みを願う／17 キリストを拝領したいという深い愛とはげしい望み／18 人間はこの秘跡をみだりに探ってはならない。むしろへり下ってイエズスに従い、自分の理性を信仰に服従させねばならない（1992年23版の目次）</p>	<p>https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB02438943</p>
----------------	---------------------------------	-----------	---------------	----------------	-----------	----------------------------------	-------------	---	--

MB00776	聖福音書：合併版	編集	フェデリコ・バルバロ 編	キリスト教名著 普及会	東京	1994.6□	513,65	序言／第一編 イエズスの幼時／第二編 イエズスの公生活 I 準備 ヨハネの洗礼から第一の過越祭まで／II 最初の過越祭からガリラヤにおける宣教のはじめまで／III ガリラヤにおける最初の宣教／IV ガリラヤでの宣教を中止、再びエルザレムに上るイエズス／V ガリラヤにおける第二の宣教／VI ユダヤとベレアでの宣教／第三編 受難 I 枝の日曜日／II 聖月曜日／III 聖火曜日／IV 聖水曜日／V 聖木曜日／VI 聖月金曜日／VII 聖土曜日／第四編 復活と昇天 I ユダヤでの出現／II ガリラヤでの出現／III 昇天／付録 歴史上の人物としてのイエズス・キリスト／年譜表／イエズスの時代の国と状況	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11909794	—
MB00777	受難の前日	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1994.3□	239p	I ケリオットのユダは泥棒だった／2 過越祭の前、サマリアへの旅／3 レボナで、助言の価値について話す／4 シケムへ／5 義人には、助言の値打ちが分かる／6 イエズスは、エノンへ行く／7 エノンにて――少年ベンヤミン――／8 イエズスは、サマリア人に追い返される／9 金持ちの若者との出会い／10 受難についての第三の予言――ゼベデオの子らとその母――／11 イエズスは、見知らぬ弟子たちに話す／12 エリコの盲人、二人／13 イエズスはベタニアに着く／14 エルザレムに入る前の金曜日（1）――イエズスとケリオットのユダ――／15 エルザレムに入る前の金曜日（2）――イエズスと女の弟子たち――／16 エルザレムに入る前の安息日（1）――マトウザレム、またの名シャレムの奇跡――／17 エルザレムに入る前の安息日（2）――ベタニアにおいて、巡礼者とユダヤ人――／18 エルザレムに入る前の安息日（3）――ベタニアでの晩餐――／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN10922538	—
MB00778	復活	訳編	マリア・ワルトルタ 著 フェデリコ・バルバロ 訳編	あかし書房	東京	1997.1	284p	1 イエズス復活の朝／2 復活のその夜明け――聖母マリアの悲嘆と祈り――／3 復活／4 イエズス、聖母に現れる／5 敬虔な婦人たちは墓に向かう／6 前の話に付け加える――イエズスはこう言われる――／7 友人ラザロに出現／8 ヨハンナへの出現／9 ヨゼフ、ニコデモ、マナエンへの出現／10 エンマウスの弟子たちへの出現／11 他の友人たちに出現する／12 十人の使徒たちへの出現／13 トマが帰る／14 イエズスが私（ワルトルタ）に言われる／15 イエズスはトマと一緒に使徒たちに現れる／16 ゲッセマニでの出現／17 使徒たちは、ゴルゴタに登る／18 イエズスは、様々な場所で信じる人たちに現れる／19 使徒と弟子たちにイエズスが語る／20 主の昇天／21 マティアが新しい使徒に選ばれる／22 聖霊降臨／23 大司祭としてのベトロ／24 聖母マリアはラザロとアリマタヤのヨゼフを迎える／25 聖母マリアとヨハネは受難の場所に行く／26 墓の聖骸布は聖母マリアに与えられる／27 ステファノの殉教／28 キリストとの出会いの違う様々の結果／29 聖ステファノの葬り／30 ガマリエルはキリスト者となる／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA4200921X	—
MB00779	聖書：旧約新約 口語訳	共訳	バルバロ、デル・コル 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1964年初 版、1978 年9版	463,3 5p	全聖書序論／索引／旧約聖書 歴史書／教訓書／預言書／新約聖書 歴史書／教訓書／預言書	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09462474	二
MB00780	福音朗読集 第1巻	共訳	バルバロ、デル・コル 共訳	碑文谷カトリック教会	東京	1973	563p	主日および祝祭日用	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14113215	二
MB00781	福音朗読集 第2巻	共訳	バルバロ、デル・コル 共訳	碑文谷カトリック教会	東京	1973	478p	平日用	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14113215	二
MB00782	福音朗読集 第3巻	共訳	バルバロ、デル・コル 共訳	碑文谷カトリック教会	東京	1973	590p	聖人の固有式文・共通式文・儀式にともなうミサ、いろいろな場合のためのミサ・請願ミサ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14113215	二
MB00783	旧約聖書の世界	共訳	ミメツ 編 フェデリコ・バルバロ 訳	講談社	東京	1984.3□	483p	まえがき／序論（解説）／聖書について／不思議な本／旧約聖書の目録／旧約聖書の内容／第一の時代 起源／第二の時代 太祖たち――前十九世紀～前十七世紀／第三の時代 ヘブライ人はエジプトから脱出する――前一二五〇年～一二三〇年ごろ／第四の時代 ヨシュアと判事――前一二〇〇年～前一〇五〇年／第五の時代 王制の始まり――前一〇五〇年～前一〇〇〇年／第六の時代 ダビドとソロモン――前一〇〇〇年～前九三〇年／第七の時代 二つの王国――前九三〇年～前五八六年／第八の時代 捕囚と神の期待――前五三八年～前一六七年／第十の時代 ヨシュアと判事――前一六七年～前一三五年	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07115720	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Piotrowski, Gerar		グラルド・ピオトロースキ			1885-?	カトリック・フランシスコ修道会	ポーランド			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00784	神の福音：主日の教え	単著	グラルド・ピオトロースキ 著	中央出版社	東京	1964	285p	序文/待降節第一の主日/待降節第二の主日/待降節第三の主日/待降節第四の主日/ご降誕の大祝日/ご降誕の大祝日の八日間中の主日/イエズス・キリストの割礼の祝日/ご公現の主日/公現後第一の主日(聖家族の祝日)/公現後第二の主日/公現後第三の主日/公現後第四の主日/公現後第五の主日/公現後第六の主日/七旬節の主日/六旬節の主日/五旬節の主日/四旬節第一の主日/四旬節第二の主日/四旬節第三の主日/四旬節第四の主日/ご受難の主日/聖木曜日/聖金曜日/ご復活の大祝日/復活後第一の主日(白衣の主日)/復活後第二の主日/復活後第三の主日/復活後第四の主日/復活後第五の主日/ご昇天の大祝日/ご昇天後の主日/聖霊降臨の大祝日/三位一体の祝日/聖霊降臨後第二の主日(聖体の祝日)/聖霊降臨後第三の主日/聖霊降臨後第四の主日/聖霊降臨後第五の主日/聖霊降臨後第六の主日/聖霊降臨後第七の主日/聖霊降臨後第八の主日/聖霊降臨後第九の主日/聖霊降臨後第十の主日/聖霊降臨後第十一の主日/聖霊降臨後第十二の主日/聖霊降臨後第十三の主日/聖霊降臨後第十四の主日/聖霊降臨後第十五の主日/聖霊降臨後第十六の主日/聖霊降臨後第十七の主日/聖霊降臨後第十八の主日/聖霊降臨後第十九の主日/聖霊降臨後第二十の主日/聖霊降臨後第二十一の主日/聖霊降臨後第二十二の主日/聖霊降臨後第二十三の主日/聖霊降臨後最後の主日/童貞マリアの無原罪のおんやどりの祝日/罪なきみどり児などの殉教者の祝日/日本二十六聖殉教者の祝日/聖マリア被昇天の大祝日/アシジの聖フランシスコの聖痕の祝日/アシジの聖フランシスコの証聖者の祝日/布教の日/王たるキリストの祝日/諸聖人の大祝日/洗礼式/堅信式	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940024

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Pecher, René		ルネ・ピシエ			1913-?	カトリック・ドミニコ修道会	カナダ			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00785	風に聞きながら：ルネ・ピシエ神父叙階五十周年記念誌	単著	ルネ・ピシエ 著	松木町カトリック教会	福島	1986.12	189p	司祭叙階祝おめでとう 佐藤千敬/いちよう/もう恐れがない!/雪/エンマウスのでし/花見山/各自は使徒/誘致する/富士山頂/ご降誕の言葉/しばらくでした/神のまことの姿を隠すこと/想い出/いつでも夢を/イエズスが歩いておられると/風に聞け/三つのクリスマス/今年は/きみの昔の愛はどうなったのか/ご復活と桜/マリアさまは旧式か?/あるすばらしい本/「また会う日までね!」/ドミニコ/「家にいるのは、なによりも!」/クリスマスツリーをながめながら/四月が来るとき/五輪のバラ/ある幼な子/おさな子をながめて/希望/雀二、三羽/曙/なぜ/相馬焼き/神のご期待に応えた子ども/小さなクロッカスを見て/ただの朝ではなかった/三歩あゆまず/とっくり、一本ください/朝の声/十一月/山茶花とまぐさおけ/枯れ葉と新芽/レンブラントの名画/岸洋子を聞いて/花と雲と人と/花は咲く/二つの田/また会う日まで/「イエズスに気づかなかった……」/雪の話/三つの山/ゆく川の流れは/星と私/ある春の日/キリストはどこにいる/五月中の冥想/小さな木/すみれ/名のしらない花/紅葉の証/引き潮/羊飼いたちを思いながら—瞑想—/この子どものように/強情な春/夕暮れが近づき/青森湾を思い出しながら/喫茶店にて/汽車の窓から/秋のマリア/銀杏を見ながら/馬ぶねの前の瞑想/日記/お祭を見てから/秋/秋の螢/裏切らなかつた夜明け/ただの鳥/御復活と私/五月についてのバリエーション/汽車の窓から/運/神の賭/クリスマスの恵—厩の前の黙想—/友/コングレガシオン・ド・ノートルダム修道院/五十周年記念感謝の祭儀に於けるピシエ神父の説教/青木繁と日の出/子どもの目で/エマオの宿屋にて/八月十四日、海辺にて/略歴/編集後記	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0444190X	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Joseph Pittau		ヨゼフ・ピタウ		1928-2014		カトリック・イエズス会		イタリア		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00786	日本立憲国家の成立：明治初期政治思想に関する一考察	単著	ヨゼフ・ピタウ 著、内田文昭 訳	時事通信社	東京	1967	305p	はしがき/訳者序/序説/第一章 反封建的国家統一/第一節 天皇制の復活/第二節 御誓分と「公論」/第三節 社会の「民主化」/第四節 兵役と教育の平等/第五節 国内建設の原則/第六節 日本新国家/第二章 漸進主義対急進主義/第一節 君民共治の原理/第二節 木戸と大久保の漸進主義/第三節 板垣と建議者たち/第四節 民権運動指導者と新聞/第五節 エリート間の基本的合意/第三章 立憲政治をめざして/第一節 元老院草案/第二節 諸参議の意見/第三節 岩倉の原理/第四節 元田永孚と保守主義の影響/第四章 主権および自然権に関する論争/第一節 私擬憲法草案/第二節 主権論争/第三節 進化論対自然権/第四節 政府当局者対反政府側/第五節 専制主義—近代的なそれと伝統的なそれ—/第五章 ドイツの影響—ロエスラーと憲法制定—/第一節 ドイツの立法主義/第二節 シュタインとグナイストの政治思想/第三節 ロエスラーの社会法/第四節 ドイツとオーストリアにおける伊藤博文/第五節 ロエスラーの超然内閣主義/第六章 国家の新理論—井上毅、伊藤博文と憲法—/第一節 憲法の骨子/第二節 井上毅の国家論/第三節 伊藤博文と諸草案/第四節 枢密院における議論/第五節 妥協案と両面的価値/結語/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07861038	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2980177
MB00787	井上毅と近代日本の形成	単著	ヨゼフ・ピタウ 著	時事通信社	東京	1967	112p	はしがき/第1章 経歴と若き時代/時習館・横井小楠との討論/三計塾・安井息軒の『辨妄』/フランス語、西欧文明の研究/大久保利通、伊藤博文に見出される/第2章 明治十四年の政変/憲法制定の動き/井上毅の意見具申/英国型かプロシア型か/徴税権の重要性/プロシア型憲法採用を推進/第3章 明治憲法の制定/歴史的伝統に則した近代的政府組織/基本原理と井上の草案/夏島草案から最終案まで/枢密院における審議/天皇の主権と議会の「承認」/立憲主義の明白な公言/井上毅の貢献/第4章 教育勅語/国体の理念に基づく教育/教育勅語の思想/教育制度・内容の改革/富国強兵策としての教育/結び 井上毅の思想/儒教を存しキリスト教を排す/国体の理念/超然内閣主義/近代的なものとの伝統的なものの調和/注/付記	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN10441347	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2983890
MB00788	日本の近代化	講述	ヨゼフ・ピタウ著	富山県教育委員会		1978	50p	はじめに/自由と秩序との調和/小さな島国の良さ/同一言語、同一文化の国/教育水準の高さ/国の象徴の存在/日本人の宗教観/郷土を愛する/新しいナショナリズム/社会福祉と家族制度/国際性のかん養/おわりに	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13817835	
MB00789	ニッポンと日本人：見失われた心の再発見	単著	ヨゼフ・ピタウ 著	かんき出版	東京	1978.4	203p	プロローグ—私の家族、それは日本の若者/第一章 日本で見たこと学んだこと/ジュビリー (祝典)/日本語修業時代/日本語と国語/日本語と外来語/教育日本/落ちこぼれ/灰色/ワインの三原則/日本の味/コレラと国際理解/郷に従う/外人登録証/日本の結婚式/父と母/友情/独身/日本の交通/日本の海外駐在員へ/三つのエル/「感謝」ということ/第二章 これからの日本のために/日本人の精神性/日本人の国際感覚/日本人の美意識/受験と人生/大学生のために/人文科学の使命について/新しく社会に出る人のために/個人と組織/エピローグ—日本と日本人の将来のために	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04195610	
MB00790	カトリックにおける人間	単著	ヨゼフ・ピタウ 著	現代研究会	東京	1979.10	62p	カトリック教会と人材の育成/司祭の教育/修道会/質疑応答	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06753324	
MB00791	ニッポン人への熱い手紙：若者と教育をみつめて	単著	ヨゼフ・ピタウ 著	日本リクルートセンター出版部	東京	1982.5	249p	最初のニッポン発見 町のシンボルは学校だった/五右衛門風呂とモチと富士山/オペラ劇場の文化民主主義/教育は紙屑を拾うことから/学校は神様ではない/違和感がなかった日本文化/サルジニア島からの武者修行 自分は大切にされている/“島国根性”はよくわかる/戦火の中をローマへ/イエズス会の三つの請願/スペイン人になりきる/ハーバード大学にて 多様性のなかで感じた「怖さ」/明治の政治史と日本人の特質/黄金時代アメリカの栄光と影/日本の大学教育の特性 大学教師としての初仕事/「知識」より「学ぶ方法」/「先ず生きて」示す「先生」論/文化は清潔から/これからの大学と日本人 大学構想の三つの柱/共同体としての大学と家庭/私の実践的教育論/教育の理想と大学改革 アメリカにおける人間教育/日本の大学制度への提言/新しい国際人への道 表面の国際化/ノブレス・オブリッジの時代/“境界のない世界”への役割	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04195621	

MB00792	日本とはなんだろう	共著	司馬遼太郎、加藤秀俊、ヨゼフ・ピタウ	リブリオ出版	東京	1997.11	267p	司馬遼太郎：民族とその原形体制／歴史にみる人間の魅力―日本とはなんだろうという私見／歴史にみる人間の魅力―斎藤道三の場合／加藤秀俊：日本文化の反省／ヨゼフ・ピタウ：日本の近代化／はじめに／自由と秩序との調和／小さな島国の良さ／同一言語、同一文化の国／教育水準の高さ／国の象徴の存在／日本人の宗教観／郷土を愛する／新しいナショナリズム／社会福祉と家族制度／国際性の涵養／おわりに 日本文化の反省	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA34972823	—
MB00793	聖地アッシジの対話：聖フランチェスコと明恵上人	共著	河合隼雄、ヨゼフ・ピタウ 著	藤原書店	東京	2005.2	224p	はじめに 河合隼雄／明恵上人の生涯／聖フランチェスコの生涯／第I部 聖フランチェスコと明恵上人 1 夢・自然・女性―明恵 河合隼雄／2 カトリックの新しい風―聖フランチェスコ ヨゼフ・ピタウ／3 戦争の時代のなかで 河合隼雄、ヨゼフ・ピタウ／第II部 今、宗教と平和について考える 河合隼雄、ヨゼフ・ピタウ 1 宗教間の対話と協力のために／2 宗教から倫理へ／対談を終えて ヨゼフ・ピタウ／〈附〉聖フランチェスコと明恵上人 略年譜／聖フランチェスコ大聖堂で「明恵」を舞う―聖地アッシジでの公演の後に― 西川千麗	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA71291166	—
MB00794	時代の証言者	単著	ヨゼフ・ピタウ 著	ピタウ大司教の会	東京	2010.6	64p	ご挨拶／日本へ「帰国」自然なこと／母と教会へ 幼少の日課／信念の父 時代に屈せず／両親 悲しみと喜びと／才覚見抜いた修練院長／日本行き願う手紙／日本語学び中学教壇に／公会議で教会を刷新／改革 各国の文化尊重／司祭叙階 故郷が祝福／大学を一つの共同体に／苦渋の機動隊出動要請／大学改革で国際化推進／法王初来日 核廃絶訴え／法王 予定外の上智訪問／法王の命でローマへ／日テレ支援で壁画修復／「日本に戻る」願いかならず／バチカン教育省の次官に／大聖年に「さくらさくら」／新法王 厳しさと温かさ／視力衰えても感謝の日々／教育は家庭から始まる	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB06343463	—
MB00795	愛ある生き方	単著	ヨゼフ・ピタウ 著	海竜社	東京	2010.4	191p	はじめに―二十四年ぶりに日本に「帰国」して／人生の『羅針盤』をもつ―／大きな家族が人を育てる／親が子に教え伝える人生の柱／「いい人間」に必要なこと／人生の『羅針盤』を持つ／「一人ひとり」を大切に―人間関係の知恵／「人間」という日本語はすばらしい！／社会正義や国際性の真の意味／最も大切にしたのは「人間の尊厳」／挨拶は人間関係の基本／人間関係をより良くする三つの「L」／「感謝の心」を循環される―幸福の知恵／母に教えられた「捧げる心」／すべてのことに感謝する／「赦し合う心」を持つ／格差社会の改革に向けて／「持たない」ことで得られる「心の自由」／お金があれば、幸せですか？／誰にでもできる「ボランティア活動」／「美」の感性を磨く―人生を深く味わう知恵／文化は「清潔」から始まる／知的好奇心は一生のもの／「美」に対する感性を磨く／おわりに―いま心に思い出すこと／「平和アピール」（前教皇ヨハネ・パウロ二世）	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB01824828	—
MB00796	イタリアの島から日本へ、そして世界へ：ヨゼフ・ピタウ大司教自伝	単著	ヨゼフ・ピタウ 著 南條俊二 編	Sophia University Press上智大学出版 ぎょうせい	東京	2012.12	108p	第1章 生い立ち／第2章 司祭への道／第3章 日本に渡る／第4章 司祭となり米国へ留学／第5章 ふたたび日本へ・上智大学紛争／第6章 大学改革に取り組む／第7章 ヨハネ・パウロ二世との出会い／第8章 そしてローマに呼ばれて／第9章 教皇の側近として働く／第10章 日本への「帰国」／結びに代えて／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB11409276	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年	所属	出身国				
Villion, Aimé (Amatus)		アメ・ビリヨン		1843—1932	カトリック・パリ外国宣教会	フランス				
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00797	日本聖人鮮血遺書	共著	ヴェリヨン 著	日本カトリック刊行会	東京	1926年訂正増補6版、1931年 (日本殉教者宣伝会)	523p	二月五日 日本二十六聖人の殉教／二月廿二日 福者チダツシヨ・カルバリヨ霊父の殉教／三月十七日 日本信者発見聖母記念／五月廿二日 福者ヨハネ・バプチスタ・マチアド霊父及其侶の殉教／六月一日 福者アルホンソ・ナバレット霊父及其侶の殉教／六月廿日 福者フランシスコ・パセコ霊父及其侶の殉教／八月十九日 福者ベトロ・ズニガ霊父及其侶の殉教／八月廿五日 福者レイ・ソテロ、ベトロ・ヴァスケス、ミカエル・カルバリヨ三霊父の殉教／九月三日 福者石田アントニヨ師バルトロメオ・グチエレス師及信者の殉教／九月七日 福者辻トマス聖師及中島ミカエル聖人の殉教／九月十日 福者スピノラ・カルロ聖師木村セバスチヤ聖師及其侶の殉教／九月十二日 福者アポリナリヨ聖師外三十九聖人の殉教／九月十六日 福者コンスタンシヨ・カミルロ聖師太田オグスチン聖人及其侶の殉教／十一月五日 福者ナパール・ポーロ聖師及其侶の殉教／十一月十八日 福者木村レオナルド聖師及其侶の殉教／十二月四日 福者天使の工口ニモ聖師遠藤シモン聖人及其侶の殉教／日本教會の最後／日本教會の復活／若望樓 (シドツチ霊父の事蹟)／附録 日本殉教者一覧	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA43881784	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1019243

MB00798	日本聖人鮮血遺書	共著	加古義一 編	聖若瑟教育院	京都	1911年訂 正増補6 版	552p	二月五日/日本二十六聖人の殉教/二月廿二日/福者チダツシヨカルバリヨ聖父の殉教/三月十七日/日本信者発見聖母紀念/五月廿二日/福者ヨハネバプチスタマチアド聖父及其侶の殉教/六月一日/福者アルホンソナバレット聖父及其侶の殉教/六月廿日/福者フランシスコバセコ聖父及其侶の殉教/八月十九日/福者ペトロズニガ聖父及其侶の殉教/八月廿五日/福者レイソテロ、ペトロヴァスケス、ミカエルカルバリヨ三聖父の殉教/九月三日/福者石田アントニヨ師バルトロメオグチエレス師及信者の殉教/九月七日/福者辻トマス聖師及中島ミカエル聖人の殉教/九月十日/福者スピノラカルロ聖師木村セバスチヤ聖師及其侶の殉教/九月十二日/福者アポリナリヨ聖師外三十九聖人の殉教/九月十六日/福者コンスタンシヨカミルロ聖師太田オグスチン聖人及其侶の殉教/十一月五日/福者ナバルポー聖師及其侶の殉教/十一月十八日/福者木村レオナルド聖師及其侶の殉教/十二月四日/福者天使のエロニモ聖師遠藤シモン聖人及其侶の殉教/日本教会の最後/日本教会の復活/若望樓(シドツチ聖父の事跡)/附録/日本殉教者一覧	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08596034	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825272
MB00799	日本聖人鮮血遺書	共著	加古義一 編	村上勘兵衛等	京都	1887年初 版、1888 年2版	400p	二月五日/日本二十六聖人の祭礼/二月廿二日/福者リダツシヨカルバリヨ聖師の祭礼/三月十七日/聖母マリヤ取次の謝礼是則日本教会の復活/五月廿二日/福者ジヨアンバプチスタマサド及び連の祭礼/六月一日/福者アルホンシヨナバレット及び連の祭礼/六月廿日/福者フランセスコバセコ及び連の祭礼/八月十九日/福者ペトロズニガ及び連の祭礼/八月廿五日/福者ミカヘルカルバリヨ及び連の祭礼/九月三日/福者アントニヨ石田をよび連の祭礼/215枚目/九月七日/福者トマス辻ミカヘル中島の祭礼/九月九日/福者カロロスピノラ木村其連大致命人の祭礼/九月十二日/福者アポリナリヨ及び三十九名の祭礼/九月十六日/福者カミロコンスタンシヨ太田及び連の祭礼/十一月五日/福者ポーロナバロ及び連の祭礼/十一月十八日/福者レオナルド木村其連の祭礼/十二月四日/福者天使のエロニモ遠藤シモン祭礼/日本教会最後の事/日本教会復活の事	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825270
MB00800	婆羅門教論：仏教起原	共著	加古義一 編、ビリヨン 閱	清水久次郎	京都	1889.1	501p	緒言/天竺古代の歴史略抄/卷之壹 婆羅門教の基督教及猶太教に相似る箇条/第一章 天主の事/第二章 三位一体の事/第三章 創世造物の事/第四章 樂園の事/第五章 偉人及寿命の事/第六章 洪水の事/第七章 カムの罪及罰の事/第八章 婚姻の事/第十章 禁食誠穢の事/第十一章 風浴の事/第十二章 寺院の事/第十三十四章 救世降世予言の事/第十五章 祭司の事/第十六十七章 山伏の事/第十八十九章 行者の事/第廿一章 祈願の事/第二十二章 世終の事/第廿三廿四章 天国地獄の事/卷之二 天竺国民と成りし各蕃土人の種族と宗教習慣の根本/第一章 カム人種の事/第二章 トラニヤン及シチヤ人種の事/第三章 阿利耶人種の事/第四章 各蕃土人の宗教習慣の事/卷之三 婆羅門教の変遷/第一章 伏陀時代の波羅門教/第二章 婆羅門教の哲学/第三章 婆羅門教の律法/第四章 種族の権限/第五章 釈迦出世及仏教破裂/第六章 基督教と仏教の関係	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA36870256	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/815010
MB00801	山口公教史	共著	加古義一 編	加古義一	京都	1897口	382p	第一章/ (一) 提要/ (二) 国名の紹介人(マルコ、ボロ)/ (三) 交通の媒介者(フエルナン、メンデス、ピント)/ (四) 布教の誘導者(勘四郎)/ (五) 日本伝道の始祖(聖フランヤスコ其一)/第二章/ (一) 日本伝道の端緒(ザベリヨ聖師の来航)/ (二) 鹿児島と公教(上陸後のザベリヨ師)/ (三) 平戸の事情(鹿児島出發後の聖師)/第三章/ (一) 山口(沿革)/ (二) 山口の伝道(其一、ザベリヨ師の来錫)/ (三) 聖師の京都行(路次の困難と失望)/ (四) 山口の伝道(其二、聖師再度の来錫)/ (五) 聖師の書翰(山口の事情と伝教)/ (六) 山口の伝道(其三、山口に於ける最終の聖師)/第四章/ (一) 山口の戦乱(陶隆房の反逆)/ (二) 神弟の書翰(修士出立後の山口)/ (三) 豊後の伝道(山口出立後の聖師)/ (四) 日本伝道の始祖(ザベリヨ聖師、其二)/ (五) 山口の伝道(其三、戦争後の状況)/ (六) 山口の再乱(大内義長の滅亡)/第五章/ (一) 山口其他の公教(其一、戦後伝道の状況)/ (二) 山口其他の公教(其二、戦国時代伝道の有様)/ (三) 山口最終の公教(天正以後の状況)/ (四) 山口の血痕(鮮血時代の山口)/附録/聖教復興始末	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN10737740	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/992283
MB00802	長門公教史	共著	加古義一 著	天主公教会	萩町(山口県)	1918	115p	第一章 布教の開始/第二章 信者の簇生/第三章 切支丹禁制/第四章 毛利輝元の迫害/第五章 徳川幕府の迫害/第六章 公教會の死滅/第七章 公教會の復活/第八章 信仰の鍛錬	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/943954
MB00803	山口大道寺跡の発見と裁許状に就て	単著	ア・ヴィリヨン 著	ア・ヴィリヨン	奈良	1926	15p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA46169058	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1019433

MB00804	切支丹大名史	単訳	スタイシエン 著、ビリ ヨン 訳	三才社/私家版 もある	東京	1929	393p	第一章/第二章/第三章/第四章/第五章/第六章/第七章/第八章/第九章/第十章/ 第十一章/第十二章/第十三章/第十四章/第十五章/第十六章/第十七章/第十八章/ 第十九章/第二十章/第二十一章/第二十二章/第二十三章/第二十四章/第二十五章/ 附録、重なる切支丹大名の系圖/389	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11582967	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1195331
---------	------------------------	----	---------------------	----------------	----	------	------	--	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Joseph Birraux		ヨセフ・ビロース		1867—1950		カトリック・パリ外国宣教会		アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00805	ユスト高山右近：信仰ノ表白者	単著	ヨセフ・ビロース 著	天主公教会	大阪	1930	38p	一/二/三/四/終結	—	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Filippini, Renato		レナト・フィリピーニ		1970—		カトリック・聖ザベリオ宣教会		イタリア		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00806	イエスの教えてくれた祈り：「主の祈り」を現代的視点から	共訳	カルロ・マリア・マル ティーニ 著、篠崎榮、 レナト・フィリピーニ 共訳	教友社	習志野	2013.8	110p	日本語版への序文/推薦のことば/第一章 わたしたちの父よ—大司教館にて/第二章 わたしたちを悪からお救いください—ルイジ・ザッコ病院にて/第三章 わたしたちに 糧をお与えください わたしたちの負い目をお赦しください—聖ヴィットレ刑務所にて /第四章 み心が行われますように—貧しきクララ会修道院にて/第五章 み国が来ま すように—聖マリア・ベルトラーデ小教区教会にて/訳者あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB13458126	—
MB00807	イエスとの出会い：その喜びを味わう	単著	レナト・フィリピーニ 著	教友社	習志野	2015.4	147p	序文/Lectio Divina (レクティオ・ディヴィナ) とは/Lectio Divinaの方法 みことば を祈る指針/この本の使い方—(グループ用に活用するために)/ヨハネ福音書におけ るイエスとの出会い/使徒パウロのフィリピの教会への手紙/喜びと分かち合い	—	—
MB00808	聖週間を生きる：毎日の黙想：受難と復活節の人物とともに	単著	レナト・フィリピーニ 著	女子パウロ会	東京	2016.3	111p	序文/1 主の入城「子ロバとイエス」/2 受難物語の主人公—イエス (1) /3 ベタニア のマリア/4 イエスの愛弟子ヨハネ/5 ユダ/6 受難物語の主人 —イエス (2) /7 受 難物語の主人 —イエス (3) /8 イエスの遺体に寄せる女性たち/9 マグダラのマリア /10 トマス/11 ペトロ/12 エマオの二人の弟子	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB21201238	—
MB00809	詩編を祈る：人間の経験から生まれる詩	単著	レナト・フィリピーニ 著	教友社	習志野	2017.12	155p	推薦の言葉—雨宮慧/序文/Lectio Divinaとは/Lectio Divinaの方法/この本の使い方 /詩篇1—幸福への道/詩篇4—神に信頼するとき、身も心も休まる/詩篇8—創 造主と人間/詩篇16—主はわたしの受け継ぐ永遠の宝/詩篇19—創造主の導き/詩篇 22—苦しみと救い/詩篇23—羊飼いである神への深い信頼/詩篇40—しあわせな 人、神に信頼する者/詩篇42—神を慕い求める/詩篇51—憐みの嘆願/詩篇63— 神へのあこがれ/詩篇91—主の翼のもとに/詩篇92—人ひとりに対する神の恵みをほ めたてる/詩篇103—神の慈しみをたたえる/詩篇118—救いのわざを感謝する歌/ 詩篇122—巡礼者のエルサレムへの挨拶/詩篇124—力ある神/詩篇126—涙は喜 びに変わる/詩篇130—深い淵からの叫び/詩篇131—幼子のような信頼/詩篇139 —わたしのすべてを知っておられる神/詩篇144—王の勝利、民の幸福/詩篇146— 主は助けの神/詩篇150—賛美の合奏	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB25469913	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Fernandez, Miguel, Suarez		ミゲル・スアレス・フェルナンデス			1933—	カトリック・イエズス会	スペイン			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00810	キリスト者であることの喜び: 現代教会についての識別と証しの書	単著	ミゲル・スアレス 著	聖母の騎士社	長崎	2011.8	386p	本書の紹介……リカルド・プラスケス大司教/はしがき/日本語版の刊行にあたって/第一部 現代の教会を理解するために/第一章 人間の苦しみの根源/第二章 ケリグマとは何か/第三章 回心/第四章 福音宣教/第五章 再び生まれるということ/第六章 世俗化とは何か/第二部 世俗化に対して公会議が出した答え/第七章 交わりの新しい霊(教会憲章)/第八章 生きている典礼(典礼憲章)/第九章 神のことばによって生きるキリスト者(i)(啓示憲章)/第十章 神のことばによって生きるキリスト者(ii)(啓示憲章)/第十一章 教会は世の光、地の塩、パン種(現代世界憲章)/第三部 公会議後のキリスト者/第十二章 キリスト者にとって信仰は重荷ではなく大いなる解放/第十三章 信仰に従って日常生活を送るキリスト者/第十四章 十字架にのぼる程の愛で相手愛するキリスト者/第十五章 大人の信仰を持ったキリスト者/第四部 公会議後の教会/第十六章 愛が目に見える共同体/第十七章 家族を支える共同体(i)/第十八章 家族を支える共同体(ii)/第十九章 若者たちを惹きつける共同体/第二十章 キリストのイコン(像)である司祭を中心とする共同体/第二十一章 司祭職への召し出しを芽生えさせる共同体/第二十二章 信徒が各自のカリスマを果たす共同体/第二十三章 貧しい人々のための共同体/第二十四章 福音の宣べ伝えを最優先する共同体/第五部 公会議の刷新の実践-新求道期間の道/第二十五章 新求道期間-我々の時代において価値ある養成の道/第二十六章 新求道期間の道との出会い/第二十七章 新求道期間の道の体験/第二十八章 新求道期間-その発展と教会からの認可/第二十九章 家族と新求道期間/第三十章 若者たちの召し出しの発見の助けとなる新求道期間/第三十一章 レデンプトリス・マーテル神学院/第三十二章 信徒と新求道期間/あとがき/補遺 補遺について/資料① 教皇パウロ六世のお言葉/〈その一〉/〈その二〉/資料② 教皇ヨハネ・パウロ二世のヨゼフ・コルデス司教宛書簡/資料③ ベネディクト十六世の訓話/資料④ 国際責任者チームによる新求道期間の道の規約の紹介/資料⑤ 国務省長官タルチジオ・ベルトーネ枢機卿による書簡/資料⑥ ベトロ平山高明司教(元大分教区長)へのインタビュー	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB0811163X	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Brzostowski, Edward		エドワード・ブジョストフスキ			1932—	カトリック・プラド会	フランス			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00811	小さき者から学んだ叫び	単著	エドワード・ブジョストフスキ 著	日本基督教団出版局	東京	1981.8	297p	出版に寄せて 濱尾文郎/はじめに/第一章 主よ、祈りを教えてください/第二章「わたしたち」/第一節 ピアフラに関しての有子さんの手紙/第二節 英国のくだものポイコット事件/第三節 太田容子さんの訴え/第四節 紡績女工ハナちゃん的生活文/第五節 フィリピンのバナナと私たち/第六節 だれの立場に立とうとするのか/第三章 毎日の生活の中で、主の祈りを生きる/第一節 遠藤美枝子さんの例/第二節 鈴木秀夫君が残していったもの/第四章「天の父よ」/第一節「天にいらっしゃる」/第二節「父よ」/第三節「みながあがめられますように」/第四節「み国がきますように」/第五節「み心が天と同じく地上でも行われますように」/第五章「わたしたちに今日もこの日の糧をお与えください」/第一節 優子さんの活動から/第二節 不況の中で/第三節 生命保険会社の友人/第四節 教育が狂育か/第五節 パンの奇跡/第六節 字が読めるように/第七節 キリストなしには、真の解放はない/第六章「わたしたちに罪を犯したものをゆるしましたから、わたしたちの犯した罪をおゆるしてください」/第一節 川崎の両親殺しをを考える/第二節 罪とは何か/第三節「ゆるす」とは/第七章「私たちが誘惑から導き出してください」/第一節 労働運動の中で試された岳田さん/第二節 誘惑・試み/第三節 キリストの誘惑/第八章「私たちが悪からお救いください」/第一節 戦争、核兵器、武器輸出/第二節 国際貿易における不正/第三節 多国籍企業/第四節 開発援助という偽善/第五節 公害/第六節 合理化/第七節 罪/第九章 神は弱い者の味方/第一節 エジプトでの奴隷状態から導き出されたイスラエルの民の法律/第二節 預言者アモス/第三節 預言者イザヤ/第四節 預言者エレミア/第五節 キリスト/第一〇章 結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04440339	—

MB00812	シルワンの手記：聖山アトスの修道者	単訳	シルワン 著、ベルフォンテン修道院 編、エドワード・ブジョストフスキ 訳	あかし書房	東京	1982.9	115p	シルワンの生涯と霊性/内的体験/「アダムの嘆き」/シルワンの霊性/謙虚さ/すべての人と一心同体/聖霊において生き、死ぬこと/シルワンの手記/アダムの嘆き/注/訳者 あとがき/参考書	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA61958756	—
MB00813	サーロフの聖セラフィーム	単訳	イリナ・ゴライノフ 著、エドワード・ブジョストフスキ 訳	あかし書房	東京	1985.3	197p	I 伝記/第一部 陰の中で/青少年時代/砂漠/修練者/ヘシカスムの遺産/病氣/修道者、補祭、司祭/隠遁者/宇宙万物/悪魔との闘い/罪のゆるし/沈黙/平安/修道院内の隠遁者/第二部 光の中で/当時の背景/皇帝/長老(スタレツ)/苦行の目的/透視の秘訣/やさしい父性/苦行と象徴/女性たち/子供たち/長老のもう一つの姿/奇跡者/ディヴェヴォ村/聖堂の建築/会則/奇跡/死/悲しい予感/天の輝かしい元后/第三部 聖霊/キリスト者の生活の目的/逝去/生きる残る人々/預言された苦難/キリストにおける患者/ペラゲーイア/パラスケーワ/患者の抗議/結末/結び/列聖式/恐ろしい展望/死後の影響/II モトヴィーロフとの話し合い/キリスト者の生活の真の元/キリストの名において/聖霊の獲得/乙女のたとえ話/祈り/祈りが聖霊に場をゆずるとき/霊的な交わり/神を見ること/世の創造/生命の木と原罪/旧約聖書における聖霊/異邦人における神の霊/聖霊によって啓示されたキリストの到来/アダムの失った「生命の息」は新たになる/聖霊降臨/洗礼/悔い改め/生命の木の実の代わりに小羊の血/乙女マリア/聖霊と悪魔の働きの区別/聖霊の恵みは光である/聖霊の現存/造られざる光/メッセージの広まり/修道士と信徒/地上の財産の正当性/宣教活動/信仰の力/III 霊的講話/神は火である/信仰について/希望について/神に対する愛について/魂の兵さんについて/平安を持ち続けることについて/心の警戒について/痛悔について/祈りについて/注意について/苦行と観想について/苦行について/病氣について/隣人愛について/罪のゆるしについて/忍耐と謙虚について/いつくしみについて/訳者あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13457820	—
MB00814	主をほめたたえよ	単著	エドワード・ブジョストフスキ 著	日本基督教団出版局	東京	1986.9	280p	はじめに/第一部 歩みの中で感じた主の姿/第一章 少年時代「壺作りの手にある粘土のように」/第二章 高校時代「主よ、わたしに何をしてほしいのか」/第三章 大神学校時代「主イエスを知ることとはすべてである」/第四章 兵役時代「夜警があかつきを待つように」/第五章 再び神学校へ「彼らが身を捧げた者となるように、みずから捧げます」/第二部 今の時点に立って感じる主の姿/第一章 心をください/第二章 常に祈りなさい/第三章 心理はあなたがたに自由を得させる/第四章 わたしは火を地上に投じるためにきたのだ/第五章 模範を示してくださる主(クリスマス)/第六章 模範を示してくださる主(続き)/1 十字架の上で自分の命を捧げる主/2 ご聖体において自分のすべてを捧げる主/第七章 平和を与える主/第八章 全世界に福音を知らせたい主/第九章 皆が一つになるように/第一〇章 謙虚を教えてください/第十一章 ご自分の喜びを与えてくださる主/結び/注/本書の出版に際して	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09713552	—
MB00815	主よ私をどこへ：フランスの女性労働者ニコルの歩み	単訳	A.グタニ 編著、エドワード・ブジョストフスキ 訳	女子パウロ会	東京	1986.7	269p	序文/I 章 流れ作業における神 ニコルの歩み/5年間にわたる流れ作業のなかで/彼らのうちの一人 新聞が読めない/私たちは常にだまされる/現場にとどまること/沈黙の世界へ ニコルの新しい現在の生活/私は苦しい、しかし、沈黙を守る/II 章 ニコルの手記/1 流れ作業/2 奉獻/3 仲間と歩調を合わせて/4 病弱な体/5 孤独/6 主のお望みのままに/7 み手にゆだねる/8 目だたないこと/9 私を迎えなさい!/10 内面の闘い/11 神の恵みを知っていたら/12 神を見つめること/13 夜/14 神はすべてである/15 仲間たち/16 前進しなくては/17 “彼は栄え、私は衰えるべきです”/終章 I 主の十字架/2 弟子の受難/3 教会の謙虚/「ぶどう畑の農夫」の物語/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA78994674	—
MB00816	不思議な日本人	単著	エドワード・ブジョストフスキー 著	東研出版	東京	1992.10	増補版 198p	はじめに/第一章 日本は本当に自由ですか/第二章 思想・信条の自由はあるのか/第三章 日本に貧しい人はいますか/第四章 労災認定はなぜむずかしいのか/第六章「労働時間」の意味とは/第七章 我々は売られる品物ではない/第八章 国際連帯の重要性とその条件/第九章 鎖国政策をいつまで続けるのか/第十章 福祉・ボランティアを考え直そう/第十一章 公害は終わったのか/第十二章 生まれる権利——中絶/第十三章 合法的な殺人である死刑制度/第十四章 なぜ外登法は悪法であるのか/第十五章 思いやりのあるお巡りさんを/第十六章 だれにも平和を築く責任がある/第十七章 国の安全は武器によるしかないのか/第十八章「人道に対する犯罪」には時効がない/第十九章 在日外国人との連帯のあり方/第二十章 真の国際化はありうるのか/第二章 国際貢献をどうはたすか/むすび	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08463314	—

MB00817	不思議な日本人	単著	エドワード・ブジョスト フスキー 著	東研出版	東京	1988年初 版、1990 年新装版	174p	はじめに/第一章 日本は本当に自由ですか/第二章 思想・信条の自由はあるのか/第三章 日本に貧しい人はいますか/第四章 労災認定はなぜむずかしいのか/第六章「労働時間」の意味とは/第七章 我々は売られる品物ではない/第八章 国際連帯の重要性とその条件/第九章 鎖国政策をいつまで続けるのか/第十章 福祉・ボランティアを考え直そう/第十一章 公害は終わったのか/第十二章 生まれる権利——中絶/第十三章 合法的な殺人である死刑制度/第十四章 なぜ外登法は悪法であるのか/第十五章 思いやりのあるお巡りさんを/第十六章 だれにも平和を築く責任がある/第十七章 国の安全は武器によるしかないのか/第十八章「人道に対する犯罪」には時効がない/むすび	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03299734	—
MB00818	行者たちの道：霊的生活入門	共訳	チト・コリヤンデル 著、 エドワード・ブジョスト フスキ、大塚志乃 共訳	あかし書房	東京	1989.6	135p	まえがき/1 初心の決意とねばり強さ/2 人間の力の足りなさ/3 心の畑/4 静かな隠れた闘い/5 自己放棄と心の浄化/6 享樂の欲求を根こそぎにすること/7 自己中心からキリスト中へ移るべき/8 戻る敵の攻撃に警戒すべきである/9 この世に打ち克つこと/10 他人と私たちの罪/11 内面の闘いは目的達成の手段/12 従順/13 進展と深展/14 謙遜と警戒/15 祈り/16 祈り(続き(一))/17 祈り(続き(二))/18 祈り(続き(三))/19 身体と靈魂の慎ましさは祈りの条件/20 断食/21 行き過ぎは禁物/22 物質を用いることについて/23 闇の時/24 ザアカイについて/25 イエスの祈り/26 高価な真珠/注/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12624326	—
MB00819	イエス・キリストの真の弟子	単訳	アントワーヌ・シュヴリエ 著、エドワード・ブ ジョストフスキ 訳	あかし書房	東京	1991.7	422p	「イエス・キリストの真の弟子」の邦訳に寄せて 長崎大司教 島本要/教皇ヨハネ・パウロ二世のことば/シュヴリエ神父の生い立ちと、ブラド創立期の時代背景/「イエス・キリストの真の弟子」の紹介/序文/第一章 イエスへの愛着/第二章 財産を放棄すること/第三章 自己放棄のために、自己の精神を放棄すべきである/第四章 自分の十字架を担うこと/第五章 イエス・キリストに従うこと/付録/1 弟子/2 福音を知る/3 清貧に関する考察/4 長上の使命/5 サン・フォンの壁画	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13474499	—
MB00820	福者シュヴリエ神父の手紙	単訳	アントワーヌ・シュヴリエ 著、エドワード・ブ ジョストフスキ 訳	あかし書房	東京	1997.6	190p	前書き/15 ポール・デュ・ブルさんへ/23 カミーユ・ランボ氏へ/52 グルドン神父へ/54 グルドン神父へ/56 グルドン神父へ/57 グルドン神父へ/64 ジャリコ神父へ/65 ジャリコ神父へ/75 デュテル神父へ/80 デュレ神学生へ/82 アクリス哲学インにいる四人の神学生へ/83 プロシエ神学生へ/86 ファリシエ神学生へ/89 ファリシエ神学生へ/90 デロルム神学生へ/86 ファリシエ神学生へ/91 デュレ神学生へ/93 プロシエ神学生へ/100 プロシエ神学生へ/103 デュレ神学生へ/105 デロルム神学生へ/114プロシエ神学生へ/115 デュレ神学生へ/116 デュレ神学生へ/118 デュレ神学生へ/121 ファリシエ神学生へ/125 ダスブル哲学生へ/130 ダスブル神学生へ/142 ジャリコ神父へ/145 ジャリコ神父へ/147ジャリコ神父へ/148 ジャリコ神父へ/149 ジャリコ神父へ/152ジャリコ神父へ/153 ジャリコ神父へ/157 デュレ神父へ/181 ヴエロニカ姉妹へ/188 ヴエロニカ姉妹へ/189 ヴエロニカ姉妹へ/239 ブラドのクララ姉妹へ/257 カプリエル姉妹へ/268 メルシェ・ボナルお嬢さんたちへ/274 メルシェ・ボナルお嬢さんたちへ/292 フランシエ婦人へ/293 フランシエ婦人へ/294 フランシエ婦人へ/295 フランシエ婦人へ/309 フランシエ婦人へ/310 フランシエ婦人へ/344 フランシエ婦人へ/404 タミジエお嬢さんへ/440 ド・マルギュリオ嬢さんへ/443 ド・マルギュリオ嬢さんへ/446 ド・マルギュリオ嬢さんへ/459 聖ラファエルのシスター・マリへ/466 マダムへ/467 マダムへ/「小さな印刷物」は手紙五二番の後にある/人物紹介	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA32573576	—
MB00821	キリスト教を生きる14のヒント：イエスの道を歩むために	単著	エドワード・ブジョスト フスキ 著	女子パウロ会	東京	2009.4	77p	はじめに——本物の幸せにいたるイエスの道/1 とことん愛してくださる神にとどまろう/2 神の言葉をよく聴こう/3 たえまない回心の道を歩いて/4 謙虚さを大切に/5 いつも平安に満ちた喜びの中で~山上の説教から~/6 たえず望みたえず祈ろう、具体的に/7 「主の祈り」からイエスの心をいただこう/8 きょう最優先すべきことを見きわめて/9 十字架上のイエスの言葉を思い巡らそう/10 聖霊の働きに気づき素直に従おう/11 聖体とミサに心から感謝して/12 全世界にまさる「宝」を得よう/13 「よい知らせ」を告げ知らせよう!/14 教会とともに解放の喜びのために働こう/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA9019443X	—

MB00822	平和を祈るロザリオ	単著	エドワード・ブジョスト フスキ 著	聖母の騎士社	長崎	2002	46p	序文/ロザリオに関する教皇の書簡/聖母マリアの取り成し/(喜) 1. お告げ/(喜) 2. ご訪問/(喜) 3. ご降誕/(喜) 4. イエスキさまの奉献/(喜) 5. 神殿にて主の発見/(喜) 1. ゲッセマニでの憂い/(喜) 2. 鞭打ち/(喜) 3. 茨の冠/(喜) 4. 十字架を背負う/(喜) 5. ご死去/(喜) 1. ご復活/(喜) 2. ご昇天/(喜) 3. 聖霊降臨/(喜) 4. 聖母の被昇天/(喜) 5. 天の元后マリア様/光の玄義/(光) 1. ヨルダン川におけるイエスキ様の洗礼/(光) 2. カナのしるし(ヨハネ2・1~12)/(光) 3. 神の国を宣教するイエスキ様の姿/(光) 4. イエスキ様の変容/(光) 5. 最後の晩餐中のご聖体の制定	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA64316121	—
---------	---------------------------	----	----------------------	--------	----	------	-----	---	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Bousquet, M. Julien Sylvain		ブスケ		1877—1943		カトリック・パリ外国宣教会		フランス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00823	聖人物語 1月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	シルベン・ブスケ	大阪	1910		はしがき/吾主割礼の祝日 一月一日/アレキサンドリアの聖マカリヨ 一月二日/ 聖ゲノワ (巴里市保護の聖女) 一月三日/聖ゲノワ (続) 一月四日/聖エドワード王 (英国王) 一月五日/吾主公現の祝日 (三王来朝) 一月六日/聖メレノ司教 一月七日/聖ルシアノ司教致命 一月八日/聖オノレー 一月九日/福者ガスパールド 一月十日/柱上の聖シメオン 一月十一日/聖テオドジオ修道者 一月十二日/聖イラリヨ司教博士 一月十三日/ノラの聖フェリクス司祭 一月十四日/聖モーロ修院長 一月十五日/聖オノラート修院長 一月十六日/聖アントニヨ行者 一月十七日/聖アントニヨ行者 (続) 一月十八日/聖ポーロ最初の隠遁者/聖カヌト王致命 一月十九日/聖セバスタノ軍人致命 一月二十日/聖アグネス童貞致命 一月廿一日/聖ワルテール修道者 一月廿二日/聖ビンセンシオ助祭致命 一月廿二日/慈善家の聖ヨハネ 一月廿三日/聖バビラス司教致命 一月廿四日/聖チモテオ司教致命 一月廿四日/使徒聖ポーロの改心 一月廿五日/聖ポーラ寡婦 一月廿六日/聖ポリカールポ司教致命 一月廿六日/聖ヨハネ金口司教博士 一月廿七日/ポーロ爾致命 (朝鮮人) 一月廿八日/聖フランシスコ、サンジョ司教 一月廿九日/聖バチルダ皇后 一月三十日/聖マルチナ童貞致命 一月三十日/聖ペトロノラスコ 一月卅一日	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB25870648	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824768
MB00824	聖人物語 2月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	シルベン・ブスケ	大阪	1910.9	327p	二月一日/アンチオキアの聖イグナシオ司教殉教 (挿画二) /二月二日/ (1) 聖母潔の式と耶穌基督の奉献 (挿画一) / (2) 福者テオファノ、ペナル宣教師殉教 (挿画一) /二月三日/ (1) 聖ブラシオ司教殉教 (挿画一) / (2) 聖女ベロニカ (挿画一) /二月四日/ (1) 聖テオフィロ痛悔者/ (2) コルシニの聖アンデレア司教/ (3) ワロワの聖女ヨハンナ (仏蘭西皇后) (挿画一) /二月五日/ (1) 日本二十六殉教者総伝 (挿画二) / (2) 日本二十六殉教者列伝/ (3) 聖女アガタ童貞殉教 (写真版一) /二月六日/ (1) 聖女ドロテア童貞殉教 (挿画一) / (2) 聖アマンド司教/ (3) 聖ヒアシンタ修道女 (写真版一) /二月七日/聖ロムアルド (カマルドール律修会創立者) (写真版一、挿画一) /二月八日/聖ヨハネ、デ、マタ (三位一体の律修会創立者) (挿画一) /二月九日/ (1) 聖ニセフォロ殉教/ (2) 聖レナルド司教/ (3) 聖アポロニア童貞殉教/二月十日/ (1) 聖スコラスチカ童貞 (挿画一) / (2) 通悔者聖ギョーム侯 (挿画一) /二月十一日/ (1) 聖母ルルドに現はれ給ふ (写真版四、挿画三) / (2) 聖セベリーノ修院長/二月十二日/ (1) 聖テオドラ皇后/ (2) 聖女ウラリア童貞殉教/二月十三日/ (1) 聖マルチニアノ山修士/ (2) 聖ポリオクト大将殉教/二月十四日/ (1) 聖ワレンチノ司祭殉教/ (2) 聖オクセンシオ (軍人) 山修士 (挿画一) /二月十五日/聖フォスチノ司祭、聖ジヨビタ助祭兄弟殉教 (挿画一) /二月十六日/聖女ジュリアナ童貞殉教 (挿画一) /二月十七日/ (1) 福者ヨハンナ未亡人 (聖母会創立者) / (2) 聖女コンスタンシア皇女/二月十八日/ (1) 福者ヨハネ、ペトロ、ネエル宣教師殉教 (挿画一) / (2) 聖シメオン司教殉教 (挿画一) / (3) 聖アンジベルト修院長/ (4) 聖女クリスタナ、オリンガ召使/ (5) 福者フランシスコ、レジス、クレト宣教師殉教 (挿画一) /二月十九日/聖コンラ痛悔者 (挿画一) /二月二十日/聖エルテリオ司教 (挿画一) /二月廿一日/福者ヨハネ、ガブリエル、ベルブアール宣教師殉教 (挿画一) /二月廿二日/ (1) 福者ジダコ、カルワリヨ宣教師「附」日本殉教者/ (2) コルトナの聖女マルガリタ痛悔者 (挿画一) /二月廿三日/ (1) 聖ペトロ、ダミアノ司教博士/ (2) 聖セレノ@駝師殉教 (挿画一) / (3) 聖ラザロ画家/二月廿四日/ (1) 使徒聖マチャス殉教 (挿画一) / (2) 聖エテルベルト王 (英国) /二月廿五日/福者カロル、	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45122853	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824769

							コルネ宣教師殉教(挿画二)/二月廿六日/(1) 聖ポルヒリオ司教/(2) 聖イレナ童貞/二月廿七日/(1) 福者オグスト、サブドレン宣教師殉教(挿画二)/ (2) 福者ロレンシオ、ベマン(支那人)殉教/(3) 福女アグネス、チャオクイ伝道婦殉教/二月廿八日/アレキサンドリヤの数人の聖人聖女/二月廿九日/聖ドチテオ修道者		
MB00825	聖人物語 3月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	聖若瑟教育院	大阪	1912- 1913	三月一日/聖アルビノ司教/同二日/(1) 聖カロロ王子殉教/(2) 福者アンリコ、スソー(挿画一)/同三日/(1) 聖クネグンダ皇后(獨逸)(挿画一)/(2) 聖パフヌシオ山修士、聖女タイヌ痛悔者/同四日/(1) 聖カジミロ王子(挿画一)/(2) 聖アドリアノ殉教者、全夫人聖女ナタリア(附)二十三聖殉教者(挿画一)/同五日/(1) 聖フオカス橐駝師殉教/(2) 十字架の聖ヨハネ、ヨゼフ修院長/同六日/(1) シリヤの四十二聖殉教者(挿画一)/(2) 聖女コレタ童貞(挿画一)/同七日/(1) アキノ聖トマス博士(挿画一)/(2) 聖女ペルペチユア殉教、聖女フェリシテ殉教外四名の聖殉教者(挿画一)/同八日/(1) 聖ヨハネ、デ、デオ(貧民救助會創立者)(挿画一)/(2) 聖フイレモン音楽師、聖アポロニオ公奉者、聖アリアノ知事外四人の兵士殉教/同九日/(1) ローマの聖女フランシスカ(寡婦)(挿画一)/(2) ボノニヤの聖カタリナ修道女/(3) ニツスの聖グレゴリオ司教博士/同十日/セバストの四十人の殉教者(挿画一)/同十一日/聖ウロジオ司祭殉教、聖女レオクリシア童貞殉教(挿画一)/同十二日/聖大グレゴリオ教皇博士(挿画一)/同十三日/聖女ウフラジア童貞(挿画一)/同十四日/聖マチルダ皇后(獨逸)(挿画一)/同十五日/聖ロレンジノ軍人殉教(挿画一)/同十六日/聖アブラハム山修士、姪痛悔女聖マリア(挿画一)/同十七日/(1) アリマテオの聖ヨゼフ/(2) 聖パトリシオ司教(挿画一)/同十八日/(1) 大天使ガブリエル(挿画一)/(2) 聖エドワルド(英國王)二世殉教/(3) 聖シリロ司教/同十九日/(1) 福者マルガリタ盲女、福者シビリナ盲女/(2) 聖ヨゼフ(聖母淨配)(挿画一)/同二十日/(1) 聖クベールト司教/(2) 聖ウルフラノ司教(挿画一)/同二十一日/聖ベネチクト修院長/同二十二日/(1) 尊き、マリア、クロチルド王妃/(2) 聖女バジリサ童貞、並に四人の童貞女殉教/(3) 瑞典聖女カタリナ/(4) ニベルの聖女ゼルツルダ/(5) ゼノアの聖女カタリナ/(6) 聖セルジオ、ポーロ司教(挿画)/同二十三日/(1) 福者アンゼル、ブルザ皇后(獨逸)/(2) 聖ヴィクトリア並に数人の殉教者/(3) 聖ヨゼフ、オリヨール司祭/同二十四日/聖孩シモン殉教、聖兒リシャール殉教(挿画)/同二十五日/(1) 聖母御告を領け給ふ(挿画)/ (2) 聖イザアクと妻レベツカ(挿画)/(3) 聖チースマス(改心せし盜賊)/同二十六日/(1) 聖プロリオ司教/(2) 十字架の尊きヨハンナ、マリア修道女/(3) 聖ルドゼーロ(挿画)/同二十七日/(1) 聖イザアク修道者/(2) ダマスコの聖ヨハネ(挿画)/(3) 埃及の聖ヨハネ隠遁者/同二十八日/(1) カピストラノの聖ヨハネ(挿画)/(2) 聖ゴヌツラン王/同二十九日/(1) 聖ウスタジオ修院長/(2) 聖ジヨナス、聖バラキジオ兄弟殉教者(挿画)/同三十日/(1) 聖アメデー公第九世/(2) クリマコの聖ヨハネ修士(挿画)/同三十一日/(1) 聖ギー修院長/(2) 聖ニコラオ修士/附録/日本全国の天主教會所在地一	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33365031	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2390561

MB00826	聖人物語 第4之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	カトリック教会	西宮 (兵庫)	1914年初 版、 1930.4再 版、3版、 4版	7,319 p	一日 (1) 埃及の聖マリアの痛悔女 (2) パルマの福女カタリナ・トマス童貞/二日ポー ラの聖フランシスコ/三日 (1) 黒奴の聖ベネチクト (2) 聖女アガピス、チオニア、イ レナ姉妹殉教/四日聖イジドロー司教博士/五日 (1) 聖ビンセンシオ・フェレリオ修士 (2) 聖女ユリアナ修院長/六日 (1) 聖セレスチノ第一世教皇 (2) 福者ノツケロ修士 /七日福者エルマン修士/八日 (1) 聖バデモ殉教 (2) 聖ベルペチユオ司教/九日 (1) 聖女ワルツルダ修院長、妹聖女アルデゴンド童貞 (2) 聖女カジルダ童貞/十日 (1) 聖マカリオ司教 (2) 聖フルベルト司教 (3) 福者アントニオ・ネロ殉教/十一日 (1) チエンマ・ガルガニ童貞 (2) 大聖レオ第一世教皇博士/十二日 (1) 聖ゼノー 司教 (2) 聖サバース殉教/十三日聖エルメネジルド王殉教/十四日 (1) 聖ユスチノ殉 教 (2) 聖女リドヴィナ童貞/十五日 (1) 聖マクシモ、聖オレンピウス殉教 (2) 聖ベ トロ・ゴンザレス/十六日 (1) 聖ベネジクト・ヨゼフ・ラーブル (2) 聖女アングラチ ス童貞並十八人の殉教/十七日聖ステファノ・アルデン修院長/十八日 (1) 聖エルテリ ヨ司教並びに其母聖女アンチア殉教 (2) 御托身の福女マリア/十九日福者ベルナルド痛 悔者/二十日プリシアナ山の聖女アグネス童貞/廿一日聖アンセルモ司教博士/廿二日聖 エビボチオと聖アレキサンドロの殉教/廿三日 (1) 聖ヨルジオ將軍殉教 (2) 聖フェ リクス司祭聖ホルツナト司祭聖アキレオ補祭/廿四日シグマリंगाの聖フィデリス殉教/ 廿五日聖マルコ福音史家/廿六日 (1) 聖クレト殉教 (2) 聖マルセリノ教皇殉教/廿七 日 (1) 聖アンチモ司教殉教 (2) 聖女ジタ童貞/廿八日 (1) 十字架の聖パウロ (2) 聖ビタリス將軍と其妻女聖ワレリア殉教 (3) 聖女チ・モ並聖女テオドラ童貞殉教/廿九 日ベロナの聖ベトロ殉教/三十日シエナの聖女カタリナ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA55939054	—
MB00827	聖人物語 5月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著			1913年初 版、1921 年修正再 版	241p	五月一日/ (1) 使徒聖フィリッポ。聖ヤコボ (2) 聖マルクール修士 (3) 聖女トレタ 童貞/黙想 契約の櫃とエルサレムの聖殿 (一) /二日聖アタナジヨ司教博士/黙想 三 位一体の玄義/三日 (1) 聖十字架の発見 (2) 聖アレキサンデル教皇。聖エウエンシオ 司教等六名殉教/黙想 聖十字架 (1) /四日聖婦モニカ/黙想 父母の亀鑑/五日教皇 聖ピオ第五世/黙想 聖十字架 (2) /六日福女ジャンヌ・ダルク童貞/黙想 聖十字架 (3) /七日聖スタニスラオ司教殉教者/黙想 善牧者/八日 (1) 大天使聖ミカエルの 発願 (2) 福者ベルナルド修士/黙想 天国の食卓/九日ナチアンの聖グレゴリオ司教 博士/黙想 良友を選べ/十日 (1) 聖アントニオ司教公奉者 (2) 聖イジドロ農夫/黙 想 破門の罰/十一日聖エビファニオ司教博士/黙想 清浄なる意志/十二日聖ネレオ、聖 アキレオ、聖女ドミチルラ等殉教者/黙想 我が救霊/十三日福者エギチヨ修士/黙想 契約の櫃とエルサレムの聖殿 (二) /十四日聖ポニファチヨ殉教者、聖女アグラ工痛悔者 /黙想 契約の櫃とエルサレムの聖殿 (三) /十五日聖パコモイ修士/黙想 常に天国の 険しき道を心して歩め/十六日聖シモン ストック修士/黙想カルメルの聖衣会 (1) / 十七日聖パスカル バイロン公奉者/黙想カルメルの聖衣会 (2) /十八日 (1) 聖ウェ ナンシヨ少年殉教者 (2) 聖女テオドト並童貞七名殉教者/黙想 天主に対し奉る内外の 敬礼/十九日聖ベトロ チェレスチノ教皇公奉者/黙想 公教会の階級/二十日セナの聖 ベルナルチノ公奉者 黙想 聖愛を心に養へ/二十一日聖ヨハネ ネポムチエノ司祭殉教 者 黙想 カルメルの聖衣会 (3) /二十二日 (1) 聖女リタ寡婦 (2) 福者ヨハネ・バ プチスタ マチアド並日本人殉教者/黙想 聖母マリアの謙遜/二十三日聖女ブデンチア ナ童貞 聖女ブラキセデス童貞/黙想 火の籠より救われし三少年 (一) /二十四日聖ロ ガチアノ 聖ドナチアノ兄弟殉教者/黙想 火の籠より救われし三少年 (二) /二十五日 聖グレゴリオ第七世公奉者/黙想 公教会は磐石の上に立つ/二十六日聖フィリッポ ネ リオ公奉者/黙想 契約の櫃とエルサレムの聖殿 (四) /二十七日バージの聖マリア ア グダレナ童貞/黙想 契約の櫃とエルサレムの聖殿 (五) /二十八日カンツアリアの聖ア ウグスチノ司教/黙想 苦難の必要/二十九日聖ウベルト修士/黙想 契約の櫃とエルサ レムの聖殿 (六) /三十日聖フェルチナンド王公奉者/黙想 契約の櫃とエルサレムの聖 殿 (七) /三十一日聖女ベトロニラ童貞 聖女アンゼラ メリシー童貞/黙想 契約の櫃 とエルサレムの聖殿 (八)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB19059564	—

MB00828	聖人物語 6月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	シルベン・ブスケ	大阪	1920	7,281p	六月一日(1) 聖パンフヒオ霊父殉教(2) 福者アルホンソ、ナバレット師福者ヘルナンド、ヨゼフ並に日本人の殉教/二日(1) 聖マルセリノ司祭五人の殉教(2) 聖ポチノ司教並に聖女ブランチナ等数名の殉教/三日聖クロチルダ仏蘭西の皇后/四日(1) 聖フランシルコ、カラシオロ(2) 聖クイリノ司教殉教/五日(1) 聖ポニハシオ司教殉教(2) 聖フマリツボ副助祭及其女四人(六月六日祝)/六日聖ノルベルト司教/七日聖セシリオ司祭(六月三日祝)/八日(1) 聖メダルド司教聖ジラルド司教兄弟(2) 聖シラ童貞/九日(1) 聖プリモ及聖フェリシアノ兄弟殉教(2) 聖女ペラジア童貞殉教/十日聖女マルガリタ皇后/十一日(1) 使徒聖バルナバ殉教(2) 聖女マクラ童貞殉教/十二日(1) フハクンドの聖ヨハネ修士(2) 聖オヌフリオ隠修士(3) 聖バジリデス等四名の殉教/十三日バズの聖アントニオ修士/十四日聖バジリオ司教博士/十五日(1) 聖ビト 聖モデスト 聖女クレセンシア殉教(2) アントンの聖ベルナルド修士/十六日(1) 聖フランシスコ、レチース修士(2) 聖女ルドガールツ童貞(3) 聖フェレオロ司祭 聖フェルシオ助祭殉教(4) 聖女アレナ童貞殉教/十七日聖女ゼルマナ、クゼン童貞/十八日聖女マリナ童貞/十九日(1) フハリコネリーの聖女ジュリアナ童貞(2) 聖ゼルバジオ 聖プロタジコ兄弟殉教/二十日(1) 福者フランシスコ、パセコ霊父並に其侶と日本人の殉教(2) 聖シルベリオ教皇殉教/二十一日聖アロイジオ、ゴンザーク修士/二十二日(1) 聖ポリノ司教(六月二十二日祝)(2) 聖アルバノ大将殉教/二十三日アラト山に於る一萬の兵士殉教(六月二十二日祝)/二十四日洗礼者ヨアネ/二十五日聖プロスベル司祭博士/二十六日(1) 聖ヨハネ聖ポーロ兄弟殉教(2) /聖ベラジコ少年殉教/二十七日聖ラチスラオ国王/二十八日聖イレネオ司教博士殉教/二十九日使徒聖ペトロ/三十日使徒聖ポーロ/黙想	—	—
MB00829	聖人物語 7月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	シルベン・ブスケ	西宮 (兵庫)	1922	267p	七月一日/(1) 狂人的シメオン(2) 聖テオドリコ/二日 聖プロセソ、マルチニアノ暨其侶殉教者/三日聖フェリクス、イレネオ、ムスチオラ暨其侶殉教者/四日聖ベルタ婦/五日聖アントニオ、マリア、ザカリア/六日(1) 聖女ゴドレナ(2) 聖シソエス/七日(1) 聖シリロ暨聖メトチオ司教(2) 聖ペトロ、フリエ/八日聖女エリザベト皇后/九日聖女ベロニカ童貞/十日(1) 聖フェリシテと其子七人の兄弟殉教(2) 聖女リフィナ、聖女セクンダ童貞殉教者/十一日聖ピオ第一世教皇殉教者/十二日聖ヨハネ、ガルベルト修院長/十三日聖ウゼニオ司教暨其侶殉教者/十四日聖ポーナ ウエンチユーラ司教博士/十五日聖アンリコ皇帝/十六日聖女マルセリナ童貞/十七日聖アレキシオ/十八日(1) 聖女シンプローザ暨七子の殉教者(2) 聖カミルロ、デ、レリス/十九日聖ウエンセンシオ、ア、パウロ/二十日(1) 聖ヒエロニモ、エミリアノ(2) 聖女マルガリタ童貞殉教者/二十一日(1) 聖ウイクトル暨三人の兵士殉教者(2) 聖ジュリア、聖クロチオ暨其侶殉教者/二十二日聖女マリア、マグダレナ痛悔女/二十三日聖アポリナリス司教殉教者/二十四日聖女キリスチナ童貞殉教者/二十五日(1) 使徒聖長ヤコボ(2) 聖キリストフホロ殉教者/二十六日聖ヨハキム、聖アンナ/二十七日(1) 睡れる七人の殉教者(2) 聖パンタレオ醫殉教者、聖エルモラオ司祭と其二名の侶殉教者/二十八日聖ナザリオ殉教者暨其侶少年聖セルソ殉教者/二十九日聖女マルタ童貞/三十日聖アブドン暨聖センネン兄弟殉教者/三十一日(1) 聖ヨハンネ、コロンビーニ(2) 聖イグナシオ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA55938823	—
MB00830	聖人物語 8月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	シルベン・ブスケ	西宮 (兵庫)	1926	4,320p	八月一日(1) 聖ペトロの鐵鎖(2) 聖エレアザロの殉教者(3) 聖マカベオ七人の兄弟と其母殉教者/二日聖アルフォンソ、マリア、デ、リゴリオ司教博士/三日最初の殉教者 聖ステファノの遺骨発見/四日(1) 聖ドミニコ(ドミニコ創立者) 證聖者(2) 聖ヨハネ、バプチスタ、ヴィアンネ/五日聖マリア雪の聖堂奉獻/六日イエズス、キリストの変容/七日聖ガエタノ證聖者/八日聖チリアコ及其友殉教者/九日聖女フィロメナ童貞殉教者/十日聖ラウレンチオ殉教者/十一日(1) 聖チブルチオ殉教者(2) 聖女スザンナ童貞殉教者/十二日聖女クララ童貞/十三日聖ヨハネベルクマンズ/十四日聖女アタナジア寡婦/十五日(1) 聖母被昇天の大祝日(2) 聖タルシチオ殉教者/十六日聖ロコ(ペスト病者の守護者)/十七日聖イヤチント證聖者/十八日聖エレナ皇太后/十九日聖ペトロ、デニスカ及びその侶殉教者/二十日聖ベルナルド修院長博士/二十一日シヤンタルの聖女ヨハンナ、フランチスカ、フレミオ寡婦/二十二日聖シンフォリアノ殉教者/二十三日聖フィリツポ、ベニチオ證聖者/二十四日聖ベルトロメオ使徒/二十五日(1) 聖ルドヴィコ国王(2) 副者ミカエル、カルヴァリオ及其侶殉教者/二十六日聖ゼフィリノ教皇殉教者/二十七日聖ヨゼフ、カラサンチオ/二十八日聖アウグスチノ司教博士/二十九日聖女サビナ寡婦及聖女セラピア殉教者/三十日(聖マリアの) 聖女ローザ、リマナ童貞/三十一日聖ライムンド、ノンナート證聖者	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33365031	—

MB00831	聖人物語 第9之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	天主公教会	西宮 (兵庫)	1928	305p	九月一日聖エジチオ修院長/二日聖ステファノ国王/三日(1)日本の福者アントニオ石田司祭及び其侶殉教者(2)聖バシリサ童貞殉教者/四日ヴィデルバーの聖ローザ童貞/五日聖ローレンシオ・チユスチニアノ/六日聖レチナ童貞殉教者/七日日本の福者トマス辻、ミカエル中島及び其侶殉教者/八日聖母マリアの御誕生/九日(1)聖ゴルゴニオ及びドロテオ殉教者(2)聖ペテロ・クラヴェール(黒人の宣教師)/十日(1)日本の福者カルロ・スピノラ及び其侶五十五人の殉教者(2)聖ブリケリア皇后童貞/十一日福者チヨアン・ガブリエル・ペルヴェール殉教者/十二日(1)聖マリアの御名の祝(2)福者フランシスコ殉教者/十三日日本の福者アポリナリス及び其侶三十九人の殉教者/十四日聖十字架の頌栄/十五日(1)聖母マリアの七つの悲傷(2)福者アンドレア金司祭殉教者/十六日(1)日本の福者カミロル・コンスタンシオ及び其侶殉教者(2)聖エフエミア童貞殉教者/十七日(1)聖フランシスコの五つの傷(2)聖イルデガルドー修道女院長/十八日(1)クペルテノの聖ヨセフ(2)聖サチロ(聖アンプロチオの兄)/十九日聖ジヤヌアリオ司教及び其侶殉教者/二十日聖エスタキオ殉教者/二十一日聖マテオ福音史家/二十二日ウイラノワの聖トマ司教公奉者/二十三日(1)聖リノ教皇殉教者(2)聖女テクラ、女の最初の殉教者/二十四日聖マリアの贖虜の記念/二十五日福者ローレンシオ・ヤコボ・アンドレア金其侶殉教者(朝鮮の九十九人の殉教者)/二十六日聖シブリアノ聖ユスチナ殉教者/二十七日聖コスマ、聖ダミアノ殉教者(兄弟)/二十八日聖ヴェ センスラオ殉教者/二十九日日本の擁護者 聖ミカエル大天使/三十日(1)聖イエロニモ博士(2)聖ソヒーア寡婦及び其の三人の娘殉教者	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33365031	—
MB00832	聖人物語 10月之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	シルベン・ブスケ	西宮 (兵庫)	1929	7,255p	十月一日聖レミジオ司教/二日守護の天使/三日幼き耶穌の聖女小さきテレチア童貞/四日アシジオの聖フランシスコ/五日(1)聖ブラシード其侶殉教者(2)聖アポリナリス司教/六日聖ブルノー/七日聖女ユスチナ殉教者/八日(1)聖ブリチタ寡婦(2)聖ペラチア痛悔女/九日聖チオニジオ司教其侶殉教者/十日聖フランシスコ・ボルチア/十一日聖タラコー、聖プロボー及び聖アンドロニコ殉教者/十二日聖セラフィノ修士/十三日聖エドワルド大王/十四日聖カリスト教皇殉教者/十五日アピラの聖テレジア童貞/十六日聖ゼラルド・マゼラ/十七日(1)聖マルガリタ・マリア童貞(2)聖エドウイジス寡婦/十八日聖ルカ福音史家/十九日アルカンタラの聖ペトロ公奉者/二十日カンシオの聖ヨハネ司祭/二十一日聖ヒラリオン隠遁者/二十二日聖ニコニコ童貞及聖アロチア童貞姉妹の殉教者/二十三日カピストラの聖ヨハネ/二十四日聖ピラアエル大天使/二十五日聖クレピノ及聖クレピニアノ兄弟の殉教者/二十六日聖エウリスト教皇殉教者/二十七日(1)聖ヴェンセンシオ、聖女サピナ及聖女クリステタ殉教者(2)聖エズバン(エチオピアの王)/二十八日聖シモンと聖ユダ(タデオ)司教殉教者/二十九日王たる基督の祝日(最終日の日曜日)/三十日聖アルホンソ・ロドユリゲス/三十一日聖クエンチノ殉教者	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33365031	—
MB00833	聖人物語 第11之巻	単著	シルベン・ブスケ 著	カトリック教会	西ノ宮	1930	268p	十一月一日 諸聖人の大祝日/二日 死者の記念日/三日 聖女アルペ童貞/四日 聖カロロ・ポロメオ司教/五日 日本の福者パウロ・ナワロ及其侶殉教者/六日 聖レオナルド山修士/七日 聖レスチット司教(イエズス・キリストの弟子)/八日 聖クロチオ外四名の彫刻家殉教者/九日 聖テオドロ・チロ殉教者/十日 聖アンドレア・アヴェリノ/十一日 聖マルチノ司教/十二日 聖マルチノ教皇殉教者/十三日 聖チダコ/十四日 聖スタニスラス・コスカ修道士/十五日 聖女ゼルツルダ童貞/十六日 聖エドモンド大司教/十七日 聖グレゴリオ・タウマツルゴ司教/十八日 聖ロマノ補祭殉教者/十九日 ハンガリヤの聖エリザベト寡婦/二十日 聖フェリクス・デ・フロア(三位一体の律修會創立者/廿一日 聖マリアの奉献/廿二日 聖女セシリア童貞殉教者/廿三日 聖クレメンズ第一世教皇殉教者/廿四日 福者ヨハネ・ガブリエル司教、ペトロ及其侶殉教者/廿五日 聖女カタリナ童貞殉教者/廿六日 ポルトモリシオの聖レオナルド/廿七日 日本の福者木村レオナルド及其侶殉教者/廿八日 十字架の聖ヨハネ博士/廿九日 聖サツルニノ司教殉教者/三十日 使徒聖アンドレア	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33365031	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1149237
MB00834	小さき花：聖女小さきテレジア之自叙伝	単著	テレジア 著 シルベン・ブスケ 訳	シルベン・ブスケ	西ノ宮	1925 (12版)	648p	はしがき/聖女小さきテレジア之略傳/教訓と思ひ出/聖女小さきテレジアの作りし祈禱文/書簡(抄録)/其死後	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45530168	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/943804

MB00835	小さき花：乙女テレジアの自叙伝	単著	シルベン・ブスケ 訳	聖若瑟教育院	大阪	1911.9		教皇ピオ第十世陛下の親簡／日本各司教閣下の教皇陛下に呈せられし文／テレジアの略伝／はしがき／(一) 愛の歌初句 母の心情 幼時の追懐／(二) 母の死去 移転 父の愛情 初の告解 冬の夜語 予言的幻影／(三) 通学 苦しい訣別 奇妙な病氣 聖母の微笑／(四) 初聖体 堅振 光明と暗黒 第二の訣別 靈的苦悩を救はる／(五) 御降誕祭の恩寵 靈魂を救ふ熱望 最初の獲物(大罪人の悔悛) セリナとの親愛 十五歳にて修院に入る願 父の聴許 修院長の謝絶 司教に面謁／(六) 羅馬の旅行 教皇レオ第十三世陛下に拝謁 司教の回答 待遠しき三箇月／(七) 修院に入る 初めの試練 靈魂上の許嫁 雪 大なる悲哀／(八) 靈的結婚 恩寵饒なる黙想 聖女最後の涙 父の死去 願望が如何にして果されしか 愛の犠牲となりし者／(九) 靈性的昇降器 主の最初の招き 暗夜 罪人の食卓 相愛に就て 大勝利 遁亡兵(一〇) 愛徳に就ての新しい光明 小さき筆 其描写法 聴容られた祈祷 パンの遺片 善きサマリア人 地上千年の喜びよりも貴重な十分時／(一一) 兄なる二人の司祭 「我を引寄せよ」といふ 雅歌の句 天主に信頼 天来の訪問 愛の中に平和 高尚な幼年 総ての「小さき者」の招待／(一二) 愛の燄 最終の会話 カルワリオ(苦み) 天国の方に／テレジアの死／テレジアの容姿／教訓と模範	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824854
MB00836	公教研究之栞 第1編	単著	シルベン・ブスケ 著	ペ・マルモニエ	大阪	1913	35p	第一編／第一 天主を拜禮する事／第二 自分の靈魂を救ふ事	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB22282905	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/914161
MB00837	小さきテレジア：子供の為に	単訳	テレジア 原作 シルベン・ブスケ 訳	福音社	大阪	1925	269p	・(一)小さきテレジアの御誕生と四人の姉等の喜／はしがき／聖女小さきテレジア之略傳(子供の爲に)／(二)母の涙と其燃える信頼心／(三)乳母の家……ルースと云ふ牝牛……テレジアの祖先に就いて一言……小さき女王家に歸る／(四)贅澤な服装婦人を嫌ふ……母に對する愛情……母に心配を掛けぬ様……セリナ姉の爲……守護の天使……[虚榮心に]對する最初の勝利／(五)テレジアの信心……大雨を冒して聖堂に行かんとす……テレジアの心向は天上の方へ……早く御死去なさい……小さき女王鞦韆……許して頂戴……父に告白なさい／(六)姉のセリナと[仲良し]……テレジアの頓智……バトワール小母さん……犠牲／(七)[時く]者が收獲を得ん……花束の犠牲……讀む事を習ふ……一錢はいらぬ……テレジアの夢……惡魔の怖れ……快活な気分……風景を愛す／(八)島流しの地……小さきポリナを思ふ……或婦人の家……母の死去……可愛想に……小さき母ポリナ……小供の教育に就き感心な父親／(九)父は五人の母なき子供を伴ひリジユに着く……叔父叔母の二人此家族を歓迎す／(十)リジユ市の[ブイソネ]の別荘……小さき母の教育を受く……最初に讀めた言葉……無邪氣な遊劇……賞品授與式／(十一)父との散歩……其美しき有様……テレジアの愛嬌……[聖體訪問……テレジアの質問……父の教訓……]貧しき寡婦の話……お父様よお父様が王様に撰ばれなさると、父が毎朝六時[の]ミサに預る理由、……トムと云う犬……テレジアの美しき犠牲と従順／(十二)貧者に對する同情心……貧者の爲テレジアの祈祷……テレジアの傳達……[舌瘡]を癒さる／(十三)休息の一日……花摘み……小鳥の巢……魚釣り……母懐ひ……嵐／(十四)星の庭園……舞踏ざらひ……蜜蜂に倣ひ……隱遁者[の眞似]……失敗……海邊……小さき白帆／(十五)夕物語……初告解……日曜[の]日……星を眺めて／(十六)學校に寄宿……意志の教育……驢馬と小犬／(十七)ポリナ、カルメル修道女院に入る……テレジアの病氣／(十八)聖母マリアの御保護／(十九)初聖體の準備……祈禱りと犠牲／(二十)初聖體……喜悅の涙……堅振……試練……平和……姉のマリア修道女院に入る／(二十一)勝利の實……千八百八十六年の御誕生日父の慈愛……ストーブの靴……英雄の勇氣／(二十二)靈魂を救ふ爲め[の]熱心……不信仰の女……二人、貧しき子供……殺人[プランチニ]の改心／(二十三)天主の御召し……セリナの[親密]……献身的行爲……優しい反響……姉思ひ……愛情の徴……聖母訪問會……[小鳥]の囀り……白い花……不思議な雨……司教様へのお願ひ／(二十四)羅馬への旅行……汚れ無き百合の花……サンゴタルトの隧道……水の都……聖家族の御家カタコンブコリゼオ……教皇陛下の謁見……小さき手玉／(二十五)カルメル修道女院……お父さんの祝福……空色の衣服……名譽の花冠……着衣式の日……三の誓願……父の病氣……英雄的の忍耐……天國の薔薇の花……テレジアの死去／ばらの雨／小さきテレジアと子供	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB02043683	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1169406

MB00838	幼な子に倣ひて：聖女小さきテレジアの踐まれし愛の道	単訳	シルベン・ブスケ 訳	カトリック教会	西宮	1930	203p	一、 靈的幼な子の道とは如何なるものか、又如何に聖書に基いているか／父なる天主は吾等に對して如何に憐み深き御方であらせられるか／吾等は天主様に對して如何なる子供であらねばならぬか／靈的幼な子の道に入るとは如何なる意味か／二、 小さき事弱き事／子供の道に於て心の謙遜が如何に必要であるか／小さき者の力と恃む心の謙遜は如何にして其者を小さき道へ導き天主の寵愛を受けしむるか／三、 貧しき事／貧しきに安んずる人は、其總てを天主に仰ぐので、却つて不足なき者である／恩寵を願ふには其日其日或は時々刻々に願はねばならぬ／四、 天主に信頼する事／信頼の基礎／信頼心の基礎となるものは吾等に對する天主の愛である。／信頼心の基礎となるものは天主の限りなき慈悲である。／信頼心の基礎となるものは天主の正義である。／實用的價值／特別應用／五、 愛／靈的子供の道に於ける愛の重要性と其役目及び適用／愛は聖女小さきテレジアの完徳の特徴であり又子供の特殊の徳である／如何に愛を望み、又如何にして萬事を愛によつて行ふやう幼年より練習せねばならぬか／愛を實際に行ふには如何にすべきや—聖女より見たる實際的の愛／常に主の聖心を喜ばせ奉るやうに勉むる事。／小さき犠牲の花を主に献げる事。／僅かな機會をも免さず利用する事。／苦しむのみならず又愛によつて楽しむ事。／萬事を愛の爲に献げると共に、喜んで微笑むべき事。 愛の細やかなるべき事。／六、 愛の續き／神秘のエレベーター、憐みある慈愛に身を献ぐる事。／神秘のエレベーター／天主様の憐みある慈愛に焼き盡さるる爲犠牲となる事／聖女は如何にして天主様の慈愛に犠牲として身を献げるやうになられたか。／憐みある慈愛に身を捧げるとは如何なる事か。／正義に身を委ねる者との比較。／憐みある慈愛に身を献ぐる事と、苦惱の方面より見たる其の結果。／天主様の愛に身を献げし結果の主要なるもの／七、 身を委ねる事／身を委ねる事の靈的子供の道に於ける役目／身を委ねる事が如何にして人々を完全なる愛に導くか／身を委ねる事によつて其愛を表す事／身を委ねるに就ての聖女の賢徳／八、 熱心／『熱心』の泉／熱心の實習／九、 質朴（單純）／質朴は如何して眞直に天主へ向ふか／如何にして又何處に質朴を學ぶべきや／諸徳の實行に就ての質朴／附録／	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75526760	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1037538
MB00839	聖母マリアの伝図解	単訳	シルベン・ブスケ 訳	天主公教会	屋形町 (和歌山県)	1928.7	91p	一、 序言／二、 聖ルカの画きし聖母と幼き耶穌／一、 ゼッセの樹／二、 天使ヨアキムにマリアを懐妊したるを知らず／三、 聖母の御誕生／四、 マリア聖殿に捧げらる／五、 聖殿に於けるマリア／六、 マリアの御婚姻／七、 御告げ／八、 マリア従姉エリザベットを御訪問す／九、 エリザベットの家に於けるマリア／一〇、 天使托身の玄義をヨゼフに知らず／一一、 救ひ主の御誕生／一二、 厩に於ける牧者／一三、 三人の博士の拝礼／一四、 シメオンの預言／一五、 聖家族エチプトに逃れ給ふ／一六、 砂漠の於ける聖家族／一七、 エジプトに於ける聖家族／一八、 聖母聖殿に耶穌を見失ひ給ふ／一九、 ナザレットに於ける聖家族／二〇、 聖ヨゼフの御臨終／二一、 カナの婚礼に於ける聖母／二二、 耶穌の公生活に常に従ひ給ふ聖母／二三、 カルワリオの途上耶穌に出遇ひ給ふ／二四、 十字架上の耶穌聖母を母として聖ヨハネに与え給ふ／二五、 十字架上より下された耶穌を抱く悲しみの聖母／二六、 カルワリオより歸りて／二七、 御復活の耶穌聖母に現れ給ふ／二八、 御昇天に預かつた聖母／二九、 聖霊降臨／三〇、 聖母の聖体拝領／三一、 聖母カルワリオへ最後の御訪問／三二、 聖母の御死去／三三、 聖母の御葬式／三四、 聖母の被昇天／三五、 天国に於ける聖母マリア／三六、 聖母マリアと地上の人々／三七、 玫瑰花冠／三八、 聖母の聖衣（スカピラリオ）／三九、 不思議の聖牌／四〇、 聖母ルドに出現し給ふ／四一、 日本の聖母マリア／（附録）日本国民の感化を求むる祈禱	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA70484528	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Fox, Harry Robert		H. R. ファックス		1922—		プロテスタント		日本		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00840	アジアにおけるキリスト教	共編	H.R.ファックス、山本和 共編	創文社	東京	1955	201p	献詩 フェニクスは歌う(ゼームス・グリーア) 世界宣教二千年史の高潮と退潮(石原謙) アジアにおける宣教と護教(山本和) プルトマンの"非神話化"の問題をめぐつて(赤岩栄) 歡喜の使信の担い手(ハリイ・R.ファックス) 日本における伝道の障害(北森嘉蔵) 自己への召し(ローガン・ファックス) 異質文明の出会い(山本新)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13797217	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2970652

MB00841	無条件の愛：ハリー・R・ファックス先生集会記録：常陸太田キリストの教会八十周年記念	講述	ハリー・R.ファックス 述、常陸太田キリストの教会 編	常陸太田キリストの教会八十周年記念誌編集委員会	[常陸太田]	2005.10	180p	はじめに/太田の思い出/一九七六年「ホーリネスとホールネス」/一九七八年 ハリー先生来日のお知らせ/ハリー先生からのお手紙/「献身」/「福音に満たされる」/各地で恵みの集会/一九七九年 喜びの礼拝/一九八〇年 テープメッセージ/「山上の垂訓」/一九八二年「どんな貢献が出来るか?」/「真の喜び」/ハリー先生からのお手紙/付記/一九八四年 招聘事務担当教会として/「なぜ教会に集まるのか」/信徒感想文/太田でのハリー先生/ハリー先生からのお手紙(その一)/ハリー先生からのお手紙(その二)/ときわ路集会(一)「互いに仕えよ」/ときわ路集会(二)「八福の教え」/ときわ路集会(三)「まことの友達」/信徒感想文/一九八九年 ハリー先生からのお手紙/一九八九年の来日予定/ハリー先生のご挨拶/「つまづかないために」/「献身」/報告一、横堀ホーム訪問/報告二、茨城での集会終わる/一九九〇年「真の友人となりましょう」/「無題」/証し「神に喜ばれる」(ジェリー・ファックス)/一九九一年「報告」/信徒感想文/寄稿/一九九二年「キリストの教会に将来があるか」/「友なる神」/一九九四年「福音と律法」/一九九五年 イヤー・エンド・レター(抄録)/一九九六年 イヤー・エンド・レター/一九九七年「つながっていなさい」/一九九七年 イヤー・エンド・レター/一九九八年「愛について」/信徒感想文/ハリー先生からのお手紙/一九九八年 イヤー・エンド・レター/二〇〇〇年「美味しい聖書」/信徒感想文/二〇〇一年「小グループでの活動を見て」/付記/詩「ナザレ園墓地にて」(ジェリー・ファックス)/ハリー先生からのお手紙/二〇〇三年 イヤー・エンド・レター/詩「すべて信じる者の中で驚嘆されるであろう」(ジェリー・ファックス)/二〇〇四年「もはや律法の下ではなく、恵みの下で」/常陸太田キリストの教会へのクリスマス・メッセージ/来日日程一覧(一九七八-二〇〇一)/ハリー・ロバート・ファックス、Jr. 先生略歴	=	=
MB00842	傾聴学入門：カウンセリング的対人観	口演	ローガン・J.ファックス 口演、小林秀夫 編	一世出版	東京	1968	113p	序にかえて I カウンセリングへのひとつの道標/II カウンセリング的対人観の基本問題/第1部 カウンセリングの基本問題/第2部 カウンセリングの技術/第3部 カウンセリングとは援助的関係/III カウンセリング(治療)条件の歴史の変遷/IV カウンセリングの歴史の系譜とその基本的な考え方/あとがき一人の充実/参考文献/付録 カウンセリング研究資料に出てくる主な外国語	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05339079	—
MB00843	摂理と自由：キリスト教歴史論	編著	山本和、ローガン・ファックス 編	理想社	東京	1954	236p	I 歴史の見方/摂理と歴史 山本和/聖書に於ける終末論 菅田吉/自由の根拠 赤岩栄/恩寵と自然 吉村善夫/『アメリカ史の皮肉』への省察 ハリー・ファックス/II 歴史を担うもの/文学における自由の問題 椎名麟三/天国と地獄との抗争 ローガン・ファックス/ソロヴィヨフ論 栗林種一/価値の転換 山本新/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13518878	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2967249

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Fister, Paulo		パウロ・フィステル		1906—		カトリック・イエズス会		イタリア		
目録番号	書名(別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ(NDL)
MB00844	カトリック世界観序論	単著	パウロ・フィステル 著	光明社	札幌	1947年3版	142p	緒言/第一章 世界観研究の意義/第二章 真理の絶対性/第三章 世界が示顯する神/第四章 神を志向する人性/第五章 神の攝理/第六章 人類に與へられる神の啓示/第七章 救世主としての基督/第八章 基督の教會/第九章 カトリック世界観に於ける信仰の奥義/第十章 カトリック世界観と社會秩序/結論	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA83144420	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939780
MB00845	カトリック世界観序論	単著	パウロ・フィステル 著	光明社	札幌	1941年2版	123p	緒言/第一章 世界観研究の意義/第二章 真理の絶対性/第三章 世界が示顯する神/第四章 神を志向する人性/第五章 神の攝理/第六章 人類に與へられる神の啓示/第七章 救世主としての基督/第八章 基督の教會/第九章 カトリック世界観に於ける信仰の奥義/結論	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12168147	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1037507
MB00846	カトリック世界観序論	単著	パウロ・フィステル 著	光明社	札幌	1938年初版	123p	緒言/第一章 世界観研究の意義/第二章 真理の絶対性/第三章 世界が示顯する神/第四章 人性の神への志向/第五章 神の攝理/第六章 人類に與へられる神の啓示/第七章 救世主としての基督/第八章 基督の教會/結論	=	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1260883

MB00847	基礎神学講話	単著	パウロ・フィステル 著	中央出版社	東京	1944年初版、1947年改訂増補版、1948年補訂再版	318p	<p>第一講話 宗教の本質/近代に於ける非キリスト教的宗教観と其の哲學的根柢/キリスト教的・カトリック的な宗教観/理性と信仰/カトリシズムに於ける人間の宗教的な態度と完成/第二講話 天主の啓示の史的現實性と超自然的性格/史的事實としての超自然的啓示に関する認識の可能なること/新約の天啓の歴史的基底/非キリスト教側の證言/新約聖書の報導内容の真正さと確實さ/舊約聖書の諸書の歴史的價值/天啓の超自然的性格(天啓の標識 奇蹟に関するカトリックの見解)/カトリック信仰の絶對的確保/第三講話 新約のキリスト/新約聖書に現はれたキリストの姿に就いての唯理主義的批判の無力性/新約聖書に於けるキリストの姿の本質的な諸要素/メシアとしてのイエズス/天主の子としてのイエズス/キリストの神性に関する初代教會の證言/キリストの人間の容姿、その凡ゆる方面に於ける完全性と独自の聖性/キリストの奇蹟/キリストの復活/第四講話 教會の起源と制度/舊約に於ける天主の國の理念/イエズスの宣示し創始した天主の國/キリストの創始した宗教的協同體の聖職位階制度/教會の制度に関する非カトリックの見解/教會の普遍的持續と活動/『教會の外に救ひなし』/第五講話 キリストの教會の本質的記標/キリストの教會の一體性/キリストの教會のカトリック性/キリストの教會の使徒傳來性/キリストの教會の聖性/カトリック教會のみ此の四記標を悉く所有すること/カトリック教會の一體性/カトリック教會のカトリック性/カトリック教會の使徒傳來性/カトリック教會の聖性/第六講話 キリストの教會に於ける最高牧者ペトロ/福音書に依る使徒ペトロの首位權/ペトロの首位權に就いての使徒行録の證言/ローマに於けるペトロの滞在と死/ペトロの後繼者としてのローマ司教/使徒ペトロの首位權に関する古代教會傳統の證言/ペトロの後繼者としての教皇の首位性に関する古代教會傳統の證言/古代教會に於ける教皇の首位權の行使/教皇の最高牧職及びその不可謬性に就いてのカトリック教義/教皇職の純粹靈的性格(全教會の最高牧者としての教皇の政治的獨立及び中立)/第七講話 カトリック教理の源泉とその展開/カトリック教理の源泉/カトリック教理の源泉としての聖書/神感の事實/神感の本質/神感によつて成りたる結果としての聖書の無誤謬性/教會の教職による聖書に関する證明と註釋/カトリック教理の源泉としての聖傳/聖傳の本質と啓示の源泉としてのその性格/教會の聖傳の最も重要な證人/聖書と聖傳との相互關係/カトリック教理の展開/教會に委託された信仰の眞理、即、Depositum fidei の展開に於ける教會の進歩(カトリック的意味に於ける教義の進歩)(1947年版目次)</p>	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13443338	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1040923
---------	------------------------	----	-------------	-------	----	------------------------------	------	---	---	---

MB00848	聖パウロの書簡：囚れ時代の書簡	単著	パウロ・フィステル 著	中央出版社	東京	1956□	122p	序言／聖パウロの書簡／囚われ時代の書簡／エフェソ書序論／エフェソ書解説／挨拶（第一章一節）／教義的部分〔すべてのキリスト信者の頭たるキリストに於ける一致、及び、神秘体たる教会に於けるその一致の実現〕／聖三位一体の天主の信者に対する思慮の御業に就いての讃美（第一章三―四節）／聖パウロは信者のために霊的知識を祈る（第一章五―二二節）／キリストによる人間の更新と総ての人々の一致（第二章一―二二節）／聖パウロは自己の使徒職を賞讃し、信者の超自然的知識と生命の完成を祈る（第三章一―二二節）／倫理的部分〔キリストの神秘体に於ける実際生活〕／キリスト信者相互間の愛と一致（第四章一―一六節）／キリスト信者の一般的善徳（第四章七節―第五章二十節）／キリスト教的家庭生活に関する特別な教訓〔婚姻の尊さ等〕（第五章二節―第六章九節）／キリスト教的聖戦への激励と末文（第六章十一―二四節）／コロサイ書序論／コロサイ書解説／挨拶（第一章一―二節）／感謝（第一章三―八節）／祈願（第一章九―一四節）／教義的部分／キリストの尊厳とその絶対的優越性（第一章一五―二二節）／聖パウロの福音に対する奉仕（第二章二四―二九節）／偽教師に対する警告、救霊の本源・神秘体の頭たるキリスト（第二章一―二二節）／倫理的部分／キリスト教的生活の為の教訓（第三章一―四章六節）／すべての信者に対して（第三章一―一七節）／家庭生活に於ける信者の義務（第三章一八節―四章一節）／祈と正しき交際への観告（第四章二―六節）／末文（第四章七―一八節）／フィレモン書序論／フィレモン書解説（第一節―二五節）／フィリッピ書序論／フィリッピ書解説／挨拶、及び、聖パウロのフィリッピの信者に対する心情（第一章一―一節）／ローマに於ける使徒の状況（第一章二―二六節）／キリスト教的歩みと斗いへの激励（第一章二七―三〇節）／愛と謙遜との忠告（第二章一―四節）／謙遜と従順の最高模範たる神人イエズス・キリスト（第二章五―一節）／新しい実際の勧告と激励（第二章二―一八節）／聖パウロの二人の協力者の派遣（第二章一九―三〇節）／偽教師に対する警戒、キリスト教的義（第三章一―一節）／キリスト教的義とその完成の為の努力（第三章二―一六節）／キリスト教的歩みの違大さ（第三章七―二二節）／特別な勧告とキリスト教的喜びへの励まし（第四章一―七節）／キリスト教的生活の実行（第四章八―九節）／フィリッピ人の援助に対する感謝と、使徒パウロの聖なる自由と覚悟（第四章十一―二〇節）／末文（第四章二―二三節）	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA3931221X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936447
MB00849	聖パウロの書簡：牧会書簡	単著	パウロ・フィステル 著	中央出版社	東京	1957□	94p	序言／『牧会書簡』／一、牧会書簡の作成時期と事情／二、牧会書簡の宛名人／三、牧会書簡の特徴／『チモテオ前書』／挨拶（第一章一―二節）／偽教師および異端に対する警戒（第二章三―二〇節）／教会における共通の祈りとすべての人に対する天主の救霊の御旨（第二章一―一五節）／教会に聖職者のための勧告（第三章一―三節）／キリストの真理の柱たる教会（第三章四―一六節）／謬説に対する警戒（第四章一―五節）／チモテオ自身に対する忠告（第四章六―一六節）／教会司牧に関する一般規則（第五章一―二節）／寡婦に関する規則（第五章三―一六節）／教会の長老に対する規則（第五章七―二五節）／奴隷に関する忠告（第六章一―二節）／偽教師に対する新しい警戒（第六章三―一〇節）／チモテオに対する特別な訓戒（第六章一―一六節）／裕福な人に対する新しい勧告（第六章七―一九節）／最後の教訓と末文（第六章二〇―二二節）／『チト書』／挨拶（第一章一―四節）／クレタ島における聖職者の選定に関する訓戒（第一章五―九節）／偽教師に対する警戒（第一章一〇―一六節）／各階級の信者に対する忠告（第二章一―一〇節）／キリスト教的徳の原動力である救世主の恩寵（第二章一一―一五節）／信者の社会的義務（第三章一―二節）／キリスト信者の超自然的再生と聖性（第三章三―七節）／再生と一新をもたらす洗礼（第三章五―七節）／種々の具体的忠告（第三章八―一一節）／末文（第三章一二―一五節）／『チモテオ後書』／挨拶（第一章一―二節）／感謝（第一章三―五節）／聖務に対する忠実と熱誠への励まし（第一章六―一八節）／聖職における正しい奉仕と戦い（第二章一―七節）／忠実の保証たるキリスト（第二章八―一三節）／謬説の危険（第二章一四―一八節）／教会の堅固な基礎（第二章一九―二二節）／チモテオの示すべき模範、および、迷える者に対する心がまえ（第二章二二―二六節）／将来の悪に対する戦いと聖役における忠実（第三章一―四章五節）／使徒パウロの殉教の切迫（第四章六―八節）／末文（第四章九―一二節）／聖ヨハネ・クリソストモスの『チモテオ後書』（第四章七―八節）註解	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75933684	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936448

MB00850	第二バチカン公会議	単著	パウロ・フィステル 著、中村友太郎 訳	南窓社	東京	1967	282p	<p>まえがき／第二バチカン公会議の前史と告知と準備／前史／告知／準備／第一会期（一九六二年十月十一日―十二月八日）／開会式（ヨハネ二十三世の綱領演説）／最初の活動、委員会委員選挙（日本人の委員会委員）／典礼憲章についての討議と予備表決（土井枢機卿とその他の日本の司教たちの発言）（十月二十二日―十一月十三日）／啓示の源泉に関する議案についての討議と予備表決、公会議の危機とヨハネ二十三世の仲介（十一月十四日―二十一日）／マス・コミの機関に関する議案、および教会一致に関する議案についての小討議（十一月二十三日―三十日）／教皇の発病／教会に関する議案についての討議（十二月一日―七日）／第一会期の終結、ヨハネ二十三世の告別の辞、本会期の成果／第一会期と第二会期の間／教皇ヨハネ二十三世の死去とパウロ六世による公会議の継続／第二会期（一九六三年九月二十九日―十二月四日）／開会式（パウロ六世の指針演説）／教会に関する教義憲章の議案についての討議（九月三十日―十月三十一日）／（1）議案についての一般討議、教会の秘義および教会への所属についての討議／（2）位階制度と司教団についての討議／（3）残りの章（神の民・信徒・聖性への召命）についての討議／（4）十月二十九、三十日の表決（聖母マリアの議案について、および司教団に関する質疑について）／司教と司教区統轄に関する議案についての討議（十一月五日―十五日）／エキュメニズムに関する議案についての討議（十一月十八日―十二月三日）（土井枢機卿の発言）／公会議委員会のために補充選挙／第二会期の終結、典礼憲章とマスコミの機関に関する教令の公布／パウロ六世の聖地巡礼／エルサレムにおけるコンスタンチノーブルの総主教アテナゴラスとの出会い／第三会期の準備／第三会期（一九六四年九月十四日―十一月二十一日）／開会式（教皇と公会議教父たちとの初の共同司式ミサ）／教会に関する教義憲章の第七・八章と教会における司教の司牧任務に関する議案のいくつかの部分についての討議（九月十五日―二十二日）／教会憲章についての第一の表決／信教の自由に関する宣言、およびユダヤ教徒に関する宣言の各議案についての討議（長江司教の発言）（九月二十三日―三十日）／神の啓示に関する議案についての討議（十月一日―七日）／信徒使徒職に関する教令の議案ならびに司祭の役務と生活に関する小議案、および東方教会に関する小議案についての討議（十月七日―十九日）／エキュメニズムの議案についての第一の表決、信教の自由に関する議案、およびユダヤ教徒に関する議案のために生じた動揺と緊張、第四会期の開催決定される／現代世界における教会に関する議案についての討議（十月二十日―十一月十日）／五つの小議案についての討議／教会の宣教活動に関する議案／修道生活の刷新・適応に関する議案／司祭の養成に関する議案／キリスト教的教育に関する宣言の議案／婚姻の秘跡に関する提案（田口司教の発言）／第三会期末におけるできごとと緊張（教会に関する教義憲章と、エキュメニズムおよびカトリック東方教会に関する教令の各議案についての第二の表決、教会に関する教義憲章の議案第三章への解説的注釈、教皇の仲介によるエキュメニズムに関する議案における最終的修正）／信教の自由の議案についての第一の表決の延期と、キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度に関する議案についての第一の表決／第三会期の終結、教会に関する教義憲章ならびにエキュメニズムに関する教令およびカトリック東方教会に関する教令の公布（十一月二十一日）／第三会期の成果と教皇のインド旅行／第四会期の一九六五年九月十四日開始の決定とこの最終会期の準備／第四会期（一九六五年九月十四日―十二月八日）／開会式（司教評議会〔Synodus Episcoporum〕の設置と教皇の国連訪問の告知）／司教評議会設置に関する「自発令・Motu proprio」／信仰の自由に関する宣言の議案についての討議（九月十五日―二十一日）／現代世界における教会に関する司牧憲章の議案についての討議（九月二十一日―十月八日）／公会議との密接な関係のうちに行なわれたパウロ六世の国連訪問（一九六五年十月四日）／教会の宣教活動に関する改訂議案（十月八日―十三日）および司祭の役務と生活に関する改訂議案（十月十四日―十六日と二十五―二十六日）についての討議、（長江司教の発言、土井枢機卿の最後の発言）、公会議の終了（十月二十六日）／神の啓示に関する議案および信徒使徒職に関する議案についての第一と第二の表決（前者の議案の修正に関する教皇の仲介）／五つの議案に関する第二の表決／公会議最後の数週間の仕事、信教の自由に関する宣言の議案についての第一の表決／十月二十八日の荘厳な公開会議、五つの公会議公文書（教会における司教の司牧任務に関する教令、修道生活の刷新・適応についての教令、司祭の養成に関する教令ならびにキリスト教的教育に関する宣言とキリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度に関する宣言）の公布／残りの諸議案についてのいくつかの表決と免償（Indulgentiae）の改革についての各国司教団議長の宣言／十一月十八日の荘厳な公開会議、神の啓示に関する教義憲章と信</p>	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05512592	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939791
---------	---------------------------	----	------------------------	-----	----	------	------	---	---	---

								徒使徒職に関する教令の公布。公会議の諸決議の実施に関する教皇の演説/最後のいくつかの総会と残されていた四議案についての第二の表決。公会議教父たちのための別れの催し/聖パウロ大聖堂におけるエキュメニカルな祈とう祭儀とオブザーバーたちとの別れ/一九六五年十二月七、八日の公会議の荘厳な終結/十二月七日の荘厳な公開会議、信教の自由に関する宣言、教会活動に関する教令、司祭の役務と生活に関する教令ならびに現代世界における教会に関する司牧事案の公布。おとびら。フヒコノミヤクニ、ミヅノミヤクニの信仰告白		
MB00851	パウロ六世教皇による神の民のクレド：「信仰の年」を閉じるにあたっての教皇宣言	校閲	パウロ・フィステル 校閲 熊谷賢二 訳	中央出版社	東京	1968.8	16p		https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA83855225	—
MB00852	エキュメニズム指針 上	校閲	キリスト教徒一致推進事務局 編、パウロ・フィステル 校閲 熊谷賢二 訳	カトリック中央協議会	東京	1968.9	40p	第一部 序/一 教会一致委員会の設立/二 われわれから分かれた諸教会や教会的諸団体の役職者によって授けられた洗礼の有効性/三 カトリック教会において推進されるべき霊的エキュメニズム/四 分かれた兄弟との霊的な事ならびにおける交わり	—	—
MB00853	日本のキリスト者の一致のために：第二バチカン公会議に基づく省察	単著	パウロ・フィステル 著 中村友太郎 訳	中央出版社	東京	1969	170p	推薦のことば 熊沢義直/第一章 キリスト教の分裂とエキュメニズム/一、一般的序説/二、ローマ・カトリック教会と東方諸教会との分離/三、一六世紀の宗教改革より生じた西方教会における分裂/四、エキュメニカル運動/五、キリスト教の分裂に関する神の不思議な思召/第二章 分裂の遺産を受け継いだ日本におけるキリスト教の宣教/一、一つであった教会の宣教/二、一六世紀の西方キリスト教の分裂以後の宣教/三、日本におけるキリスト教の宣教/第三章 日本におけるキリスト者のコイノニア（交わり）の成長/一、一般的に見たキリスト者のコイノニア/二、日本におけるキリスト者のコイノニアの成長/日本万国博覧会キリスト教館のための祈り	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08528770	—
MB00854	教会に関する教義憲章解説：第二バチカン公会議	単著	パウロ・フィステル 著	中央出版社	東京	1970	163,12p	序/第一章 教会の秘儀について/第二章 神の民について/第三章 教会の位階制度、特に司教職について/第四章 信徒について/第五章 教会における聖性への普遍的召命について/第六章 修道者について/第七章 旅する教会の終末的性格および天上の教会との一致について/第八章 キリストと教会の秘儀の中における神の母、処女聖マリアについて/聖なる第二バチカン公会議の記録より	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75934869	—
MB00855	聖フランシスコ・ザビエルの歩いた道	単著	パウロ・フィステル 著	中央出版社	東京	1982.10	127p	日本のみなさまへ/序文/1 故郷バスクからパリまで/2 パリにおける回心、イグナチオ・デ・ロヨラの弟子/3 パリからヴェネツィアとローマへ/4 ローマから東洋への派遣/5 東洋への旅/6 東洋における福音宣教/インド/マラッカとモルッカ諸島/インド/日本（鹿児島・平戸・山口・都・山口・豊後/インド/中国の門前で/むすび/聖フランシスコ・ザビエルの年表/史料・文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04435521	—
MB00856	聖フランシスコ・ザビエルの師イグナチオ	単著	パウロ・フィステル 著	中央出版社	東京	1983.12	113p	序文/1 回心前のイグナチオ (a) ロヨラ城において/(b) 小姓と騎士/2 恵みの負傷と病床/3 マンレサで神から受けた使命/4 使命の実行への長い道 エルサレム/スペイン/パリ/ヴェネツィア/ローマへ/5 ローマにおける十九年 イエズス会の創立/イエズス会の内的・外的発展の指導/イエズス会の発展/フランシスコ・ザビエルに対する不変の親心/神秘化としてのイグナチオ/キリストの兵士としての死/6 イグナチオ後のイエズス会が辿った道/十六世紀から十八世紀までの発展と活動/一七七三年のイエズス会の解散と四十一年間の不思議な存続/一八一四年の再興およびその後の発展/7 イエズス会と日本/8 むすび/聖イグナチオ・デ・ロヨラの年表/史料・参考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04436025	—
MB00857	青少年の保護者聖アロイジオ	単著	パウロ・フィステル 著	ドン・ボスコ社	東京	1986.2	48p	1 序文/2 幼年時代/3 フィレンツェの勉学/4 初聖体と家庭における勉学/5 マドリードにおける奉仕と勉学/6 イエズス会への召し出しとその実現のための苦心/7 イエズス会における六年の歳月 ローマ/ナポリ/ローマ/カスティリオーネ、ミラノ/ローマ/8 青少年の保護者である聖アロイジオ/9 聖アロイジオと日本	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04435736	—

MB00858	日本のイエズス会史：再渡来後1908年から1983年まで	編集	パウロ・フィステル 著	イエズス会日本管区	東京	1984	307p	序論 聖フランシスコ・ザビエルから一九〇八年までのこと／1 イエズス会の再渡来と上智大学の創立／2 広島代牧区 (Vicariatus Apostolicus) の創立とその発展／3 南洋におかえるイエズス会の宣教／4 靖国神社問題とそのなりゆき (一九三二)／5 上智大学の諸活動／6 イエズス会の養成の家 (Domus Formationis) の設立／7 六甲学院の創立と発展 (一九三八)／8 第二次大戦中の日本のイエズス会／9 イエズス会神学部のはじまり／10 戦時下に死去した兄弟たち／11 戦後の再建とイエズス会の第二九総会／12 栄光学園と日本語学校の創立と発展 (一九四七)／13 東京カトリック神学院／14 各地の進展／15 ウォルシュ (Walsh) 視察使の訪問と日本準管区の設立／16 新しい準管区の発足／17 聖フランシスコ・ザビエル渡来四〇〇年記念 (一九四九)／18 日本準管区の最初の五年間の発展／19 アルペ (P. Arrupe) 準管区長就任から日本準管区の管区昇格まで／20 日本管区の設立から、イエズス会総三総会まで (一九五八―一九六六)／21 イエズス会第三総会から再渡来の七〇周年記念まで (一九六六―一九七八)／22 一九七八年からイエズス会第三三総会 (一九八三年) まで／23 神に召された兄弟たち	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07166448	二
---------	--	----	-------------	-----------	----	------	------	---	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Finateri, Serafino		セラフィ・フィナテリ		1913—1990		カトリック・フランシスコ修道会		イタリア		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00859	キリスト教の常識：欧米人を理解するための	単著	S.フィナテリ 著	講談社	東京	1981年初版、1984年座右版	262p	1 人間は理性をもった動物である／2 龍安寺の石庭と宇宙観／3 なぜ人間は自殺してはいけないのか／4 復活の思想と輪廻の思想／5 預言は未来未知ではない／6 神はなぜ父なのか／7 われわれはみな罪びとである／8 キリストはなぜ十字架にかけられたか／9 どこまで愛するのか／10 何のために祈るのか／11 聖書が先か、教会が先か／12 アリアは神の母である／13 幸福と生きがい／14 キリスト教は過去の宗教か／―宣教師としての日本の友へ―あとがきに代えて (目次は1981年版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13641943	二
MB00860	終末論のまぼろし：大予言の嘘とまこと	単著	セラフィノ・フィナテリ 著	講談社	東京	1983.2	247p	序章 終末の淵で／第一章 ヴェールのなかのファチマ第三の予言／第二章 ノストラダムスの週末予言／第三章 マラキアの教皇予言／第四章 古代人の終末観／第五章「選民」イスラエル／第六章「黙示録」は訴える／第七章「破局」のとき／第八章「死」と「復活」／第九章「天国」と「地獄」／第十章 やがてくる再臨と審判／第十一章 悪魔との戦い／第十二章 終末と聖母マリア信心／終章 万物は完成される／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13960249	二
MB00861	聖母マリアはなぜ「出現」したのか：いま、キリスト教に起きている超奇跡	単著	S.フィナテリ 著	徳間書店	東京	1985.8	224p	はじめに／I 共産圏で続く聖母マリアの「出現」／II エジプトにあらわれた沈黙のマリア／III サンダミアノの不思議な女性／IV 現代にもいた「聖痕」の人／V 聖体だけで生きた「聖痕」の女／VI 布に映し出されたある人物の姿／VII キリストの生涯を「見た」女／VIII 死者たちは私たちに何を告げるか／IX ローマにはじめての「聖母出現」／X 大戦の前に「出現」した寡黙な聖母／XI 涙を流す聖母像―イタリアと日本／XII ルルドとファチマ―	—	—
MB00862	神の家に：司祭として五十年	単著	セラフィノ・フィナテリ 著	春秋社	東京	1986.7	120p	山の村から／修練院の雪の庭／平和をもたらず者／ついにジャポネ (日本) へ／救いは東方から／イエズスの神／やがてくる再臨と審判／涙を流す聖母像―イタリアと日本／幸福と生きがい／―読者からの手紙	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11128511	—
MB00863	聖書の人生論	単著	セラフィノ・フィナテリ 著	聖母の騎士社	長崎	1990.8	253p	誕生／親と子／男と女／性／家族／仕事／時間／飲食／富と貧困／病い／孤独と共同体性／罪悪感／友情／勇気／旅／若さ／老い／世界／ユーモア／戦い／愛／死／「生きる」とは？／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12162129	—
MB00864	イエス・キリストの真実	単著	セラフィノ・フィナテリ 著	聖母の騎士社	長崎	1991.3	298p	1 イエスの顔のなぞ／2 イエスの風土と時代／3 イエスの先駆者／4 イエスはどんな人柄だったか？／5 イエスなんていなかった？／6 福音書は信じられるか？／7 貧しい人々への福音／8 ゆるしと愛／9 病者のいやし／10 イエスの弟子たち／11 イエスと女性／12 イエスの神／13 イエスとユダ／14 イエスの最後の日々／15 ヨハネの描いたイエス／16 イエスの復活／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN10902020	—
MB00865	イエズス・キリストの真相	単著	セラフィノ・フィナテリ 著	集英社	東京	1984	238p	1 イエズの顔のなぞ／2 イエズの風土と時代／3 イエズの先駆者／4 イエズはどんな人柄だったか？／5 イエズなんていなかった？／6 福音書は信じられるか？／7 貧しい人々への福音／8 ゆるしと愛／9 病者のいやし／10 イエズの弟子たち／11 イエズと女性／12 イエズの神／13 イエズとユダ／14 イエズの最後の日々／15 ヨハネの描いたイエズス／16 イエズの復活／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05295472	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Voss, Gustave		グスタフ・フォス			1912—1990		カトリック・イエズス会		ドイツ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00866	人の為の人になれ	講演	グスタフ・フォス 講演	皇學館高等学校 後援会	伊勢	1975.11	48p	目次なし	—	—
MB00867	日本の父へ	単著	グスタフ・フォス 著	新潮社	東京	1977年初 版、1980 年新潮文 庫	217p	I 父ありき——私は父からこう学んだ/人生の先輩/自立へのしむけから/スバルタでも放任でもなく/威厳には厳しさが伴う/父権は放棄できない/話す父より話せる父/親とは親しさ/父の手/純潔は戦いで/放蕩息子であっても/天を仰ぐ心/わが身よりわが子/涙をこらえて/父と母と/II おやじさまさま——私は教え子の父とこう語る/わが子はわが手で/頭から水を/先生はよるす屋ではありません/おやじの株が下がっては/女々しい男をつくるな/「みんなそうしている」で育つと/ピーナッツ教育はだめだ/父親族よ、団結せよ/ポルノ時代の親とは/六落七当/大学は通過点/美田ではなく美心/III 明日の父に——私は教え子の結婚式でこう話す/父親の使命を/わかち合うこと/もう二人ではない/地震・雷・火事・おやじ/大黒柱/教育ババにおなりなさい/家庭人であれ/あたたかい信頼を/妻は夫をつくる天才/見合結婚からも愛は生まれる/妻と子を仲間に/歌は愛の言葉/文部大臣の役割だけは/家庭は社会の揺りかご/自分自身を燃やし尽くせ (目次は初版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02427373	—
MB00868	日本の父へ再び	単著	グスタフ・フォス 著	新潮社	東京	1987.4	230p	プロローグ 瓦礫の中から/廃墟に立ちつくした日/フィヒテの言葉/ 1 立身出世の功罪 わが青春の思い出/忙しすぎる子供たち/知的肥満をつくるな/芸術だけが情操教育か/点取り親がつくる「ボンサイ」/一点に泣く子/それでもエリート養成を/2 「立心」出世の勧め 家庭は受験産業の下請けか/戦後教育の落とし穴/知育に支えられる徳育/よき人間の基礎/教育勅語とは/人間教育への手がかり/教師のエトス/ 3 子供は家庭で育つ/のぞましき家庭/七不思議/親馬鹿とは何か/人々を迷わせた「民主主義」/ミニ家庭のハンディ/父よ、父性を生かせ/母よ、母性を誇りとせよ/4 父親の価値観、子供の人生 三猿主義でよいのか/後ろ姿だけではもの足りない/「脱両親期」に際して/お父さん、もっと話して下さい/常識を押しつける勇気を/断固たる信念/オヤジの味/5 責任感のある人間を 贖罪の山羊/「責任を取る」という錯覚/歪んだ責任感を生む土壌/ハールメンの笛吹き/根性と忍耐力を育てよう/「精神教育」の連想ゲーム/一年生教師の感想/6 ボーイ・フレンド、ガール・フレンド 男女七歳にして/性教育と「生」教育/ローマ帝国の衰亡は何かから/禁止か許可か/フレッシュ・マンとのやりとり/清らかな青春/7 祖国愛は何故タブーなのか 私は家出をしたくない/ベルリンの壁/祖国への思い/横須賀に流れた君が代	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04969016	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Fontes, Luis		ルイス・フォンテス (泉類治)			1931—		カトリック・イエズス会		スペイン	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00869	日本では教えてくれない人生で大切なこと：スペイン人神父の教育論	単著	ルイス・フォンテス 著	PHP研究所	東京	2005.3	181p	はじめに/1 教師のみなさん、心を見つめていますか？ 誰のために教壇に立っているのですか/教師は子どもの心を知っていますか/2 「ゆとりのある教育」とはなんでしょうか？ 日本でだけ通用する学歴と肩書/日本の教科書は間違っています/落とし穴がある日本の教育制度/3 授業でぜひ教えたいのは善悪の価値観です ボランティアの本来の意味/中学校で倫理の授業/博愛の心とは/4 日本の若者は「昼寝」をしている兔のよう 月曜日、午前八時からの授業/日本の若者はおとなしすぎる/考えない日本人/5 「親の務め」を果たしていますか？ 出る杭は打つな/人生の目的は幸せになることです/意思を確立させるための訓練を/6 家庭は愛を育むための場です 結婚は何のためにするのですか/家庭の愛はなぜ必要なのでしょう/現代における愛の鞭とは/7 日本とヨーロッパの教育はなにが違う？ 日本人よ、目を醒ませ/教育は何のためにあるのでしょうか/8 日本では教えていない心の教育	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA71569251	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Bufalini, Fulgenzio Luigi		ブファリーニ			1917—2014		カトリック・フランシスコ会		イタリア	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00870	ブファリーニ神父遺稿集	単著	ブファリーニ 著	カトリック富山教会	富山	2015.8	241p	はじめに 田中英次神父/「教会だより」から三十話/教会だより発刊/信者名簿をめぐって/キリスト信者の喜び/ミサ聖祭/マリアへの信心と聖母の月/旅の思い出/聖フランシスコとその宣教の精神/信者の集い/聖フランシスコと十字架のイエス/アッシジの聖フランシスコと大自然界/ロザリオの月/祈り/初聖体にちなんで/聖ペトロの信仰/キリストにならって/祈りとキリスト/十一月を迎えて/クリスチャンの家庭/そなえる/キリストの復活と私達/聖地巡礼の旅を終えて/教会創立百周年/フランシスコの召出し/二十六聖人の四百年祭/人の子イエス・キリスト/聖霊の働き/富山霊園/聖地の巡礼/あなた方は世の光/お誕生日おめでとうございます/ブファリーニ神父様、ありがとうございました/「グッドラックとやま」409号 (2011年12月号) 掲載記事より/あとがき 中村孝一	—	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Breitung, P. Eusebius		オイゼビオ・ブライトン			1884—1969		カトリック・フランシスコ修道会		ドイツ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00871	スカブラリオ	単著	ブライトン 著	光明社	札幌	1919年初版、1936年2版	43p	— スカブラリオの起原と其意義/ニ スカブラリオの沿革/三 スカブラリオの功德/(イ) 修道會の功績に與る權/(ロ) 聖母の御保護を蒙むる恩典/(ハ) 聖母の紀念品/(ニ) 贖宥の泉/(ホ) 天地の契約/(ヘ) 救靈の表象/四 入會の心得と聖式/五 スカブラリオの用み方/六 結論/附録/空色及び赤色スカブラリオ/カルメル山の聖母に對する祈文 (目次は第2版)	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1121884
MB00872	Romaji-Dokuwa-jiten. Deutsch-japanisches Woerterbuch in Zeichen und Umschreibung. 1. T. A bis L (ローマ字独和辞典)	単著	P. Eusebius Breitung	Chuoushuppansha	Tokyo	1945	10,650,[2]p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA62576904	—
MB00873	ローマ字独和辞典 第2 (Teil M-Z)	編纂	ブライトン 著	ルーベルト・エンデルレ書店	東京	1947	1277p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB02927600	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1126697
MB00874	侍者の友	単著	ブライトン 著	光明社	札幌	1948.11	80p	ミサの聖/ミサは共同の祈/侍者の務の有難さ/侍者の心得/ミサの間の務/降福祭の時/聖体拝領の時/タルチシオ会/聖体の殉教者	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33383113	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8383473

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Brown, Nathan		N.ブラウン			1807—1886		アメリカ・バプテスト派 (プロテスタント)		アメリカ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00875	留可乃左己波比乃於土津礼	単訳	Nathan Brown 訳	Mission Press	横浜	1877	152p	目次なし	—	—
MB00876	新約全書：現代仮名字体版『志無也久世無志與』	単訳	ネイサン・ブラウン 訳 川島第二郎、松岡正樹 監修	新教出版社	東京	2011.3	896p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB05219414	—
MB00877	志無也久世無志與		ネイサン・ブラウン 訳 秋山憲兄 監修	新教出版社		2008、初版は1879		目次なし		
MB00878	明治期讃美歌・聖歌集成 第12巻	単著	Nathan Brown	大空社	東京	1996.12		エスフレヲ愛シマス/ヨキ土地アリマス/聖書之抄書/宇太登不止/宇太乃不美/末古土乃美知	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN16101884	—
MB00879	明治期讃美歌・聖歌集成 第13巻	単著	Nathan Brown	大空社	東京	1996.12	347,10,13p	基督教讃美歌. 明治20年版	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN1610205X	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Brown, Samuel Robbins		S.R.ブラウン		1810—1880		アメリカ・オランダ改革派 (プロテスタント)		アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00880	Colloquial Japanese: or, Conversational sentences and dialogues in English-Japanese	編集	S.R.Brown	鷹金屋清吉	東京	1900		目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB01218602	上: http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3439 下:
MB00881	Prendergast's mastery system; : adapted to the study of Japanese or English.	単著	S.R.Brown	F.R.Wetmore	Yokohan	1875□	213p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA31940128	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Brand, Clara A. S□		クララ・エ・サンズ・ブランド		不明		アメリカ・バプテスト派 (プロテスタント)		アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00882	聖霊のはたらき	単著	クララ・エ・サンズ・ブランド 著□菊池武信 校	教文館	東京	1897.10 改正増補2版	262p	第一章 耶穌其門徒等に必要なる物を与へたまふ約束および之に就ての命令/第二章 父なる神約束を履行して上より能力を授けたまへること/第三章 霊の種種なる恩賜/第四章 羅馬府にある教会の乱れし事/第五章 天主教会の由来並に其種種の悪むべき事/第六章 奇跡の必要なること及び之を行ふ能力を与ふべき約束並に其約束の遂らるゝ事/第七章 奇跡を行ふ目的/第八章 預言する賜即ち伝道者の能力/第九章 完全愛/第十章 聖霊に充さるべし/第十一章 聖霊のそ〇ぎを受けざる種種の理由及び聖霊のそ〇ぎを受けるためのす〇め/附録 神の三一を論ず	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39163222	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825167
MB00883	緋衣の婦：一名・天主教の誤謬	単著	クララ・サンズ・ブランド 著	教文館	東京	1902.3	160,179p	前篇 緋衣の婦及び罪の人/第一章 緒言/第二章 法王政治の起源及び設立/第三章 法王政治俗権の元始/第四章 法王政治が進んで俗界の至上権を占むるに至れる事/第五章 「聖なるロマ帝国」の性質/第六章 法王/第七章 「手エスイツト」徒/第八章 異端者拷問/第九章 緋衣の婦一名大淫婦/第十章 緋衣の婦なる天主教会/第十一章 天主教会は大背教なり/第十二章 「罪の人」/第十三章 「罪の人」なる法王政治/第十四章 小き角/後篇 天主教会の誤謬/第一章 磐/第二章 繋ぐこと及び釈くことの権/第三章 聖書に依る監督及び所謂「監督等の監督」/第四章 強制的独身/第五章 絵、像、遺物及び十字架の像を拝む事/第六章 救の途/第七章 マリヤ及び聖徒に救助を求め且之を拝む事/第八章 聖書を禁ずる事/第九章 バプテスマに由て新に生るること/第十章 化体説「神餅」(聖餐礼のパン)を拝む事及び「犠牲」を捧ぐる事/第十一章 懺悔者の罪を赦すこと/第十二章 煉獄/第十三章 天主教会の精神/第十四章 霊を試る事/第十五章 結論キリストの再臨	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39094935	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825066
MB00884	エホバを拝む途	単著	クララ・エ・サンズ・ブランド 著	教文館	東京	1902.3	25p	第一章 真の礼拝/第二章 祈祷/第三章 偶像、死人の霊及び輪廻/第四章 日曜日、蓄妾、離縁、演劇等に就て/結論 完全の礼拝	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824088
MB00885	イエスは救の途なり	単著	クララ・エ・サンズ・ブランド 著□小川煙嶺 校	教文館	東京	1902.3	26p	CHAPTER I. THE UNFAILING GOD. /CHAPTER II. JESUS THE WAY OF SALVATION. /CHAPTER III. JESUS'S ASCENSION AND SECOND COMING. CHAPTER IV. /THE BIBLE GOD'S BOOK.	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824036
MB00886	大覚醒	単著	クララ・エ・サンズ・ブランド 著□尾島菊軒 校	教文館	東京	1908.11	66p	第一 信仰復興の定義/第二 大覚醒に対する準備/第三 ウェールズに於ける信仰復興の濫觴/第四 印度に於ける覚醒/第五 パンチタ、ラマバイの事業/第六 霊精的賜物/第七 韓国に於ける覚醒/第八 エヴァン、ローバツ/第九 十字架	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA49229360	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824832

MB00887	聖霊のはたらき	単著	クララ・エ・サンツ・ブランド 著口菊池武信、尾島菊軒 校	教文館	東京	1909.10 第3版	358p	第一章 耶穌其門徒等に必要なる物を与へたまふ約束および之に就ての命令/第二章 父たる神約束を履行して上より能力を授けたまへること/第三章 霊の種々たる恩賜/第四章 羅馬府にある教会の乱れし事/第五章 天主教会の由来並に其種々の悪むべき事/第六章 奇跡の必要なること及び之を行ふ能力を以てすべき約束並に其約束の遂らるる事/第七章 奇跡を行ふ目的/第八章 預言する賜即ち伝道者の能力/第九章 完全愛/第十章 聖霊に充さるべし/第十一章 聖霊のそそぎを受けざる種々の理由及び聖霊のそそぎを受けるためのすすめ 追加 大覚醒/附録 神の三一を論ず	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39163222	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825168
---------	-------------------------	----	------------------------------	-----	----	----------------	------	---	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年	所属	出身国				
Brand, E. M		イー・エム・ブランド		不明	不明	不明				
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00888	日課聖語録：英和対照	編集	イー・エム・ブランド 編	同信館書店	東京	1910.1	201p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15122459	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824952
MB00889	こどものひよのかて	共編	イー・エム・ブランド、齊藤弥知 共編	教文館	東京	1914.1□	137p	目次なし	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1873714

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年	所属	出身国				
Fraga Adrio González Maquieira		セサル・フラガ		1929—	カトリック・サレジオ会	スペイン				
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00890	フラガ神父の料理帳：スペイン家庭の味	単著	セサル・フラガ 著	ドン・ボスコ社	東京	2010.3□	100p	オードブル/メインディッシュ I/メインディッシュ II/メインディッシュ III/メインディッシュ IV/メインディッシュ V/デザート/祝日の特別料理/食後酒	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB01733664	—
MB00891	フラガ神父の料理帳：スペイン家庭の味	単著	セサル・フラガ 著	文化出版局	東京	2001.12□	95p	オードブル/メインディッシュ I/メインディッシュ II/メインディッシュ III/メインディッシュ IV/メインディッシュ V/デザート/食後酒	—	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年	所属	出身国				
Brussel, Joseph van□		ブラッセル		1920—2010	カトリック・淳心会	ベルギー				
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00892	新カトリック教理：成人への信仰のメッセージ	共訳	J.ヴァン・ブラッセル、山崎寿賀 共訳	エンデルレ書店	東京	1971□	667p	序言/第一部 存在の神秘 問う人間/人の偉大さとそのみじめさ/始まる世界/限りない切望/無限な者へのあこがれ/当が外れる/かれから聞いたメッセージ/第二部 キリストへの道 A 民族の道路/原始宗教/過去の大文化/ヒンズー教/仏教/中国のユニバーシズム/イスラム教/ヒューマニズムとマルクス主義/全世界における神の霊/B イスラエルの道 神の奇しき業/神尾言葉/聖書/第三部 人の子 光の証明者/イエスの起源/洗礼と試み/神の王国/しるし/主は祈りを教える/従順な者は私たちに父のみ旨を示す/キリストはその民を集める/この人は誰だろう/復活への道/エルサレムに入り、そこに泊る/最後の晩餐/義人の死/死者の国に下った/復活してなおかつあなたと一緒にいる/復活の祝い/父の右に座す方/助ける者を遣わそう/第四部 キリストの道 初代教会/教会の歴史/信仰は聞くことによる、回心/水で洗われることと言葉/生命のしるし/堅信/罪の力/救い/信仰/希望/愛/キリスト者の祈り/主の日/永遠の生命の言葉/聖体祭儀/神の民の司祭職/牧者的な司祭職/第二の掟は、第一に似ている/家庭と結婚/福音的勧告/教会と国家/生命の尊重/地球に働く/地上での所有/困難の時の助け合い/ただ一緒に暮らす/真理を求めて/キリスト者の過ち。罪/ゆるし/第五部 終りに至るまでの道/終局/神/索引/付録/訳者のことば	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0831267X	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Bragt, Jan van		ブラフト			1928—2007	カトリック・淳心会	ベルギー			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00893	釈迦とキリストの対話：親と子について	共著	J.ヴァン・ブラフト、佐伯快勝 共著	流動出版	東京	1979.11	221p	一章 子どもの幸せのために/二章 人間のための教育/三章 家族の連帯のために/四章 地縁社会をとり戻すために/五章 人間らしく生きるために/六章 文明の流れを変えるために/七章 人類の未来のために/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03781039	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Brand, Herbert G		ブランド			1865—1942	プリマス・プレスレン教会(プロテスタント)	イギリス			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00894	現時及び栄光にて基督と偕にもつ我儕の分	単著	エイチ・チャー・ブランド 著口首藤新蔵 訳	首藤新蔵	東京	1895.2	30p	目次なし	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824063
MB00895	羅馬書：新約聖書	共訳	H.G.ブランド、首藤新蔵、乗松雅休 共訳	同信社	東京	1899年初版、1980年復刻版	45p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA91801742	—
MB00896	ブランド氏講演集 第1輯	単著	五十嵐健治 編	同信社	東京	1924年初版、1982年3版	234p	眞理と自由/聖書を読む心の用意/基督の顯はしたまへる活ける神/我等の先に歩きたまひし主イエス/變らない縁/我に従へ/愛の御心ある活ける神/主の御心を知る幸福/日常生活と神の教導/實際の経験と心の状態/心のたのしみ/與ふる心/永遠の喜/平和の君/心の學問/信仰の土臺/願以上に祝む神/弟子の願望と主の恩恵/偕に歩む神/心の貧しき者は福なり/サウロの回心/信者の歡喜/新しい望/二種の熱心/神の眞實/神の道/神の教へかた/聖靈の恩寵 一/聖靈の恩寵 二/聖靈の恩寵 三/愛は神より出づ/恩寵と眞理/神の聖旨と活ける御働 (目次は1924年版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA52899033	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/969705
MB00897	ブランド氏講演集 第2輯	単著	五十嵐健治 編	同信社	東京	1926	388p	新らしい歌/朝毎に新なる感謝/いや増す恩寵/思に超ゆる恩寵/眞の喜を興ふる御方/靈の歡喜の源/福音の力/人の心の要求と神の愛/キリストに在る生命の靈/野の百合と神の恩恵/善の權威/善を見る眼/愛の勝利/勉ます愛/神の導き/良心の責と神の心/神の命令と信仰の從順/天地も充し得ざる要求の満し主/神の富/開かれた門/收税吏マタイ/失はれた銀貨/傳統的信仰から活ける主へ/神は始めなり/二つの始め/交り興ふる神/主の死と縁の始め/主とペテロとの縁/縁と交/愛の縁/知識と愛/主を待つ十人の處女/マルコ傳第一章を読む/詩篇の靈訓/主の聲/主の御名の性質/神の言の性質/科學と神の言/神の命令/靈と儀文/兒童の靈教育に就て/婚姻に就て/偶感/默示録に就て	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/969704
MB00898	ブランド講演集 第3集 (愛は神から)	単著	五十嵐健治 編	同信社	東京	1924年初版、1984年3版	170p	1 愛は神から/2 神のみ旨とみ働き/3 加えられる恵み/4 神の導き/5 良心の責めと神のみ心/6 神の命令と信仰の從順/7 照らされる恵み/8 神は一切のはじめ/9 交わりを与える神/10 主の死は縁のはじめ/11 主とペテロとの縁/12 縁と交わり/13 主のみ声/14 主のみ名の性質/15 神のみことばの性質/16 神の命令/17 恩寵と眞理が来た/18 父の家/19 人の不信と神の愛/20 神の愛と縁/21 まことの益/22 心の要求と神の愛	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB24932499	—
MB00899	ブランド講演集 第4集 (新しい歌)	単著	五十嵐健治 編	同信社	東京	1985.4 1924年初版、1985年3版	172p	1 新しい歌/2 朝ごとに新しい感謝/3 靈の喜びの源/4 キリストにあるいのちの靈/5 善を見る目/6 愛の勝利/7 はげます愛/8 心の飢えを満たすお方/9 神の富/10 開かれた門/11 知識と愛/12 詩篇の靈味/13 靈と文字/14 兒童の靈の教育/15 述懐/16 默示録について/17 神の知識/18 神の道の勝利/19 獄中のパウロ/20 聞き入れたもう時代/21 變らない原因/22 キリストの顔に輝く神の栄光/23 増すものは神/24 神のあか	—	—
MB00900	生ける神とキリスト：ブランド講演集	単著	ブランド 著口五十嵐健治 編	同信社	東京	1960	536p	再版のことば/初版はしがき/第一集/ブランド兄のお話について/第二集/第三集/略歴/後記	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA84583288	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936530

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Brumbaugh, Thoburn Taylor		ブランボー			1896—1941	メソジスト (プロテスタント)	—			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00901	健全なる娯楽：教会及び社交会のため	編集	テ・テ・ブランボー 編口吉住保政 [ほか]訳	教文館出版部	東京	1928	224p	いの部/ろの部/はの部/にの部/ほの部/への部/との部	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA5431757X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1121864

宣教師名 Flynn, Robert		宣教師名 (J) ロバート・フリン		生没年 1920-2009		所属 カトリック・イエズス会		出身国 アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00902	真実を求めて：キリスト教的人間像	単著	ロバート・フリン 著 教育協議会 編	エンデルレ書店	東京	1965	126p	まえがき/第一章 すばらしいもの—人間—、スフィンクスの謎/二、人間とその世界/三、人間とは?—キリスト教的人間像/四、他の人間像/第二章 人間の尊厳—一、人間の尊厳はどこにあるか/二、人間の霊魂/三、この尊厳に従って/四、権利の源/五、全き人間—キリスト/第三章 人間と社会—一、心をひらいて/二、人間—社会的存在/三、社会の基礎—兄弟的愛/四、個人主義とその結果/五、その極端な反動/六、二つの傾向への批判/第四章 人間—宗教的存在—一、人間は祈る動物である/二、精神の「引力」—宗教心/三、すべてのものは神を指し示す/四、われわれの裡なる神の証人/五、「目をひらけ」/第五章 宗教の本質—一、宗教の起源/二、ひとつの反論/三、科学は何をとらえたか/四、神の本性/五、キリストは父を語る/六、宗教とは何か/第六章 人間—悩み多き存在—一、悩んでいる人間/二、苦しみの問題/三、ひとつの方向/四、摂理/第七章 神と語る—祈り—一、キリストは祈りを教える/二、祈りとは?/三、祈りの方法/四、祈願/五、祈りの生活/第八章 信仰と回心—一、信じるとはどういうことか/二、理性の役割/三、回心/四、疑いとためらい/五、信仰のよろこび/六、信仰の妨げ/第九章 神を愛する—一、無理な注文/二、「愛する」とは?/三、愛の種々のかたち/四、神への愛/五、われわれの模範—イエス・キリスト/p94 ・第十章 隣人を愛する—一、愛かエゴイズムか/二、四海同胞/三、隣人愛の実行/四、「大人になって」/五、キリストの隣人愛/第十一章 完全な人格—一、最もすばらしい言葉/二、神の意思を知る方法/三、十戒—それは自由の束縛か?/四、すばらしい十戒/五、罪/六、誘惑/七、人格の形成/八、重要な手段—反省/九、空高く聳える/復習問題	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11813640	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939782
MB00903	光を求めて：キリスト教的人間像	単著	ロバート・フリン 著 教育協議会 編	エンデルレ書店	東京	1966	187p	まえがき 上を見るんだ/第一章 キリストの時代—一、超越者なるキリスト/二、キリストの時代/三、キリスト自身の国=パレスチナ/四、ユダヤ民族史の概要/五、ユダヤ人特別な国民/六、救主の使命/第二章 キリストは愛を教える—一、幸いなるかな/二、完成するために来た/三、「心より」の宗教/四、理想の実践/五、最大の掟/第三章 神は愛である—一、「神が完全であるように……」/二、ひとつの疑問/三、キリストは鍵をあたえる/四、神の内的生命/五、聖なるかな、三位一体/第四章 愛の放棄—一、神の計画/二、現実/三、墜落への第一歩/四、迷いゆく人間/五、イエズス・キリスト—神/第五章 牧者キリスト—一、迷える羊をもとめて/二、ファリサイ人の対抗/三、こころの内奥/四、キリストは奇跡を行う/五、「彼を亡ぼそう」/第六章 受難と死去—一、受難の真前/二、受難のはじまり/三、ピラトの前で/四、受難の意義/第七章 キリストの栄光—一、キリストはよみがえった/二、キリストの復活とわれわれ/三、キリストは何者か/四、これほどまで神は世を愛し給うた/第八章 二つの手紙—一、第一の手紙キリストは神か/二、第二の手紙キリストへの信仰/三、続きの手紙 奇跡はおこるか/第九章 キリストの教会—一、キリストは教会を創立する/二、教会の成長/三、教会における聖書/四、今日の教会/五、教会—主キリストの延長/六、教会は神の大家族/七、教会の偉大さ/第十章 神の家族に生れて—一、洗礼—新に生れること/二、キリストの家族の先輩/三、恩恵の生活/四、恩恵の手段である秘跡/五、日曜日の意義/第十一章 主の食卓をかえて—一、ミサ/二、ミサ神の家族の礼拝/三、ミサ—キリストの犠牲の記念/四、ミサ—キリストの犠牲の再現/五、ミサの儀式/六、主の食卓をかえて/第十二章 キリストを仰いで—一、青春の迷い/二、究極目的/三、信仰の立場より死に面して/四、審判/五、肉身のよみがえり/六、キリストを仰いで	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939781

MB00904	ロバート・フリン：あるカトリック神父の足跡	講述	ロバート・フリン 述、 瀬川直子 編・執筆	ロバート・フリ ン出版会	神戸	2002.5□	269p	はじめに/第一章 芽生え—来日までの日々— 私が育った環境/ニ カニシウスハイ スクール時代/三 さだめられていた私の運命/四 セントアンドリュースバドソン校 時代/五 セントルイス大学時代/六 セントピーターズハイスクールでの教師体験/七 ルーヴェン大学〜ドイツ時代/第二章 躍動—教職時代— 六甲学院時代/ニ プロ グレス イン イングリッシュ/三 英語教育/四 泰星学園時代/塩屋神父からのメッ セージ/五 宗教教育とは/エピソードコラム「至福のとき—マザー・テレサの下での 三日間」/第三章 熟成—教会神父時代— 津和野教会の成り立ち/ニ 津和野教会 での日々/三 宗教とは/四 現代について/ハイガン神父からメッセージ/五 折りと は/そして、これから/ロバート・フリンの歩み/フリン先生語録/おわりに		
---------	---------------------------------------	----	--------------------------	-----------------	----	---------	------	--	--	--

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Verbeck, Guido Fridolin		G. F. フルベッキ		1830—1898		米国長老教会 (プロテスタント)		オランダ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00905	耶蘇教証拠論	講述	フルベッキ 述口和田秀 豊 訳	和田秀豊	東京	1885.4	87p	緒言/第一章 耶蘇教証拠論ノ主意/第二章 此ノ証拠論ニ用ウル証拠ハ数学的証拠ニ非 ズシテ道徳的証拠ナリ/第三章 神ノ啓示ハ果シテ成シ得ベキヤ否ヲ論ズ/第四章 人 ニハ神ノ啓示ヲ判断スル才能アリ/第五章 神ノ啓示ヲ判断スル種々ノ方法/第一編 外部 ノ証拠/第一章 奇跡/第二章 数多ノ人奇跡ヲ行フ権カヲ有セリ/第三章 奇跡ヨリ生 ズル所ノ結果/第四章 イエスハ果シテ偽造ノ奇跡ヲ以テ人民ヲ欺キシヤ/第五章 イエ スハ果シテ自ラ欺カレタリシヤ/第六章 イエスノ門徒等果シテ世ヲ欺キシヤ/第七章 イエスト其ノ門徒輩ガ受ケタル苦ト死/第八章 イエスノ行ヒタル奇跡ヲ信ゼズバ更ニ大 イナル奇跡ヲ信ゼザルヲ得ズ/第九章 奇跡ノ真偽ヲ判断スル種々ノ方法/第十章 預言 ハ智識ノ奇跡/第十一章 預言ノ真偽ヲ区別スル種々ノ方法/第十二章 律法ヲ授ケラ レタル時迄ノ預言/第十三章 ソロモンノ時迄ノ預言/第十四章 大イナル預言ノ時代/第 十五章 旧約書中後部ノ預言/第十六章 旧約書ノ預言ト耶蘇教トノ関係/第十七章 旧 約書中イエスニ係ル預言ノ新約書中ニ応ジタル者/第十八章 イエスニ係ル預言ハ充全ナ リ/第十九章 種々ノ国人ニ係ル預言/第二十章 預言ト見做スベキ事実/第二編 内部 ノ証拠/第一章 内部ノ証拠ヲ判断スル才能ノ際限/第二章 聖書ニ於テハ聖キことヲ緊 要トス/第三章 聖書ニ教フル所ノ道義ノ勝レタルこと/第四章 聖書ノ教ハ人ノ心ニ及 ブ/第五章 聖書ノ教ニ於テハ神ヲ大切トス/第六章 信仰ノ大切ナルこと/第七章 聖 書ノ記者輩正直信実ナリ/第八章 聖書ノ道義/第九章 イエスノ性質/第十章 イエス ハ神ナリ/第十一章 人ノ性質ニ頭ハル、耶蘇教ノ結果/第十二章 国民ニ頭ハル、耶蘇 教ノ結果/第十三章 仁慈ノ建築ハ耶蘇教ノ結果ナリ/第十四章 文学ニ関スル所ノ証拠 /第十五章 聖書ノ諸部互ヒニ調和ス/第十六章 靈気ニ係ル所ノ証拠/第十七章 聖書 ニ説ク所ト信者ノ経験トノ調和/第十八章 聖書ハ吾人ノ所要ニ善ク適当ス/第十九章 聖書ニ説ク所ト信者ノ経験トノ調和/第二十章 経験ノ証拠ノ勢力/第二十一章 耶蘇教 ノ一特性/第二十二章 耶蘇教証拠ノ大略	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13361539	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825226
MB00906	基督教不廃物論	単著	フルベッキ 講、高橋五 郎 筆記	東京聖教書類会 社	東京	1888.10	29p	目次なし		http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824319
MB00907	人の神を拝むべき事由	単著	フルベツキ 述、高橋五 郎 筆記	高橋五郎	東京	1888.4	23p	目次なし		http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825071

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Plott, Rudolf		ルドルフ・プロット		1936—		カトリック・イエズス会		チェコ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00908	今こそ聖書がわかった：文学書としての聖書	共著	ルドルフ・プロット、 ゲルハルト・ローフィン ク 共著	女子パウロ会	東京	1977.4□	244p	はじめに/第一部 聖書概説/序/第一章 旧約聖書/第二章 新約聖書/第三章 聖書 から神のみ声を聞くために/第二部 今こそ聖書がわかった/第一章 日常生活や文学に みられる一定の様式/第二章 様式批評とは何か/第三章 聖書にみられる一定の様式/ 第四章 聖書における様式をどう読むべきか		

MB00909	自分への道	単著	ルドルフ・プロット 著	パロル舎	東京	1993.12	251p	はじめに/第一部「人間きょう育」の方へ I 窓拭き/II 私が歩んで来た道/III きょう育ときょう育者/IV 自由に基づく判断の基準(徳育)/V 世界的な「エトス」を目指して/第二部「人生の喜び」の方へ I 物豊かな日本/II 「喜び」/III 人生の喜び/IV 喜びは永遠/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN10244958	—
MB00910	「星の王子さま」と聖書	単著	ルドルフ・プロット 著	パロル舎	東京	1996.12	177p	はじめに/第一部 イエスと王子様 ゴスペル/イエスの「喜ばしい訪れ」と「復活」/「星の王子さま」/別れのかなしみ/思い出の確認/「王子さまのあの笑い声を聞くことは」/「……砂漠のなかで泉を見つける」ように/イエスの喜び/「きみのそば、はなれないよ」/「古いぬげがら」/「ぼくはだまっていました」/蛇/「水は、心にもいいものかもしれない」/「目の前に見ているのは、人間の外側だけだ」/第二部 星の巡り人間は「何者」?/「王さま」/「うぬぼれ」/「呑み助」/「実業屋」/「点燈夫」/「地理学者」/第三部「心で見なくちゃ」「人間は根がない」/「あなたたちのために死ぬ気になんかなれない」/「心で見なくちゃ」/愛し、愛されるということ/第四部 子供のように「子供だったころ」/「まっすぐどどん……」/「いい草のいい種、わるい草のわるい種」/「何がほしいか」/（感謝の言葉）	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN16141823	—
MB00911	星の王子さまと「心のきょう育」	単著	ルドルフ・プロット 著	パロル舎	東京	2000.4	208p	親と教師の方々へ/子供というのは/第一部 おとな/1. こわ(さ)れた夢(1章)/2. サハラ砂漠でのパンク(2章)/3. ヒツジ(3章)/4. おとなの見る目(4章)/5. 聴く心のあるおとな(5章)/6. 涙の国(7章)/7. 星の巡り(10~15章)/8. スイッチ・マン(22章)/第二部 心のきょう育/1. 前置きの一言/2. パンク(17章)/3. 人間の根(18章)/4. こだま(19章)/5. バラ(20章)/6. キツネ(21章) 仲よくなる/心でみる/7. 「見えざる世界」(24章)/8. 喜び(25章)/9. うちに帰る(26章)/あとがき/添削を終えて	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA46470640	—
MB00912	「星の王子さま」と永遠の喜び	単著	ルドルフ・プロット 著	パロル舎	東京	2002.3	205p	はじめに/私は私です/人生に規範を/人生に夢を/第一部 探しているものは、何なのでしょう 一つのおとぎ話と二つの民話/探しているのは「よろこび」ではないでしょうか/人間の喜びの特徴/第二部 生きる喜び 「いつでも喜んでいなさい」/生きているから喜ぶ/第三部 人生の喜び/子供にとって生きる喜び/家庭の中で/第三の人生の喜び/人生は演劇にたとえられる/演劇のさまざまな「役」/新しい役を学ぶ若さ/人生の真珠/地上の最後の役/第四部 永遠の喜びを目指して 星の王子さまの「帰り」/人生は自分への道/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA57080615	—
MB00913	星の王子さまの心：白血病で逝った青年との対話	単著	ルドルフ・プロット 著	パロル舎	東京	1994.3	235p	はじめに/第一部 飛行士と王子様 第一章 今を生きる/第二章 飛行士との出会い/第三章 自由/第四章 大切なのは何か/第五章 バオバブの種/第六章 入り日の神秘/第七章 なぜバラはトゲがあるのか/第八章 花との出会い/第九章 真理の時/第二部 星の巡り/第一〇章 王さま/第一一章 うぬぼれ/第一二章 呑み助/第一三章 実業屋/第一四章 点燈夫/第一五章 地理学者/第三部 地球において 第一六章 地球/第一七章 ヘビ/第一八章 花/第一九章 こだま/第二〇章 バラ/第二一章 キツネ/第四部 時と永遠/第二章 忙しい/第二三章 時間/第二四章 美しさ/第二五章 よろこび/第二六章 死/第二七章のかわりに/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN1058809	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Beky, Gerharo		ゲッレルト・ベーキ		1924—2105		カトリック・イエズス会		ハンガリー		
目録番号	書名(別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ(NDL)
MB00914	心の細道	単著	ゲッレルト・ベーキ 著	あかし書房	東京	1982.12	221p	前書き P・ネメシエギ/第一章 1 地球に乗って/2 海綿みたい/3 道/4 私は道である/第二章 心の細道/5 日々の小路/6 完徳への道/7 あげ道/8 愛の目/9 南側の霊性/10 光をながめて/11 美しい「あそび」をあそぶ/第三章 12 この雪をどう思うか?/13 いちじくの芽はふかず/14 春はいづこ/15 若々しい心を/16 老人はうらやましい/17 心の清い人/18 愛というもの/19 鉢の木/20 愛がなければ/第四章 21 神を待ち、神を惜しむ心/22 ご託身による霊性/23 愛の神秘/24 美なき美/25 神さまの愛は/26 御父にほほえむ/第五章 マリアさまの心/27 マリアさまの心/28 今も臨終の時も アーメン/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12016386	—
MB00915	福音の心：修道誓願の世界	単著	ゲッレルト・ベーキ 著	あかし書房	東京	1984.7	130p	序文/はじめに/第一章 この道は/一 誓願とは/二 神の国のため/第二章 清貧/一 清貧のさまざま/二 清貧の忘れられたイメージ/第三章 柔順/一 従順の理解への道/二 一致と平和との誓願/第四章 貞潔/一 独身生活はまだ必要か/二 キリストの清い愛のうちに/三 結び/第五章 日本において、日本人として/一 主よ、あなたの呼ぶ声が/二 アーメン、アレルヤ/三 神の若さの息吹き/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11208916	—

MB00916	西から陽が昇る	単著	ゲッレルト・ベーキ 著	あかし書房	東京	1987.9	231p	まえがき/第一章 天の川/1 あなたは幸せですか?/2 花とげ/3 復活の開かれた目/4 小さい秋/5 天の川/第二章 水のように/6 水のように/7 目、顔、手、そして言葉/8 アーメン、アレリヤ/9 いつもニコニコ(小さきテレジア)/10 徳は善である/第三章 初心/11 初心忘るべからず/12 春ごろ/13 静けき真夜中/14 フィリポの出会い/15 神を求める心の細道/1第四章 ヤコブのはしご/16 ヤコブのはしご/17 スピードの霊性/18 東西の彼岸/19 コズミオス カイ ヒベルコズミオス/20 あけぼのの民(天使たち)/第五章 西から陽が昇る/21 西から陽が昇る/22 ご託身の神秘/23 一燈を提げて暗夜を行く/24 復活/25 選びの器(お告げのマリア)/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03947324	—
MB00917	手を合わせて：祈りの心	単著	G.ベーキ 著	ドン・ボスコ社	東京	1992.9	195p	序にかえて/第一章 希望の福音/1 希望の福音/2 昔の光/3 この道は、いつか来た道/4 道の人々/5 聖人達においてこそ神は偉大/6 信仰の鑑—マリア/7 この上なく高貴な緑—聖ヒルデガルド/第二章 梅の花が咲けば/1 梅の花が咲けば—復活を告げる心/2 再発見/3 “カオス”から“コスモス”へ/4 荘子の鶏/5 キリストを着る/6 キリスト者の自由/7 右の手のすることを、左の手に知らせるな/8 神の喜び/9 いつも喜んでいなさい/10 無限な“エネルギー”としての苦しみ/11 世界の華、キリスト/12 何よりもまず心/第三章 修道生活の淵源/1 砂漠の呼びかけ/2 修道生活の始まり—聖パコーミオ/3 聖バジリオ/4 聖ベネディクト/5 私が二十五年ぶりに、祖国ハンガリーに帰った時のこと/第四章 橋無き、道無きを行く/1 手を合わせて/2 神秘家とは?/3 あなたの神はどこにいるのか?/4 神のうちに……/5 神に生きる人の一生のクライマックス/6 キリストの神体験にあずかる/7 神との格闘/8 神秘主義の逆説/9 神のために生きる/10 すべてにおける観想/11 インスタントではない/12 隣人愛/13 宇宙との交わり/14 未来の聖人/15 賛美と感謝のうちに/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13474433	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Baekelmans, Peter		ペテロ・バークルマンス		1960—		カトリック・淳心会		ベルギー		
目録番号	書名(別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00918	イエスと空海：不二の世界	単著	ペテロ・バークルマンス 著	ナカニシヤ出版	京都	2012.11	451p	出版に寄せて/はじめに—キリスト教と真言密教—/第一章 空海とイエス/一 弘法大師空海の生涯/二 空海とイエスとの比較/三 神秘主義<即>預言主義/付記 真言修行の体験談/第二章 三密と秘跡/一 空海の三密論/二 三密と秘跡との比較/三 瞑想<即>儀式/付記 三密修行の体験/第三章 三業と原罪/一 三業思想/二 三業と原罪との比較/三 信仰<即>修行/付記 集団的なカルマの体験/第四章 即身成仏と人間の聖化/一 即身成仏思想/二 即身成仏と人間の聖化との比較/三 真理<即>方便/付記 四無量心観の体験/第五章 大日如来と唯一の神/一 大日如来思想/二 大日如来と唯一の神との比較/三 一元論<即>二元論/付記 異信仰との出会い/第六章 両部曼荼羅とイエスの位格的結合/一 両部曼荼羅の不二/二 両部曼荼羅とイエスの位格的結合との比較/三 新諦<即>俗諦/付記 観察法・供養法の体験/第七章 三力と恩恵/一 三力思想/二 三力と恩恵との比較/三 神仏<即>人間/付記 高野山真言密教の体験/終章 不二の世界/一 真言密教の「不二の数字」(密教学)/二 キリスト教の「不二の神学」/三 東西宗教の不二/四 イエスと空海、「不二の世界」/注/謝辞/事項索引/人名索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB11170681	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Besineau, Jacques		ジャック・ベジノ		1920—2006		カトリック・イエズス会		フランス		
目録番号	書名(別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00919	邂逅	単著	ジャック・ベジノ 著	勁草書房	東京	1991.3	188p	まえがき/1 フランス文化と蘭学—ショメル著『家事辞典』の邦訳—/2 『百科全書』に現れた日本/3 ある政策決定—フランス政府の幕府支援(一八六四—一八六八)—/4 フランス文学史という科目名についての考察/5 フランス語テキストの解釈について/6 《国民=国家》とヨーロッパ共同体/7 フランス語教授に関する覚書き《書取り》/8 ヴィクトル・ユゴーの詩『神』/9 クローデルとパスカル/10 “Les Iles du Japon (日本の島々)” —クローデルの詩を考察する—	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0640801X	—

MB00920	現代とキリスト教的ヒューマニズム：二十世紀フランスの試み	編集	ジャック・ベジノ 編	白水社	東京	1993.3	241,16	まえがき 橋口倫介/一 永遠なる人 ピエール・エマニュエル/二 人間の発見 J・ベジノ/三 七つの命題—キリスト教的ヒューマニズム— P. ネメシエギ/四 人間の神学者—H・ド・リュバク— P. ネメシエギ/五 人間、その希望に向かう存在—G・マルセル— R・L・シロニス/六 バイオテクノロジーへのひとつの回答—P・テイヤー・ド・シャルダン/七 現象を救うために—P・デュエム— 柳瀬睦男/八 キリスト教社会への三つのヴィジョン—P・ジルソン、J・マリタン、G・フェサル— J・ベジノ/九 『エヴ』の織りなすもの—Ch・ペギーの世界— N・ルーバン/一〇 無限の空間を前にして—P・クローデルのパスカル批判— J・ベジノ/一一 自然と超自然の共生—G・ベルナノスのヒューマニズム— 高井道夫/一二 キリストの二重のイメージ—F・モーリヤックの世界— C・エスカリエ/一三 「別の」ヒューマニズムに向かって—E・レヴィナスの知へのアプローチ—G・メランベルジェ/編集後記	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08802067	—
MB00921	利瑪竇：天主の僕として生きたマテオ・リッチ	単著	ジャック・ベジノ 著 田島葉子、永井敦子、白敷哲也 訳	サンパウロ	東京	2004.4	233,6p	序 マテオ・リッチ、友愛の知恵 ブノワ・ウエリマンデル S. J. /第1章 大航海時代の幕開けとともに/第2章 リッチが歩んだ長い苦しい道/第3章 リッチを取り巻く偉人たち/第4章 晩年に著された多くの出版物/第5章 書簡に滲み出たリッチの人柄/第6章 リッチが残した遺産—現代を生かすアリスマ—/あとがき/付録 教皇ヨハネ・パウロ二世の二つのメッセージ/マテオ・リッチ年譜/語彙集/参考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA70288541	—

宣教師名	宣教師名 (J)	生没年	所属	出身国						
Bettelheim, Bernard Jean	ベッテルハイム	1811—1870	英海軍軍人琉球伝道会(プロテスタント)	ハンガリー						
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00922	日本語訳英琉辞書	単著	B.J. ベッテルハイム 著 伊波和正、高橋俊三、兼本敏 編訳	武蔵野書院	東京	1851年稿 本成立、 2017年出版	619p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23739890	—
MB00923	路加伝福音書(幕末邦訳聖書集成18)	単著	B.J.ベッテルハイム 訳	ゆまに書房	東京	1999.8 1858年初 版、1993 年復刻	ページ 付なし	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA42973901	—
MB00924	路加伝福音書 (幕末邦訳聖書集成19)	単著	B.J.ベッテルハイム 訳	ゆまに書房	東京	1873年初 版、1999 年復刻	ページ 付なし	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA42974358	—
MB00925	約翰伝福音書(幕末邦訳聖書集成20)	単著	B.J.ベッテルハイム 訳	ゆまに書房	東京	1873年初 版、1999 年復刻	ページ 付なし	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA4297461X	—
MB00926	使徒行伝(幕末邦訳聖書集成21)	単著	B.J.ベッテルハイム 訳	ゆまに書房	東京	1874年初 版、1999 年復刻	ページ 付なし	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA42974937	—
MB00927	馬太伝福音書・馬可伝福音書：漢和对訳	単著	ベッテルハイム [著]	新教出版社	東京	1850年代 頃稿本成 立、1979 年復刻		目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39882309	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Benitez, Joaquim M		ホアキン・M. ベニテズ		1940—2015		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00928	ヨーロッパ音楽の歴史：西洋文化における芸術音楽の伝統	共訳	デイヴィッド・G.ヒューズ 著 ホアキン・M.ベニテズ、近藤譲 訳	朝日出版社	東京	1984.4	755p	日本語版への序/まえがき/序/第I章 グレゴリオ聖歌/第II章 ポスト・グレゴリオ聖歌/第III章 初期ポリフォニーと中世の世俗歌/第IV章 14世紀/第V章 15世紀/第VI章 16世紀の声楽的ポリフォニー/第VII章 17世紀の器楽と16世紀後期の進歩的諸傾向/第VIII章 初期バロック 実験の時代/第IX章 17世紀後期 共通の作曲法の発展/第X章 後期バロック/第XI章古典派の時代/第XII章 19世紀初期 ベートーヴェンとロマン主義の始まり/第XIII章 ロマン派の時代/第XIV章 19世紀後期/第XV章 20世紀/結び/付1 楽譜、音楽書、レコードの扱ひ方/付2 用語解/付3 ミサ曲歌詞対訳/訳者あとがき/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01426626	—
MB00929	現代音楽を読む：エクリチュールを越えて	単著	ホアキン・M.ベニテズ [著]	朝日出版社	東京	1981.11	159p	序/第1章 多用式の時代/第2章 前衛と実験音楽/第3章 集団即興につ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0222678X	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Hepburn, James Curtis		ゼー・シー・ヘボン		1815—1911		米国長老派教会(プロテスタント)		アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00930	さいはひのおとづれわらべてひきのとひこたへ	編集	[ヘボン] [編]口 [奥野昌綱] [訳]	[出版者不明]	不明	[18--]		目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08057211	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1730523
MB00931	Warera no syu Iesu kirisuto no Shin yaku zen sho.	単訳	J.C.Hepburn 訳	北英国聖書会社	Yokohan	1886	653p	Matai den/Mako den/Ruka den/Yohane den/Shinto-gyō den/Roma sho/I. Korinto sho/II. Korinto sho/Garatea sho/Epeso sho/Piripi sho/Korosai sho/I. Tesaronike sho/II. Tesaronike sho/I. Temote sho/II. Temote sho/Tetosu sho/Piremon sho/Heburu sho/Yakobu sho/I. Petero sho/II. Petero sho/I. Yohane sho/II Yohane sho/III. Yohane sho/Yuda sho/Mokushi-roku	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/992554
MB00932	元始(はじめ)に言霊あり：新約聖書約翰傳全《現代版》：禁教下の和訳聖書ヨハネ伝	共著	J.C.ヘボン、S.R.ブラウン、奥野昌綱 著 久米三千雄 編・校注	和訳聖書分冊刊行会 キリスト新聞社 出版事業課	上田	1872年初版、2015年校注・翻刻	115,29p	序文/凡例/参考文献/第一章 序文—創造と啓示。洗礼者ヨハネの証し。神の羔。最初の弟子。ピリッポとナタナエル。/第二章 カナの婚宴。神殿の潔。耶蘇人の心を知る。/第三章 ニコデモ。イエスと洗礼者。天より来るもの。/第四章 イエスとサマリアの女。王の司の子の癒し/第五章 ベトザタの池。安息日の癒し。子と天の父。/第六章 五千人の食物。湖を歩く。命のパン。命の言葉。/第七章 兄弟の不信。仮庵のまつり。キリストなりや。/第八章 姦淫の女。世の光。真理と自由。アブラハム。/第九章 目みえぬ人のいやし。世をさばくイエス。/第十章 羊の門。牧人と盗人。父の業とイエスは一つ。/第十一章 ラザロの死と復活。甦り命。イエスの涙。陰謀。/第十二章 ベタニヤにて。エロソルム入場。希人の来訪。一粒の麦。光。/第十三章 弟子の足を洗う。最後の晩。ユウダ。新しい戒。/第十四章 父の家。われは途、真、命。なぐさむる聖霊/第十五章 まことの葡萄づる。たがひの愛。世の憎み。/第十六章 世の審き。まことの霊。イエスの出発と帰還。/第十七章 イエスの祈り—父・子・子らとの一致。/第十八章 逮捕。カヤパ。ペテロの否認。ピラトの問い/第十九章 苦難と死の宣告。十字架とイエスの死。葬る。第二十章 空虚の墓とイエスの復活。マグダラのマリア、十一弟子に現る。/第二十一章 再びガリラヤに。朝の食事。わが羊を牧よ。/イエスのいつくしめる弟子へ。結び。	—	—
MB00933	和英語林集成：A JAPANESE AND ENGLISH DICTIONARY with an English and Japanese Index	編訳	美國平文先生 編譯	明治学院	東京	1867年初版、2013年復刻	558,132,13p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB11438853	—
MB00934	ローマ字聖書Yohanne no fuku-in：明治学院大学図書館所蔵：『約翰傳福音書』対照：解説・註解	単訳	ヘボン、S.R.ブラウン 訳 鈴木進 編	明治学院大学キリスト教研究所	東京	2012.3	96p	原書に目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB09233097	—

MB00935	ローマ字matai den fuku-in sho 草稿：明治学院大学図書館所蔵：matai den fuku-in sho原文ヘボン訳『馬太福音書』対照解説・註解・訳語比較表	単訳	J.C.ヘボン 訳口 鈴木進、明治学院大学 キリスト教研究所 編	明治学院大学キ リスト教研究所	東京	2009.2	88p	原書に目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB09233097	—
MB00936	新約聖書 馬太伝	単訳	J.C.ヘボン 訳	ゆまに書房	東京	1873年初 版、1996 年復刻	101枚	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15021826	—
MB00937	新約聖書 馬可伝	単訳	J.C.ヘボン 訳	ゆまに書房	東京	1872年初 版、1996 年復刻	70枚	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15021939	—
MB00938	新約聖書 約翰伝	単訳	J.C.ヘボン 訳	ゆまに書房	東京	1872年初 版、1996 年復刻	88枚	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15021699	—
MB00939	A Japanese and English dictionary, with an English and Japanese index / by James Curtis Hepburn	単著	James Curtis Hepburn 著	C.E. Tuttle	Rutland , Vt	1867年初 版 American Presbyteri an Mission Press、 1872年2 版、1983 年復刻版	xiv,55 8,132 p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA03229409	—
MB00940	聖書辞典	共編	博士平文、山本秀煌 編 纂	ノーベル書房	東京	1892年初 版、1926 年再版、 1979年復 刻	652p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04413267	—
MB00941	真理易知	単訳	Divie Bethune McCartee 著口 ヘボン「訳」	鶴久二郎	三瀨町 (福岡県)	1863年初 版、1976 年復刻	39丁	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04701873	—
MB00942	十字架のものがたり	単著	[ヘボン 著]口 奥野昌綱 訳	奥野昌綱	東京	1888.5	12p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA46912013 https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB10894	—
MB00943	Japanese-English and English-Japanese dictionary (改正増補和英英和語林集成)	単著	ゼー・シー・ヘボン 著	丸善商社書店	東京	1886年改 正増補版、 1974年復 刻版講談社	962p		https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01274120	—

宣教師名	宣教師名 (J)	生没年	所属	出身国
Berry, John C	ベルリ	1847—1936	アメリカン・ボード(プロテスタント)	アメリカ
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社
				出版地
				出版年
				頁数
				目次/内容細目
				CINII書誌
				国デジ (NDL)

MB00944	安息日学校行儀心得	単著	ジョン・シ・ベルリ 著 戸川安宅 訳	福音社	大阪	1890.1	11p	目次なし	=	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824021
---------	---------------------------	----	-----------------------	-----	----	--------	-----	------	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Pérez, Francisco		フランシスコ・ペレス		1922—2007		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00945	存在の理解を求めて：形而上学入門	単著	フランシスコ・ペレス 著	南窓社	東京	1970	247p	まえがき/序論 哲学することについて/第一部 人間の世界および人間のもっとも根源的問い/第二章 存在すること/第三章 経験世界の形而上学的諸問題/第四部 世界的存在の究極的根拠について/第五部 絶対者との関係における、万物の新たな考察/むすび/存在論の主要テー	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03862913	—
MB00946	認識への問い：人間らしく生きるために	単著	フランシスコ・ペレス 著	理想社	東京	1971	210p	はしがき/第一章 確実な認識は可能か/第二章 直接経験のなかで確実に認識されるもの/第三章 概念について/第四章 直接に自明な普遍的判断について/第五章 演繹的認識について/第六章 外界の認識について/第七章 帰納的認識について/第八章 歴史的認識について/第九章 形而上学的認識について/第十章 真理認識と人間のあり方	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03452208	—
MB00947	悪の形而上学	単著	F.ペレス 著	創文社	東京	1981.11	283p	はしがき/序論/第一部 予備的考察/一章 問題提起/二章 一般的な疑問/三章 悪の本質と存在理由についての予備的考察—人工的なものの場合—/第二部 生物の諸種の悪とその存在理由/四章 動植物の自然的悪/五章 人間の被る自然的悪/六章 他人の不正による不必要な悪/第三部 罪悪とその存在理由/七章 罪悪の本質/八章 罪悪の存在理由/九章 決定的悪の可能性/十章 決定的悪の存在理由/むすび/文献目録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05499155	—
MB00948	存在への問い：哲学の原点に根ざして	単著	F.ペレス 著	創文社	東京	1987.6	311p	はしがき/1 哲学と人間存在/2 「ないものから何ものも生じない」/3 フェシスとノモス/4 人間は万物の尺度か/5 「汝自らを知れ」/6 正義の本質/7 正義と幸福/8 死後への希望とその根拠/9 愛に関する最古の哲学/10 プラトンのエロス論と『パイドロス』の主題/11 「学ぶ」ことの可能根拠/12 哲学の使命/あとがき/文献目録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01450471	—
MB00949	人間の真の姿を求めて：存在をめぐる対話の断片	単著	フランシスコ・ペレス 著	ヨルダン社	東京	1973	195p	はしがき/1 対話について/2 現代のヒューマニズムとキリスト教の愛/3 ユートピアと終末論/4 過去と未来のあいだに/5 有限性の価値を認めて/6 純粹さと一面性/7 人間と自然の世界/8 人格的神について/9 地獄について/10 罪について/11 理性と信仰/12 むすび/注	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04459993	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Perez, Modesto		モデスト・ペレス		不明		カトリック・ドミニコ会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00950	リマの聖者：黒人の聖人マルチン・デ・ポレス物語	単訳	ファビアン・ウインディト 著 モデスト・ペレス 訳	中央出版社	東京	1949	205p	一 聖なる芽生え/二 喜びの門出/三 小さなお医者さん/四 ろうそくの光/五 修道院の人気者/六 サント・ドミンゴの明け暮れ/七 静かな農場/八 可憐なお友達/九 友を訪ねて/一〇 忙しい日/一一 慕い寄る若人/一二 安らかな憩い/一三 芳香永しえに	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1161197
MB00951	聖ドミニコとその偉業：生涯・精神・修道会の目的	単訳	ジョン・B.オコンノー 著 モデスト・ペレス 訳	中央出版社	東京	1950	238p 図版	譯者序/序/緒言/第一部 聖ドミニコ傳/誕生と其の幼時/教育/國家の使節節/宣教師への切望/アルビの異端/教皇使節の失敗/彼の使徒的熱心/ファンジョーに於ける奇蹟/第二會の設立/艱難/異端審問/ロザリオ/十字軍/司教の榮位を斷る/最初の修道院/教区内修道院の認可/ラテラン公會議/失望/聖フランシスコとの邂逅/インノセント三世の命名/戒律の選擇/會の認可/兄弟達の派遣/聖シクストゥス修道院に於ける奇蹟/會と大學/スペインへの旅/イタリアとポーランドに於ける修道院の設立/最初の總會/ロンバルディアに於ける説教と第三會/第二次總會/聖ドミニコの性格/第二部 修道會の精神/その時代の特性/この運動の危険/合理主義との戦ひ/情勢に対する聖ドミニコの理解/觀想の要素/誓願/ドミニコ會の訓練精神/戒律と會憲/組織/學究/神學體系/新方法的必要性/聖ドミニコの計畫/計畫の實行/研究に對する障礙の排除/會の學校/新しい研究學料/學生の性格/説教/説教者の不足/説教はドミニコ會の使命/聖ドミニコ獨特の計畫/説教は會の主要任務/萬民の説教者/異教徒への説教/みんな説教者ではない/第三部 ドミニコ會の業績/教育/神學と哲學/聖書/聖會法/語學/文學/科學/宣教師と殉教者/聖人と神秘家/社會學/藝術/他の分野に於ける貢獻/附録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA34364748	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939744

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Perez Valera, Eduardo		ペレス・バレラ		1935—		カトリック・イエズス会		メキシコ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00952	聖イグナチオの10日間の霊操	単著	ペレス・バレラ 著	中央出版社	東京	1983.8	207p	序/この本を利用して祈る方々へ/第1部 聖イグナチオの10日間の霊操/回心への道しるべ/第1日 限りない回心への道/第2日 浄めの段階/第3日 個人の罪/第4日 み国/第5日 神の光の悟りを求めて/第6日 瞑想について/第7日 識別の日/第8日 生活改善の日/第9日 主との一致/第10日 ご復活の日/第2部 自己認識の源としての愛	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01911417	二
MB00953	聖書におけるキリストの神秘 : みことばを祈る 1	単著	J.E.ペレス・バレラ 著	エンデルレ書店	東京	1997.4	246p	第1部 第1週 第1日<講話>レクチオ・デヴィナ:教会の伝統的な聖書の読書/<要点1>神、人間、世界についての霊的な感覚と「原理と基礎」/<要点2>「初めに……『光あれ』と神が言われた。そして、光があった」/<講話1>みことばとペラカー/<要点1>知恵/<講話2>霊操23:原理と基礎/<講話3>指示と附則/<要点2>詩篇8:賛美/第3日<要点1>罪:神、人間、世界についての感覚の崩壊/<要点2>詩篇14/第4日<要点1>個人の無秩序としての罪、御憐れみ/<要点2>自分の罪について/<要点3>霊的な賜物を切望する心、気まぐれな心/<講話1>神との和解を深めるために自分の歴史を思い起こす/<要点4>詩篇1/<講話4>総告解と識別/第5日<講話1>霊操の三つの対話について/<要点1>神の不在/<講話2>苦行、克己、忍耐/<要点2>神の民に対する神の問責:詩篇50/神の問責を受ける神の民:詩篇51/第6日<講話>今の時、警戒、慰めと荒み/<要点1>この世の罪に対する神の答え:大洪水、ノア/<要点2>ゆるしと告白:詩篇32/第7日<要点1>アブラハムについての黙想/<要点2>アブラハムへの呼びかけ/<要点3>アブラハムへの試み/第8日<要点1>「私たちの先祖ヤコブよりも……」/<講話>祈りに関して/<要点2>詩篇105/<要点3>ヤコブと神との格闘/第9日<要点>「信仰によってヨセフは……」/第2週-1 第1日<講話>聖書の伝統的な祈り/<要点>み国/第2日<要点>出エジプト記:モーセ、イエス/第3日<要点>荒れ野/<講話>荒みについて/第4日<要点>ヨシュア記と士師記における土地の制服/<講話>救済史のそれぞれの段階における三つの次元からなる構造士師記/第5日<要点>サウル、ダビデ、ソロモン/第6日<要点>両王国と神殿の崩壊、追放/第7日<要点>追放、預言者、帰国、マカバイ/第8日<要点>預言者/第9日<要点>知恵、信仰と文化/第10日<要点>ヨブ記/<講話>生活における決定的な心	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA3268182X	二
MB00954	聖書におけるキリストの神秘 : みことばを祈る 2	単著	J.E.ペレス・バレラ 著	エンデルレ書店	東京	1997.4	185p	第3部 第2週 第1日<講話1>イエスの公生活の黙想に向けて/<講話2>霊操の第2週における一般的な留意事項/<要点1>御父からの使命をとらえるイエスのメシアとしての意識/<要点2>イエスの最初の説教、反対を受ける使命/<要点3>洗礼者ヨハネの教え、悪からの誘惑/第2日<講話>真なる人・主イエスの意識をとらえるための五感<五官>の活用/<要点1>カファルナウムでの一日/<要点2>最初の5人の使徒への招き/<要点3>病人を癒す主、ファリサイ人との論争/第3日<講話>識別に関する留意事項/<要点1>分裂、十二人の選択、幸いと不幸/<要点2>神のみ心にあずかる、霊的識別、みことばの実現/<要点3>信仰、死に対する勝利、神の訪れ、罪深い女/第4日<講話>識別について/<要点1>イエスに仕える婦人たち、種をまく人のたとえ/<要点2>ゲラサの人、ヤイロの娘/<要点3>十二人の派遣、主の危機、変容/第5日<講話>二つの旗、二つの知恵/<要点1>エルサレムへの道/<要点2>72人の派遣、隣人、マルタとマリア/<要点3>「天にまします……」/第6日<講話>選定に関する留意事項(1)/<要点1>人のあり方、貪欲/<要点2>悔い改めなければ滅びる/<要点3>イエスに従うこと:謙遜、離脱/第7日<講話>選定に関する留意事項(2)/<要点1>主の憐れみ/<要点2>忠実さ、不正、富、貧困/<要点3>共同生活、み国が来る/第8日<講話>選定に関する留意事項(3)/<要点1>祈り、イエスのやさしさ、金持ちの議員/<要点2>み国に伴う貧しさ、ムナのたとえ、エルサレム/<要点3>イエスとの論争/第9日<講話>謙遜/<要点1>やもめ、苦しみ、エルサレム/<要点2>ザカリアとマリア、信仰、ヨハネとイエス/<要点3>イエスは神殿で	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA3268182X	二

MB00955	聖書におけるキリストの神秘：みことばを祈る 3	単著	J.E.ペレス・バレラ 著	エンデルレ書店	東京	1997.4□	241p	第4部 第3週 第1日 <講話> 受難に関して/<要点1> イエスのエルサレムへの入城/<要点2> イエスに対する陰謀/<要点3> ベタニアでの晩餐/第2日 <講話> 十字架という神秘/<要点1> ユダの裏切り/<要点2> 最後の晩餐の諸秘義・主が弟子の足を現れるというしるし/<要点3> 最後の晩餐の諸秘義・パンとぶどう酒のしるし/第3日 <講話> 忠実な僕/<要点1> 最後の晩餐の諸秘義・イエスの種々の言葉/<要点2> 園での諸秘義・イエスの祈り(1)/<要点3> 園での諸秘義・イエスの祈り(2)/第4日 <講話> 主に従うこと/<要点1> 園での諸秘義・イエスの逮捕/<要点2> 最高法院で裁判を受けるイエス/<要点3> 侮辱と苦痛/第5日 <講話> 主イエスへの回心に導く教理/<要点1> ポンティオ・ピラトの下で/<要点2> 「この人を見よ……あなたがたの王」/<要点3> 十字架の道・主の死/第6日 <講話> 識別に関して/<要点1> イエスの死に伴う意味/<要点2> 十字架のそばに立っていたマリア(1)/<要点3> 十字架のそばに立っていたマリア(2)/<要点4> 葬られ……地のいちばん深いところに降られた/第4週 第1日 <講話> 信仰とは、実在を知ること/<要点1> 空の墓/<要点2> 墓での婦人/<要点3> 婦人たちへのイエスの最初の現れ/第2日 <講話> 教会を慰める復活された主/<要点1> エマオの弟子たち/<要点2> 主の体と渡したちの体の復活/第3日 <講話> 教会と心を合わせるという規定に関して/<要点1> 使徒たちへの現れ/<要点2> イエスの派遣と教会の派遣/<要点3> 湖畔での主の現れ/第4日 <講話> 第二バチカン公会議のもとで/<要点1> イエスの被昇天、私たちの被昇天/<要点2> 弟子の派遣：「いつもあなたがたと共にいる」/第5日 <講話1> 感謝の心/<講話2> すべては贈り物/第6日 <講話1> 活動における観想/<講話2> 愛のうちに生きること：ぶどうの木とその枝	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA3268182X	二
MB00956	不思議の国の私：B.ロナーガンによる哲学と方法への入門	単著	J.E.ペレス・バレラ 著	ぎょうせい	東京	2005.6□	516p	読者のために/第1部 文学と批判的哲学/第1章 批判的哲学と普遍的な方法/第2章 文学の解釈と哲学/第3章 内面性の分化に伴う志向性とサイキの認識/第4章 内面性のドラマが再演される場/第5章 感覚と知性：自己中心性と自己超越性/第6章 「理解せよ」という先験的法理/第7章 「理性的であれ」という先験的法則/第8章 「責任をもって物事を実行せよ」という先験的法則/第9章 究極的リアリティと制約のない愛/第10章 究極的リアリティとシンボル/第11章 シンボルが生じる場/第12章 いのちを滅ぼす「堀」/第13章 吉田兼好とトマス・アクィナス/第14章 吉田兼好による解散と自由/第15章 セルフ・アイデンティティと自己容認を伝える「朝露の石」その1/第16章 セルフ・アイデンティティと自己容認を伝える「朝露の石」その2/第17章 無制約に愛してしまうことに含まれる矛盾律/第18章 解放を暗示する「風の声」、忍耐を暗示する「雪の花」/第19章 権力への意志と献上心/第20章 アガベを知った若木/第21章 回心の体験を暗示するカシの木/第2部 宗教心と批判的哲学/第1章 批判的哲学の展望/第2章 閃きと宗教的リアリティに関する問い/第3章 道徳の誕生と究極的リアリティに関する問い/第4章 究極的リアリティに関する体験/第5章 宗教体験と哲学上の神の存在の証明I/第6章 宗教体験と哲学上の神の存在の証明II/第7章 宗教体験と宗教歴史学者による宗教心/第8章 アリストテレスの形而上学と「主体への移行」/第9章 意識によって構成されている主体/第10章 宗教心と哲学/第11章 自己超越と第二の天真爛漫さ/第12章 文化の多様性を根拠づける根源的な肯定/第13章 オープンネスと対話/第14章 アクィナスの営みの構造と自然科学の構造との同型性/第15章 認識論的定理と意味によって構成されている世界/第16章 目的対象を先取りする知りたい欲求/第17章 客観性とは主体性の熟した実/第18章 究極的真理を「見る」ための主体の鍛錬/第19章 真理の一貫性に目覚めさせる分化/第20章 神秘に関する学問/第21章 「シオンの山」に登っていく国々/第22章 アクィナスの三位一体論と普遍的方法に通ずる批判的哲学/第3部 ロナーガンの先験的法則とトマス・アクィナス/付録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA72364028	二

宣教師名 Hellweg, Hans	宣教師名 (J) ヘルヴェグ	生没年 1905 —1988	所属 カトリック・イエズス会	出身国 ドイツ						
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00957	教育の根本問題：キリスト教的教育學	単著	ハンス・ヘルヴェグ	ルーベルト・エンデルレ書店	東京	1947□ 1956年5 版	231p	序文/緒論/第一章 教育の本質について/第二章 教育の目的/第三章 教育の権利と教育の責任/第四章 教育と家庭/第五章 教育と国家/第六章 教育と学校/附録 男女共学に就て (目次は1947年版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03412043	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11034499

MB00958	わが子の教育	単著	ハンス・ヘルヴェク 著	教育協議会	東京	1952年初版、1953年4版	81p	おすゝめの言葉 田中峰子/日曜日/母にまかせつきり/母を打つ手/恐るべきおばあちゃん達/温室育ち/おとなしい少年達/愛の芽をはぐくむ/僕のことを構つてくれない/親の嘘/教育者とアルコール/子供の駆引/おせつきよう/言つて良いこと悪いこと/盗みの芽/従順と不従順/好き嫌い/肝心なものは/あとがき (目次は1953年版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA89683698	—
MB00959	わが子とともに	単著	ハンス・ヘルヴェク 著 山辺二郎 訳	エンデルレ書店	東京	1965	114p	地上の天国/生れた時から/親の見栄/パパ遊ぼうよ/子どもの嘘/弟をみないなさい/もっと若さを/成長期の子ども/つぼみには光を/わが子の教育/生の神秘/男女七歳にして/十八歳未満お断り/まず範をたれよ/この親にして/荷が重いや/子のこころ親知らず/パパはママに意地悪なの/オヤジがんばれ/父親を家庭に/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75956839	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9545093
MB00960	第二バチカン公会議と日本におけるカトリック教育	単著	ハンス・ヘルヴェク 著	カトリック教育協議会	東京	1966.9	78p	推薦のことば 田口芳五郎/まえがき/公会議の「キリスト教的教育に関する宣言」の解説/序言/一「宣言」の要約/二「宣言」の基本的な精神/「キリスト教的教育に関する宣言」と日本のカトリック教育/一 非カトリック系学校に存在するカトリックの生徒の宗教教育/二 日本のカトリック学校の使徒職/第二バチカン公会議の「キリスト教的教育に関する宣言」	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA60910845	—
MB00961	父の出番・母の出番：愛の子育ていま子どもに何が必要か	単著	ハンス・ヘルヴェク 著	教育出版センター	東京	1981.11	222p	第1章 先生に任せっきりでは無責任/第2章 親子の“断絶”は避けられるか/第3章 子どもは親の所有物か/第4章 どう答え、どう教えるか/第5章 子の人格は家庭で決まる	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04968465	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Bertrand, Joseph Jean Augustin		ベルトラン			1867—1916	カトリック・パリ外国宣教会	フランス			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00962	神山癩病院概況	単著	ヨゼフ・ベルトラン 著	林寿太郎	東京	1914	52p	緒言/一、復生病院の創立及沿革/二、維持経営の方法及建設物/三、資本及収支の一斑/四、癩病の治療/五、収容患者統計/六、西洋各国に於ける癩病予防方法/七、欧州中古時代における慈恵心	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA48756484	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/948086

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Peretti, Pietro		ピエトロ・ペレッティ			1921—2013	カトリック・イエズス会	イタリア			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00963	キリスト教への窓：さし絵キリスト教概論	単著	ピエトロ・ペレッティ 著 ホアン・カトレット 絵	中央出版社	東京	1987.3	264p	キリスト教概論/I 聖書・信条/1 父なる神/2 ひとり子イエズス・キリスト/3 主なる聖霊/4 教会、人の救い/II 聖典・秘跡/1 洗礼/2 堅信/3 聖体/4 ゆるし/5 病者の塗油/6 叙階/7 婚姻/8 七つの秘跡/9 教会祭儀/10 教会音楽/11 教会芸術/III 聖職・おきて/A 洗礼を受けた者の聖職/1 神の十戒/2 七つの罪源/3 神に叫ぶ四つの罪/4 聖霊に反する六つの罪/5 七つの慈善事業/6 三福音的勧告/7 八福/8 枢要倫理徳/9 対神徳/10 祈り/11 教会の一般のおきて/B 堅信を受けた者の聖職/C 叙階された者の聖職/1 Diakonosの聖職/2 司祭の聖職/3 司教の聖職/教皇の聖職/教会の一致と教皇の役割/細目次/	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04432410	—

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年	所属	出身国			
Pensiek, Sergius		セルギウス・ペンシエク (ペシエク)			1907—2010	カトリック・ニエポカラヌフ修道院 (修道士)	ポーランド			
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00964	無原罪の聖母：M・コルベ神父のことば集	編集	M.コルベ [述]口 セルギウス・ペシエク 編	聖母の騎士社	長崎	1988.5	204p	第1部無原罪の聖母/第一章 無原罪の聖母とはどのようなお方ですか/第二章 すべての恵みの仲介者/第三章 聖母のみ旨/第四章 私たちの理想/第五章 信頼/第六章 聖母への自己奉獻/第七章 愛/第八章 無原罪の御宿りの祝日/第二部 M・I (聖母の騎士) とニエポカラヌフ (無原罪の聖母の園) 第一章 M・Iの本質と目的/第二章 M・Iのフォルマ (やりかた) と精神/第三章 M・Iのモットー/第四章 ニエポカラヌフの本質・目的・性格/第五章 ニエポカラヌフの精神/第六章 ニエポカラヌフの基礎/第七章 ニエポカラヌフの理念とその使命の発展/第八章 ニエポカラヌフの中央部の指導者/第九章 ニエポカラヌフの哲学/第十章 聖母の騎士/第十一章 不思議のメダイ/第十二章 聖母について/第十三章 使徒職/第十四章 宣教とニエポカラヌフ/第十五章 マリアのみ名/第三部 修道生活/第一章 修道誓願/第二章 神の恵みと成聖について/第三章 聖体拝領と祈りに関して/第四章 謙遜について/第五章 意思について/第六章 兄弟愛について/第七章 良い模範について/第八章 沈黙について/第九章 平和について/第十章 忠実さについて/第十一章 時間厳守について/第十二章 意向について/第十三章 苦しみについて/第十四章 悔悛について/第十五章 誘惑について/第十六章 過ちについて/第十七章 訓戒と勧告/第四部 回想/付録/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN16031665	—
MB00965	越えて来た道：コルベ神父とともに	単著	セルギウス・ペシエク/ [著]	聖母の騎士社	長崎	1996.12	215p	プロローグ/第一話 懐かしい生まれ故郷/第二話 修道生活の始まり/第三話 招かれて日本へ/第四話 アレルヤの喜び/第五話 困難な時代に向かって/第六話 平和の訪れ/第七話 わが師聖コルベ神父様/私の履歴/エピローグ	—	—
MB00966	コルベ神父さまの思い出	単著	セルギウス・ペシエク [著]	聖母の騎士社	長崎	2016.2	239p	コルベ師の思い出/お話のはじめに/幼い頃/コルベ神父様の人柄/聖母の騎士誌/コルベ神父様の偉業/コルベ神父様の従順/ゼノ修道士/エヴァリスタ修道士/決意/動揺/修道院の特徴/日本に招かれて/日本での生活/病気/クシ (悪魔) /コルベ神父様の涙/拘留所/四十年ぶりに故郷に帰る/喜びの涙/別れの言葉/コルベ神父様の最後の百七十八日の苦しみ/コルベ神父様の言葉より/幸せは何処にある? /あとがきにかえて/ポーランドの思い出/はじめに/仲直り/猫/林檎/犬/桜/横顔/不安/風/ニエポカラヌフ/終わりに/付録	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB22237762	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Hendrickx, Frans		フランス・ヘンドリックス		1932—2012		カトリック・サレジオ会		ベルギー		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00967	輝く日のために	単著	フランス・ヘンドリック ス 著	ドン・ボスコ社	東京	1999.11	198p	序文/すてきな今日を聞こう/人生へこぎだそう/自分を磨こう/ドン・ボスコは教えてくれる/学校は灯台の光/家庭の役割/未来にむかって	—	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Heuvers, Hermann		ヘルマン・ホイヴェルス		1890—1977		カトリック・イエズス会		ドイツ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00968	細川ガラシア夫人	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著	春秋社	東京	1939年初 版カト リック中 央書院、 1966年新 版	180p	新版序—どうして細川ガラシア劇を書くようになったか/序/戯曲 細川ガラシア夫人/日本婦人の亀鑑 細川ガラシア夫人/附・資料編/アントニオ・プレネスチノの書簡/ルイス・フロイスの書簡/オルガンチノの書簡/ルイス・フロイスの書簡/オルガンチノの書簡/ルイス・フロイスの書簡/ルイス・フロイスの書簡/ルイス・フロイスの書簡/二十六聖人の殉教に関するフロイスの報告/イエズス会年報/イエズス会年報/ヴァレンティン・カルヴァリウの書簡/フランシスコ・パーシオの書簡/フランシスコ・パーシオの書簡/綿考輯録 九/綿考輯録 十三/付・本朝烈女伝 (抜粋) /綿考輯録に見る細川ガラシア夫人に関する記録 (細川護貞) (目次は1966年版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01979589	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1362293
MB00969	鶯と詩人		ヘルマン・ホイヴェルス 著	エンデルレ書店		1948	132p	はなてゆく小娘/二人の女中/患者/わが友/悲しき雀/鶯と詩人/光りの園/哲学者/隠遁者/神学生の母/デオ・グラチアス/遙かなる日の出の國/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33390538	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1157387
MB00970	山上よりの御声：聖書を読み て		ヘルマン・ホイヴェルス 著 戸川敬一 訳	エンデルレ書店		1950	121p	まえおき/山上より御聲/群集イエズス二近づく/イエズス口を開きて彼らに教え給う/まことの幸福/福なるかな/心の貧しき人/泣く人/柔和なる人/義に飢え渴く人/慈悲ある人/心の潔き人/和睦せしむる人/義の爲の迫害を忍ぶ人/弟子の使命/地の鹽/世の光/山の上に建てたる街/燈を点して柵の下に置かず/律法と自由/掟の文字と精神/道徳律/犠牲の献げ者、道徳と宗教/目はこころの門/第六誡/離縁状/誓い/然り然り—否々/返報/右の頬/天父の如く完全なれ/人に見られんとて義をなすな/喇叭を吹くな/右手、左手/祈り/祈るに己が室に入り戸を閉ざせ/繰り言をなすな/主禱文/天父/御名/御國/御旨/日用の糧/罪/試み/悪/断食/悲しきさまをなすな/地上の實/實を地に蓄えるな/實と心/目は燈/二人の主/神と富と/弟子のもつべき心/空の鳥/野の百合/まず神の國/裁くこと/人を是非する勿れ/目の塵とうつばり/神聖な物/願え、探せ、叩け/隣人愛の金言/救いの危険/窄き門、細き道/羊の衣服を着た狼/善き樹、悪き樹/終りの歌/磐上の家と砂上の家/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA90514086	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2938825
MB00971	こぶねよりの御声：キリスト の喩	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著	中央出版社	東京	1956	139p	まえおき/比喩の意味/言葉/神の御言葉/種播の喩/萌え出する種子の喩/毒麦の喩/芥種の喩/麩餅の喩/畑に蔵れたる宝と美き真珠の喩—信仰の喜び/綱引の喩/新郎の喩/失せたる羊の喩 失せたる銀貨の喩 放蕩息子の喩} 失つたものの三つの喩/善き牧者の喩/麦粒の喩/葡萄の樹の喩/王の婚筵の喩/葡萄畑の雇人の喩/二人の負債者の喩/愚かな富豪の喩 実らざる無花果の樹の喩 таланトの喩} 愚かな者についての三つの喩/無慈悲なる富豪の喩 負債ある臣下の喩 慈善なるサマリア人の喩} 隣人愛についての三つの喩/強請る友の喩 不義なる判事の喩 フアリザイ人と税吏との喩} 祈りについて	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939904
MB00972	日本で四十年	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著 林幹雄 [訳]編	春秋社	東京	1964	262p	昔語り—/がっかりしたホフマン先生/大震災/日本暮らしの見習い/「源氏物語」/O先生とシルクハット/ブラジル移住者とともに/天の橋立/昔語り二/二千六百年の元日/日本の縁結び/純粋な人間/麦の穂/農家でどの旬会/模範的な曾おばあさん/石/西と東—シュプランゲル博士の発見/信仰と芸術/寿々子 スガ子 きみ子/上智大学の五十年/ウェストファーレンの婦人—聖園テレジア/わたしのさとり/隠遁者/ Pharos 【詩】/わたしのさとり/Der Priester【詩】/思うこと/支那の森/若い母のつとめ/なぜ日本にいらっやいましたか/私の好きな和歌/叱られて/Du Kategorie/「汝は我がものなり」/栄えるという言葉/神の光栄とちいさきエマヌエラ/静けさ/「わがものが一番好き」/日本の姿/哲学と子供/雲の下の松の木/ELEGANTIA DIVINA/四十年とさるすべり/信仰十話/興味/痛み/よるこび/聖人と罪/モーツァルトの戴冠ミサ/末席と人生の価値/マリア/心と物/クリスマスと世の中の裏/吉満義彦先生を見送る言葉/編者あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04815395	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3022226

MB00973	ホイヴェルス神父説教集	単著	H.ホイヴェルス 著	中央出版社	東京	1973□	200p	序文の代わりに/1 あいさつ/2 神のみ前に立って/3 神の家/4 聖堂の静けさ/5 神の家と森/6 晩さん—歴史の中心/7 ミサの礼儀/8 私たちのかたみ—ミサ・ソレムニス—/9 子どもと神/10 幼児洗礼/11 救かりの第二の板/12 悔悛と告解、償い/13 告解のかたち/14 結婚の神秘/15 一本のろうそく/16 人生の重荷/17 神への道/18 珍しいこと、珍しくないこと/19 マリアの承諾/20 クリスマスの祈り/21 家庭は神の名作/22 洗礼の意味/23 神と友だちになる/24 カナの婚礼/25 歴史のわかれ道/26 聖ルカの福音書/27 ナザレトのできごと/28 人をすなどるもの/29 心の貧しいもの/30 誘惑に会うキリスト/31 キリストのご変容/32 実をむすぶいちじく/33 親の心子知らず/34 罪なき者が最初の石を投げよ/35 新しい喜びと新しい愛/36 信仰のふたつの種類/37 ペトロの受けた試験/38 わたしたちは神のもの/39 互いに相愛せよ/40 キリストのご昇天/41 聖霊の贈りもの/42 三位一体の神/43 キリストの試験/44 三つの賜物/45 ペトロとパウロ/46 ほんとうに喜ぶべきこと/47 よきサマリア人/48 種まきのたとえ/49 毒麦のたとえ/50 右の頬に左の頬/51 思いわずらうな/52 聖母の被昇天/53 最後の説教/54 説教について/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04440703	—
MB00974	私の好きな言葉：思想家と詩人の言葉	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著 土居健郎 [訳]	エンデルレ書店	東京	1974□	59p	1 あらゆる物以前に/2 神/3 人間/4 魚のいる池のほとりで/5 大きな力/6 物の根拠/7 創造の計画/8 芸術/9 平和/10 労苦/11 芸術と十字架/12 子供のためのクリスマスの歌/13 マリア/14 われらの唯一の誇り/15 真の癒し/16 ストラスブルク聖堂の前に立つ若きゲートル/17 わが心は不安/18 世界を君はどうしようというのか/19 一つのことをすべての人にあてはまらぬ/20 東は神のもの/21 神は人間を造った/22 真の象徴/23 精神と技術/24 会話/25 聖霊降臨祭に/26 あらゆる過ぎ行くもの/27 旅人の夜の歌/28 結婚/29 青年/30 汝/31 若い女歌手の記念帳に/32 残るもの/33 キリスト/34 質素な水/35 唯物主義者への言葉/36 汝はわがもの/37 汝のもの一つだになし/38 私をただ預っただけだ/39 アン・グレゴリーの黄色の髪/40 ああ、遊びの遊び/41 人間とは何か/42 夏のさすらい/43 自己批判/44 北の人間、南の人間/45 余計なもの/46 善の行ない/47 キリスト/48 良心の呼び声/49 つんぼのいら草/50 諺の中の神/51 わかること/52 人生—永遠の生命/53 始めと終り	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07489913	—
MB00975	師とその弟子：ティモテオ書解説	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著	中央出版社	東京	1975□	146p	まえがき/あいさつ/ティモテオへの前の手紙/一章 異端者に対する態度/二章 祈りの時の態度/三章 教会の務めのいろいろ/四章 異端に対する注意/五章 年寄りに対する態度/六章 奴隷に対する態度/結び/ティモテオへの後の手紙/一章 感謝の祈り/二章 使徒の働きとその報い/三章 将来の異端者について/四章 弟子への切なる願い/結び/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04442797	—
MB00976	ホイヴェルス神父日本人への贈り物	単著	H.ホイヴェルス 著 土居健郎、森田明 編	春秋社	東京	1996.6□ 2002年新装版	198p	はじめに 土居健郎/序章/神への道/この世を生かすもの/キリストのことば/細川ガラシア夫人/人生の秋に/人生讃歌/ホイヴェルス神父説教集/私の好きな言葉/師とその弟子/時の曲り角/講義ノート・雑/日本人/解説 土居健郎/おわりに 森田明 (目次は2002年版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14805048	—
MB00977	戯曲選集	単著	H.ホイヴェルス 著	中央出版社	東京	1973□	386p	静けきまよなか/神の国-されぎなし(マグダラのマリア)/受難劇,復活(狂言)/復活のキリスト(能),ダマスコのパウロ(長唄)/紫ぬのをあきなう女(ルデア)/パリの七人の大学生/細川ガラシア夫人(歌舞伎)/神津島のジュリア/花見,忠義な鴉(ラジオ劇)/恋の石段/床上げの祝い/橋の上	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05285446	—
MB00978	人生讃歌：12の聖歌による神への道	講述	ヘルマン・ホイヴェルス [述]	春秋社	東京	1971□	197,24p	序にかえて/第一章 神/第二章 御降誕/第三章 御受難/第四章 復活/第五章 御昇天/第六章 聖霊降臨/第七章 三位一体/第八章 キリスト/第九章 マリア/第十章 安息(死)/第十一章 天国/第十二章 永遠の生命/編者あとがき/付 十二の聖歌原典楽譜	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04813334	—

MB00979	神への道	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著	春秋社	東京	1948年再 版、1960 年新版	259p	人間は神を探求する／秘められた神／神とは何か／神を見出すこと／神を保持すること／信仰と不信仰／カトリックの神観／神を信ずること／神の御名／神の本質／神の認識／神の意志／三位一體の神／天地の創造主たる神／世界はなんのためにあるか／攝理／悪／苦難について／悪魔／天使／人間／不滅の靈魂／原罪／原罪の本質／救ひ／一定の時と一定の土地／われらの信仰の父、アブラハム／キリストへの導き手、モイゼ／ダヴィド王とダヴィドの子／待降の時代と時みつる頃／神とマリアとの子、ナザレトのイエズス／マリアへのお告げ／御身のみ類例を絶して神によみせられたり／ヨゼフとマリア／イエズスの形而上學の本質／イエズスの私生活／イエズスの公生活／先驅者／使徒の師イエズス／神の羔／神の子イエズス・キリスト／イエズスの純潔、寛容、謙遜／イエズスの奇蹟／キリストの受難／受難の果實／キリストの恩寵／助力の恩寵／成聖の恩寵／キリストはよみがへり給へり／よみがへれる者への信仰／弟子達は何故復活を確信し得たか／トマの疑ひ／信仰への善意／キリストの昇天／聖靈降臨／教會／唯一、聖、公、使徒傳來の教會／異端さへ起るべき筈なり／ペトロは磐なり／ペトロとパウロ／教會の教へ／聖書／聖傳／教會の教導職、司祭職、牧職／教會の秘蹟／諸聖人の通功／教會讃歌／死／審判／天國／煉獄／靈魂の淨化／地獄／肉身の蘇り／公審判／終りなき生命／附 神の存在の證明／一 自然哲學的（宇宙論的）證明／二 偶有性の證明／三 段階論的證明／四 統合的證明／五 アイデア的證明／六 生物學的證明／七 目的論的證明／八 幸福説的證明／九 良心論的證明／十 民族學的證明／あとがき(目次は1948年版)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA41532693	
MB00980	神への道	単著	ホイヴェルス 著	カトリック中央 書院	東京	1928年初 版春秋 社、1937 年改訂	132,1 5p	はしがき／創造主／自然から神への道／心から神への道／幸福の要求から神への道／日の歌（姉崎博士譯）／イエズス・キリストは誰か？／イエズス・キリストの略傳／キリストの先驅者／童貞マリア救主の御母に選まる／ヨハネの誕生とザカリアの豫言／救主馬小屋に生れ給ふ／羊飼等キリストの御降誕を告げらる／幼子イエズス萬民の光と唱へらる／東の國の博士等の参拜／聖家族エジプトへ逃れ給ふ／聖殿に於ける十二歳のイエズス／先驅者ヨハネ改心を勧める／イエズス、洗禮か授かり、御父改證明をうけ給ふ／イエズス悪魔に試みられ、天使に仕へられ給ふ／イエズス最初の奇蹟を行ひ給ふ／イエズス聖殿を潔め給ふ／イエズス神の國に入る道を説き給ふ／イエズス永遠の水を約束し給ふ／イエズス全徳の道を教へ給ふ／イエズス使徒等を選びて特に教へ給ふ／タボール山に於けるイエズスの御變容／イエズス病める人々を癒し給ふ／イエズス悪魔を逐拂ひ給ふ／イエズス死人を蘇生らせ給ふ／イエズス罪人を憐み給ふ／イエズス幼子を愛し給ふ／イエズスパンを殖して天からのパンを約束し給ふ／イエズスは比喩を以つて教へ給ふ／（一） 慈善なるサムリア人／（二） 富める人とラザル／（三） ファリザイ人と税吏／（四） 善き牧者／（五） 十人の處女／（六） 慈悲なき僕／（七） 不正な農夫／（八） 捨てられた石／イエズス、エルザレムに入城し給ふ／イエズス最後の審判に就て教へ給ふ／ファリザイ人イエズスを殺さんとす／最後の晚餐／ゲッセマニの園に於けるイエズス／イエズス司祭長に判かれペトロに否まる／ピラトの裁判／イエズス十字架に釘けられ給ふ／イエズス葬られ給ふ／イエズスの御復活／イエズス弟子達に現れ給ふ／イエズス、ペトロを教會の頭に立て給ふ／イエズス昇天し給ふ／聖靈降臨／最初の殉教者ステファノ／アフリカ人洗禮をうける／サウロ（パウロ）の改心／異邦人始めて教會に入る／使徒の布教／附録／結論	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75904755	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1121716
MB00981	キリストの生涯	単著	フランツ・M.ヴィルラム 著 ヘルマン・ホイヴェルス、木暮浪夫 共訳	斯文書院	東京	1935	752p	苦難の時代における嬉しき音信／イエズスの誕生とその少年時代／洗禮者の公然の活動とイエズスの活動開始／ガリラヤに於けるイエズスの活動／エルザレムに於ける祭禮と其の後の御宣教／布教の最盛時とガリラヤにおける判決／ガリラヤにおける最後の夏／受難前の幕屋祭／幕屋祭の後に／イエズスのエルザレム入城／神殿に於ける最終の争闘／舊約の豫告後に於けるイエズス／最終の晚餐／イエズスの受難とその死亡／ユダヤ人の法廷における審問／ローマ人の裁判所における審問—受難／イエズスの復活	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14872464	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1237308
MB00982	時間(とき)の流れに	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著	中央出版社	東京	1953	121p	はなてゆく小娘／二人の女中／患者／わが友／悲しき雀／鷲と詩人／光りの園／哲學者／隠遁者／神學生の母／デオ・グラチアス／ヨイコ・こねこ／野心を知らない子供／どんなことの中にも神様を見つけましょう／むさし野のひばり／北海道の思出／シュロの木に登った私／ことば／時間の流れに	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12641835	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939905

MB00983	キリストのことば	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著	春秋社	東京	1963□	262p	序にかえて／第一部 神の国入門／キリストの自己紹介／1 小さき者を軽んずべからず／2 第一の者は、仕える者たるべし／3 貧者は常に汝らのうちにあり／第二部 山上の垂訓／まことの幸福／4 教育者としてのキリスト／5 心の貧しき人／6 柔和なる人／7 泣く人／8 義に飢え渴く人／9 慈悲ある人／10 心の清い人／11 和睦せしむる人／12 義のために迫害を忍ぶ人／ファリザイ人とサドカイ人／13 律法と自由な精神 一目は心の門／14 第六戒／15 離縁状一誓い／16 然り、然り 否、否一返報／17 右の頬／18 天父のごとく完全なれ一人に見られんとて義をなすな／19 ラッパを吹くな／20 右手・左手一祈り／21 祈るにおのが室に入りて戸を閉ざせ／22 天にましますわれらの父／23 御名／24 御国／25 御旨／26 日用の糧／27 罪／28 試み／29 悪一地上の宝／30 宝を地に蓄えるな／31 目は灯／32 二人の主一弟子の持つべき心／33 思いわずらうな／34 空の鳥を見よ／35 野のゆりはいかにして育つか／36 まず神の国と、その義とを求めよ／37 神聖なるもの／38 願え、探せ、叩け／39 隣人愛の金言／40 良き木 悪しき木／41 岩上の家と砂上の家一終わりの歌／第三部 キリストの教えたとえ話／42 たとえの意味／43 言葉／44 神の御言葉／45 種まきのたとえ／46 萌え出ずる種子のたとえ／47 毒麦のたとえ／48 からし種のたとえ／49 畑に隠された宝一信仰の喜び／50 網ひきのたとえ／51 花婿のたとえ／52 失ったものの三つのたとえ／53 良き牧者のたとえ／54 一粒の麦のたとえ／55 ぶどうの木のとえ／56 王の婚宴のたとえ／57 ぶどう畑の雇人のたとえ／58 二人の負債者のたとえ／59 愚かな者についての三つのたとえ／60 祈りについての三つのたとえ／61 隣人愛についての三つのたとえ／62 ぶどう畑の小作人のたとえ／第四部 マグニフィカトーマリアの讃美歌／63 わが魂は主をあがめ奉る／64 わが精神は、わが救い主なる神によりて喜びにたえず／65 神はその召使の賤しきを顧み給うた／66 今より万代までも、人われを幸いなる者と唱えん／67 力強い者は、われに大事をなし給うた、聖なるかな、その御名／68 神のあわれみは、世々これをおそるる人々の上にあり／69 神は御腕の権能を表わし／70 御あわれみを忘れず、そのしもべイスラエルを引き受け給い／第五部 われらが師なるイエズス	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14874947	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939930
MB00984	わがふるさと		ヘルマン・ホイヴェルス 著	中央出版社		1968□		はじめに／浦島太郎／さやけき小川／ドイツで気づいたこと／冷水療法／フライブルクの誇り／人は何のためにブドウ酒を飲むか？／ケルンのカテドラル／故郷での歓迎会／三つの悲しい話／母校の卒業式／さらば	—	—
MB00985	人生の秋に：ヘルマン・ホイヴェルス随想集	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著□ 林幹雄 編	春秋社	東京	1969年初版、1978年新装版、2008年新装版第1刷	461p	序文／I 美しき生家／II 時間の流れに — Kreatur—生きもの／二 Kind—こども／三 Mensch—人間／四 Gott—神／III 日本で四十年 昔語り／思うこと／信仰十二話／IV わがふるさと／V アッシジのフランチェスコ／VI 訳詩抄／著者年譜／作品年譜（目次は1969年版）＜最上のわざ＞について大平健／序／I わたしは何になりたかったか／クリスマスの思い出／シュロの木にのぼった私／がっかりしたホフマン先生／関東大震災／日本の暮らしの見習い／ブラジル移住者とともに／天の橋立／元日の朝の詩／西と東—シュブランゲル博士の発見／わたしの悟り／わたしの好きな和歌／わたしの一日／年をとるすべ／日本人のカテゴリ—「汝は我がものなり」／“栄える”という言葉／静けさ／「わがものが一番好き」／どうして細川がロシア劇を書くようになったか／日本の姿／来日四十とさるすべり／末席と人生の価値／II 武蔵野のひばり／悲しき雀／鶯と詩人／めずらしい世の中／愛着／石／支那の森／叱られて／哲学と子供／雲の下の松の木／Elegantia Divina／菩提樹／アギレさん／二つの小さな出来事／III 仔猫／光の園／野心を知らない子供／隠遁者／患者／時間の流れに／どんなことの中にも神を見つけましょう／若い母のつとめ／神の栄光と小さきエマヌエラ／坐禅／司祭—岩下壮一師の思い出に／灯台／興味／痛み／喜び／聖人と罪／女について／心と物／クリスマスと世の中の裏／編者あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05174252	—
MB00986	心だけは永遠：ヘルマン・ホイヴェルス神父の言葉	単著	土居健郎、森田明 編著	ドン・ボスコ社	東京	2009.6□	174p	はしがき 土居健郎・森田明／ホイヴェルス神父の軌跡／ホイヴェルス神父の言葉／人間について／信仰について／文化について／心について／人生について／神さまについて／「心だけは永遠」／ホイヴェルス神父と日本 土居健郎／ホイヴェルス神父の横顔 森田明	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB0014387X	—

MB00987	時間の流れに	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 著 戸川敬一 編	中央出版社	東京	1959年改訂増補版	251p	一 Kreature—生きもの／(一) むさし野のひばり／(二) 悲しき雀／(三) こねこ／(四) 母の愛馬／(五) 光の園／二 Kind—こども／(一) はなてゆく小娘／(二) ことば／(三) 野心を知らない子供／(四) クリスマスの思い出／(五) シュロの木に登った私／三 Mensch—人間／(一) 哲学者／(二) 隠遁者／(三) 鶯と詩人／(四) 二人の女中／(五) わが友／(六) 患者／(七) 神学生の母／四 Gott—神／(一) 時間の流れに／(二) どんなことの中にも神を見つけましょう／(三) めずらしい世の中／(四) 北海道の森／(五) デオ・グラチアス／(六) 鐘の声／(七) 愛着／(八) つぼみ／五 Theater des Lebens—人生の舞台／(一) 山／(二) 床上げの祝／(三) 恋の石段／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12641835	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939906
MB00988	ブラジルへ移住せらるゝ方々 △	単著	ヘルマン・ホイヴェルス 編	京谷涼二	東京	1927	43p	一、故郷の宝／二、心の強い優しさ／三、相互の愛／四、忍耐／五、家族と教育／六、気の寛い和合／七、ブラジルの宗教／八、人生の旅／九、ブラジルより 中村長八／ブラジルの慈善病院より マリオ生ノをかりに	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1121966
MB00989	ホイヴェルス戯曲選集	単著		中央出版社	東京	1951	235p	序／忠義な鴉／花見／遅かなる日の出の国／ベトレヘム／受難／復活／聖人フランシスコ・サビエルの来朝(三幕)／細川ガラシア夫人／あとがき	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1690880

宣教師名 Baucus, Georgiana		宣教師名 (J) ポーカス		生没年 1862—1926		所属 メソジスト(プロテスタント)		出身国 アメリカ		
目録番号	書名(別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00990	聖書修身談叢	編集	ポーカス 編 桜井みな 訳	メソジスト出版 舎	東京	1895.12	158p	神を愛するの愛／人を愛するの愛／従順／孝行／貞順／忠義／愛国／信／正直／守約／勉勵／早起／安息／熱心／智／礼／報恩／謙遜／廉恥／優待／友愛／悌順／夫之愛／親之愛／義／公平／廉潔／節義／勇氣／禁酒／純潔／謹慎／仁／患憐／寛容／慈善／献身／満足／忍耐／信仰／希望／喜／安心	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39190065	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825571
MB00991	印度の一婦人に就ての実話	編集	ポーカス 編	常磐社	横浜	1900.11	47p	第一回 不思議の摂理／第二回『走れ走れ』／第三回 君へのクリスマスの贈物／第四回 珍しき受洗者／第五回 精神—到何事か成らざらん	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824067
MB00992	なくした一つの言葉：面白き クリスマス話	編集	ヴァンダイク 著 ポーカス 編	常磐社	横浜	1900.11	31p	第一回『早く起き給へよ』／第二回『その名が思い出されません』／第三回『我父よ我父よ』／	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/899737
MB00993	主の晩餐	編集	ポーカス 編	常磐社	横浜	1901.2	11p	ダヴィンチ画伯の『最後の晩餐』／第一章 主の晩餐の由来／第二章 記念のため／第三章 予想	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824553
MB00994	耶蘇一代記	編集	ポーカス 編	常磐社	横浜	1902年初版、1908年改訂	123p	第一章 幼き時代／第二章 イエスの御伝道／第三章 イエスの最後と蘇生	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14845701	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824027
MB00995	耶蘇一代記	編集	東洋漁人 編	清輝閣	東京	1887.11	108p	西洋開闢の事／並上帝震怒大洪水を降す事／耶蘇の祖先「アブラハム」の事／並埃及王の息女棄児を救ふ事／摩西生立の事／並上帝再び赫怒人民を罰する事／大關洗里士を討取る事／並大關猶太の王位に昇る事／洗礼の教師約翰の事／並上帝に約瑟 神勅を降す事／耶蘇基督降世の事／並国王異星を逐しむる事／耶蘇洗礼を受る事／並魔鬼耶蘇を試る事／耶蘇諸病を医する事／並門徒難風に逐ふ事／耶蘇の神通門徒を救ふ事／並疫病神を逐る事／耶蘇の舌頭衆人を服す事／並死せし少女を蘇生す事／耶蘇説教の事／並譬諭を以て門徒を諭す事／約翰暴殺に遇ふ事／並耶蘇暗夜に海面を渉る事／耶蘇諸国に教を弘むる事／並十字架の未来を示す事／耶蘇高山にて変化をなす事／並天国の最大なるを説く事／耶蘇諸人を説伏する事／並神殿に暴挙せし事／耶蘇の一言無花果を枯す事／並祭司等怒りを含む事／耶蘇門徒を諭す事／並未来の大難を預言する事／祭司等耶蘇を陥る事／並猶太耶蘇に叛く事／耶蘇門徒に死別を告る事／並祭司等耶蘇を縛る事／彼得独り師の終りを見んとする事／並猶太自ら縊れて死する事／耶蘇十字架に刑せらるる事／並耶蘇復生して昇天せし事／初学教法問答	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13362972	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825209

MB00996	旧約全書一年研究	編集	ポーカス 編	常磐社	横浜	1909.11	216p	一、はじめに神天地を造り玉へり／二、つみのあたいは死なり／三、にじは神の契約の証となり／四、けんくわを止めて和親を求めよ／五、たゞしき人のねつしなるいのり／六、アブラハムはどこまでも神を信ず／七、飯のために兄を業を売る／八、ゆめで神に近づく／九、おととを売る愛なき兄弟／十、ひとやにても正直なり／十一、運は誠実人に来る／十二、ヨセフは兄弟の罪過を赦す／十三、なやみの中に陥りたるイスラエル人／十四、モーセは川の水よりひき出されたり／十五、しばの中より神にめされたり／十六、ちにて救はる／十七、りくにあがる感謝の歌／十八、マナは天より降り／十九、とうの戒めを嘉物にてあかしめたまふ／二十、ぐろぞうを拜んで神にそむく／二十一、みやを野にたつる／二十二、ふたつの反対のすゝめ／二十三、すくひの道が出来た／二十四、河をわたる幸ひ／二十五、のがれのまちを設くる／二十六、わづかなる人の勝利／二十七、ルツは姑に孝行をつくす、／二十八、こどもは神の声をきく／二十九、むりに王さまをたてる／三十、いしをもて巨人をころす／三十一、ねたみより人ごろし／三十二、やくそくをする二人の友／三十三、てきをゆるす愛のこゝろ／三十四、うれひを悪しき子が親にのこす／三十五、ソロモンは父の教を聞く／三十六、エリヤはからすに養はる／三十七、へりくだりて王は聖書を研究す／三十八、ほろぼすことの出来ぬ神の御言葉／三十九、エレミヤは正しきことの為めにくるしめらる／四十、をはりにつみのぼつを受く／四十一、さけを以て身を汚さぬ決心／四十二、ろの猛火に入れられても神を棄てず／四十三、ぬり壁に神のゆびは文字を書く／四十四、れいはいを守る為め獅子の穴に入れらる／四十五、いのちをすてゝも国を救ふ／四十六、らくせいを望んで剣を帯びて石垣をつむ／四十七、せいしよを総ての民にきかす／四十八、キリストの国に害ふものはなし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38742359	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825465
---------	--------------------------	----	--------	-----	----	---------	------	---	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Bosch, Franz		フランツ・ボッシュ		1910—1958		カトリック・イエズス会		ドイツ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00997	性の倫理	共著	ゲラルド・ケリー原 作、フランツ・ボッシュ 抄訳、遠藤正介翻訳校正	ルーベルト・エ ンデルレ書店	東京	1947	180p	序文/第二章 一般的性的魅力/第三章 個人的性的魅力/第四章 肉体的性的魅力/第五章 結婚相手の選択/第六章 恋を放棄すること/第七章 生殖に関する神の計画/第八章 純潔の意味/第九章 純潔に関する神の法/第十章 実践的道德規範/第十一章 実践上の若干の応用/第十二章 純潔の美	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05318691	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3859596
MB00998	再建ドイツの実相	単著	フランツ・ボッシュ 著	世界情勢研究会	東京	1954	204p	序/一 廃墟の中から/ (一) 西ドイツの地形/ (二) 惨憺たるドイツの戦禍/二 再建は基礎産業から/ (一) まえがき/ (二) 石炭/ (三) 製鉄/ (四) 自動車/ (五) 道路/ (六) 住宅問題/ (七) 船舶の復活/三 復興の基盤と再建國策/ (一) 西ドイツの通貨改革/1 通貨改革の意義/2 マーシャル・プランとその他の米国援助/3 資本再評価と資本蓄積/ (二) 物価と賃金/ (三) アデナウアーの経済政策/ (四) シューマン・プランの実績/ (五) 経済復興と輸出増加/1 奇蹟の輸出伸長/2 低金利政策の採用/3 注目される輸入権制度/4 E P U向輸出の著増/四 再建と労資協調/ (一) 労働者の良識/ (二) 労資協調ぶり/ (三) 生産第一主義の労働組合/ (四) 東ベルリンの暴動/ (五) 東ドイツの経済政策/ (六) 人民民主主義経済政策の破綻/ (七) 恵まれた西独の労働者/五 新しい戦後立法/ (一) まえがき/ (二) 傷痍軍人援護法/ (三) 経営参加法/1 歴史的発展/2 鉱山労働者会議法/3 同意決定法/4 経営組織法/5 経営参加と労働者の立場/6 経営参加の実践的運営/7 経営参加の要諦/8 労働代表シエーファー氏/ (四) 戦争被害負担調整法/六 西ドイツ復興と不易の真理/ (一) 復興の三つの条件/ (二) 祖国再建の気魄/ (三) おわりに/200/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12006393	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3449978

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Bossé, Jeanne		ジャンヌ・ボッセ		1916—2014		カトリック・コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会		カナダ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00999	しあわせは微笑みが連れてくるの	単著	ジャンヌ・ボッセ 著	メディアファクトリー	東京	2012.9	152p	はじめに/第一章 明るく元気に生きるために/第二章 人とのつながりの中で/第三章 自分を振り返る/第四章 新しい朝に向かって	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB11016706	—
MB01000	しあわせは涙のあとに届くもの	単著	ジャンヌ・ボッセ 著	メディアファクトリー	東京	2013.7	168p	はじめに/第一章 はじまりの春/第二章 カみなぎる夏/第三章 皆で集う秋/第四章 ときを待つ冬	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB13782940	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Bonet, Vicente M		ビセンテ・ボネット		1936—		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB01001	イグナチオ・ロヨラ書簡集	共訳	中村徳子、V.ボネット 訳	イエズス会ペン クラブ 中央出版社	東京	1972□	210p	一 テレサ・ラジャディ修道女への書簡/ニ テレサ・ラジャディ修道女への書簡/三 マヌエル・ミオナ神父への書簡/四 プロエ、サルメロン両神父への指示/五 トレントに派遣した三神父への指示/六 コインブラのイエズス会士への書簡—完徳の書簡—/七 ガンディアのイエズス会士への書簡/八 バドヴァのイエズス会士への書簡/九 フランシスコ・デ・ボルハ公への書簡/一〇 ファン・アルバレス神父への書簡/一一 ローマに参集したイエズス会士への辞職願/一二 アントニオ・ブランダウン神父への指示/一三 ウルバノ・フェルナンデス神父への書簡/一四 使徒活動に派遣した神父たちへの指示/一五 ポルトガルのイエズス会士への書簡—従順の書簡—/一六 フランシスコ・ザビエル神父への書簡/一七 上長との会談方法についての指示/一八 イエズス会の全上長への指示/一九 バレンティン・マリノ神父への書簡/二〇 フルヴィオ・アンドロツィ神父への書簡/二一 ステファノ・カザノヴァ神父への書簡/書簡 注/解題/解題	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04435951	—
MB01002	飢餓と援助	単著	ビセンテ・M.ボネット 著	新幹社	東京	1996	220p	まえがき/序 なぜこのような違いがあるのでしょうか/第一章 日本の食べ物、豊かさの下にある構造/第二章「飢え」についての現代の「神話」/第三章「神話」のウラにある悲惨な現状/第四章「政府開発援助」/第五章 私にできることがあるでしょうか/おわりに/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN1533243X	—

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Horton, Russell F□		ラッセル・F.ホルトン		1926—1997		カトリック・イエズス会		不明		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB01003	倫理思想：唯物主義 倫理・社会	単著	ラッセル・F.ホルトン 著 教育協議会 編	エンデルレ書店	東京	1964□	99p	第1部 マルクス主義的コミュニズムの思想/第1章 歴史的背景/第2章 唯物主義/第3章 マルクス主義的歴史観/第4章 マルクス主義的國家論/第5章 コミュニストの道徳論/第6章 コミュニストの革命論/第7章 コミュニスト社会/第1部のむすび/第2部 マルクス主義的コミュニズムの検討/第1章 唯物主義とその人生哲学/第2章 マルクス主義的歴史観/第3章 マルクス主義的國家論/第4章 コミュニストの道徳論/第5章 コミュニストの革命論/第6章 コミュニスト社会/第2部のむすび/研究と討議のための質疑	—	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3025722